

取付作業者用

前後方録画対応ドライブレコーダー取付説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書は前後方録画対応ドライブレコーダーの取付方法について記載しています。
取り付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
取り付け後は、「取扱説明書」および「保証書」を必ずお客様にお渡しください。
なお、取付ミスを避けるためにも、取付けは、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店
でお願いします。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようにになっています。

⚠警告、**⚠注意**、**注記**、**👉アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

⚠ 警告	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
⚠ 注意	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
👉アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

使用されている~~○~~の記号は、してはいけない内容を示しています。

!の記号は、実行しなければならない内容を示しています。

品番および適用車種

👉 アドバイス

ランディに取り付ける場合は、リヤカメラ延長ケーブル（9909J-55Z73-P03）が必要になります。

品 番	適 用 車 種	適 用 年 式
99000-79CE0-000	アルト 型式 HA37S、HA97S	2020年 11月～
	エブリイ 型式 DA17W、DA17V	
	ハスラー 型式 MR52S、MR92S	
	ジムニー 型式 JB64W	
	ラパン 型式 HE33S	
	スペーシア 型式 MK53S	
	スペーシアベース 型式 MK33V	2022年 8月～
	ワゴンR 型式 MH35S、MH55S、MH85S、MH95S	2020年 11月～
	ワゴンRスマイル 型式 MX81S、MX91S	2021年 9月～
	エスクード 型式 YEA1S、YEH1S	
	イグニス 型式 FF21S	
	ジムニーシエラ 型式 JB74W	
	ランディ 型式 MZRA90C、MZRA95C、ZWR90C、ZWR95C	2022年 8月～
	ソリオ 型式 MA27S、MA37S	2020年 11月～
	スイフト 型式 ZC13S、ZC33S、ZC43S、ZC53S、ZD53S、ZC83S、ZD83S	
	クロスビー 型式 MN71S	

加工について

車両により加工内容が異なりますので、間違えがないように作業を行ってください。

	インパネ付近の加工				バックドア部の加工	
	④車両側ブラケット ：不要		④車両側ブラケット ：必要			
	穴加工：必要	配線を通す 穴加工	穴加工： 不要	配線を通す 穴加工	穴加工： 不要	
アルト		●				○
エブリイ			●			○
ハスラー	●					△
ジムニー			●			○
ラパン				●		○
スペーシア／ スペーシアベース	●					×
ワゴンR	●					×
ワゴンRスマイル	●					○
エスクード				●		○
イグニス		●				×
ジムニーシエラ			●			○
ランディ			●			×
ソリオ	●					×
スイフト			●			×
クロスビー	●					○

もくじ

安全に関する表示.....	1	取付要領、取付作業
品番および適用車種.....	2	アルトの場合
加工について	3	・車両部品の取り外し方法.....50~51
もくじ	4~6	・取付概要.....52~53
構成部品	7	・フロントカメラ取付前の準備.....54
構成部品（別売品）.....	8	・フロントカメラの取付方法.....54
取り付けに必要な工具類.....	8	・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....54
取付上の留意点.....	9~11	・リヤカメラ取付前の準備.....55~56
取付準備作業	11	・リヤカメラの取付方法.....57~58
取付要領、取付作業		・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....59~61
全車共通		・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....62~63
・車両部品の取り外し方法.....12		・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....64
・フロントカメラの取付条件について	13	・ドライブレコーダー本体の取付方法.....65~70
・フロントカメラ取付前の準備.....14~15		エブリイの場合
・フロントカメラの取付方法.....15~18		・車両部品の取り外し方法.....71~72
・配線のしかた.....19~20		・取付概要.....73~74
・リヤカメラの取付条件について	21	・フロントカメラ取付前の準備.....75
・リヤカメラ取付前の準備.....22		・フロントカメラの取付方法.....75
・リヤカメラの取付方法	23~25	・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....75
・リヤカメラケーブル配線（バックドア内）.....26~28		・リヤカメラ取付前の準備.....76~77
・各ケーブルの配線方法	29~30	・リヤカメラの取付方法.....77~79
・ドライブレコーダー本体の取付条件について	31	・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....80~82
・車両部品の加工方法	32~35	・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....83
・ドライブレコーダー本体の取付方法	36~38	・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....84~85
車両部品の復元.....	39	・ドライブレコーダー本体の取付方法.....86~88
既設部品の点検.....	39	ハスラーの場合
接続のしかた	40	・車両部品の取り外し方法.....89~90
取付・配線の確認.....	41~42	・取付概要.....91~92
作動確認・取付調整・カードの初期化.....	43	・フロントカメラ取付前の準備.....93
・ドライブレコーダータイプの選択.....	44	・フロントカメラの取付方法.....93
・ドライブレコーダーの作動確認.....	45	・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....94
・取付調整.....	46~47	・リヤカメラ取付前の準備.....95~97
・取付調整の確認.....	47	・リヤカメラの取付方法.....98~103
・感度調整.....	48	・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....104~106
・映像ファイルの削除	49	・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....106
		・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....107
		・ドライブレコーダー本体の取付方法.....108~111

ジムニー／ジムニーシエラの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....112~113
- ・取付概要.....114~115
- ・フロントカメラ取付前の準備.....116
- ・フロントカメラの取付方法.....116
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..116
- ・リヤカメラ取付前の準備.....117~119
- ・リヤカメラの取付方法120~121
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....122~124
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....124
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線125~126
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....127~129

ラパンの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....130~131
- ・取付概要.....132~133
- ・フロントカメラ取付前の準備.....134
- ・フロントカメラの取付方法.....135
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..135
- ・リヤカメラ取付前の準備.....136~137
- ・リヤカメラの取付方法138~139
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....140~142
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....143
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線144
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法145~148

スペーシア／スペーシアベースの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....149~150
- ・取付概要.....151~152
- ・フロントカメラ取付前の準備.....153
- ・フロントカメラの取付方法.....153
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..153
- ・リヤカメラ取付前の準備.....154
- ・リヤカメラの取付方法155~156
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....157~159
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....160~161
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線162~163
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法164~167

ワゴンRの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....168~169
- ・取付概要.....170~171
- ・フロントカメラ取付前の準備.....172
- ・フロントカメラの取付方法.....172~173
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..174
- ・リヤカメラ取付前の準備.....174
- ・リヤカメラの取付方法175
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....176~178
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....178
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線179
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法180~183

ワゴンRスマイルの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....184~185
- ・取付概要.....186~187
- ・フロントカメラ取付前の準備.....188
- ・フロントカメラの取付方法.....188
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..188
- ・リヤカメラ取付前の準備.....189~190
- ・リヤカメラの取付方法191~192
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....193~195
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....196~198
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線198~199
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法200~203

エスクードの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....204~207
- ・取付概要.....208~209
- ・フロントカメラ取付前の準備.....210
- ・フロントカメラの取付方法.....210
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..210
- ・リヤカメラ取付前の準備.....211~212
- ・リヤカメラの取付方法212~214
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....215~217
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....218
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線219
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法220~226

イグニスの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....227~228
- ・取付概要.....229~230
- ・フロントカメラ取付前の準備.....231
- ・フロントカメラの取付方法.....231
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..232
- ・リヤカメラ取付前の準備.....233
- ・リヤカメラの取付方法234~235
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....236~239
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....240
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線241~242
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....243~247

ランディの場合

- ・ランディへ取り付ける際の注意.....248
- ・車両部品の取り外し方法.....249~251
- ・取付概要.....252~253
- ・フロントカメラ取付前の準備.....254
- ・フロントカメラの取付方法.....254~255
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..256
- ・リヤカメラ取付前の準備.....257
- ・リヤカメラの取付方法258
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....259~260
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....261~262
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線263
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....264~266

ソリオの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....267~268
- ・取付概要.....269~270
- ・フロントカメラ取付前の準備.....271
- ・フロントカメラの取付方法.....271
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..271
- ・リヤカメラ取付前の準備.....272
- ・リヤカメラの取付方法273~274
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....275~278
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....279
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線280~281
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....282~286

スイフトの場合

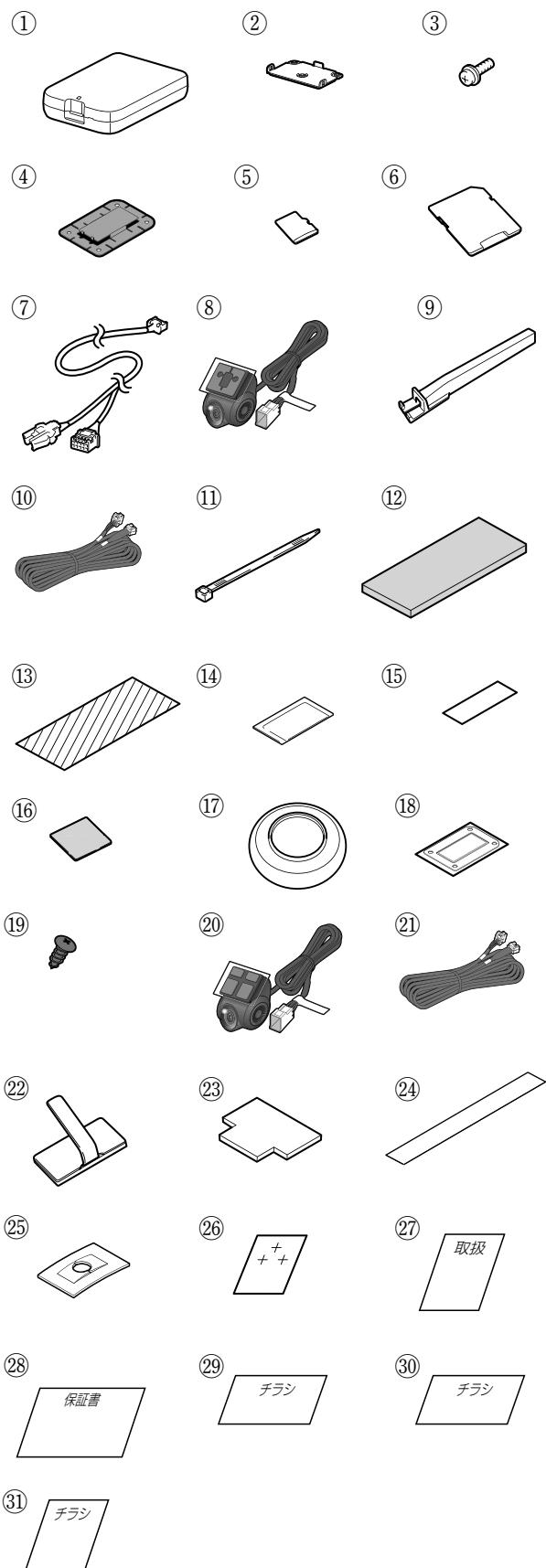
- ・車両部品の取り外し方法.....287~288
- ・取付概要.....289~290
- ・フロントカメラ取付前の準備.....291
- ・フロントカメラの取付方法.....291
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..292
- ・リヤカメラ取付前の準備.....293
- ・リヤカメラの取付方法294~296
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....297~299
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....300
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線301
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....302~304

クロスビーの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....305~306
- ・取付概要.....307~308
- ・フロントカメラ取付前の準備.....309
- ・フロントカメラの取付方法.....309
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..309
- ・リヤカメラ取付前の準備.....310~311
- ・リヤカメラの取付方法311~313
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）....314~316
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....317
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線318~319
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....320~324

改訂内容.....325~326

構成部品



No.	部品名称	数量
①	ドライブレコーダー本体	1
②	本体ブラケット	1
③	スクリュー (M3×8mm)	3
④	車両側ブラケット	1
⑤	microSDHCメモリーカード (16GB)	1
⑥	SDカードアダプター	1
⑦	電源ケーブル	1
⑧	フロントカメラ	1
⑨	コードホルダー (150mm)	1
⑩	フロントカメラケーブル	1
⑪	バンドクランプ	50
⑫	ハーネス固定テープ (200mm×100mm)	5
⑬	保護シート (200mm×100mm)	1
⑭	クリーナー	1
⑮	ステッカー	1
⑯	両面テープ (本体用)	1
⑰	グロメット	2
⑱	両面テープ (車両側ブラケット用)	1
⑲	タッピンねじ (φ4×12)	4
⑳	リヤカメラ	1
㉑	リヤカメラケーブル	1
㉒	クランパー	2
㉓	両面テープ	1
㉔	テープ (150mm×25mm)	1
㉕	スピードナット	4
㉖	型紙	1
㉗	取扱説明書	1
㉘	保証書	1
㉙	チラシ	1
㉚	チラシ (QRコード)	1
㉛	チラシ (ステッカー貼り付け)	1

■付属の⑥SDカードアダプターは、必ずお客様にお渡しください。

■④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に使用します。

構成部品（別売品）

リヤカメラ延長ケーブル（品番：9909J-55Z73-P03）



No.	部品名称	数量
④⓪	リヤカメラ延長ケーブル	1

取り付けに必要な工具類

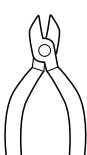
① ドライバー



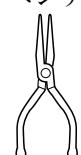
② ドライバー



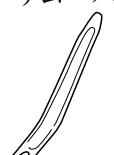
ニッパー



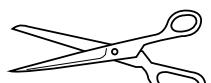
ラジオ
ペンチ



ハンディ
リムーバー



はさみ



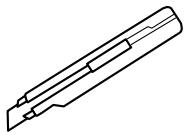
マスキングテープ



定規



カッターナイフ、
超音波カッターなど



耐切創手袋



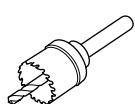
ラチェットレンチ



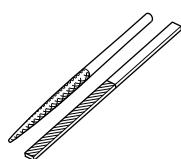
電動ドリル
(φ 3、φ 4、φ 4.5)



ホールソー (φ 16)



ヤスリ



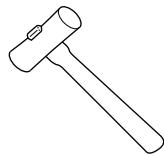
ビニールテープ



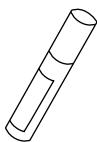
ポンチ



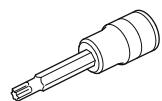
ハンマー



タッチアップペイント



T型ヘックスローブ
ビットソケット (T40)



取付上の留意点



本機はDC12V○アース車で使用する

DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおり正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの○端子を外す

外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

ドライブレコーダーは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因となります。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店にご依頼ください。



視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

『黄色のハーネス』はSRS（エアバッグ）用のハーネスであるため、絶対に他のコード類などを固定しない

万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。（※取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談のうえ、取付位置を決めてください。）

取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

警告**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**分解や改造をしない****分解禁止**

- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

注意**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金エッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

取付場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取付状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

**コードを破損しない**

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

注記

コネクターは、カチッと音がするまで確実にはめ込む
コネクター外れの原因となります。

コネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクターを持って外す
リード線の損傷の原因となります。



車両側のワイヤリングハーネスを、強く引っ張らない
コネクター外れやワイヤリングハーネスの損傷の原因となります。

注記

- 取り付けの際は車両を傷つけないように十分注意してください。
- 本文中の取付上の**注記**は、必ず取付に反映させて作業を行ってください。
もし、**注記**を無視して取り付けると、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両故障につながるおそれがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
- 誤って取り付けた場合、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながるおそれがあります。しかも、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- 本品は4輪車専用です。2輪車へは取り付けないでください。
- 各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てたり、保護マットがない場所にドライブレコーダーを置いたりしないでください。カメラレンズ部等に傷がつくことがあります。
- 取付作業は、ルーフライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ルーフライニングが折り曲がらないように注意してください。

👉 アドバイス

- 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路および交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
- 取付説明書に記載されているドライブレコーダーの取付位置は、「性能面（ワイヤー挿入範囲）」「法規制（フロントガラスの実直寸法20%以内へのカメラ取付）」等を考慮しています。必ず、取付説明書通りの取付を行ってください。

- 本製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
2. 取付作業中は、必ず、エンジンを停止して、バッテリーの \ominus 端子を外しておいてください。この際、 \ominus 端子が \oplus 端子と接触しないようにご注意ください。

👉 アドバイス

バッテリーの \ominus 端子を外すと、ラジオやテレビ等のメモリーが全て消えてしまうことがあります。
このような場合は、取り外し前にメモリーを控え、終了後にメモリーを再設定してください。

3. 構成部品が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等がないかを確認してください。

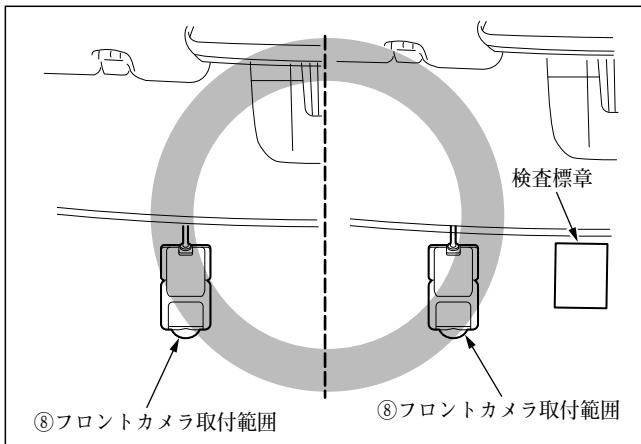
取付要領**取付作業****全車共通****●車両部品の取り外し方法**

本書では取り外し部品の概略のみを記載しています。取り外し方法の詳細については各車種の「サービスマニュアル」を参照してください。

注記

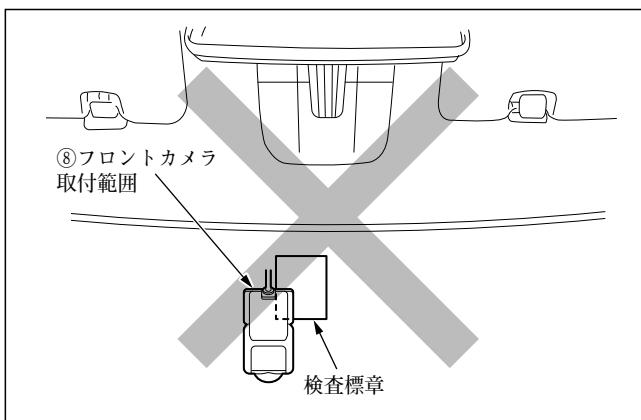
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は特に指示がある場合を除き再使用します。紛失しないでください。

● フロントカメラの取付条件について



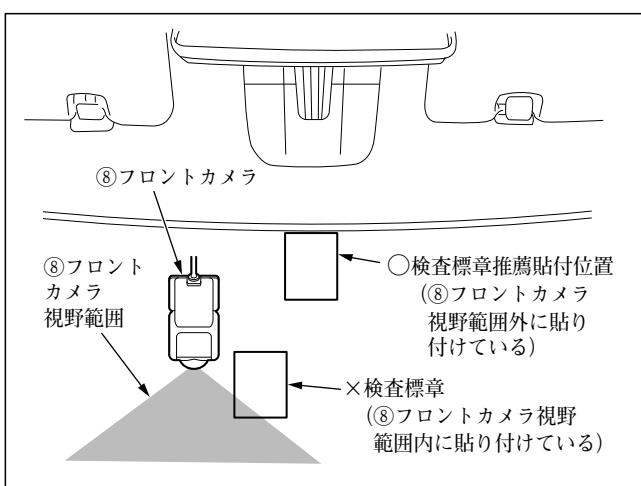
注記

- ⑧フロントカメラは、検査標章（車検証シール）を貼り付けていない場合、または検査標章が⑧フロントカメラ取付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- 新車時などに⑧フロントカメラを取り付ける場合、検査標章（車検証シール）を⑧フロントカメラ取付範囲外へ貼り付けてください。



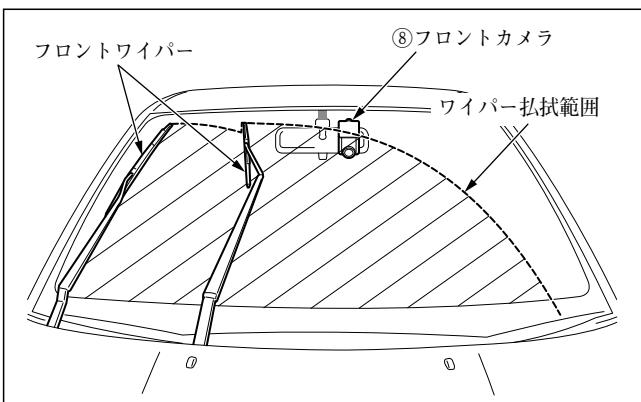
注記

検査標章（車検証シール）が⑧フロントカメラ取付範因に貼り付けてある場合、⑧フロントカメラを取り付けることができません。



注記

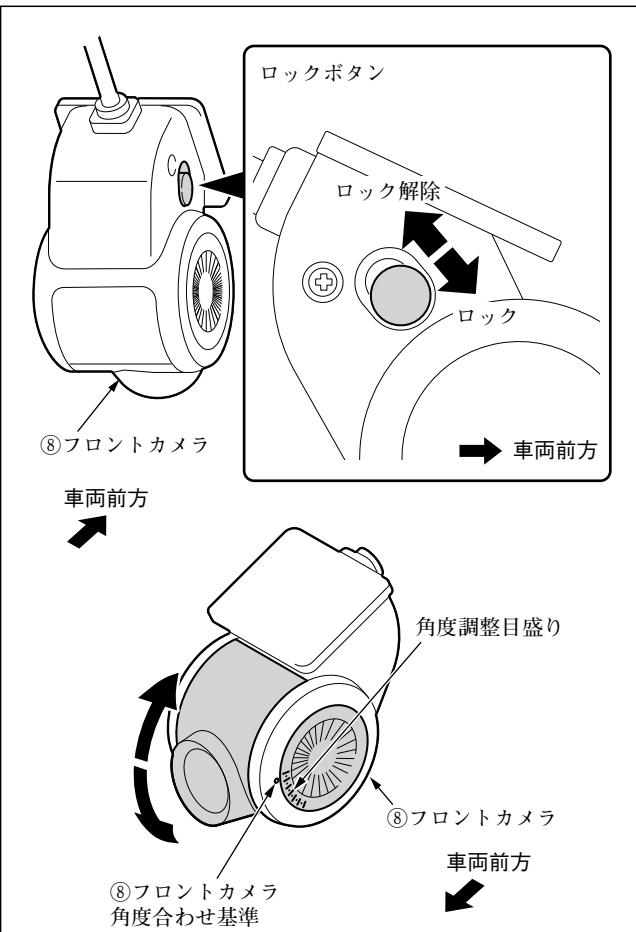
検査標章を貼り付ける際は、⑧フロントカメラ視野範因外に貼り付けてください。⑧フロントカメラ視野範因内に貼り付けると⑤microSDHCメモリーカードに記録される映像に検査標章が映り込みます。



注記

⑧フロントカメラの撮影範因がワイパー払拭範因内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範因から外れた位置にあると、雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。

● フロントカメラ取付前の準備



■ フロントカメラ取付前の準備

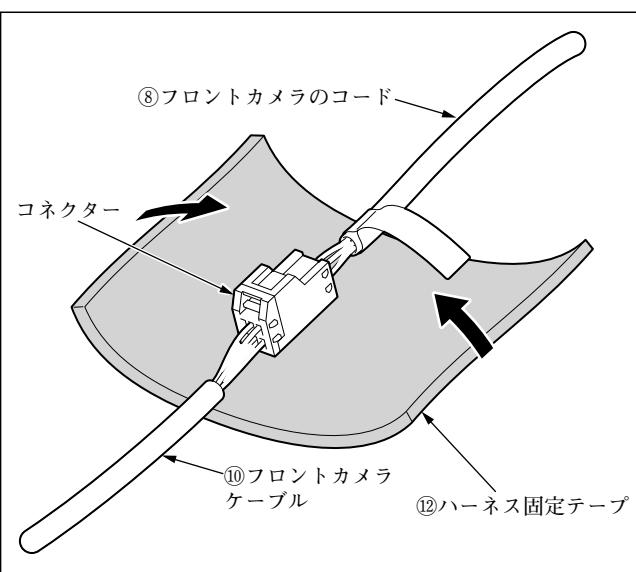
- (1) ⑧フロントカメラ右側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。
- (2) ⑧フロントカメラ左側の角度調整目盛りと⑧フロントカメラ角度合わせ基準を合わせてください。
- (3) ロックボタンをスライドしてロックしてください。

注記

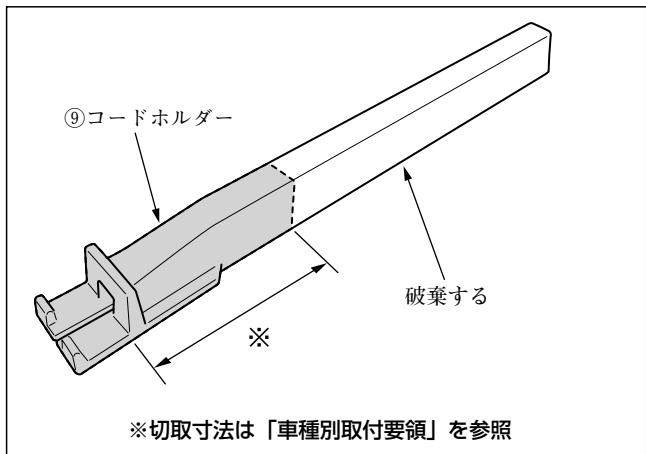
- ・しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- ・⑧フロントカメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



- (4) ⑧フロントカメラのコネクターと⑩フロントカメラケーブルのコネクターを接続してください。
- (5) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。



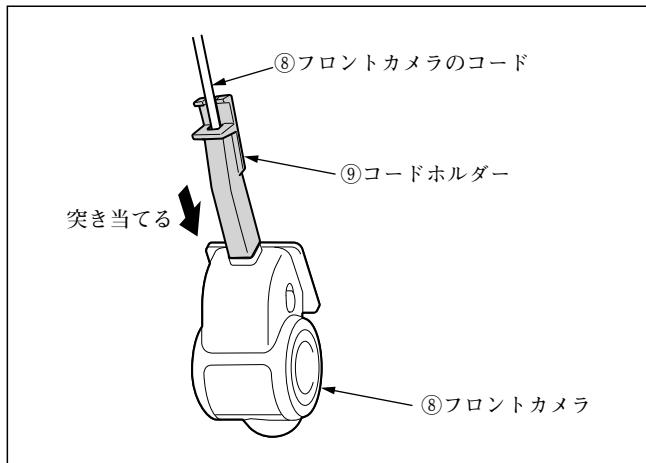
- (6) ⑨コードホルダーを寸法通り切り取ってください。

注意

- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- ・カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

アドバイス

⑨コードホルダー使用の有無や切取寸法は、車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

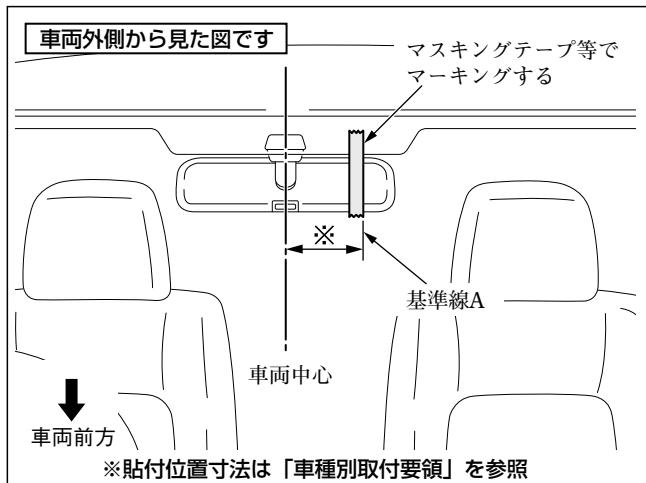


- (7) ⑨コードホルダーに⑧フロントカメラのコードを通してください。
- (8) ⑨コードホルダーを⑧フロントカメラのコード根元に突き当ててください。

注記

⑨コードホルダーは、⑧フロントカメラに突き当たった位置にセットしてください。

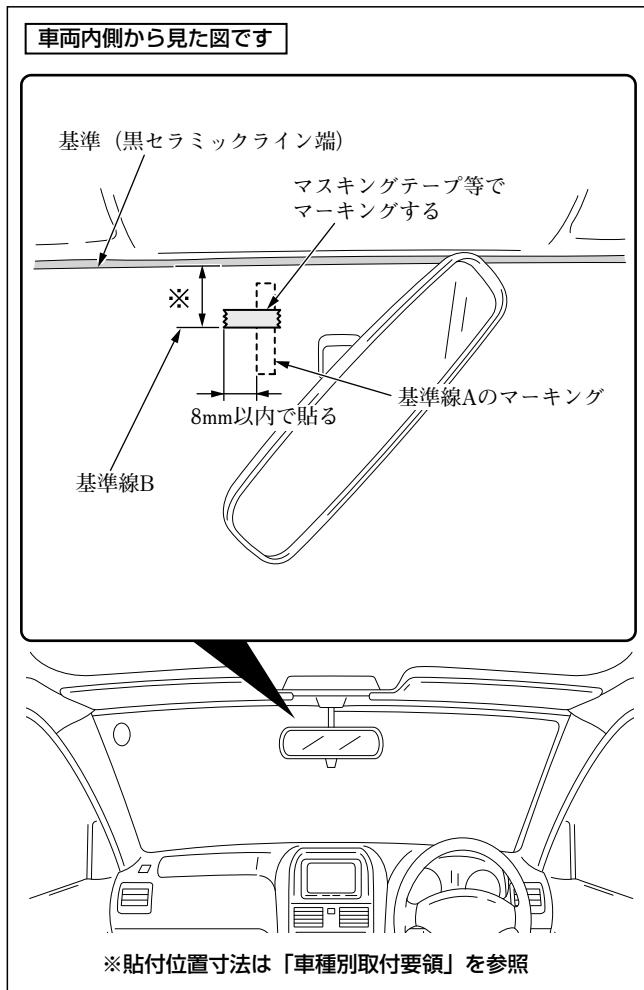
● フロントカメラの取付方法



- (1) 車両外側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

アドバイス

- 図は、車両外側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- 貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。



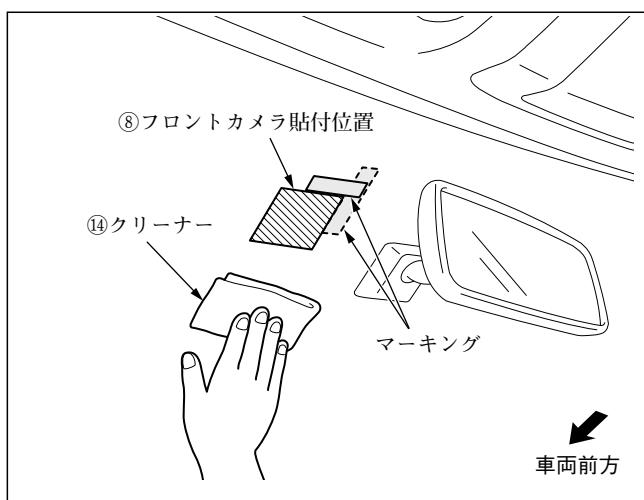
- (2) 車両内側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑧フロントカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

👉 アドバイス

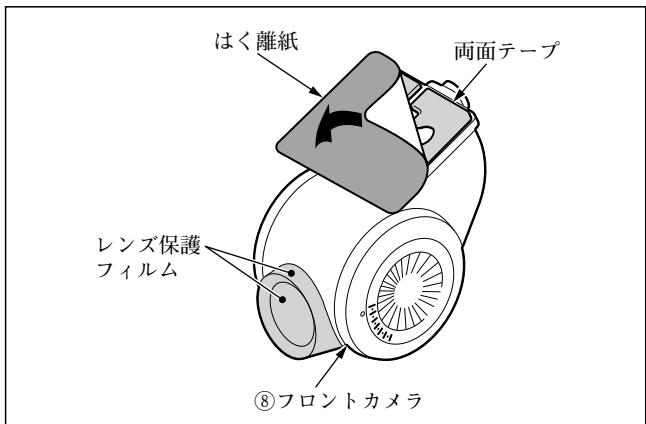
- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- 貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。



- (3) ⑧フロントカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑯クリーナーで拭き取ってください。

注記

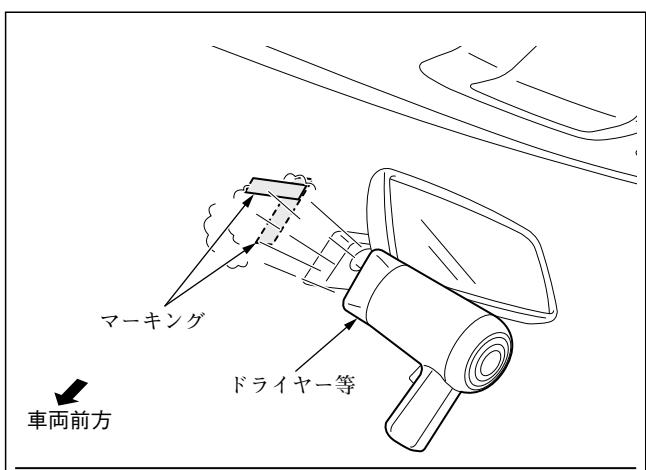
- 必ず同梱の⑯クリーナーを使用してください。同梱の⑯クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑧フロントカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。
- 拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



(4) レンズ保護フィルムをはがしてください。

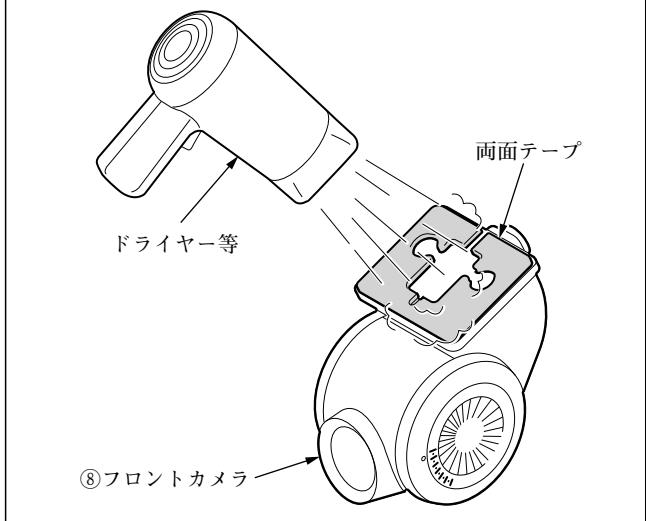
注記

⑧フロントカメラのレンズを手で触って汚したり、傷付けたりしないでください。



注記

粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



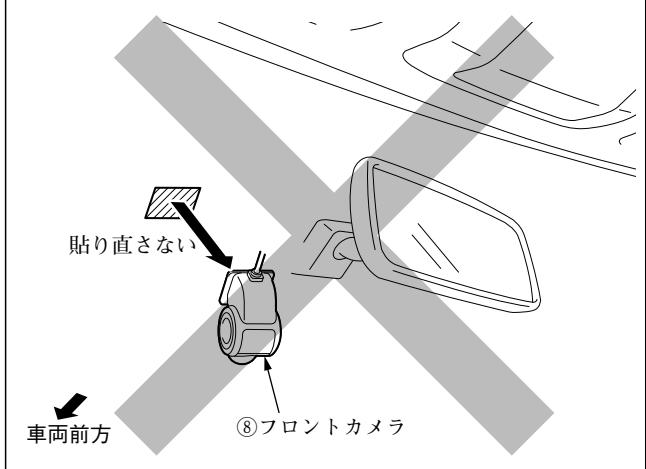
注記

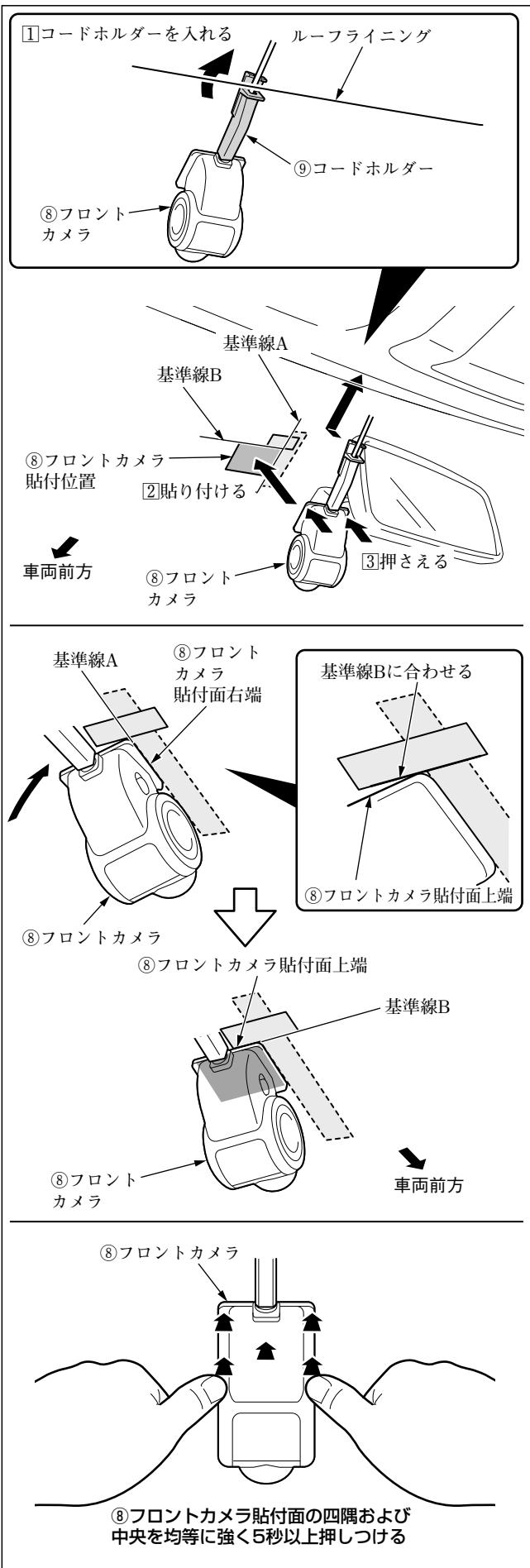
- 作業環境（温度・温氣）に注意してください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。
- 温度について
貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。

● 湿気について

貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

- ⑧フロントカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤー等で温めてください。
- 粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、⑧フロントカメラを貼り直したりしないでください。
- 貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレー や水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。

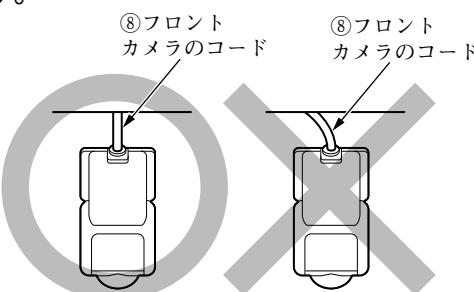




- (6) ⑨コードホルダーをルーフライニングに収めてください。
- (7) 基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の右端を合わせ、同時に基準線Bに⑧フロントカメラ貼付面の上端を合わせてフロントガラスに貼り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、フロントガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上⑧フロントカメラをフロントガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- ⑧フロントカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。
- ⑧フロントカメラ貼付時、⑧フロントカメラのコードをルーフライニングにまっすぐ引き込んでください。曲がっていると脱落の原因となります。



アドバイス

- ⑧フロントカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 運転席側に貼り付ける際は、基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の左端を合わせて貼り付けてください。

●配線のしかた

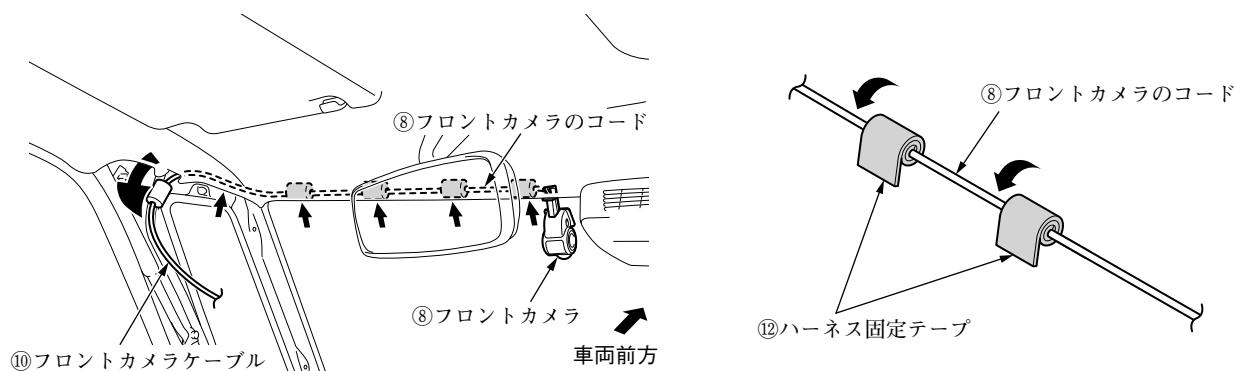
カットした⑫ハーネス固定テープや⑪バンドクランプを使用して、⑧フロントカメラのコード、⑩フロントカメラケーブルおよび⑦電源ケーブルを固定しながらナビゲーションユニットまで配線してください。



- コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

注記

- ルーフライニングを変形させないように注意しながら、⑫ハーネス固定テープを巻いた⑧フロントカメラのコードをルーフライニングの隙間に押し込んでください。



- コードをドライバーなどの先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。
- フロントピラーインナートリムを取り付けた際に⑧フロントカメラのコードおよび⑩フロントカメラケーブルをかみ込まない位置に配線してください。

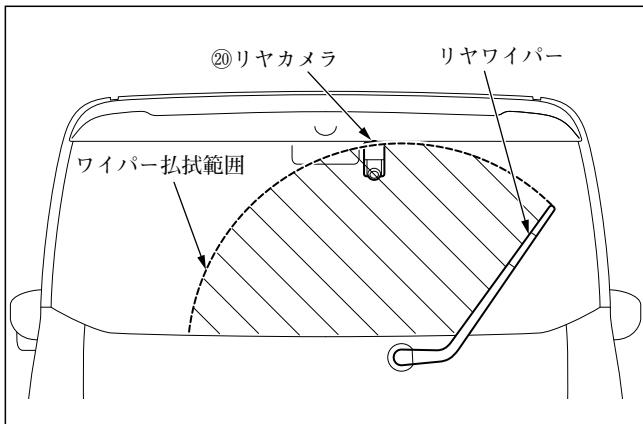
👉 アドバイス

- ⑫ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。
- ルーフライニングが下げるにくい場合は、リムーバー等を使用すると作業が容易に行えます。
- ⑬保護シートは、はさみ等で寸法通り切って使用してください。
- ⑯保護シートの寸法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
以降の作業も同様に行ってください。



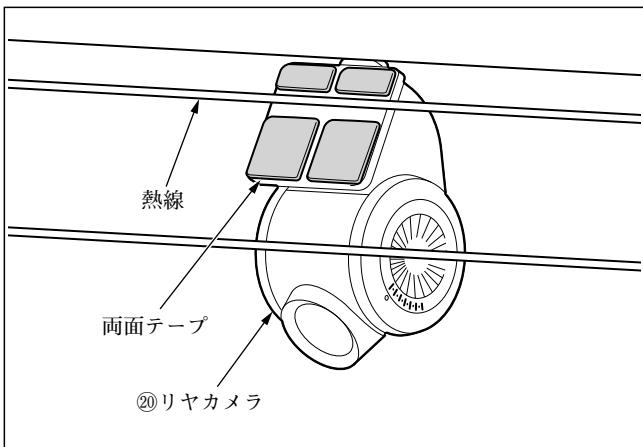
- ⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）は、ナビゲーションの電源ハーネスの3Pコネクター（メス）に接続します。
- ETC2.0車載器と同時に装着する場合は、ETCを接続した後に、ETC2.0車載器の電源コードの3Pコネクター（メス）に⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）を接続します。
- 3Pコネクター（オス）及び20Pコネクター（メス）の接続方法については、「接続のしかた」を必ず参照してください。

●リヤカメラの取付条件について



注記

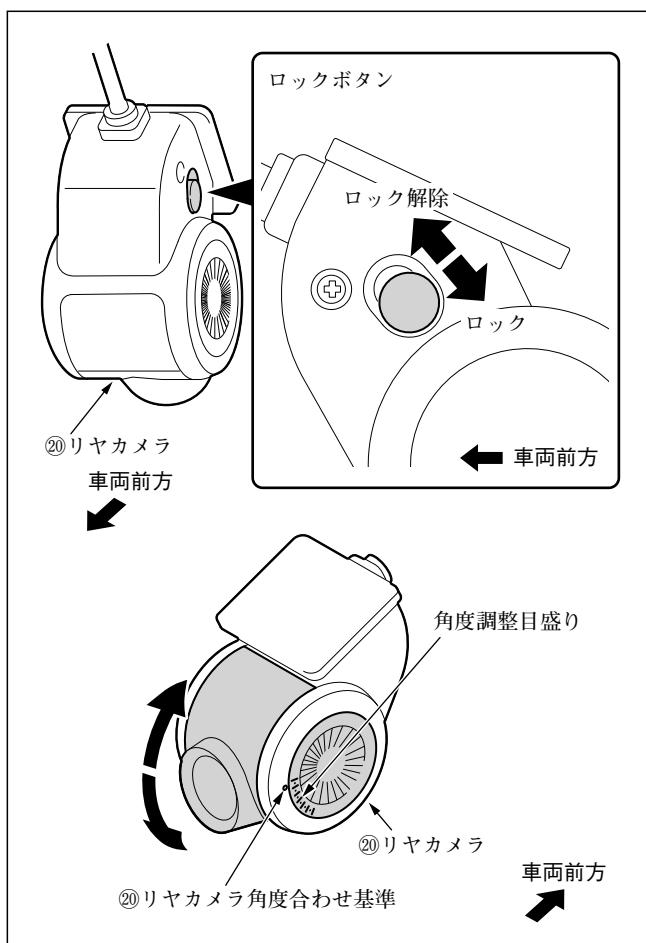
②リヤカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。



注記

②リヤカメラの両面テープがリヤガラスの熱線に触れないように取り付けてください。

● リヤカメラ取付前の準備



- (1) ②②リヤカメラ左側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。
- (2) ②②リヤカメラ右側の角度調整目盛りと②②リヤカメラ角度合わせ基準を合わせてください。
- (3) ロックボタンをスライドしてロックしてください。

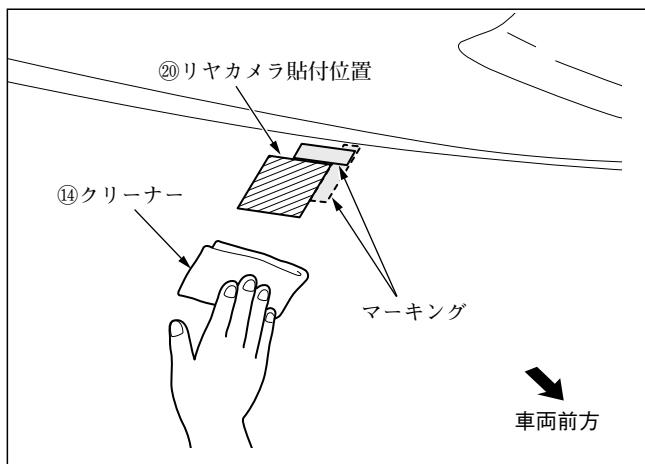
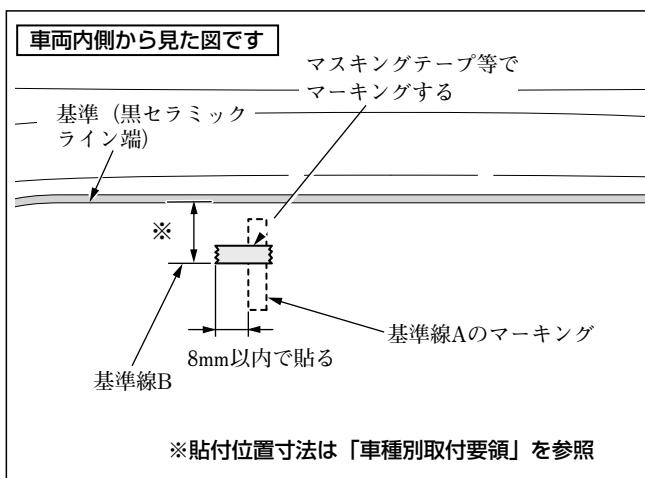
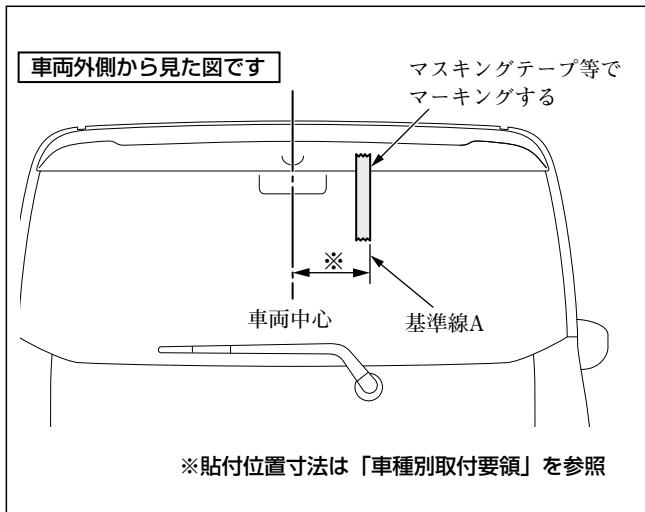
注記

- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- ②②リヤカメラ画像に必要な情報が記録されないことがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

👉 アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

● リヤカメラの取付方法



- (1) 車両外側からマスキングテープ等で②〇リヤカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

👉 アドバイス

- ・図は、車両外側から見た図を示しています。
- ・貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- ・マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- ・貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。

- (2) 車両内側からマスキングテープ等で②〇リヤカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと②〇リヤカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

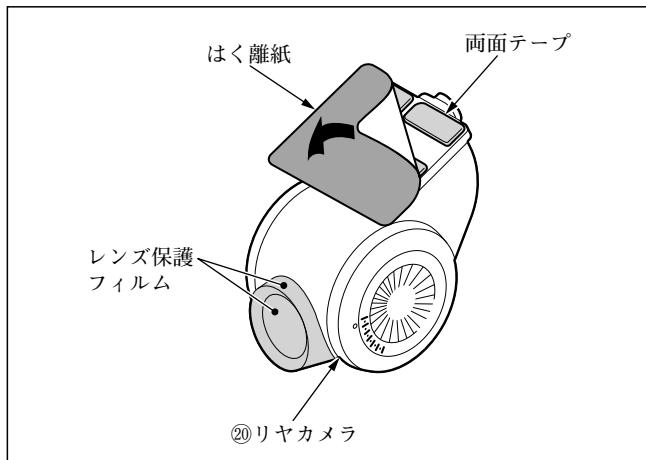
👉 アドバイス

- ・図は、車両内側から見た図を示しています。
- ・貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- ・マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- ・貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。

- (3) ②〇リヤカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑯クリーナーで拭き取ってください。

注記

- ・必ず同梱の⑯クリーナーを使用してください。同梱の⑯クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては②〇リヤカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。
- ・拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



(4) レンズ保護フィルムをはがしてください。

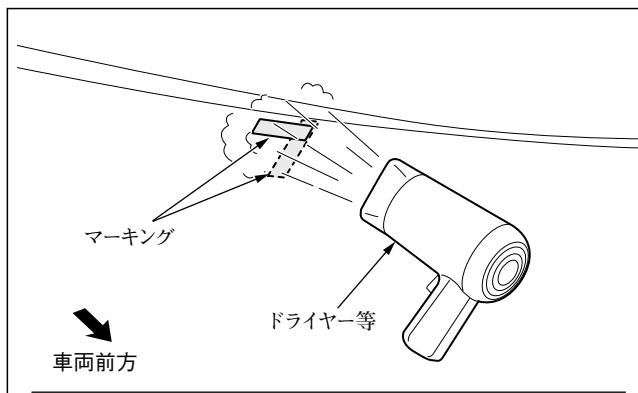
注記

②リヤカメラのレンズを手で触って汚したり、傷を付けたりしないでください。

(5) ②リヤカメラの両面テープからはく離紙を剥がしてください。

注記

粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



注記

- ・作業環境（温度・湿度）に注意してください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤー等でガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。

・温度について

貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。

・湿気について

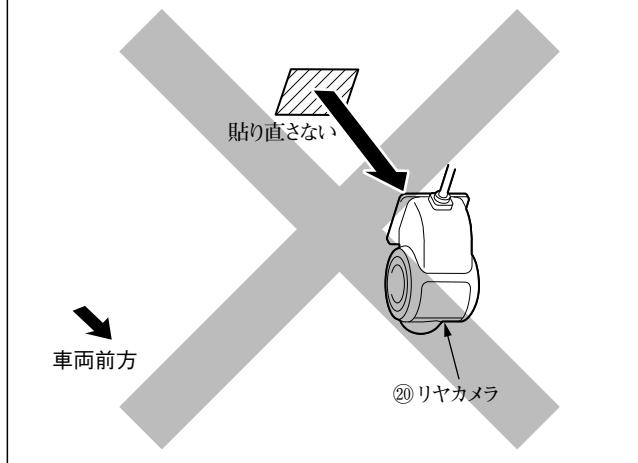
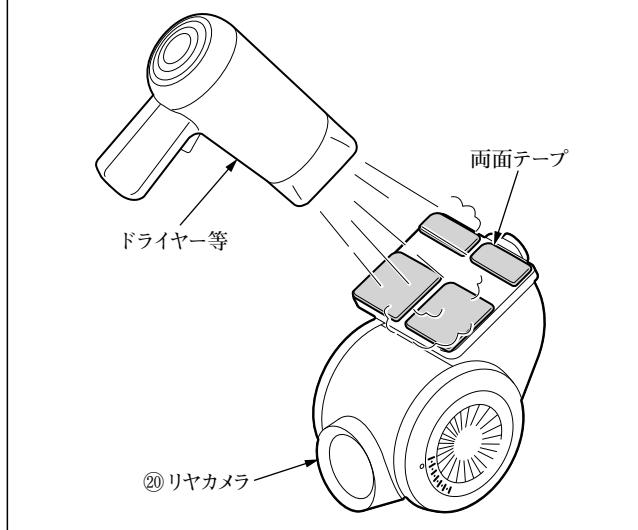
貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

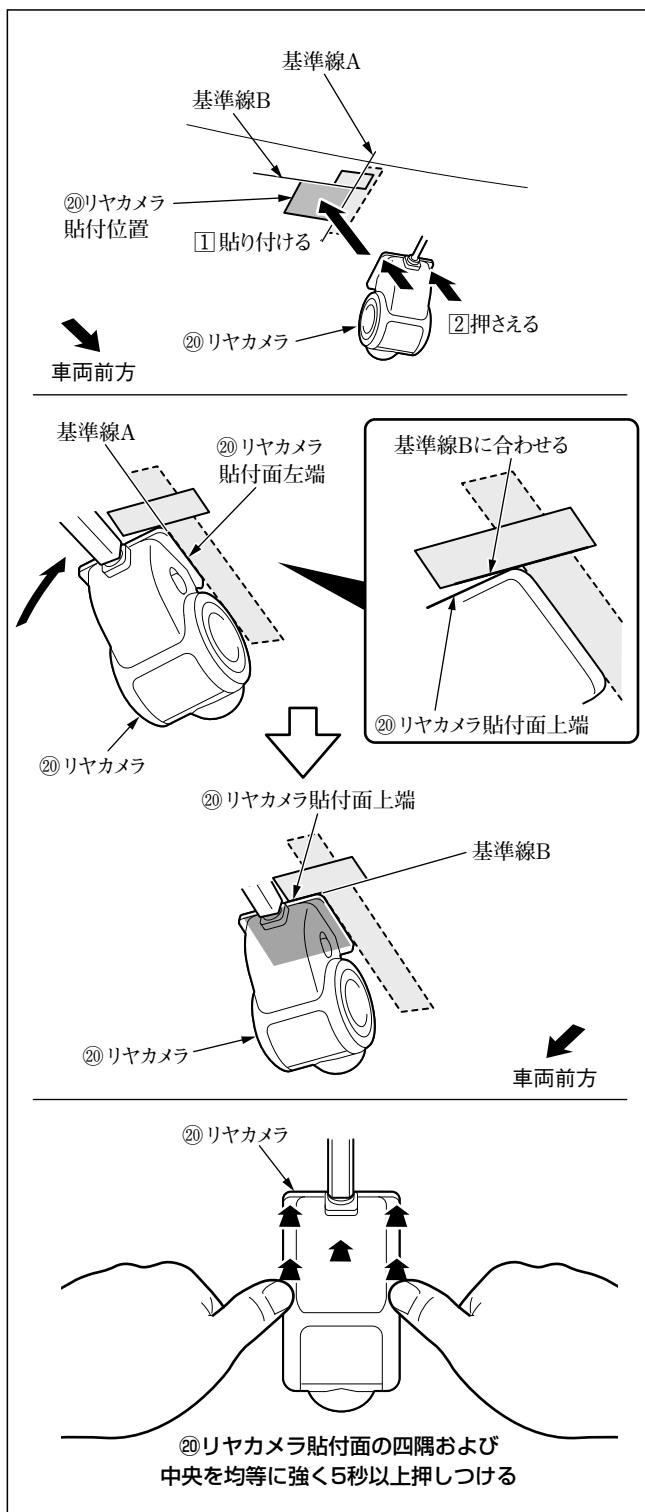
- ・②リヤカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤー等で温めてください。

- ・粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、②リヤカメラを貼り直したりしないでください。

- ・貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。

- ・本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。





(6) 基準線Aに②②リヤカメラ貼付面の左端を合わせ、同時に基準線Bに②②リヤカメラ貼付面の上端を合わせてリヤガラスに貼り付けてください

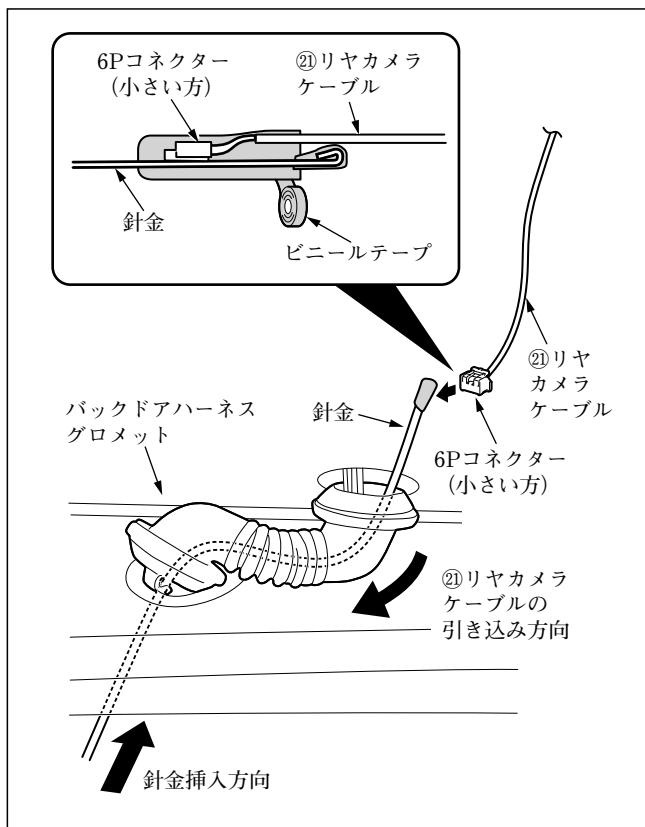
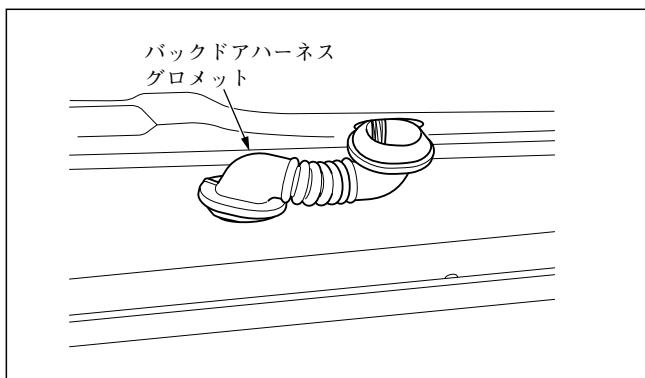
注記

- ②②リヤカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、リヤガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上②②リヤカメラをリヤガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅および中央を押しつけるようにしてください。
- ②②リヤカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

アドバイス

- ②②リヤカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 助手席側に貼り付ける際は、基準線Aに②②リヤカメラ貼付面の右端を合わせて貼り付けてください。

●リヤカメラケーブル配線（バックドア内）

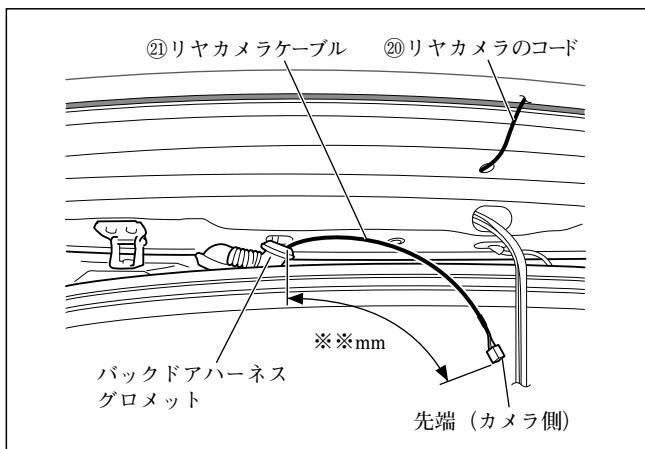


- (1) 車両バックドアハーネスグロメットのかん合を外してください。

- (2) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングしてください。
- (3) 先端をテーピングした針金を、バックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- (4) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター(小さい方)を針金にテーピングしてください。
- (5) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- 車両バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブルの破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、車両ハーネスの電線とからませないように通してください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、テーピングの上から中性洗剤等を塗布してコネクターがバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤が掛からないようにしっかりとテーピングしてください。

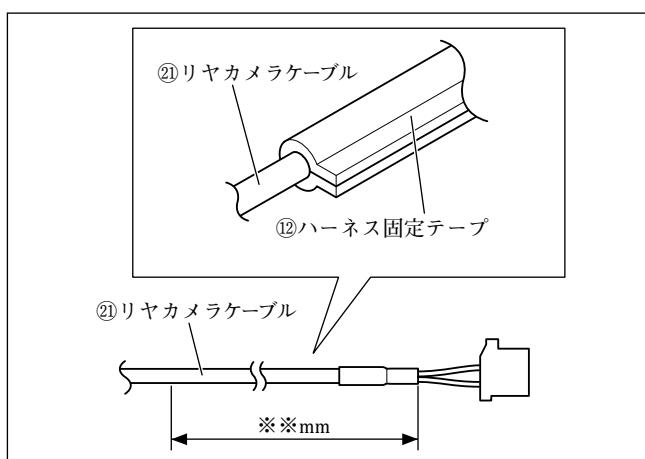


(6) ②①リヤカメラケーブルを車室内側に引き込んでください。

(7) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは図示寸法を確保してください。

👉 アドバイス

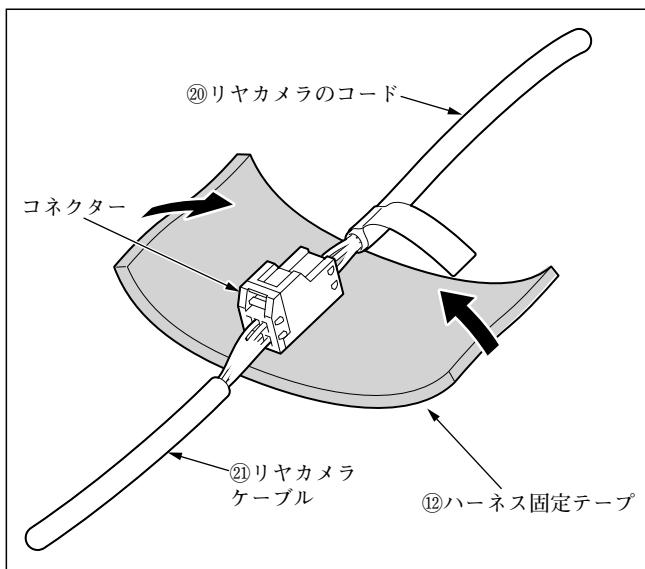
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までの寸法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



(8) 異音防止のため、⑫ハーネス固定テープをカメラ側の②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

👉 アドバイス

②①リヤカメラケーブルの固定箇所・方法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

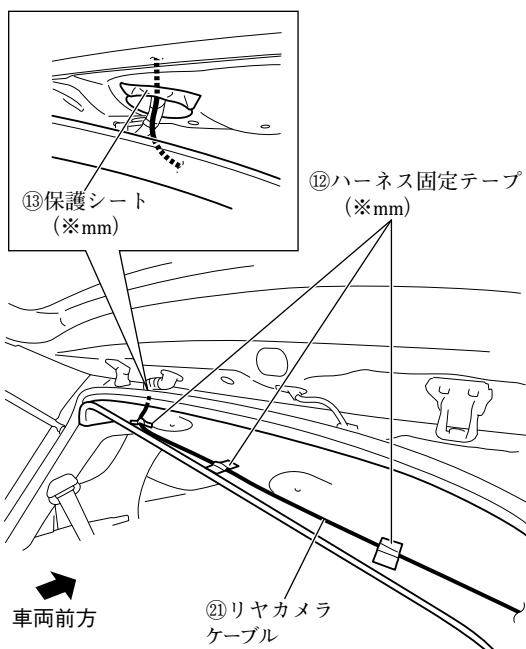


(9) ②①リヤカメラのコードと②①リヤカメラケーブルのコネクターを接続してください。

(10) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。

注記

ランディに取り付ける場合は、②①リヤカメラのコードと④①リヤカメラ延長ケーブルのコネクターおよび④①リヤカメラ延長ケーブルと②①リヤカメラケーブルのコネクターにも⑫ハーネス固定テープを同様に貼り付けてください。

バックドア開口部左

(11) 車両バックドアハーネスグロメットを復元してください。

注記

水漏れの原因となるため、車両バックドアハーネスグロメットは確実に復元してください。

(12) ⑪リヤカメラケーブルを⑫ハーネス固定テープでルーフライニングに固定しながら配線してください。

注記

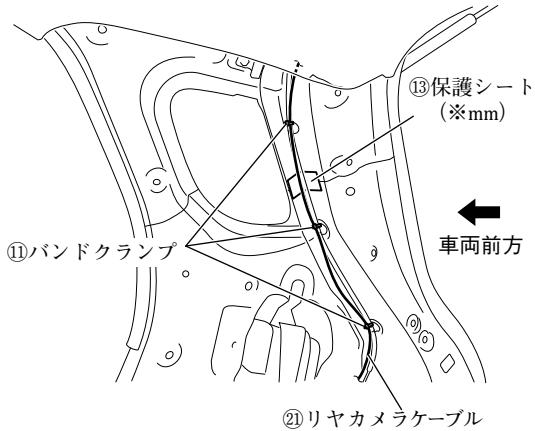
- ルーフライニングにしわや折れが出ないように注意して作業してください。
- 経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。
- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。

●各ケーブルの配線方法

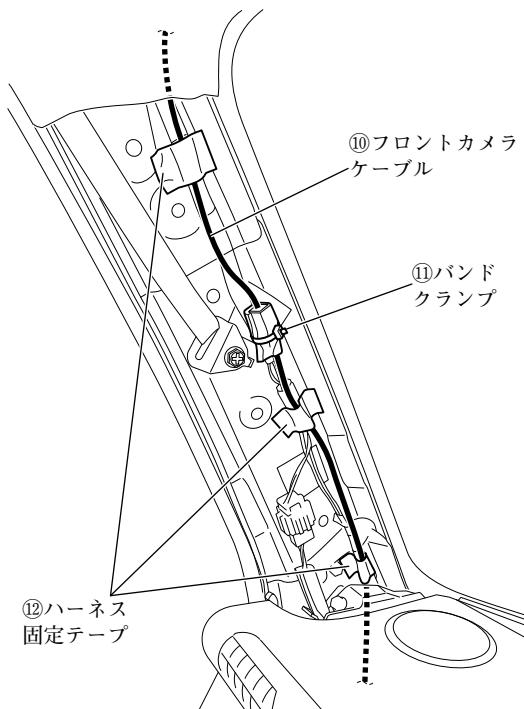
注記

他の用品の配線や、コントローラー等と干渉したり、悪影響を与えるたりしないように注意して配線をしてください。

右クォーターピラー上部



左フロントピラーパート



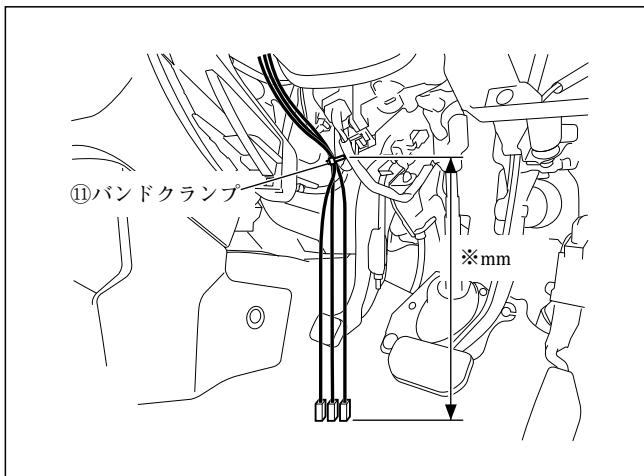
- (1) 各ケーブルを⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで固定しながら①ドライブレコーダー本体取付部付近まで配線してください。

注記

- 経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。
- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

👉 アドバイス

- ケーブルの配線については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑫ハーネス固定テープおよび⑬保護シートは、はさみ等で切って使用してください。
- ⑯保護シートの寸法については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
- 以降の作業も同様に行ってください。

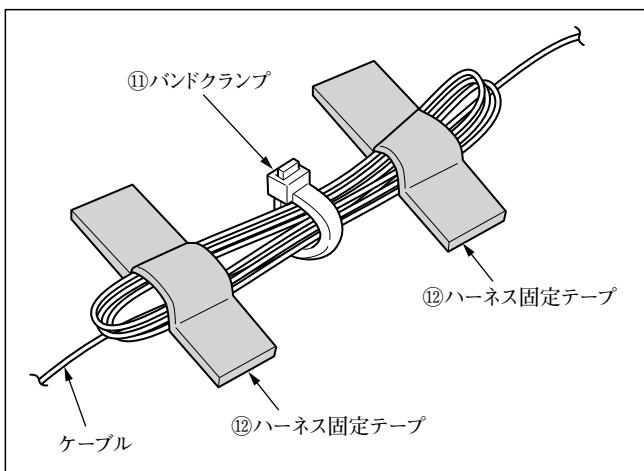


(2) 図に従い、各ケーブルを車両クランプから※mm確保し、⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

(3) 各ケーブルを⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

👉 アドバイス

①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



(4) 各ケーブルの余長は、「車種別取付要領」の指示に従い、⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで束ねて固定してください。

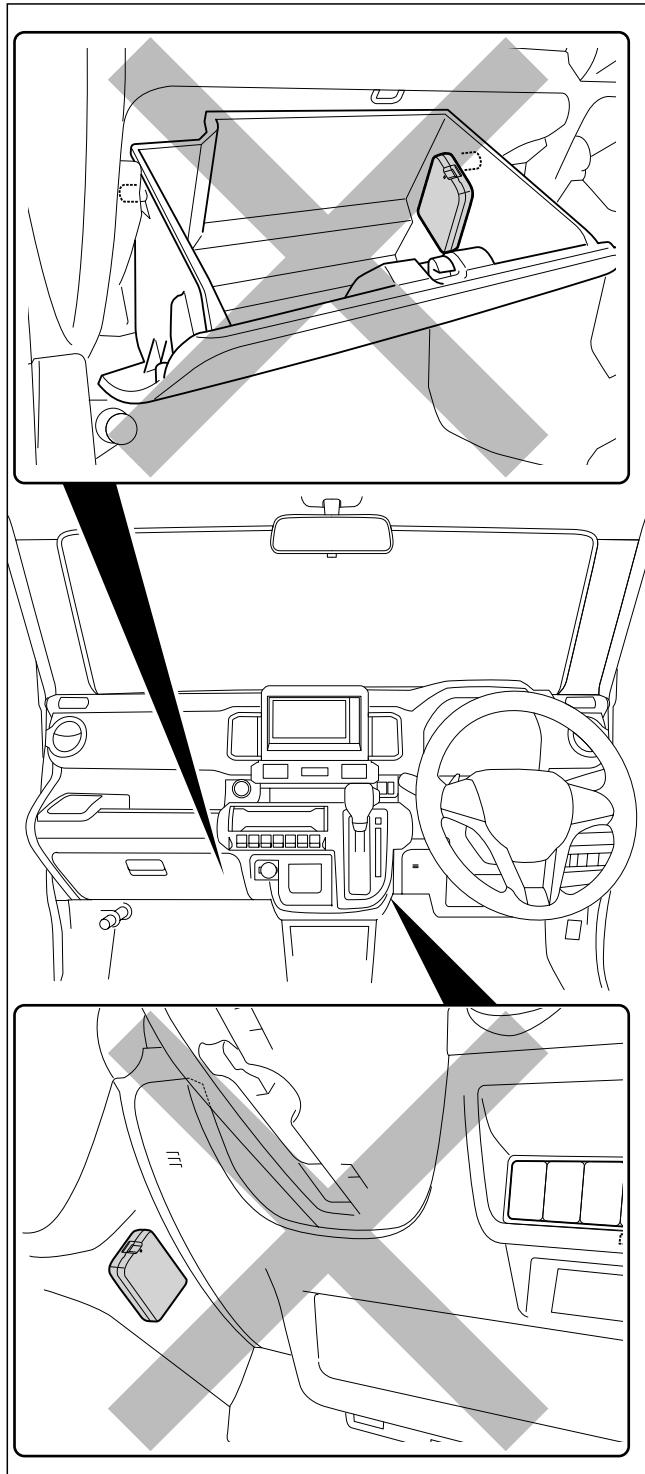
👉 アドバイス

余長固定位置および固定方法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。

● ドライブレコーダー本体の取付条件について

注記

①ドライブレコーダー本体と他の取付位置が重なる場合は、①ドライブレコーダー本体の取付位置を優先してください。



注記

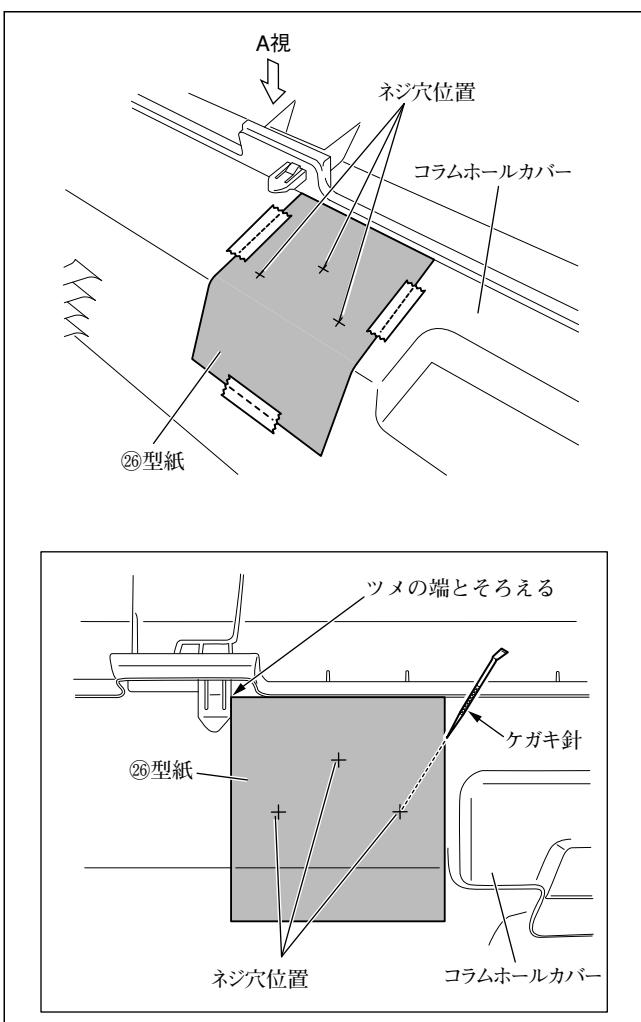
グローブボックス等の可動するような場所に①ドライブレコーダー本体を取り付けしないでください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり衝撃があっても作動しないことがあります。

注記

運転席の足元付近など、搭乗者が容易に触れてしまうような場所に①ドライブレコーダー本体を取り付しないでください。長時間、身体に触れていると低温やけどをおこすおそれがあります。

●車両部品の加工方法

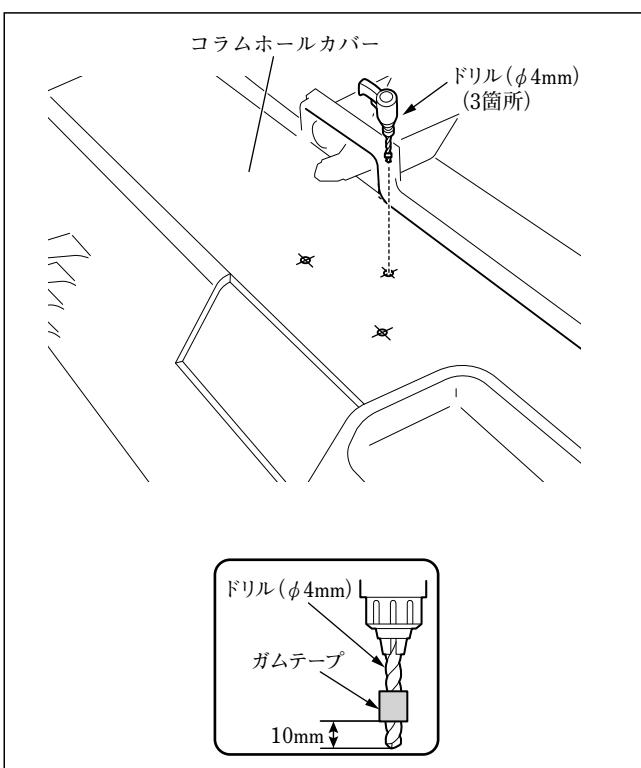
■同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合



- (1) ②6型紙を当て、ケガキ針を使用してマーキング（3箇所）してください。

👉 アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) ②6型紙を外し、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（ $\phi 4\text{mm}$ ）先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。

- (3) マーキング（3箇所）に電動ドリルで $\phi 4\text{mm}$ の穴を開けてください。

⚠ 注意

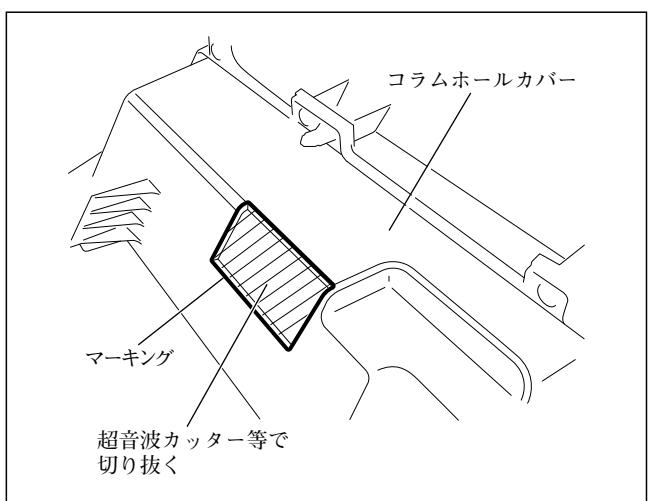
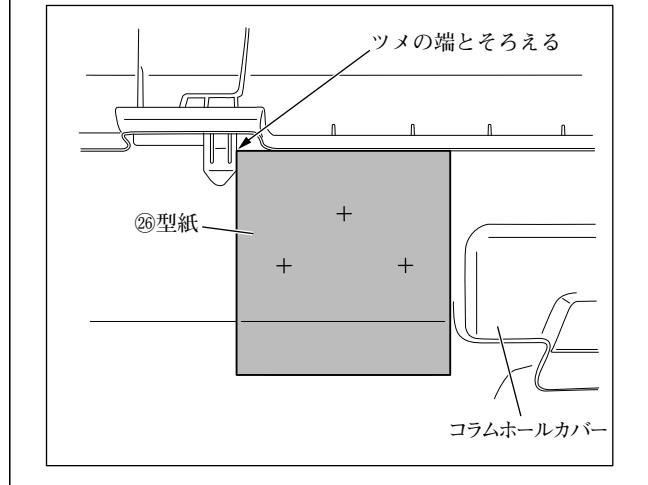
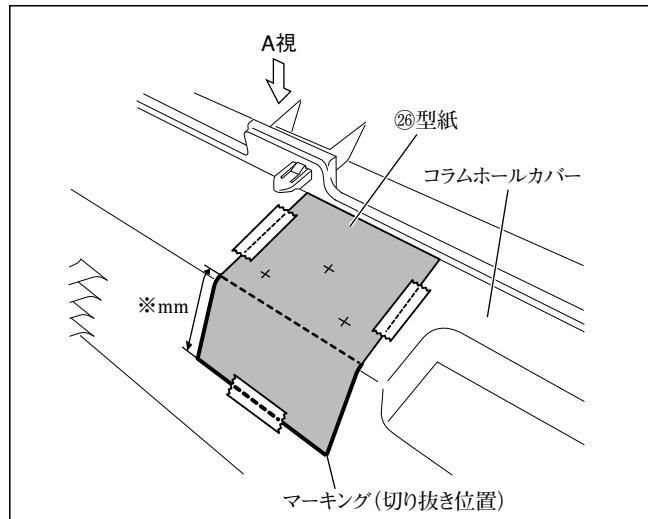
- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

- (4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

■ドライブレコーダー本体を通す穴を加工する場合



- (1) 図に従い、油性ペン等を使用してマーキングしてください。

👉 アドバイス

- ②6型紙を使用する場合は、ネジ穴のマーキングと一緒に①ドライブレコーダー本体を通す穴のマーキングをしてください。(一度②6型紙を当てたら両方のマーキングが終わるまで②6型紙を外さないでください。)
- マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

- (2) マーキング位置の内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠ 注意

切り取る際は、耐切創手袋を使用してください。

- (3) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

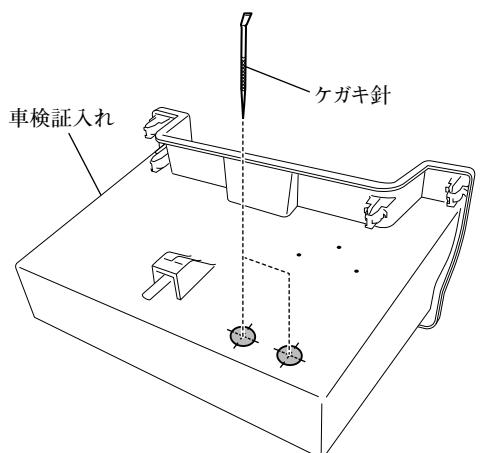
注記

穴を開けたら①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。干渉している場合は、コラムホールカバーを削り過ぎに注意しながら削り、調整してください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。(切断部が「ザラザラ」しないようにしてください。)

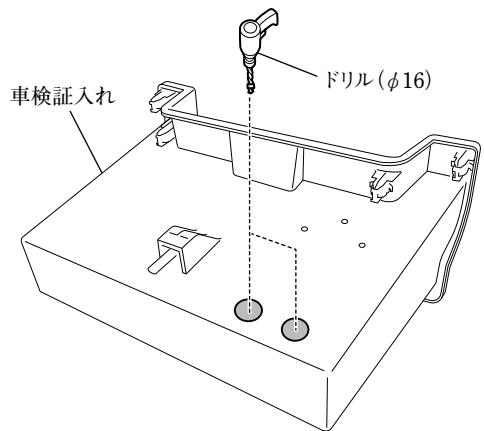
■配線を通す穴を加工する場合



- (1) 図に従い、ケガキ針を使用してマーキングしてください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) マーキングに電動ドリルで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

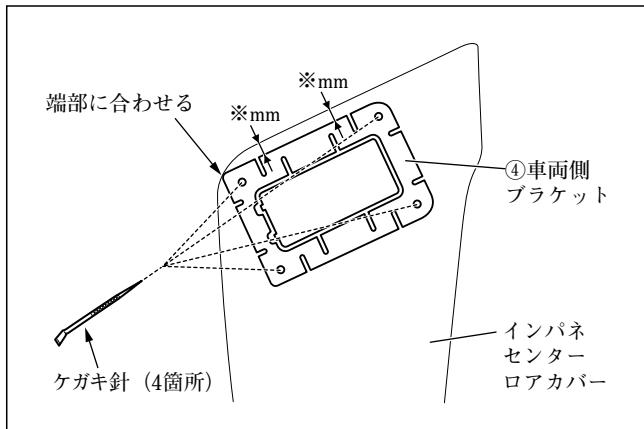
ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

- (3) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

👉 アドバイス

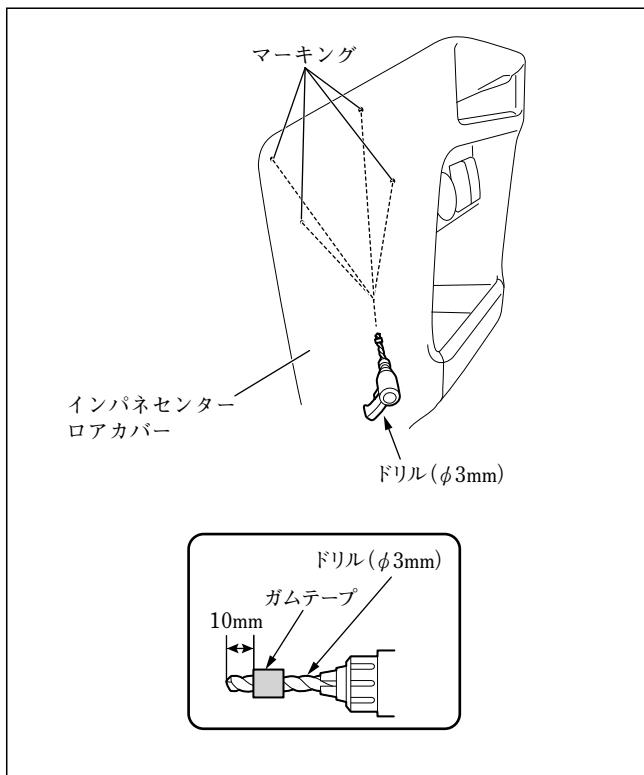
④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。



- (1) 図に従い、④車両側ブラケットを当て、ケガキ針を使用してマーキング（4箇所）してください。

👉 アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) 図に従い、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（ $\phi 3\text{mm}$ ）先端から約10mm の位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。
- (3) マーキング（4箇所）に電動ドリルで $\phi 3\text{mm}$ の穴を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

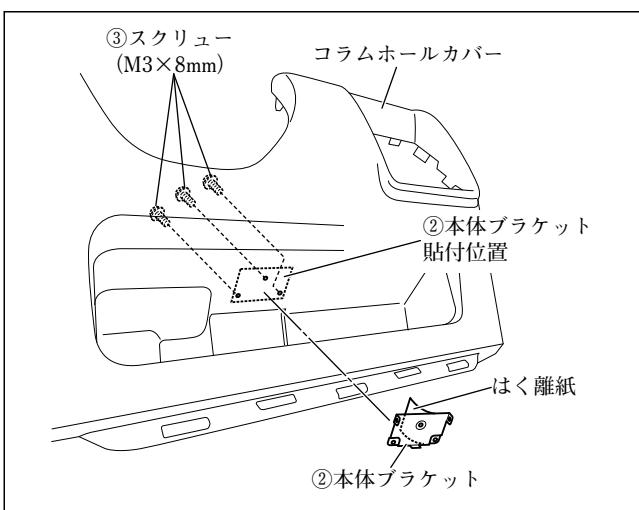
注記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

- (4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

■ 同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合



アドバイス

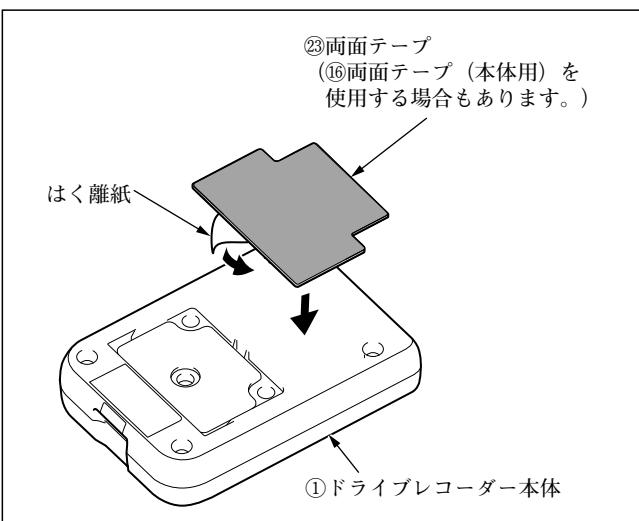
貼付位置が平面の場合は、④車両側ブラケットを使用しません。

- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注記

貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。

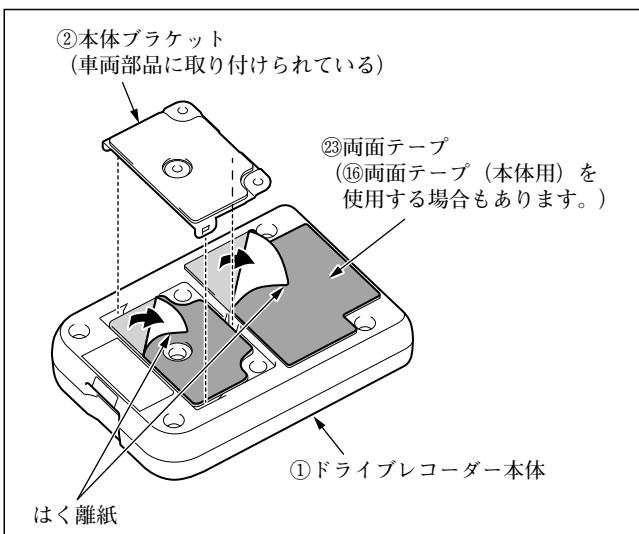
- (2) ③スクリュー (M3×8mm) で②本体ブラケットを固定してください。



- (3) ②両面テープや⑯両面テープ (本体用) を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

アドバイス

②両面テープや⑯両面テープ (本体用) を加工する場合があります。車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (4) ①ドライブレコーダー本体と②両面テープおよび⑯両面テープ (本体用) のはく離紙をはがしてください。

- (5) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付けてください。

注記

- ・貼付位置（車両部品）表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。
- ・①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

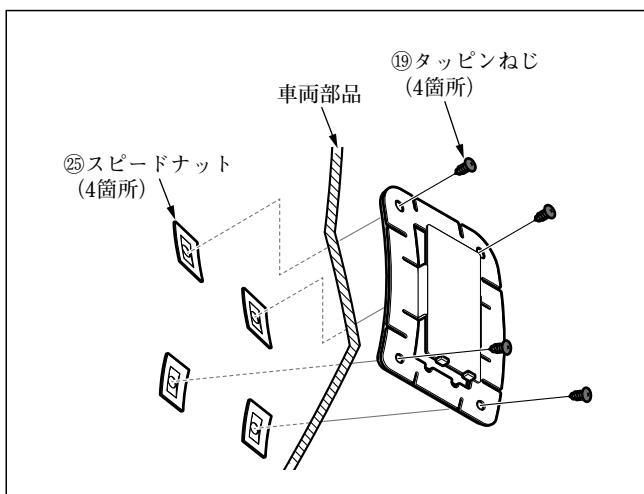
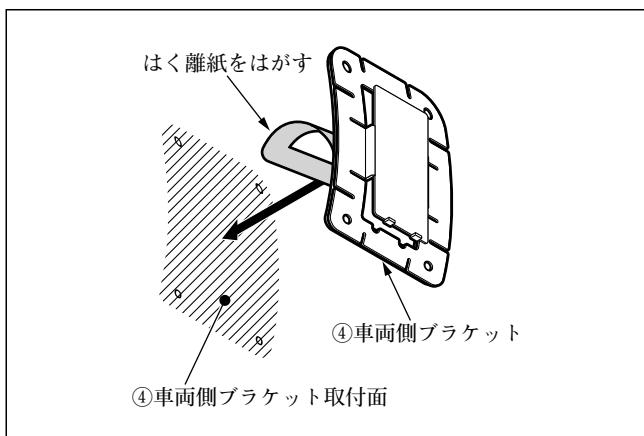
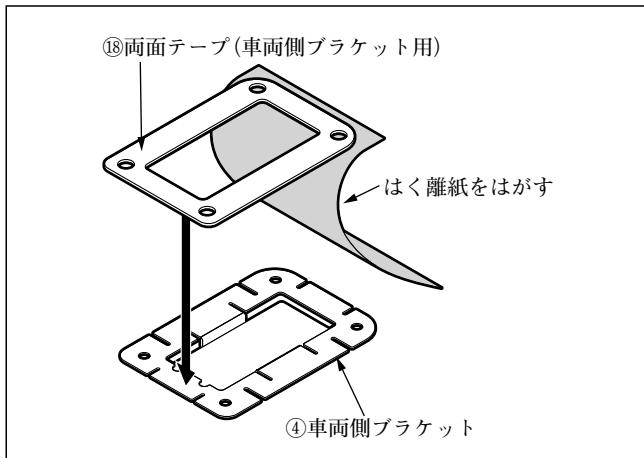
アドバイス

車種によっては、②両面テープや⑯両面テープ (本体用) の形状が図と異なりますが、同様にはく離紙をはがしてください。

■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

👉 アドバイス

④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。



👉 アドバイス

④車両側ブラケットは、貼付位置が平面でない場合に使用します。

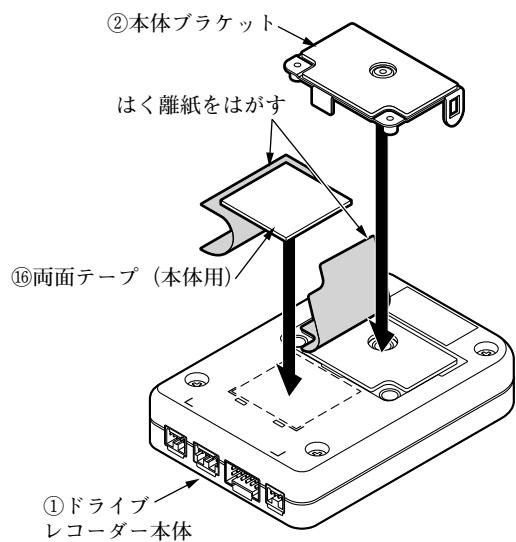
(1) ⑯両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。

(2) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 取付穴位置がずれないように貼り付けてください。
- 取り付ける位置が平面でない場合は、形状に合わせて④車両側ブラケットを変形させてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないよう注意してください。

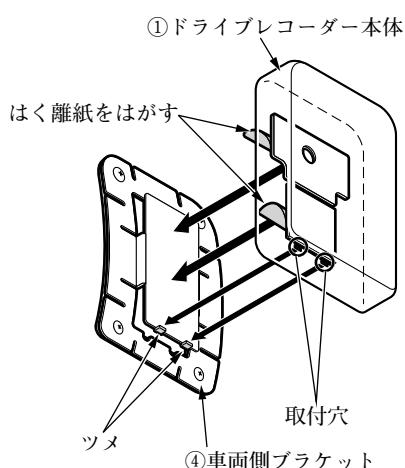
(3) ㉕スピードナットおよび⑯タッピンねじで、④車両側ブラケットを固定してください。



- (4) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。
- (5) ②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



- (6) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。
- (7) ①ドライブレコーダー本体の取付穴を④車両側ブラケットのツメにはめ込んでください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。

車両部品の復元

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- (1) 車両部品は取り外しと逆の手順にて確実に取り付けてください。ボルト等の締め付けは、サービスマニュアルを参照して規定の締付トルクで行ってください。
- (2) バッテリーの \ominus 側端子を取り付けてください。
- (3) バッテリーを外すことにより初期設定に戻るもの、また、データの消えるものは再度、設定してください。

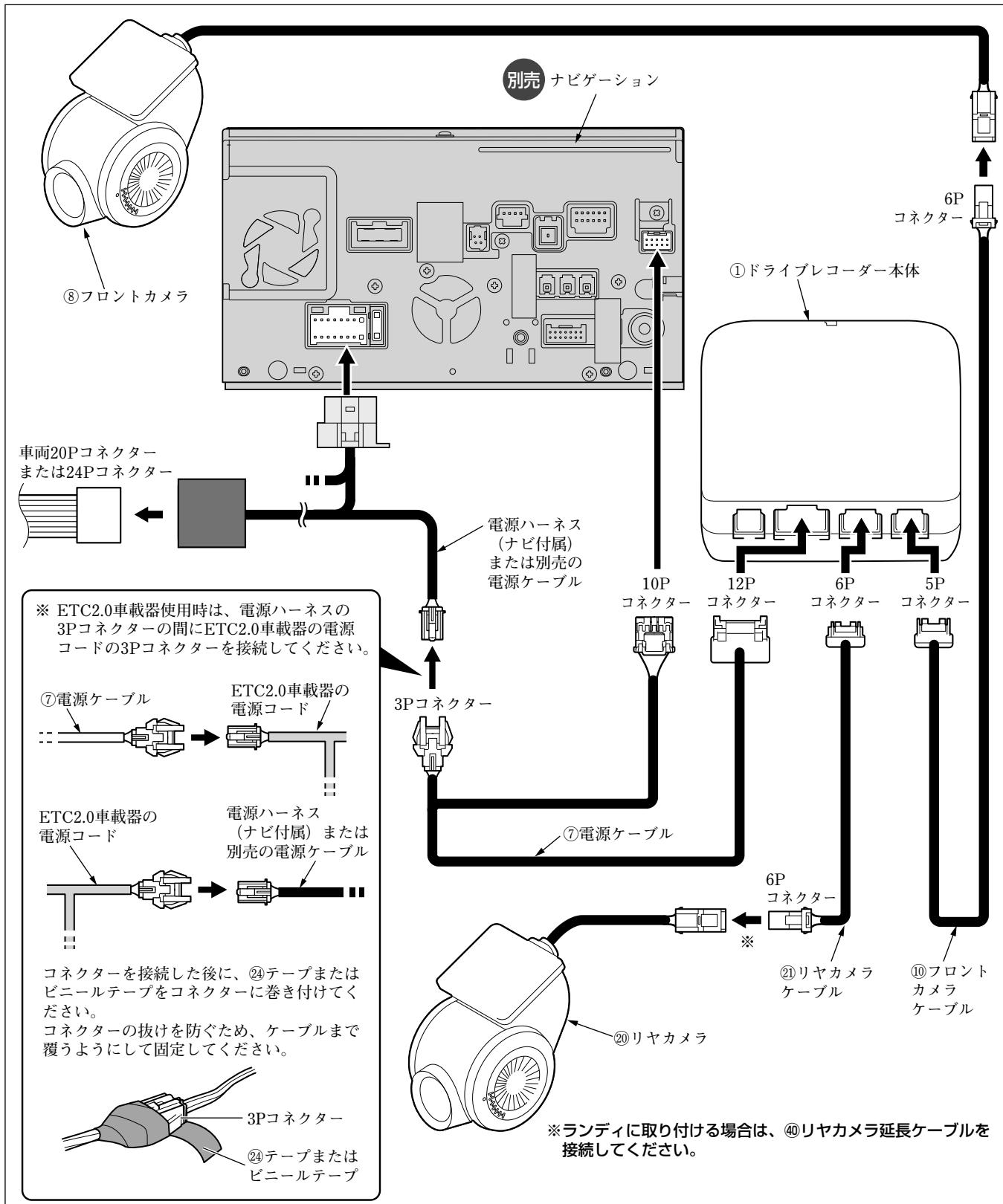
既設部品の点検

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

ホーン、ワイパー等の電装品が正しく動作するか確認してください。

接続のしかた



アドバイス

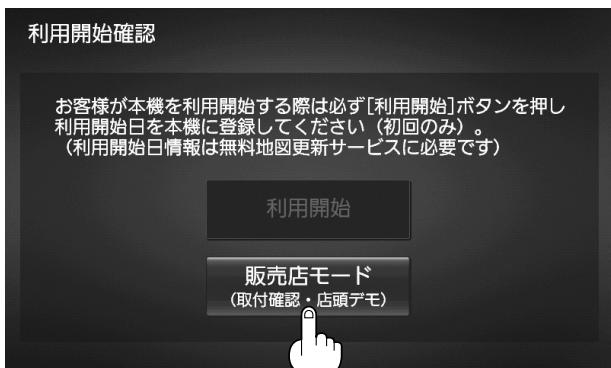
最新の接続対応機種については、下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

取付・配線の確認

注記

- 配線が正しく接続されたか、目で確認してから以降の作業を行ってください。
- 取付後の作動確認時、「初期画面」では、絶対に電源（キースイッチ）を切ったり、その他のボタン操作をしないでください。
- 電源（キースイッチ）を切ったり、ボタン操作をすると正常に作動しない場合があります。



(1) バッテリーの \ominus 端子を接続し、電源（キースイッチ）を入れます。

- ナビゲーションの電源が入ります。

(2) 画面の**販売店モード**をタッチします。

- 安全上のご注意が表示されます。

アドバイス

利用開始は、お客様にお渡しする際にタッチしてください。その後は、この画面は表示されません。

• 安全上のご注意表示後に現在地画面（自車位置）が表示されます。

• 現在地画面が表示されるまで車を発進させないでください。（システムの起動準備中のため）

(3) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。

- メニュー画面が表示されます。

(4) 画面の**情報・設定**をタッチします。

- 情報・設定画面が表示されます。





(5) 画面の**情報**をタッチします。

- 情報画面が表示されます。



(6) 画面の**拡張ユニット情報**をタッチします。

- 拡張ユニット情報画面が表示されます。



(7) 拡張ユニット情報を確認します。

ドライブレコーダー	ON表示（オレンジ色に点灯）になっていますか？
-----------	-------------------------

作動確認・取付調整・カードの初期化

注記

ドライブレコーダーの取り付けを行った後、または再度取り付け角度を変更した場合もこの調整を実施してください。取付調整が正しく行われていない場合は、ブザーが鳴り続ける場合があります。ブザーが鳴り続ける場合には、再度取付調整を実施してください。



- (1) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。
- メニュー画面が表示されます。

- (2) 画面の**情報・設定**をタッチします。
- 情報・設定画面が表示されます。

- (3) 画面の**情報**をタッチします。
- 情報画面が表示されます。

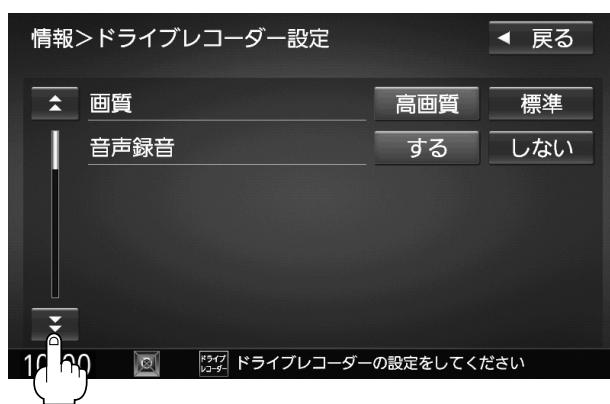
- (4) 画面の**ドライブレコーダー**をタッチします。
- ドライブレコーダー画面が表示されます。

● ドライブレコーダータイプの選択

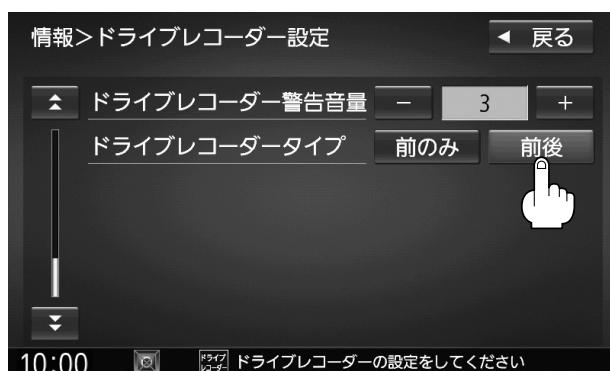


(1) 画面の**設定**をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



(2) 画面の**▼**をタッチしてドライブレコーダータイプを表示させます。



(3) **前後**をタッチします。

- タッチしたドライブレコーダータイプが選択されます。

注記

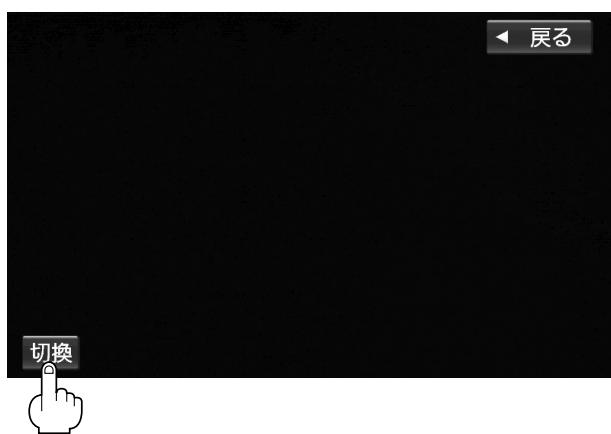
ナビは初期設定では**前のみ**が設定されています。

● ドライブレコーダーの作動確認



(1) 画面の**カメラモニター**をタッチします。

- ドライブレコーダーの画像（前方映像）が表示されます。



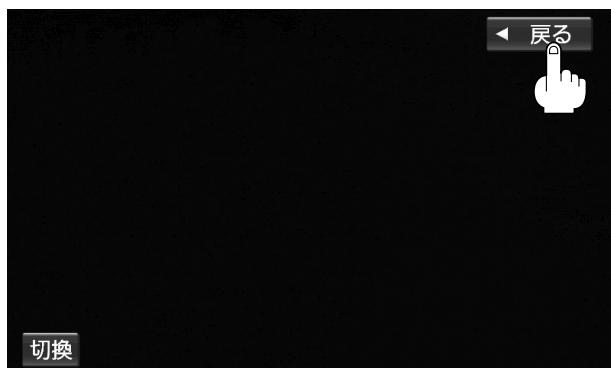
(2) ドライブレコーダーの画像（前方映像）を確認します。

(3) 画面の**切替**をタッチします。（**前後**タイプ選択時のみ）

- ドライブレコーダーの画像（後方映像）が表示されます。

アドバイス

画面の**切替**は、**前後**タイプ選択時のみ表示されます。



(4) ドライブレコーダーの画像（後方映像）を確認します。（**前後**タイプ選択時のみ）

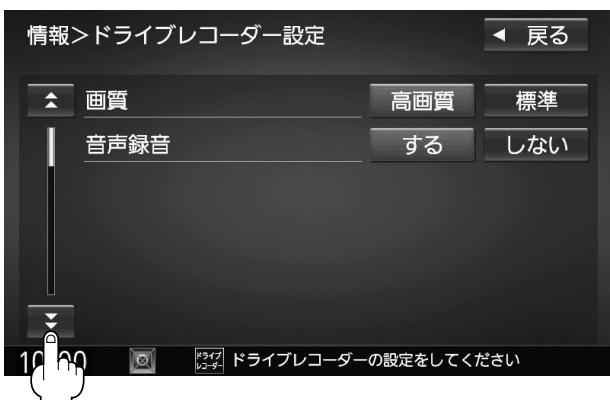
(5) 画面の**◀戻る**をタッチします。

●取付調整



注記

取付調整は、平らな場所に停車している状態で実施してください。

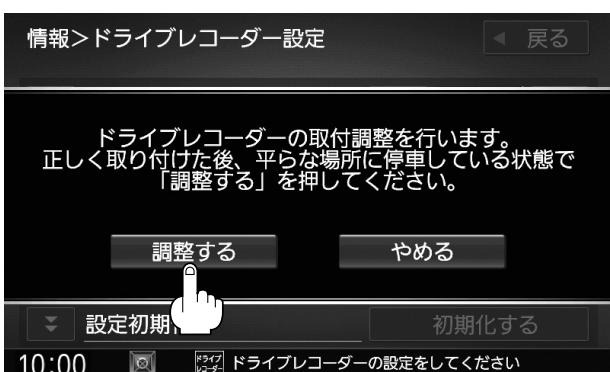


(2) 画面の ▾ をタッチします。



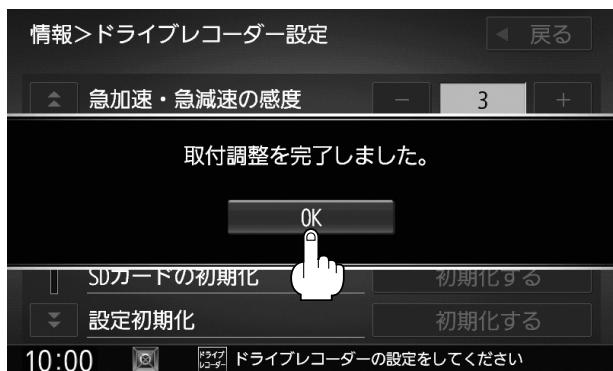
(3) 取付調整の 調整する をタッチします。

- 確認画面が表示されます。

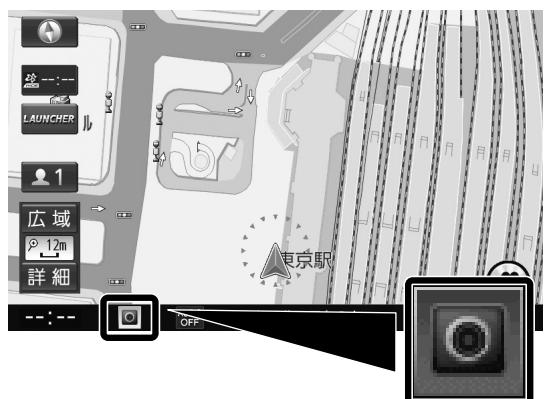


注記

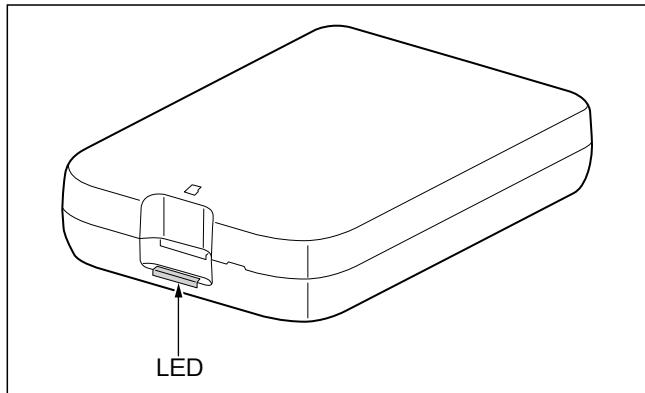
調整中はキースイッチをOFFにしないでください。



● 取付調整の確認



常時録画中マーク（緑色）



(5) 画面の **OK** をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面に戻ります。

注記

① ドライブレコーダー本体に⑤microSDHCメモリーカードが挿入されていない場合は、挿入してください。

(1) ナビゲーションの **MAP** ボタンを押します。

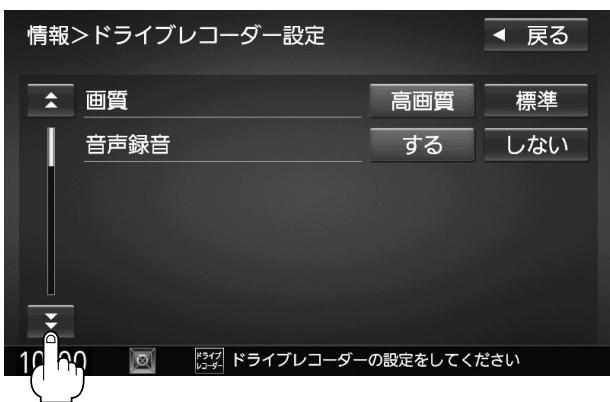
- 地図画面が表示されます。
- 画面の情報バーに「常時録画中マーク（緑色）」が表示されます。
- 取付調整が正しく行われていない場合や、取付調整の後にドライブレコーダーの角度が変更された場合は、ブザー音（ピーピー… [長く4回]）が鳴り続けます。LEDが橙色に点灯している場合には、再度取付調整を実施してください。

● 感度調整



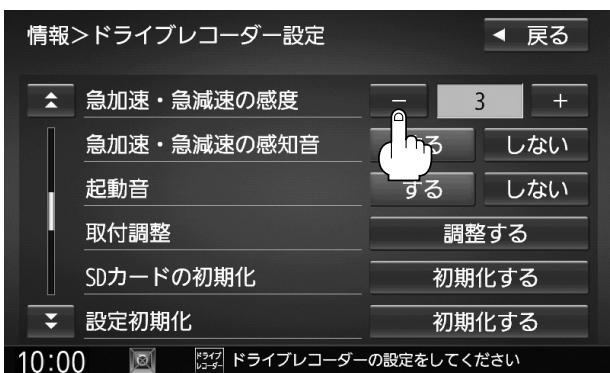
アドバイス

急加速・急減速の感知音がひんぱんに吹鳴する時は、急加速・急減速の感度設定値を下げるにより、頻度を減らすことができます。



(1) 画面の**設定**をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



(2) 画面の**▼**をタッチします。

- お好みの感度となるまで数値を下げます。



(3) 画面の**－**をタッチします。

- お好みの感度となるまで数値を下げます。

(4) 画面の**戻る**をタッチします。

● 映像ファイルの削除

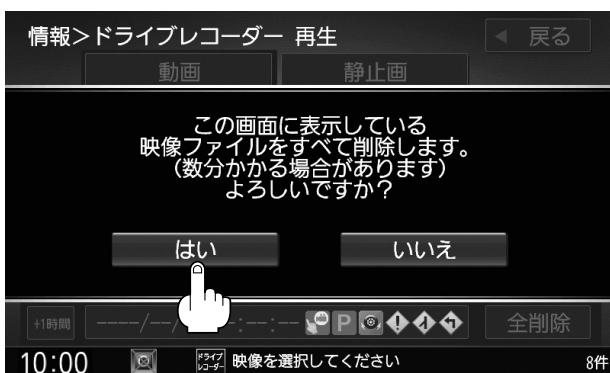


(1) 画面の**再生**をタッチします。

- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたリストが表示されます。

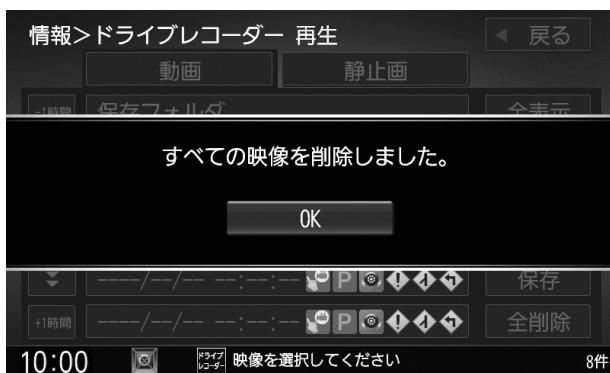


(2) 画面の**全削除**をタッチします。



(3) 画面の**はい**をタッチします。

- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたデータが削除されます。



(4) **すべての映像を削除しました** メッセージを確認して電源(キースイッチ)を切ります。

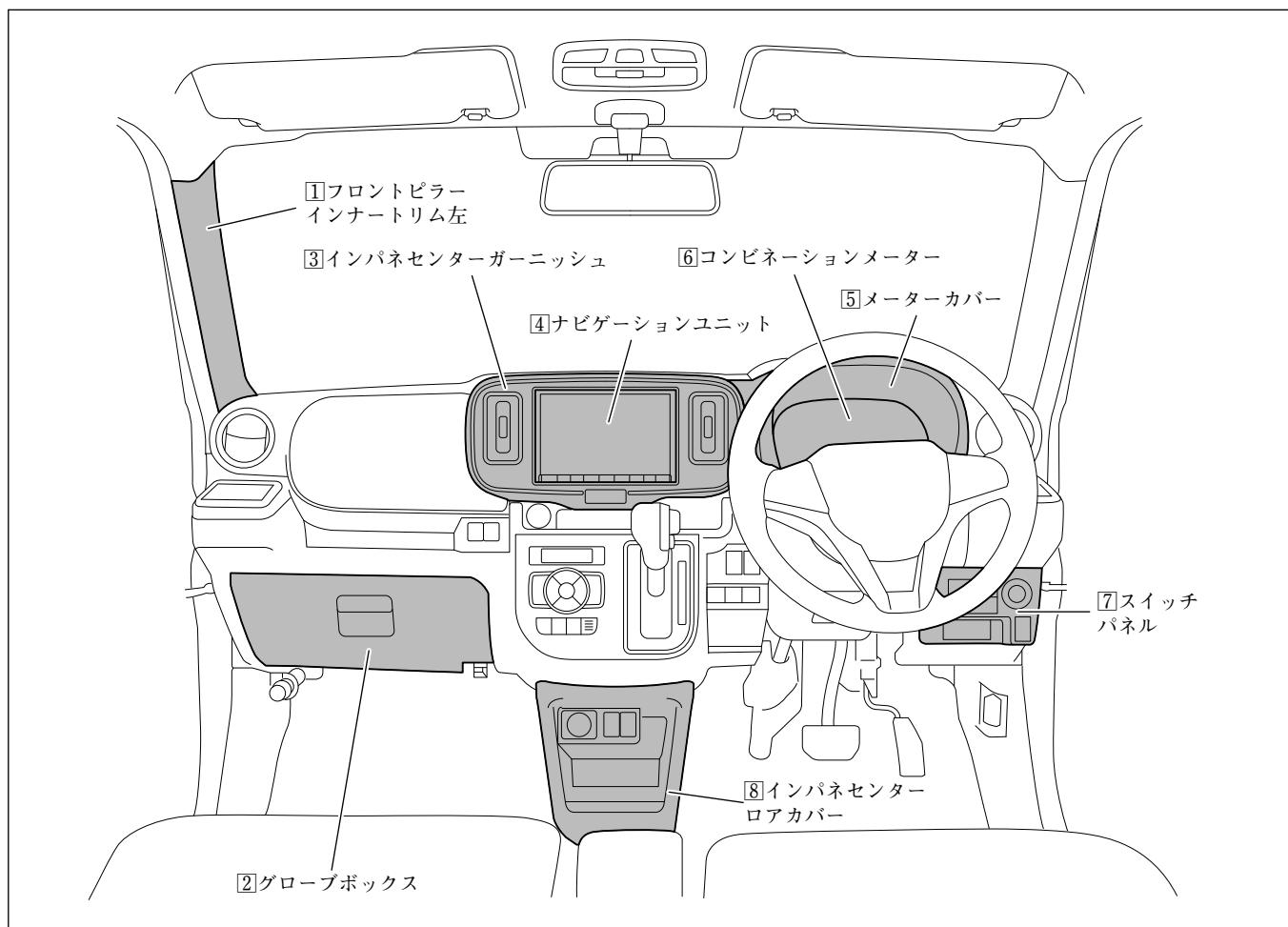
注記

画面の**OK**をタッチすると、ドライブレコーダーが録画を再開しますので、(1)より映像ファイルの削除を行ってください。

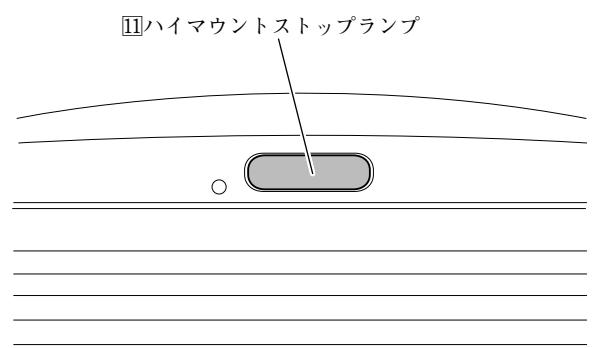
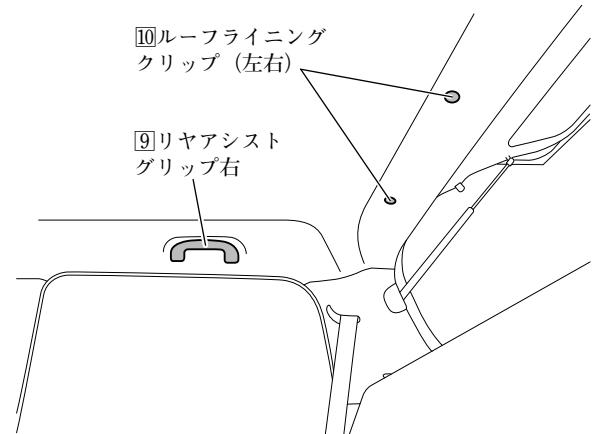
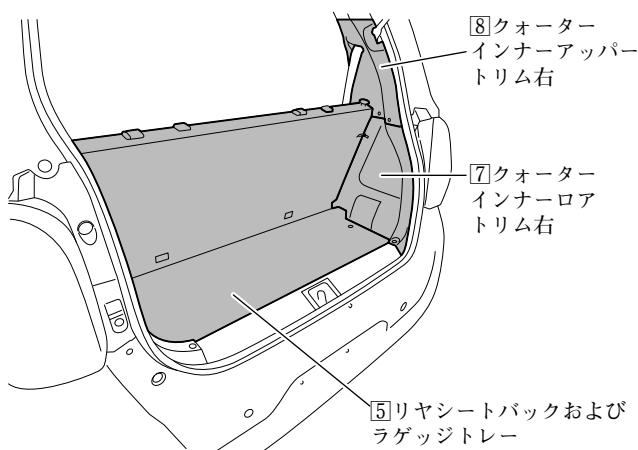
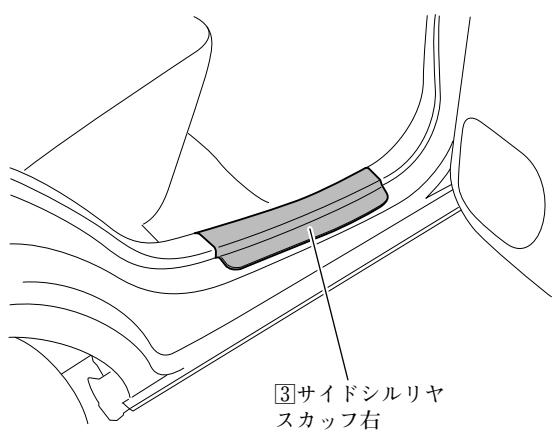
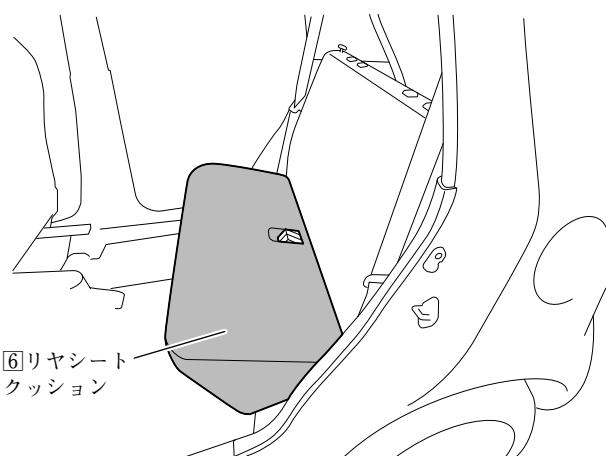
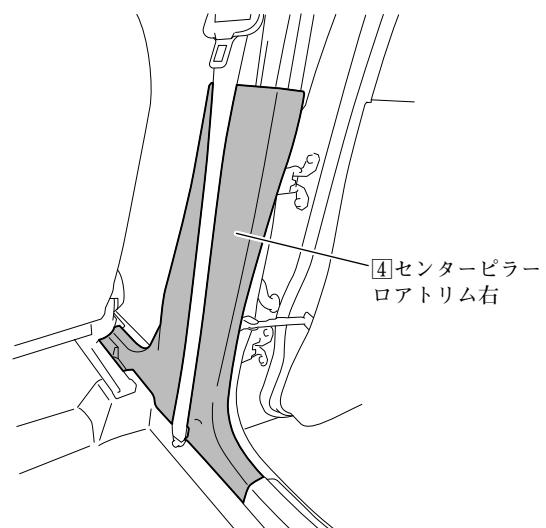
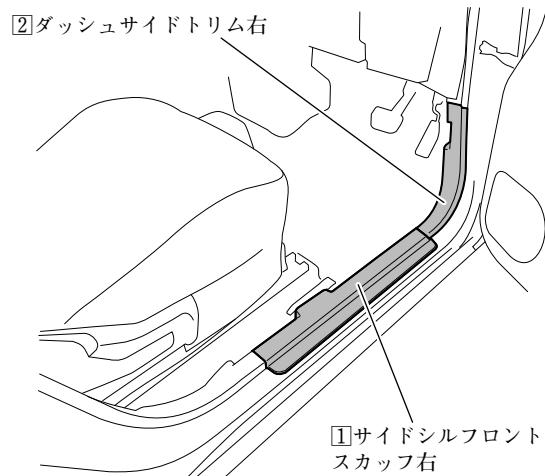
取付要領**取付作業****アルトの場合****●車両部品の取り外し方法****注記**

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

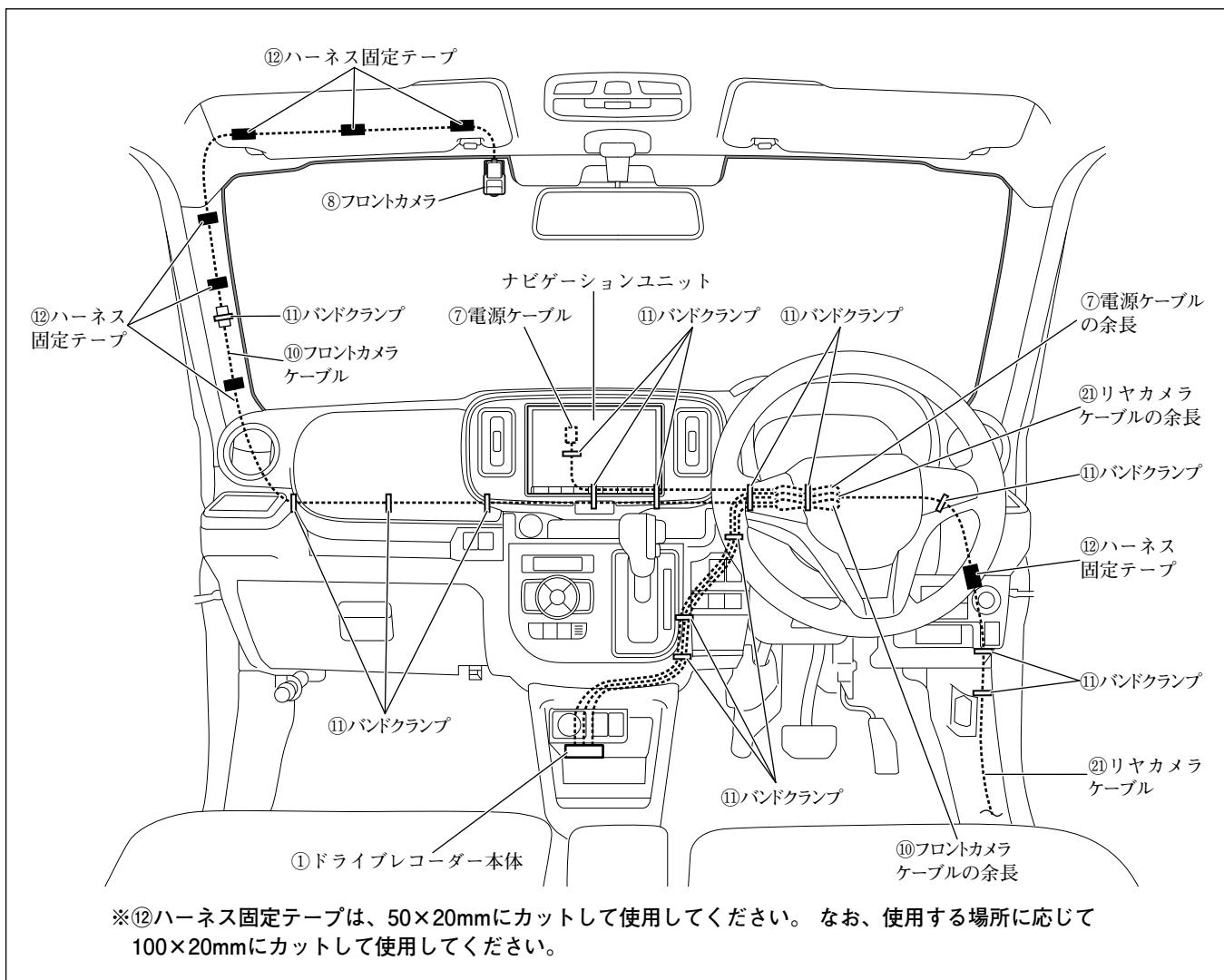
フロントカメラ

リヤカメラ

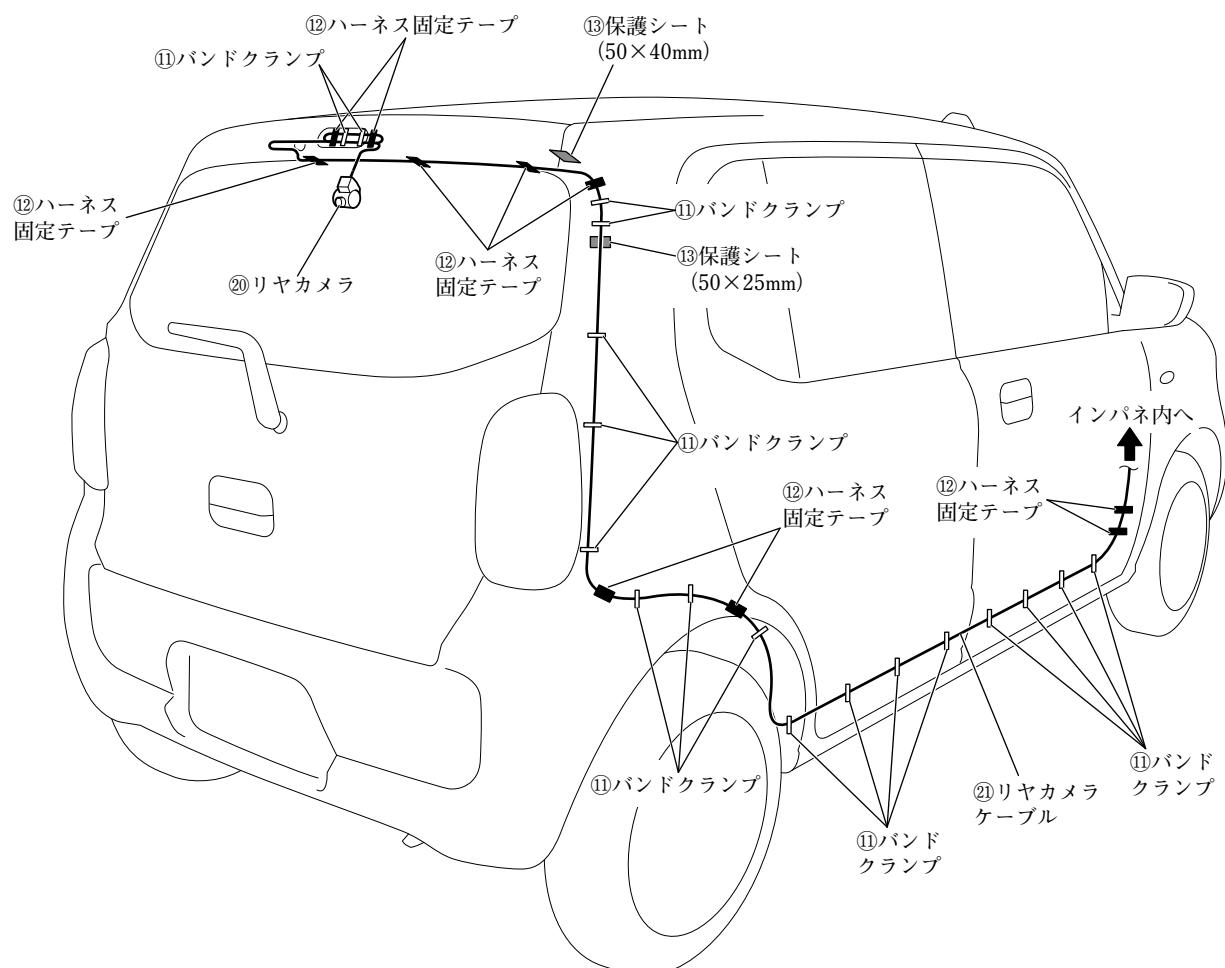


●取付概要

フロントカメラ



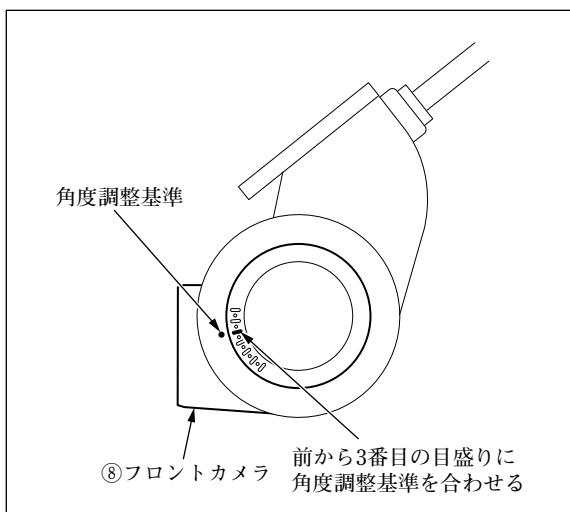
リヤカメラ



※⑫ ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



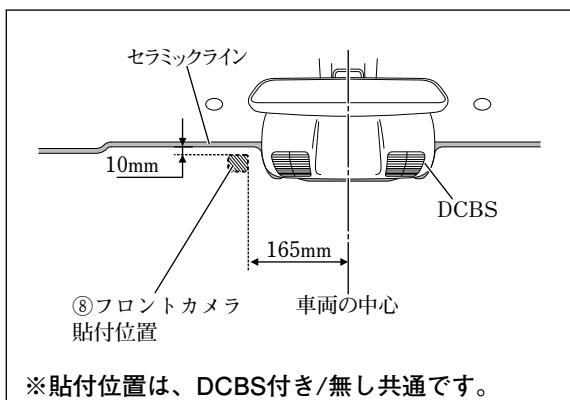
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

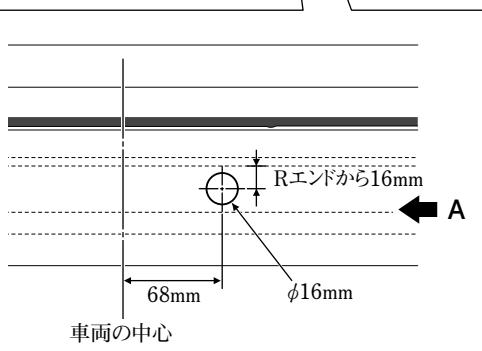
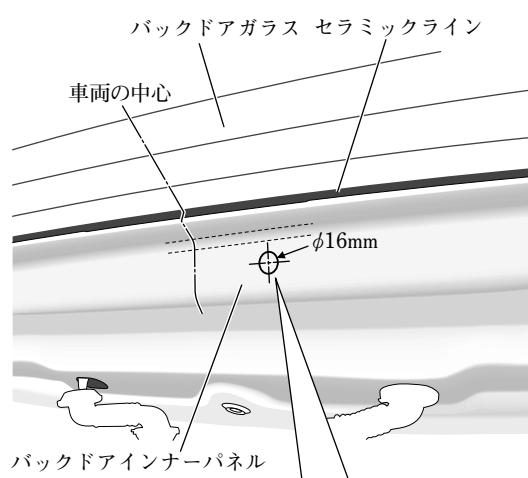
注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

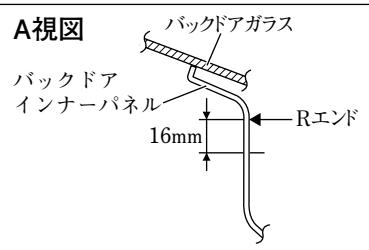
● リヤカメラ取付前の準備

1

バックドア上部中央



A視図



- (1) バックドアを開け、バックドAINNERパネル図示箇所に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- 穴貫通時にパネルの切れ端がハイマウントストップランプ取付穴から飛び出しあります。テープ等で一時的にハイマウントストップランプ取付穴を塞いだ状態で穴開けを行ってください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

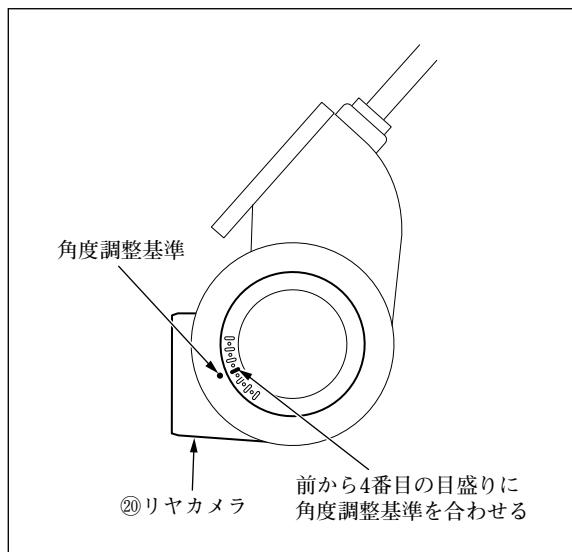
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



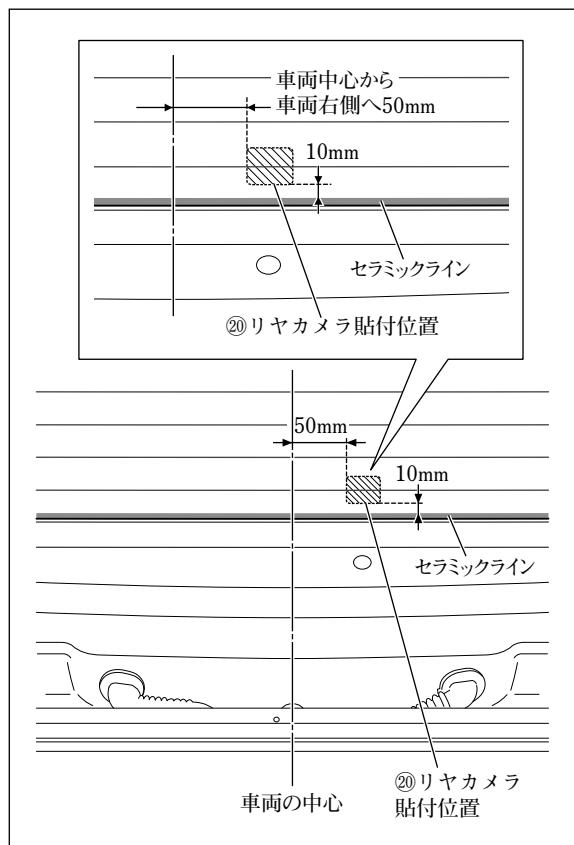
②② リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

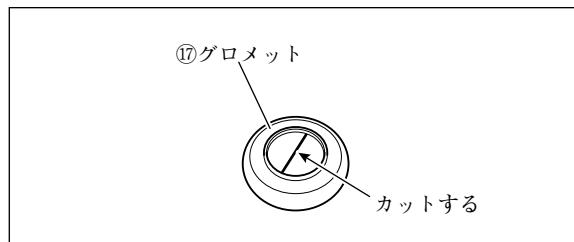


(20)リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

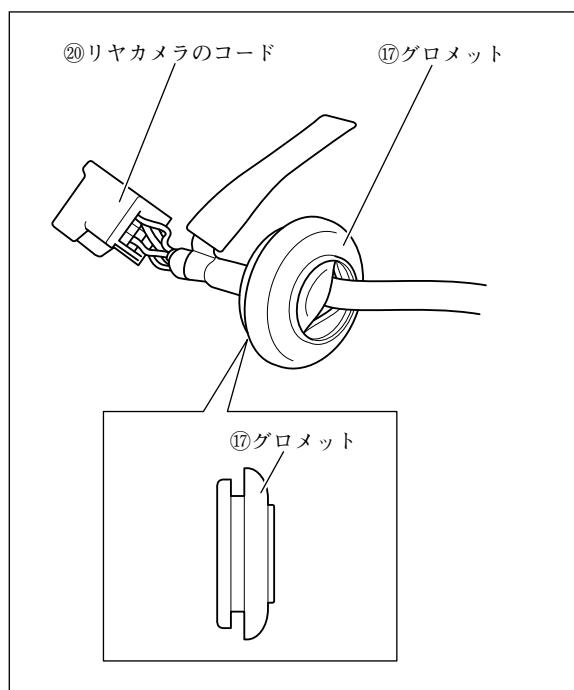
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち(20)リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、(20)リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と(20)リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



(17)グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

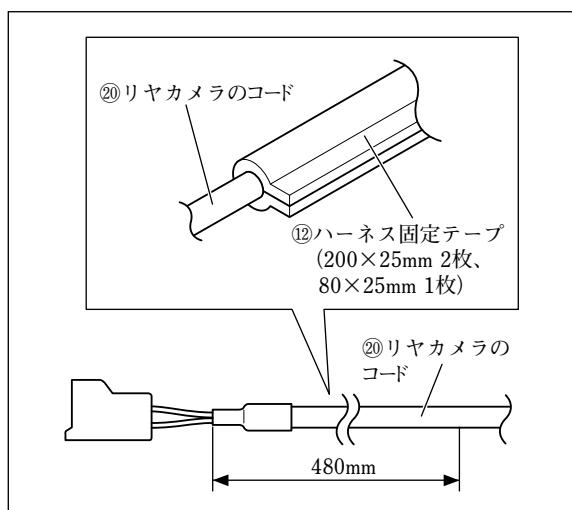


(17)グロメットを(20)リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

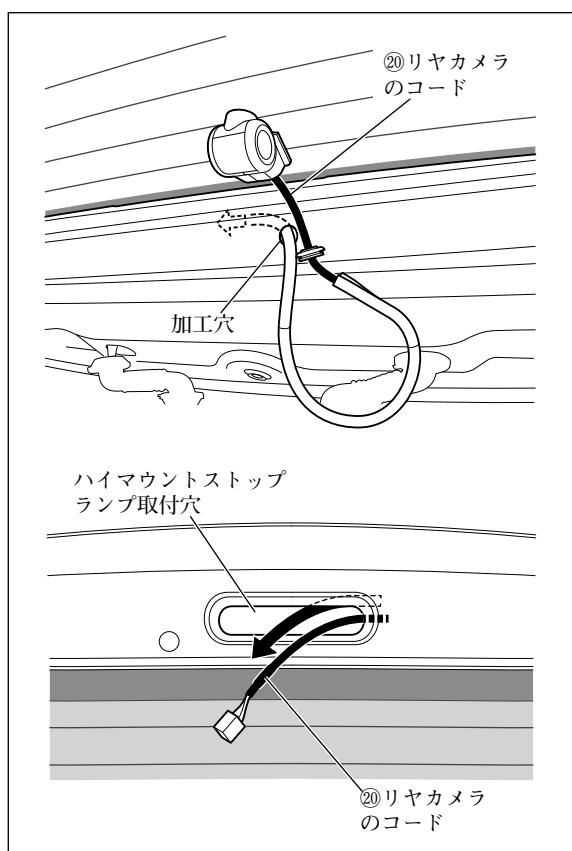
- (17)グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、(20)リヤカメラのコードを(17)グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



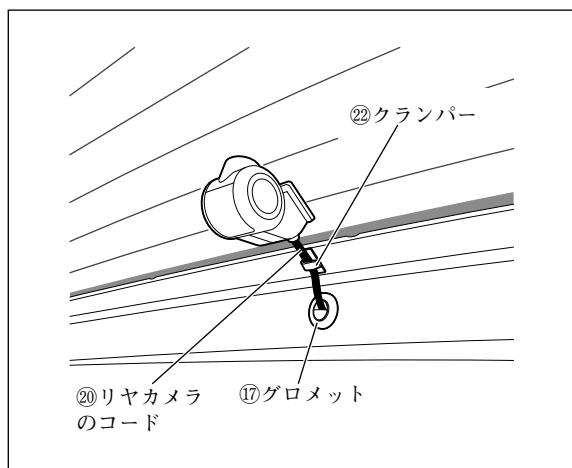
②②ハーネス固定テープを②①リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②①リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



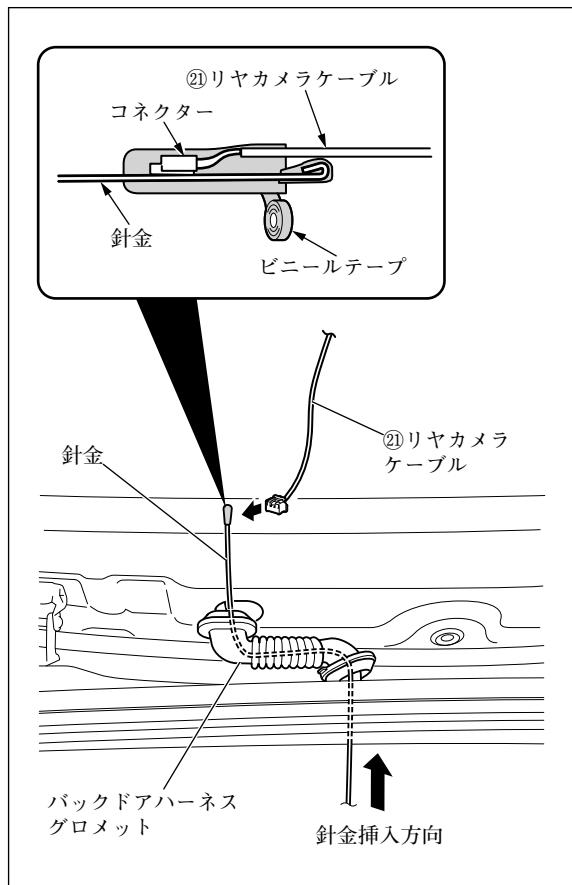
- (1) ⑦⑦グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ②②クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

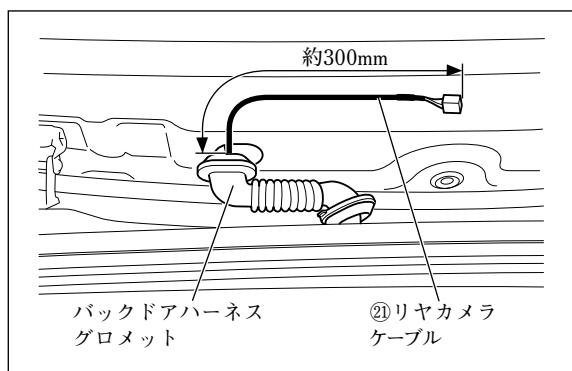


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテapingをしてください。
- (2) 先端をテapingした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテapingしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

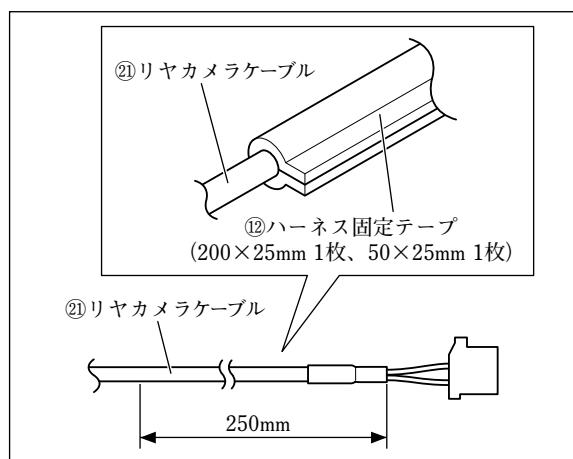
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテapingしてください。

2



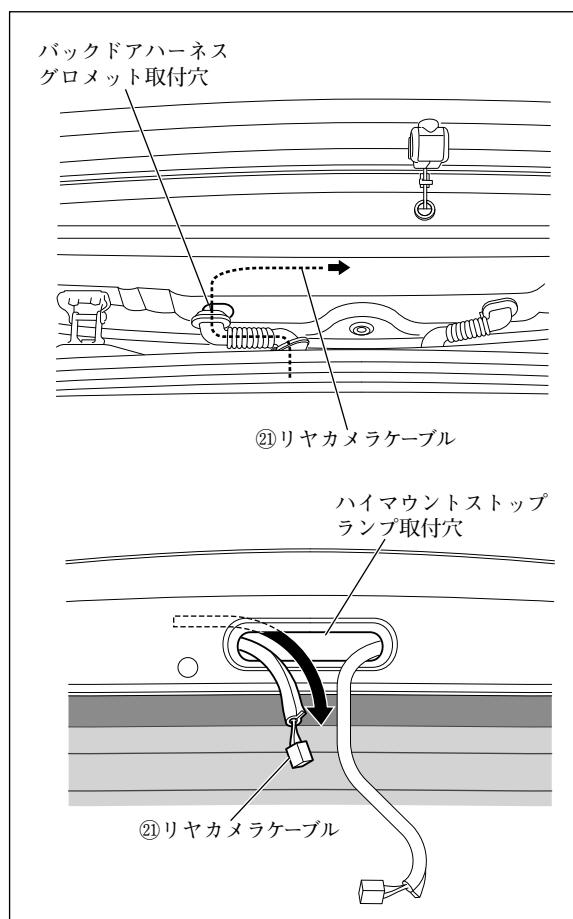
バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



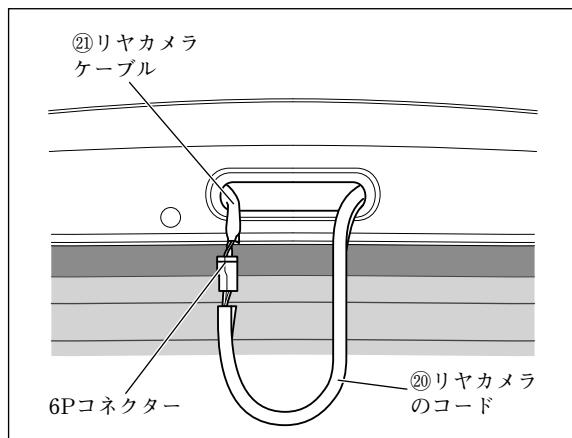
⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



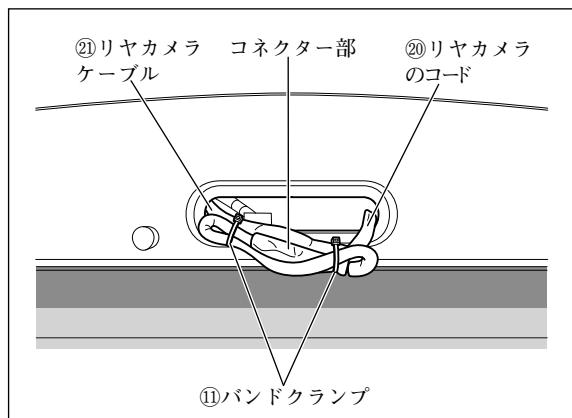
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



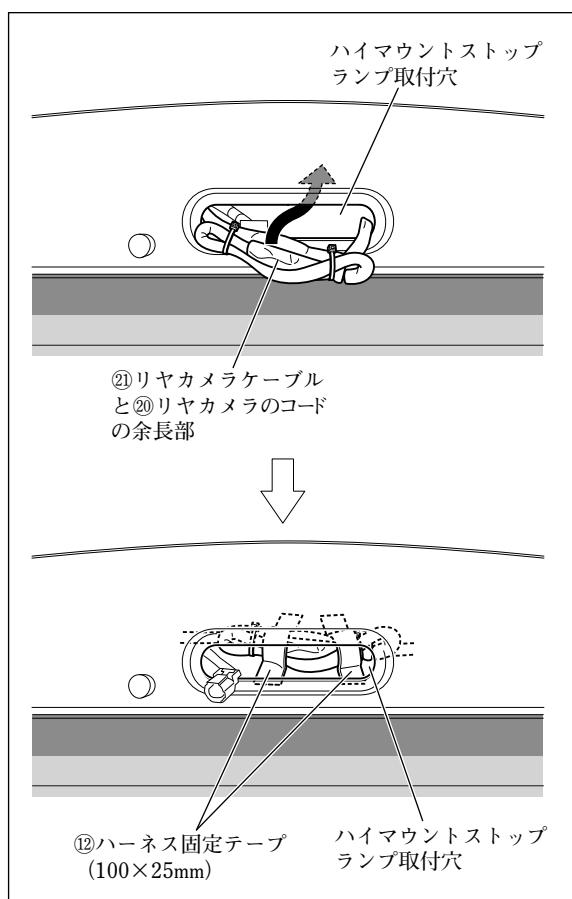
- (1) ②1リヤカメラケーブルのコネクターと②0リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



- ②1リヤカメラケーブルと②0リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



- ②1リヤカメラケーブルと②0リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

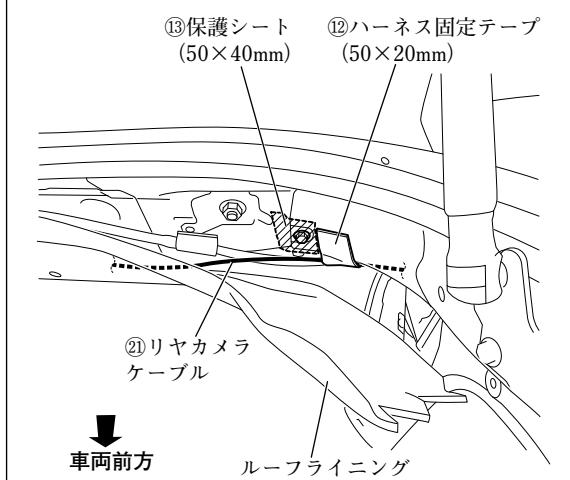
「取付概要」を参照して⑪リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

1

バックドア開口部右



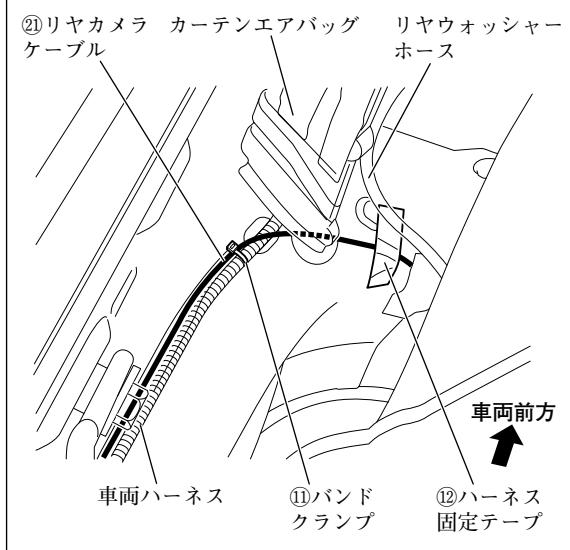
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑭ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

2

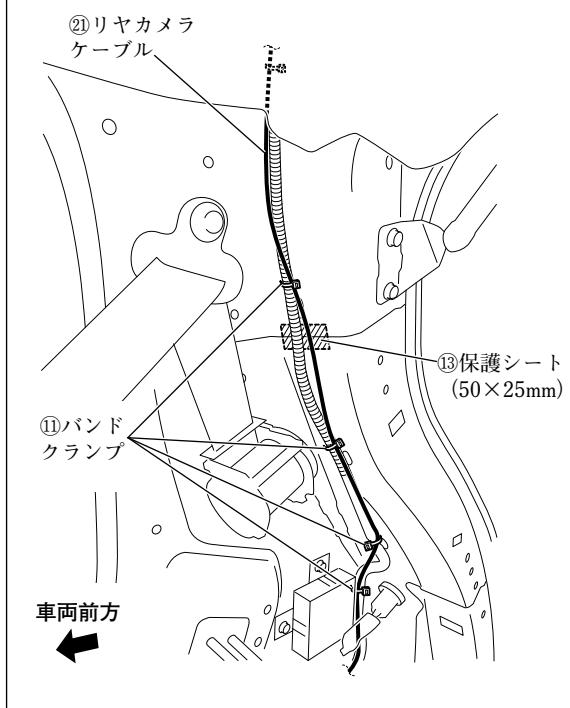
右クオーターピラー部 (ルーフライニング裏)



カーテンエアバッグ展開時の妨げとならないよう
に必ず車両ハーネス等に沿わせてください。

3

右クォーターピラー部



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

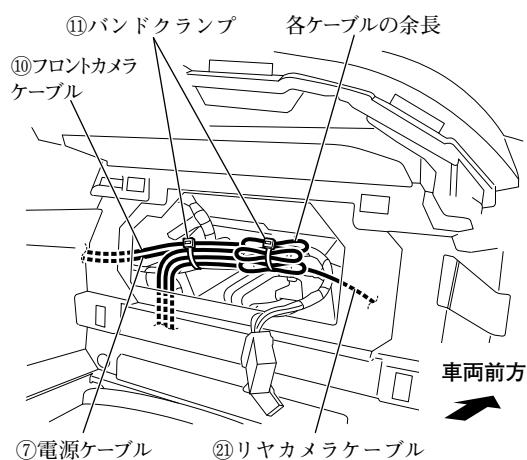
注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

コンビネーションメーター取付部



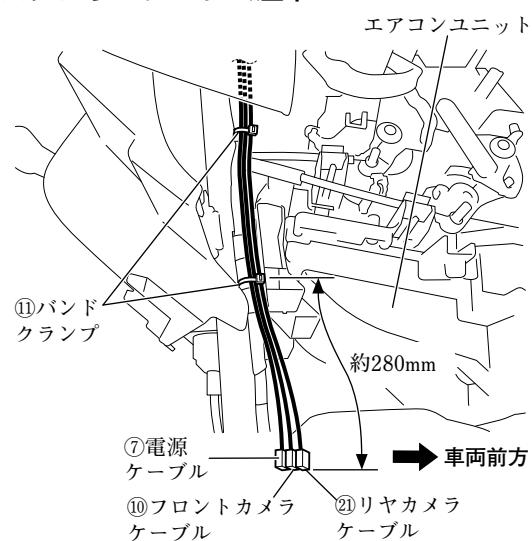
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

2

ステアリングコラム左下



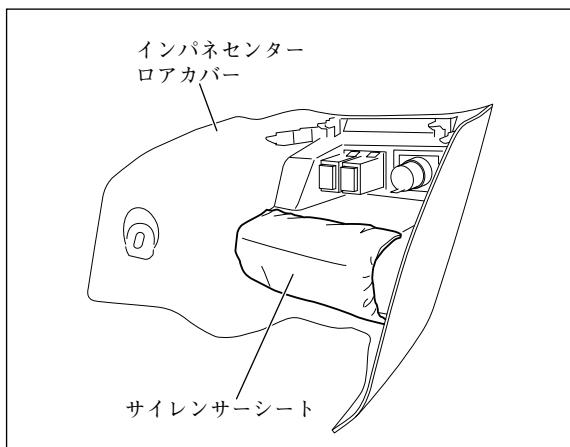
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。配線を通す穴を加工します。

1

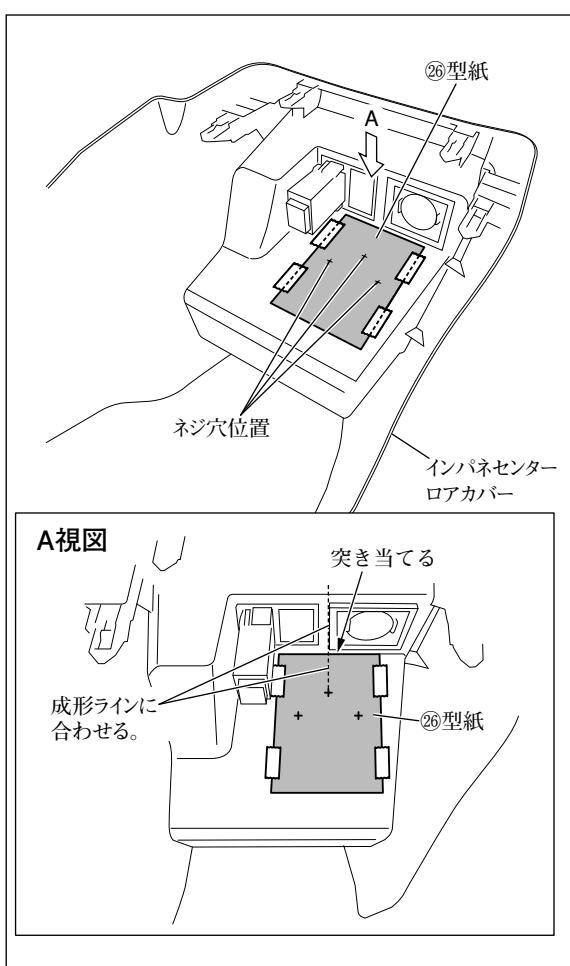


インパネセンターロアカバーからサイレンサーシートをはがしてください。

👉 アドバイス

サイレンサーシートは再使用しません。

2

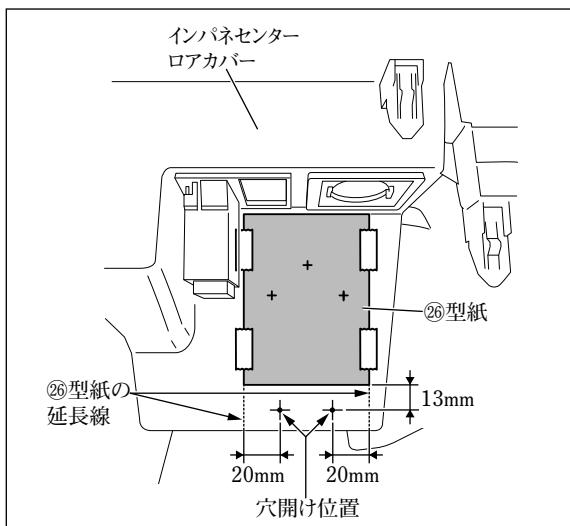


インパネセンターロアカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークングをしてください。

👉 アドバイス

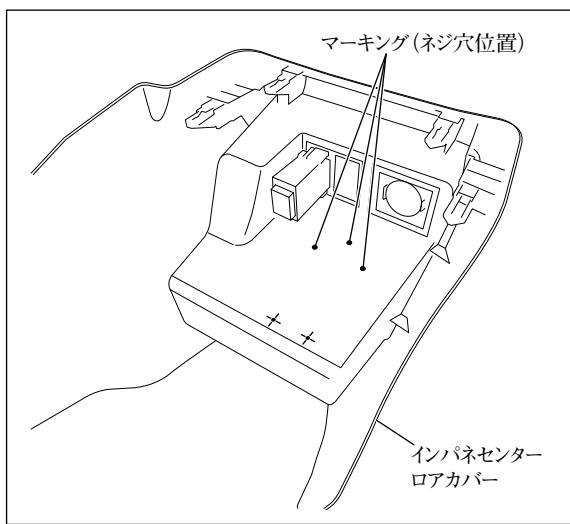
インパネセンターロアカバーにスイッチ等が取り付けられている場合は、一時的にスイッチ等を取り外してください。

3



インパネセンターロアカバーの穴開け位置にマークィングしてください。

4



26型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

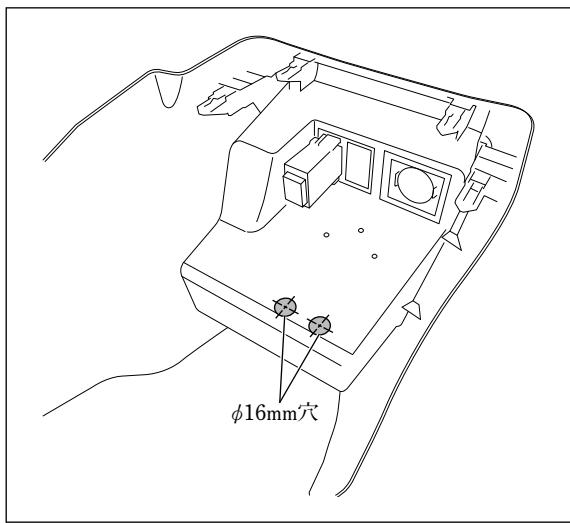
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

5



インパネセンターロアカバーの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

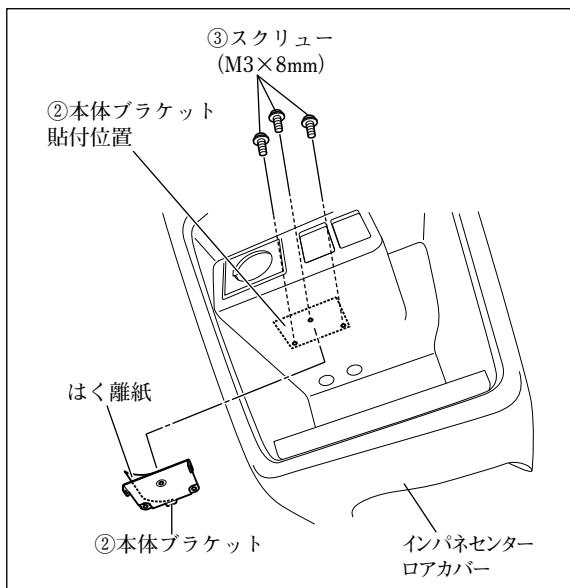
注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

6

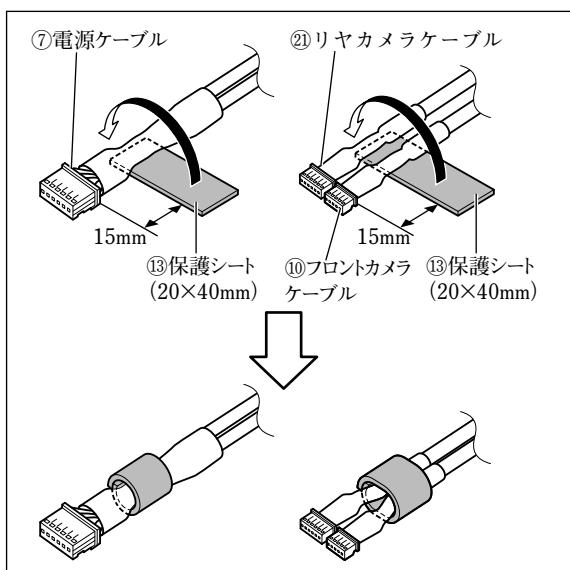


- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) インパネセンターロアカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

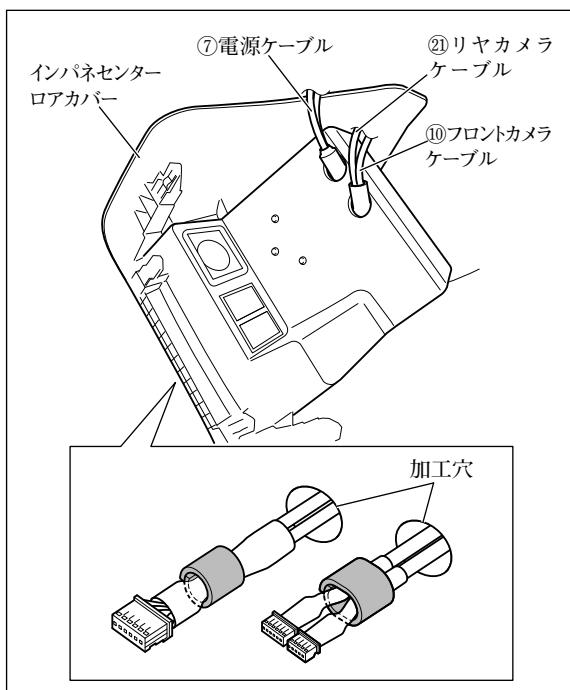
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

7



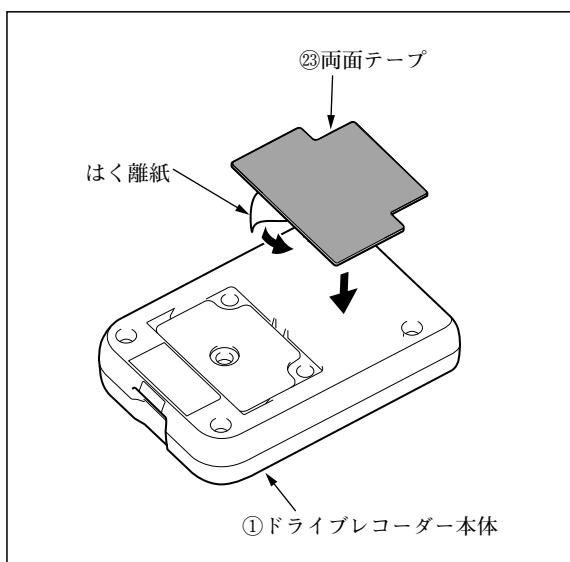
配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。

8

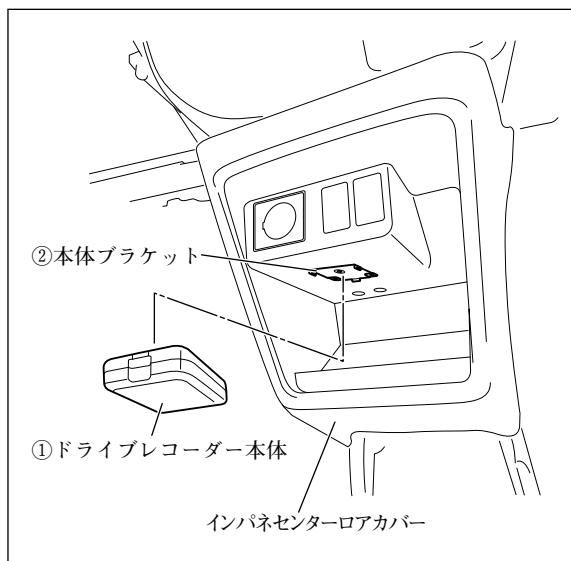


インパネセンターロアカバーの加工穴に本図のようくケーブルを通して下さい。

9



10



- (1) ②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

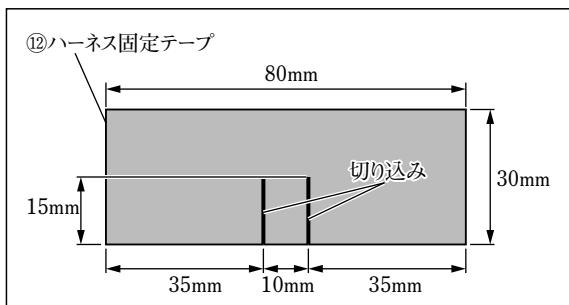
- (1) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

- (2) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

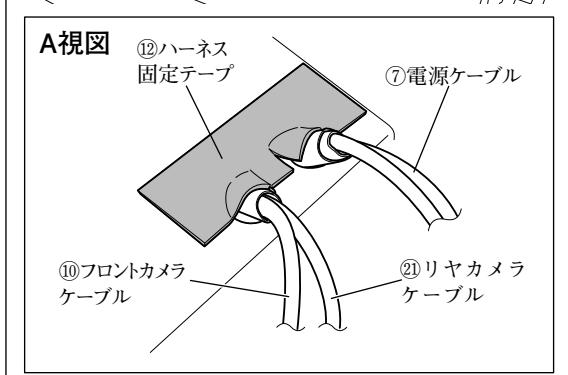
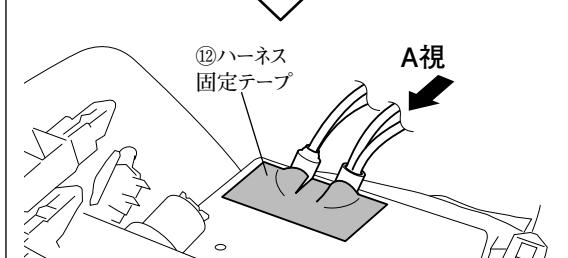
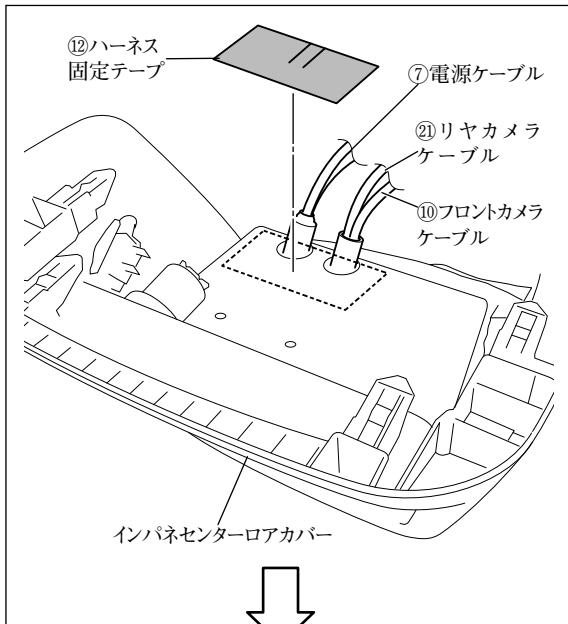
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

11



⑫ハーネス固定テープを図のようにカットしてください。

12



カットした⑫ハーネス固定テープをインパネセンターロアカバーに貼り付けてください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- ・「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- ・当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
 - ・センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。
- ・「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- ・「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

エブリイの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

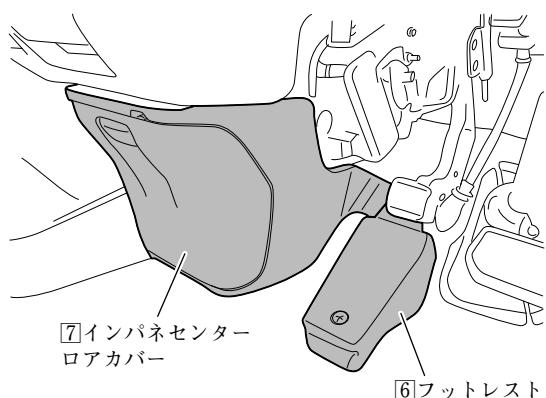
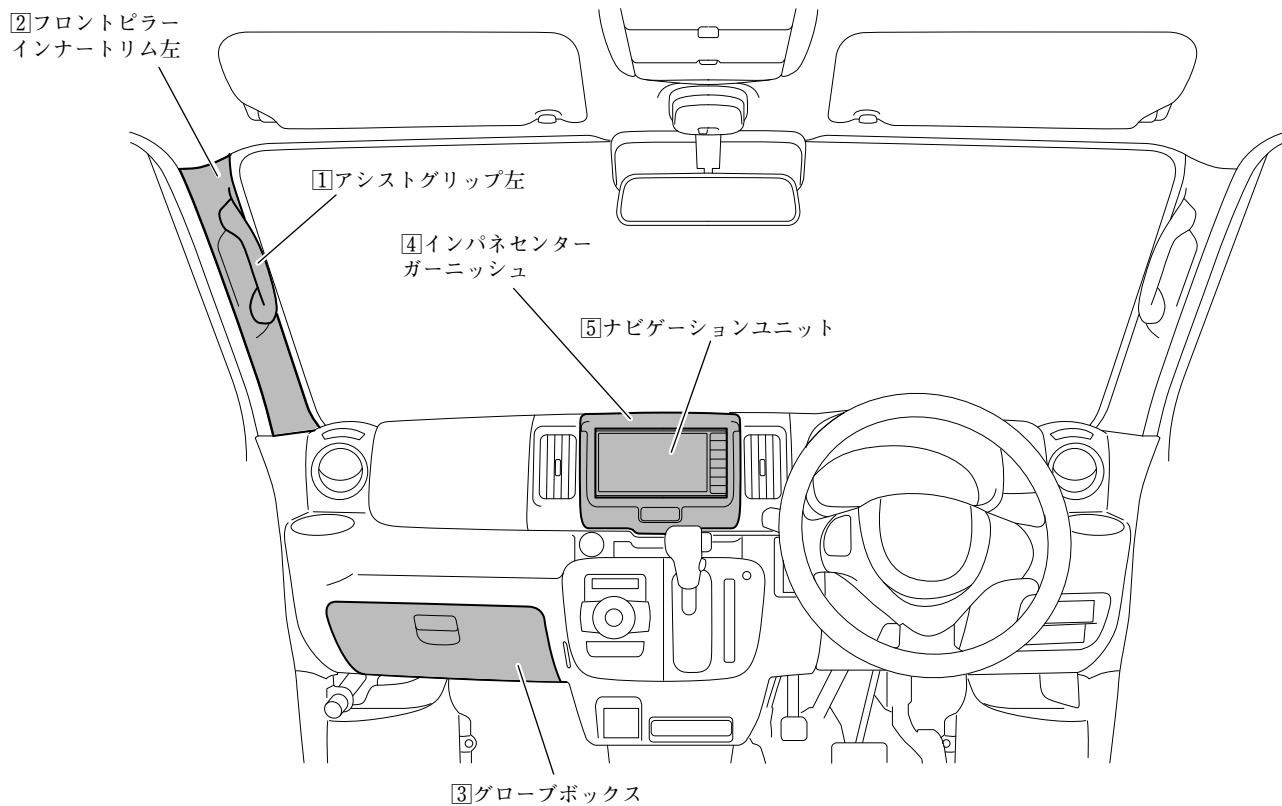
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

👉 アドバイス

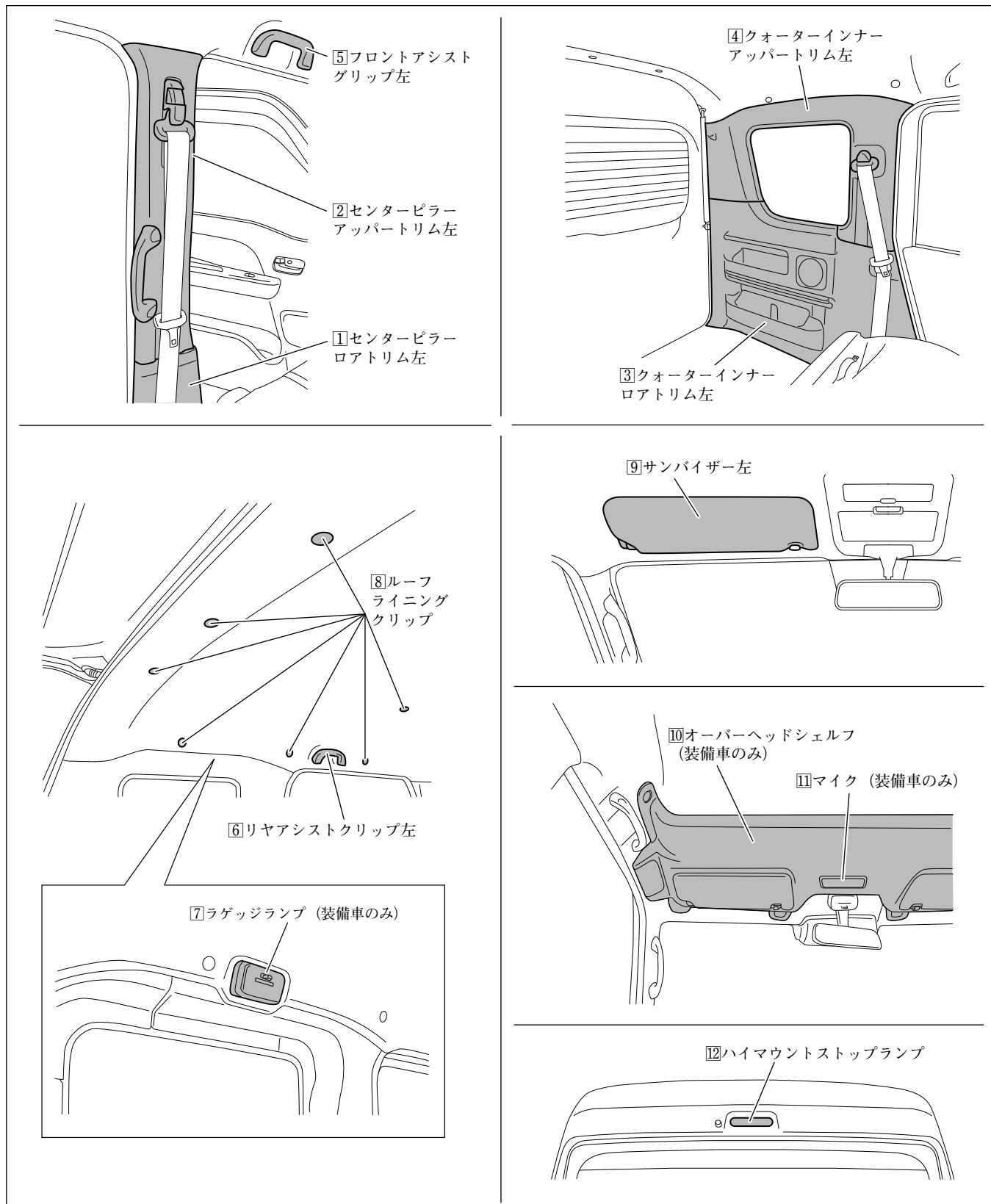
車両部品の取り外し方法についてはワゴンタイプの車両を代表として記載しています。バンタイプの車両も同様に取り外してください。

図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

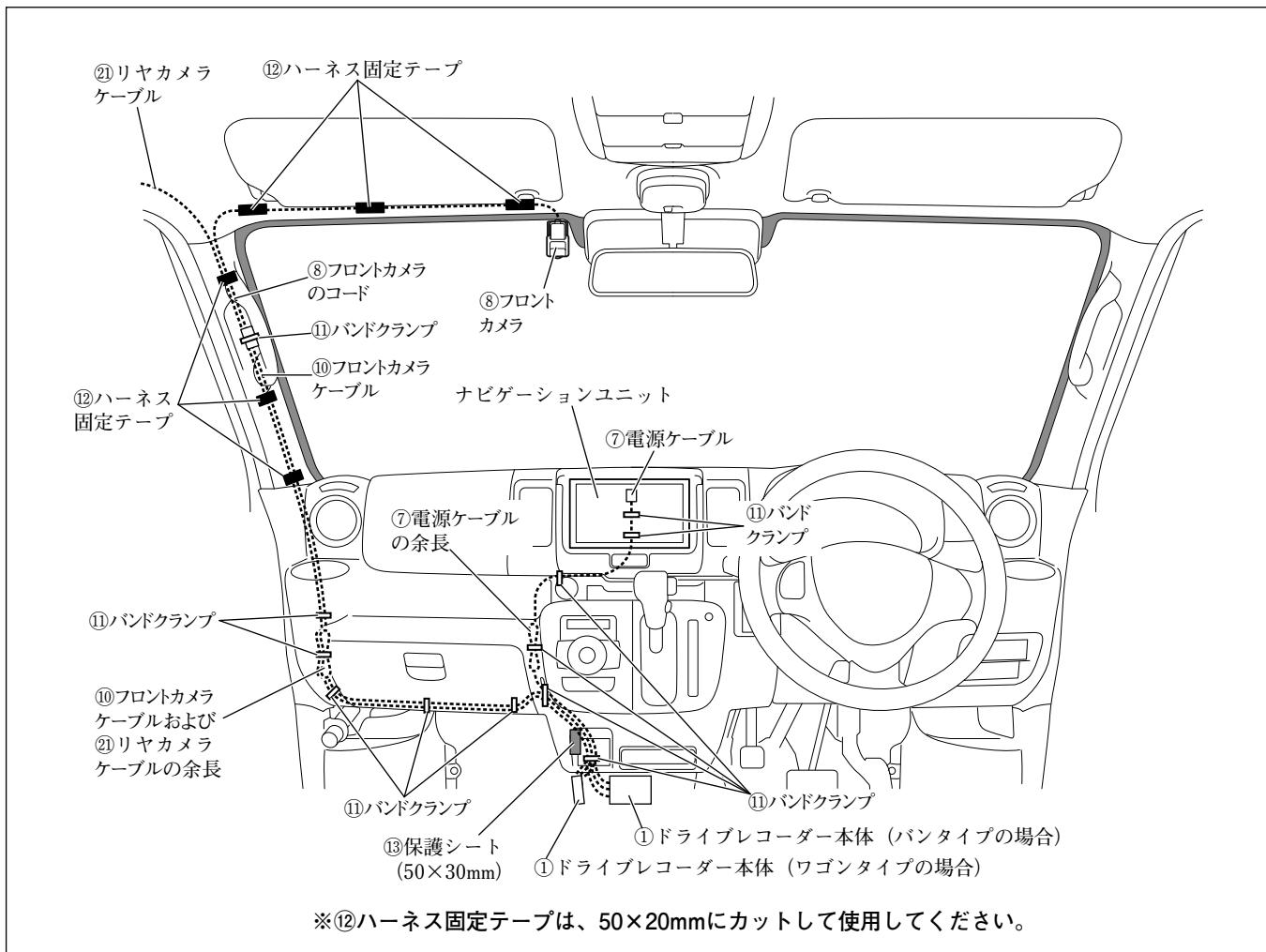


リヤカメラ

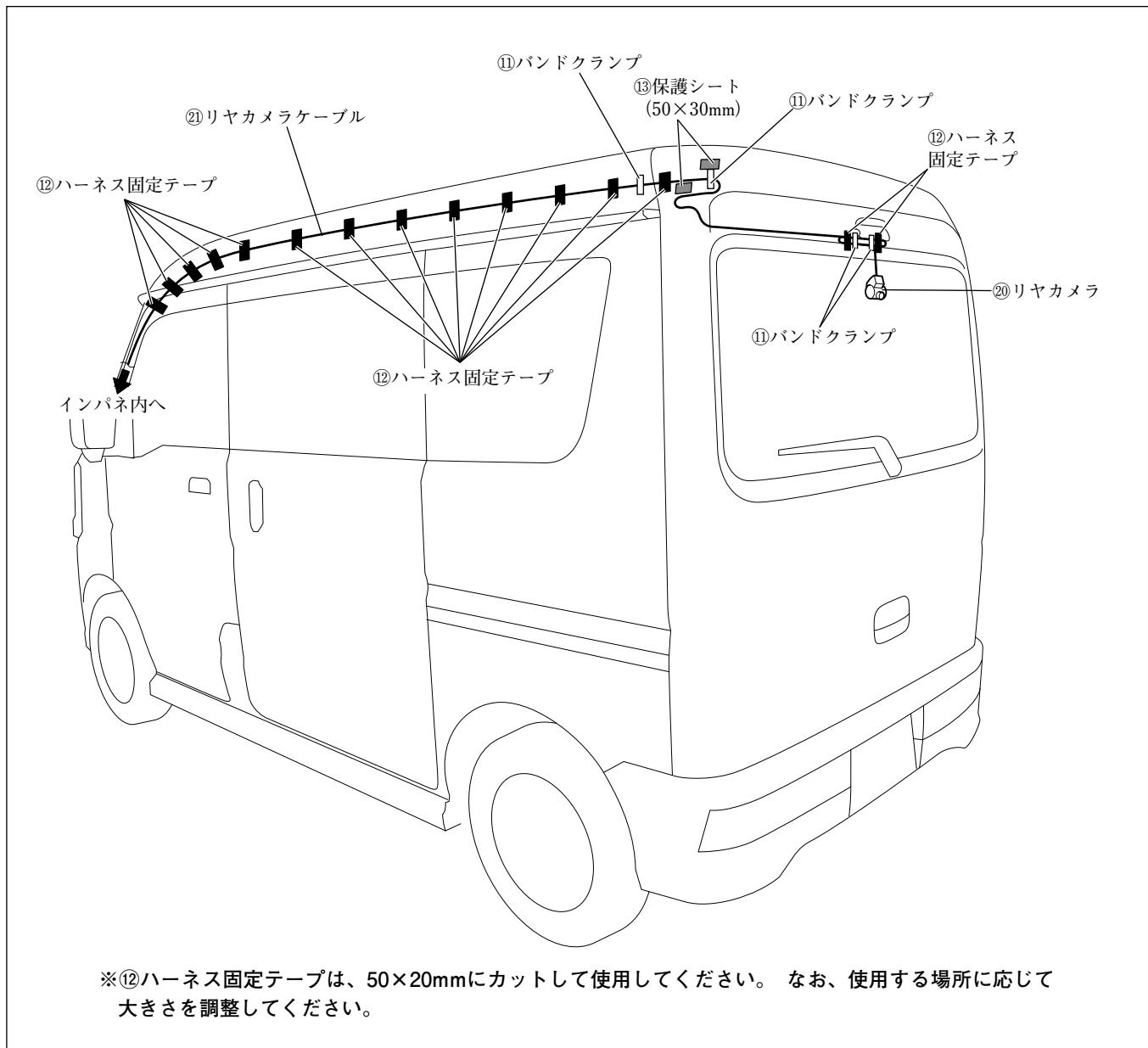


●取付概要

フロントカメラ

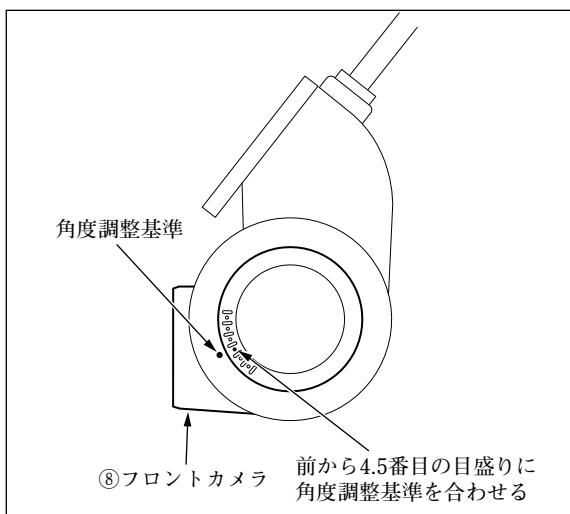


リヤカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

1



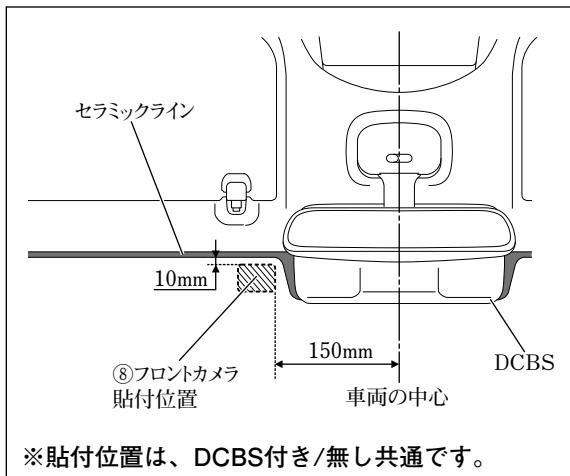
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

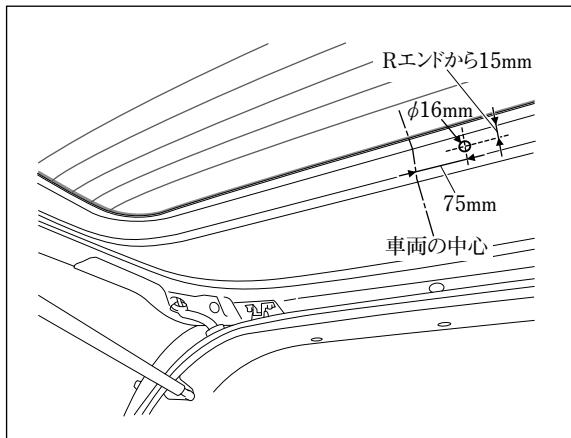
「取付概要」を参考して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

⚠ 警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

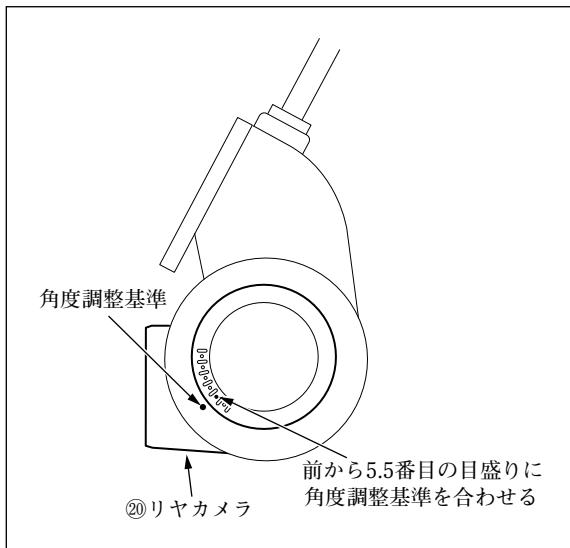
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



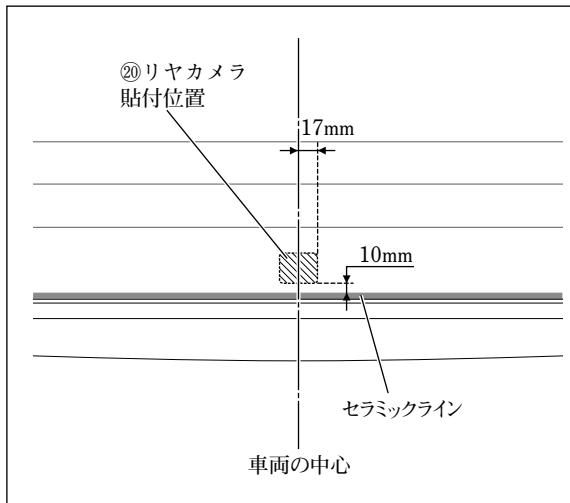
②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

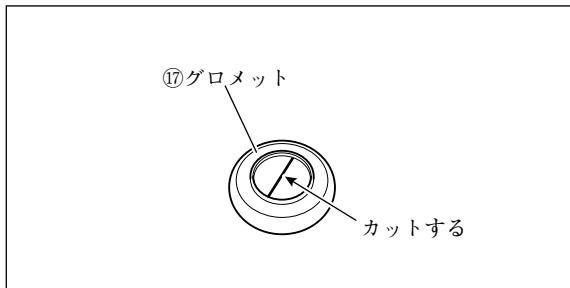


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

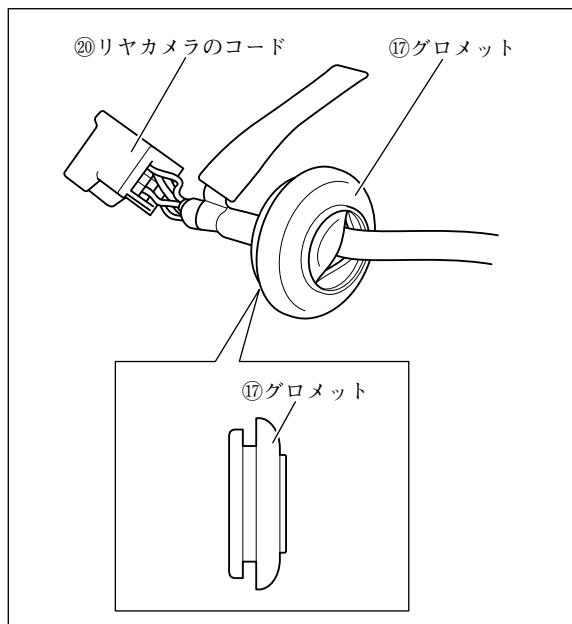
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

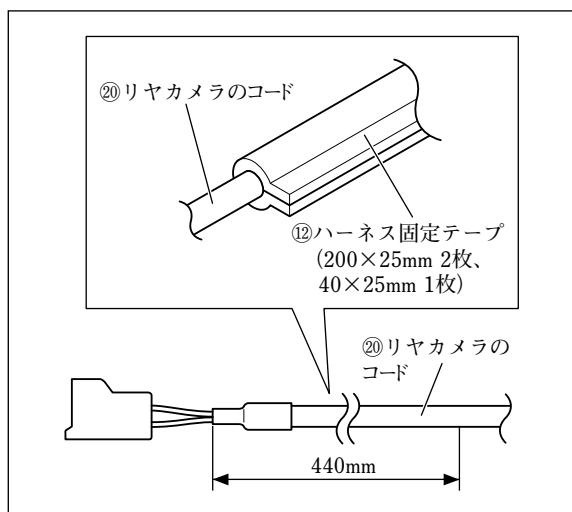


⑯グロメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

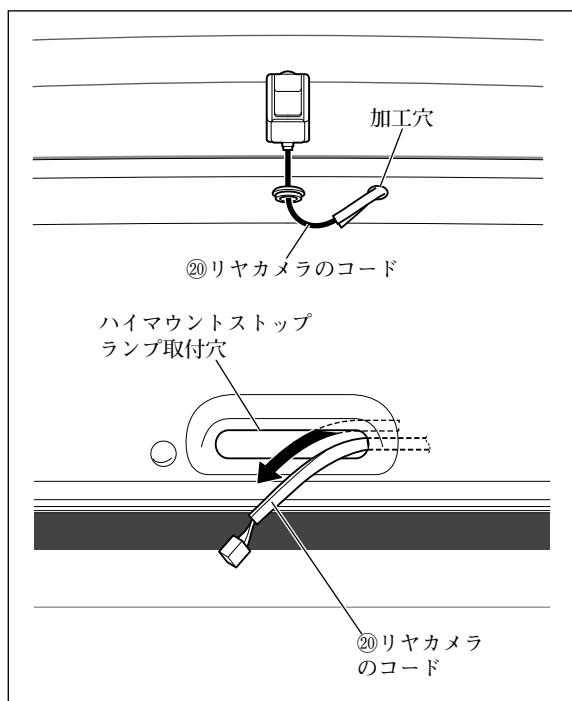
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



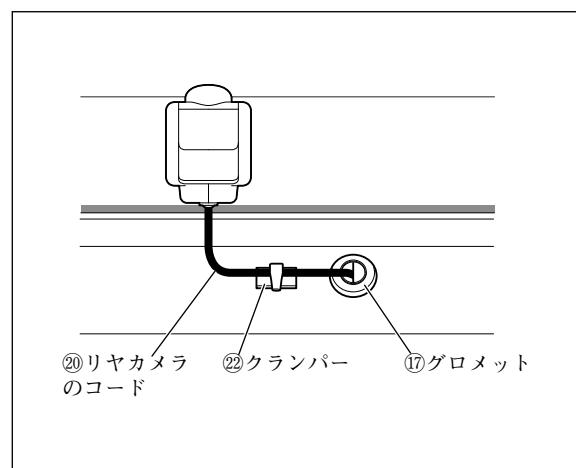
⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②ⓧリヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



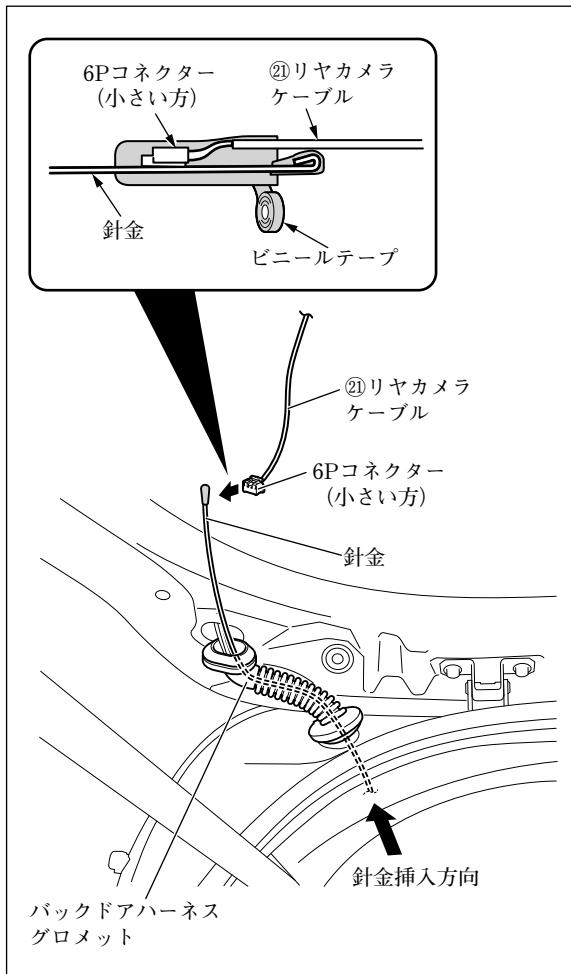
- (1) ⑰グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ⑲クランパーで⑯リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑲クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

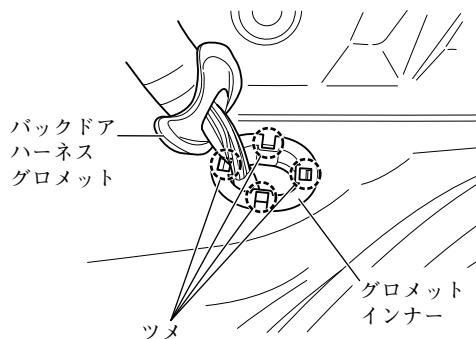
1



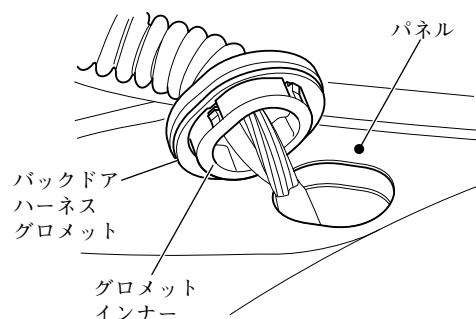
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- グロメットインナーを外す際は、ツメを縮めてください。

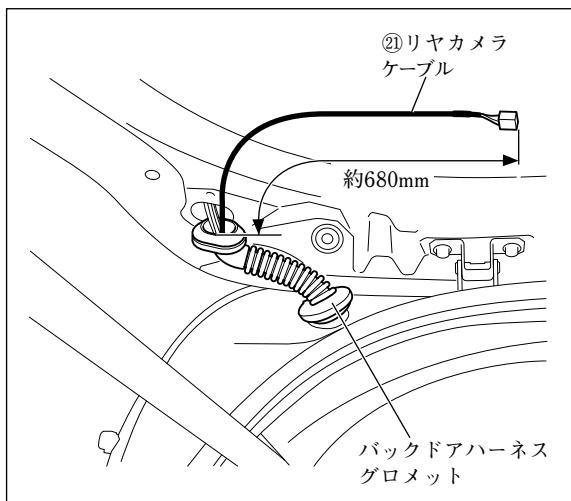


- バックドアハーネスグロメットを復元する際は、グロメットインナーをバックドアハーネスグロメット側へはめてからパネルへはめ込んでください。



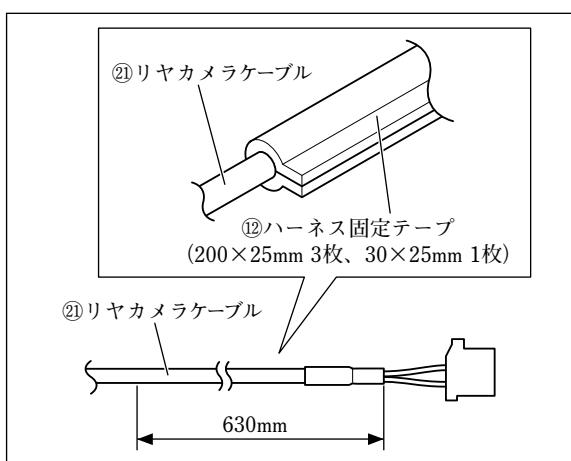
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。

2



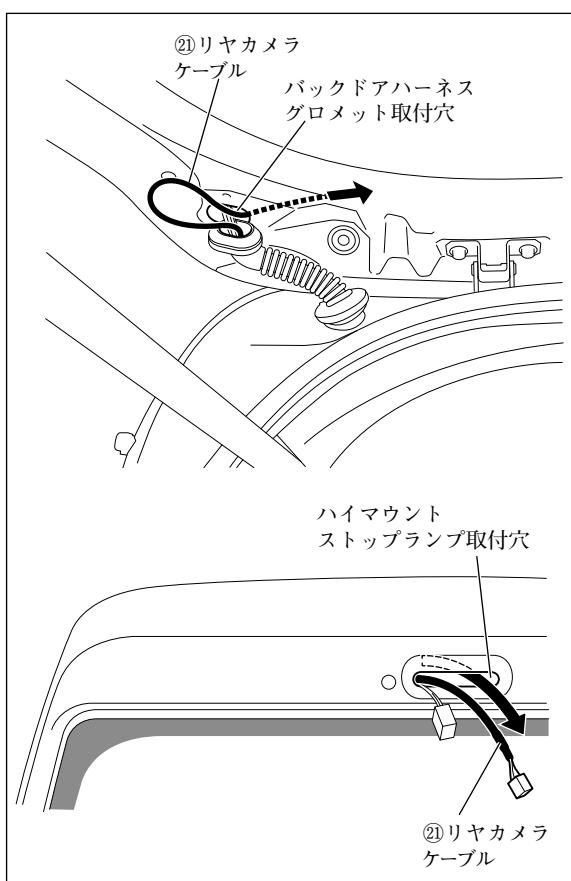
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



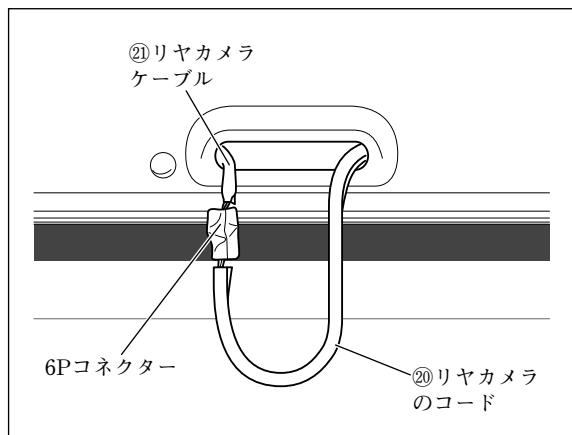
②①ハーネス固定テープを②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



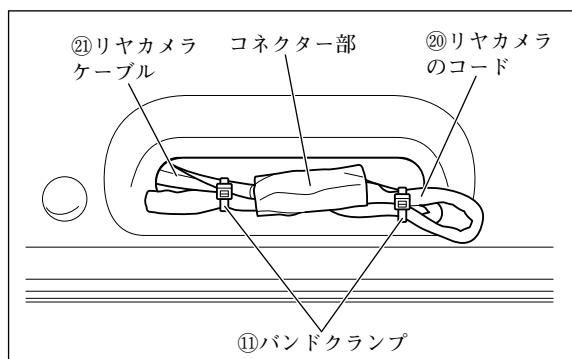
針金等を使用して②①リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



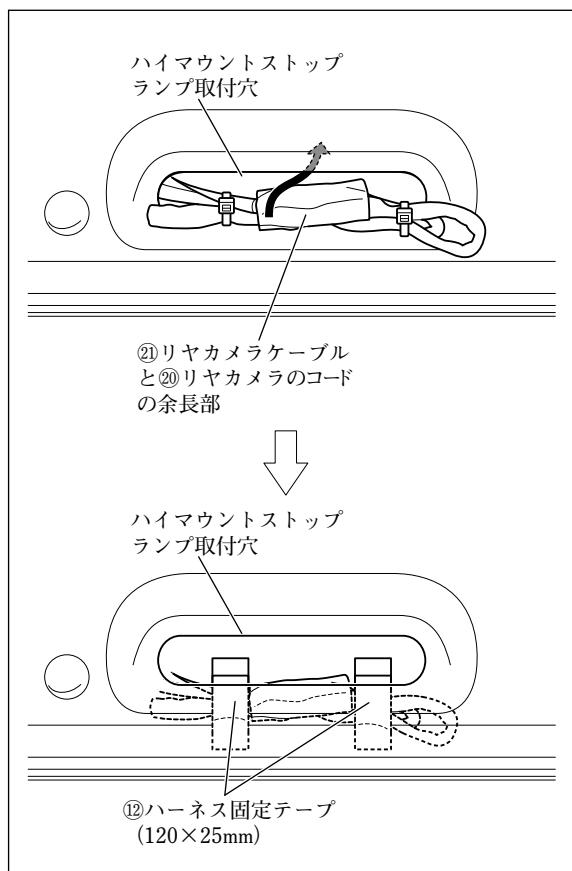
- (1) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



- ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



- ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

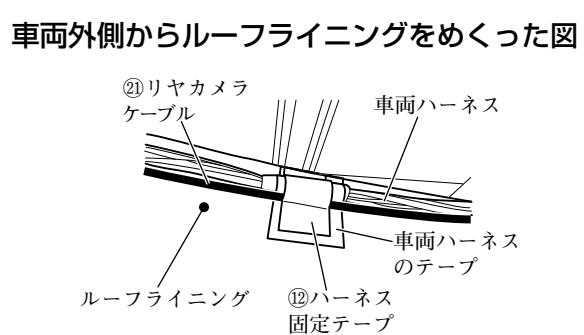
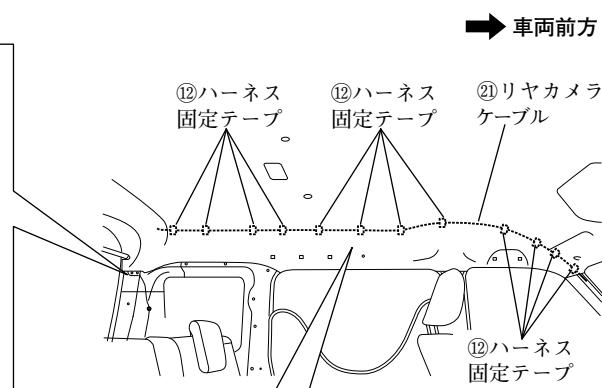
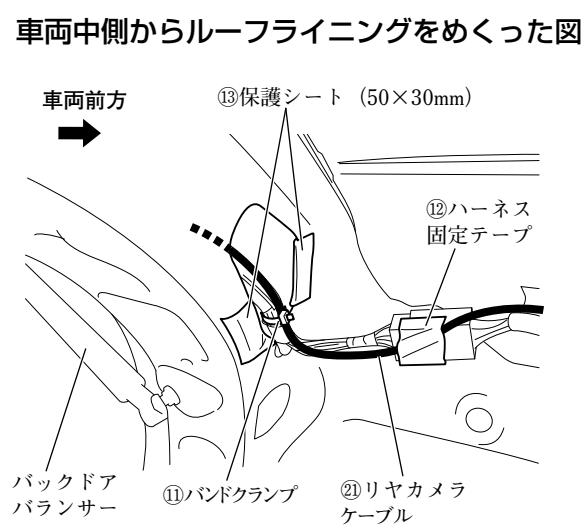
注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

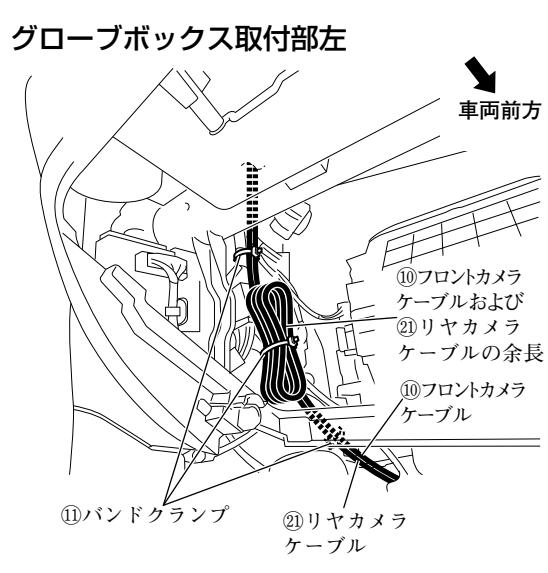
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

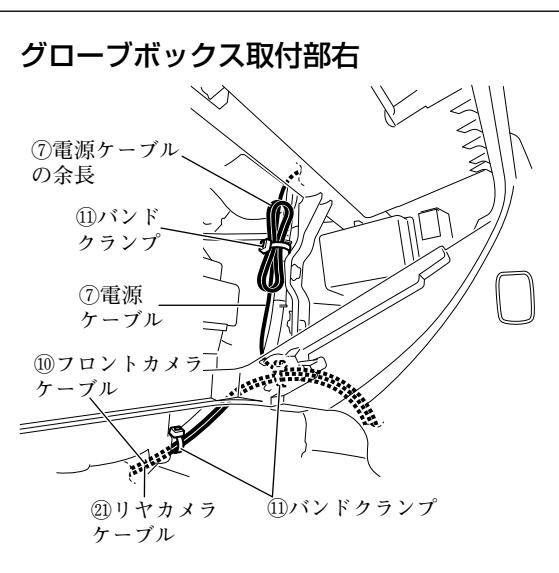


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

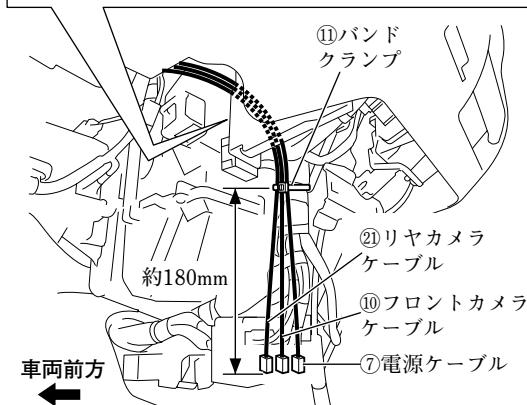
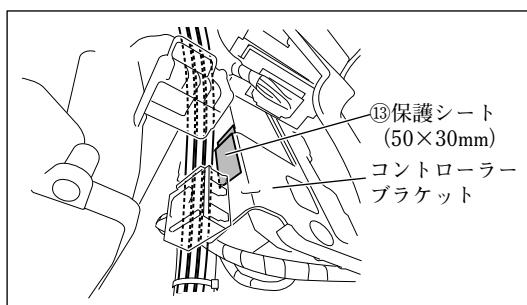
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



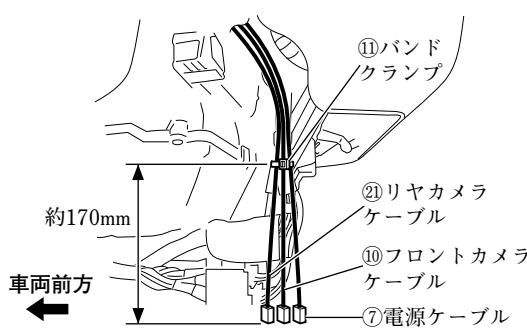
2

インパネセンターロアカバー取付部

ワゴンタイプ



バンタイプ



- (1) コントローラーブラケットがある車両は、配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

👉 アドバイス

⑪バンドクランプは、車両ハーネスのクランプ部で固定してください。

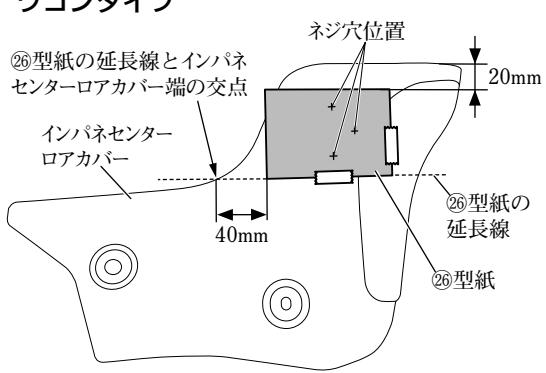
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

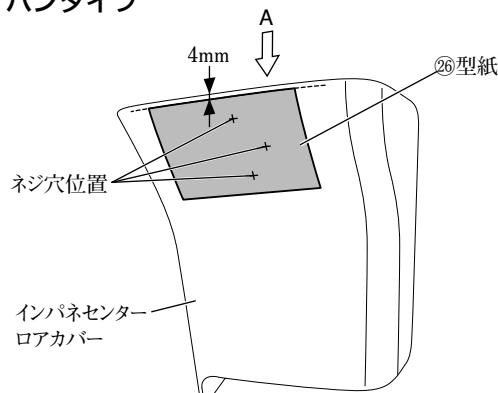
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダーおよび配線を通す穴を加工してください。

1

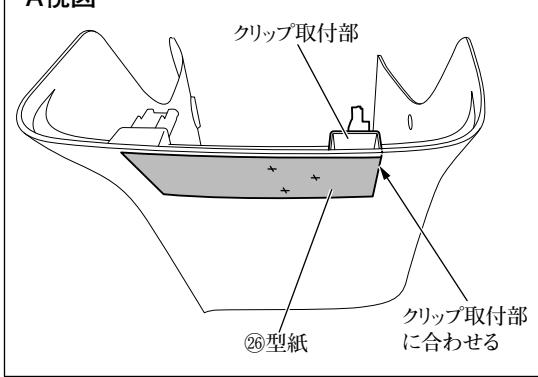
ワゴンタイプ



バンタイプ



A 視図



- (1) インパネセンターロアカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（φ 4mm）を開けてください。

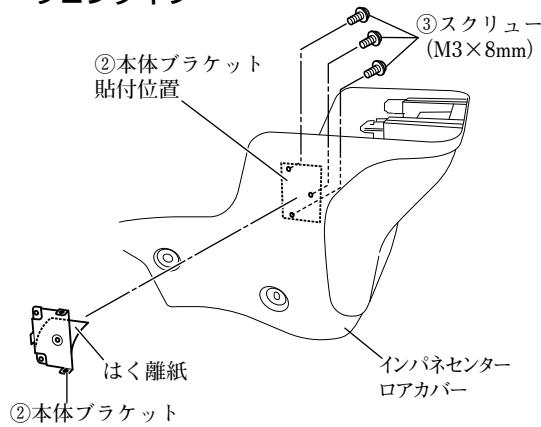
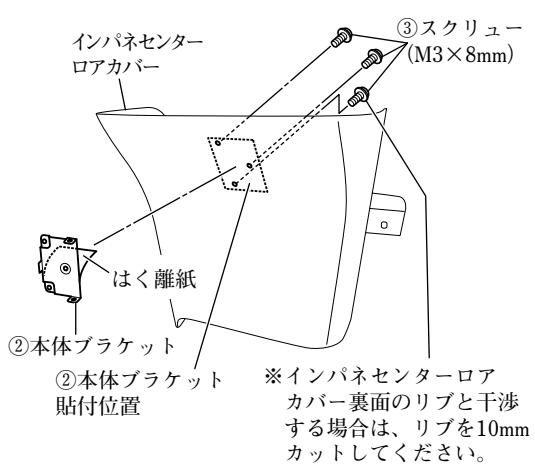
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

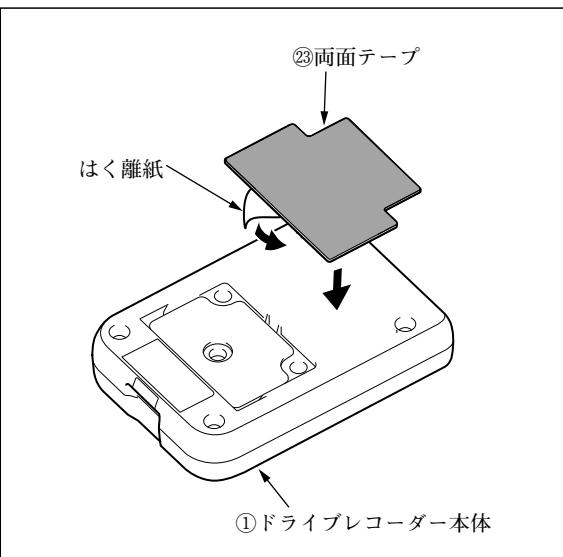
注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- 穴開け前にマーキングした位置（ネジ穴位置）がずれていないか確認をしてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

2

ワゴンタイプ**バンタイプ**

3



- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) インパネセンターロアカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

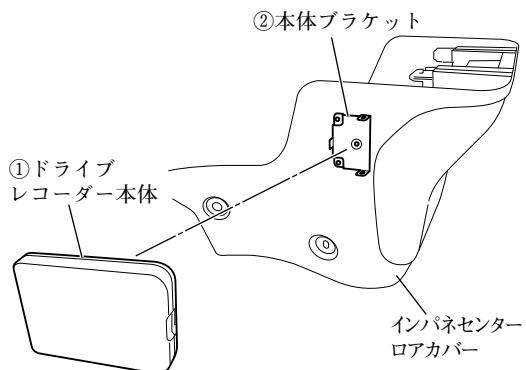
②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

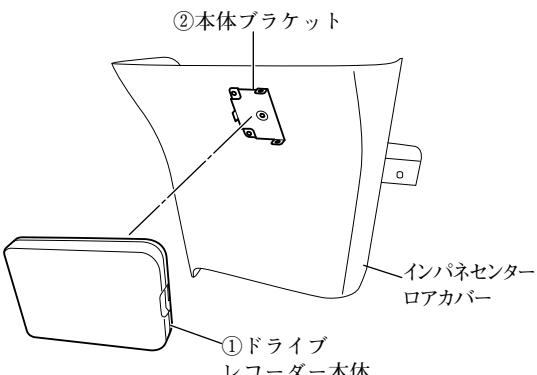
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

4

ワゴンタイプ



バンタイプ



- (1) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (2) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(20°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

アドバイス

別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合は、別売品に同梱のメインスイッチラベル貼付位置を調整してください。

- (3) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参考して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参考して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

「感度調整」を参考して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

ハスラーの場合

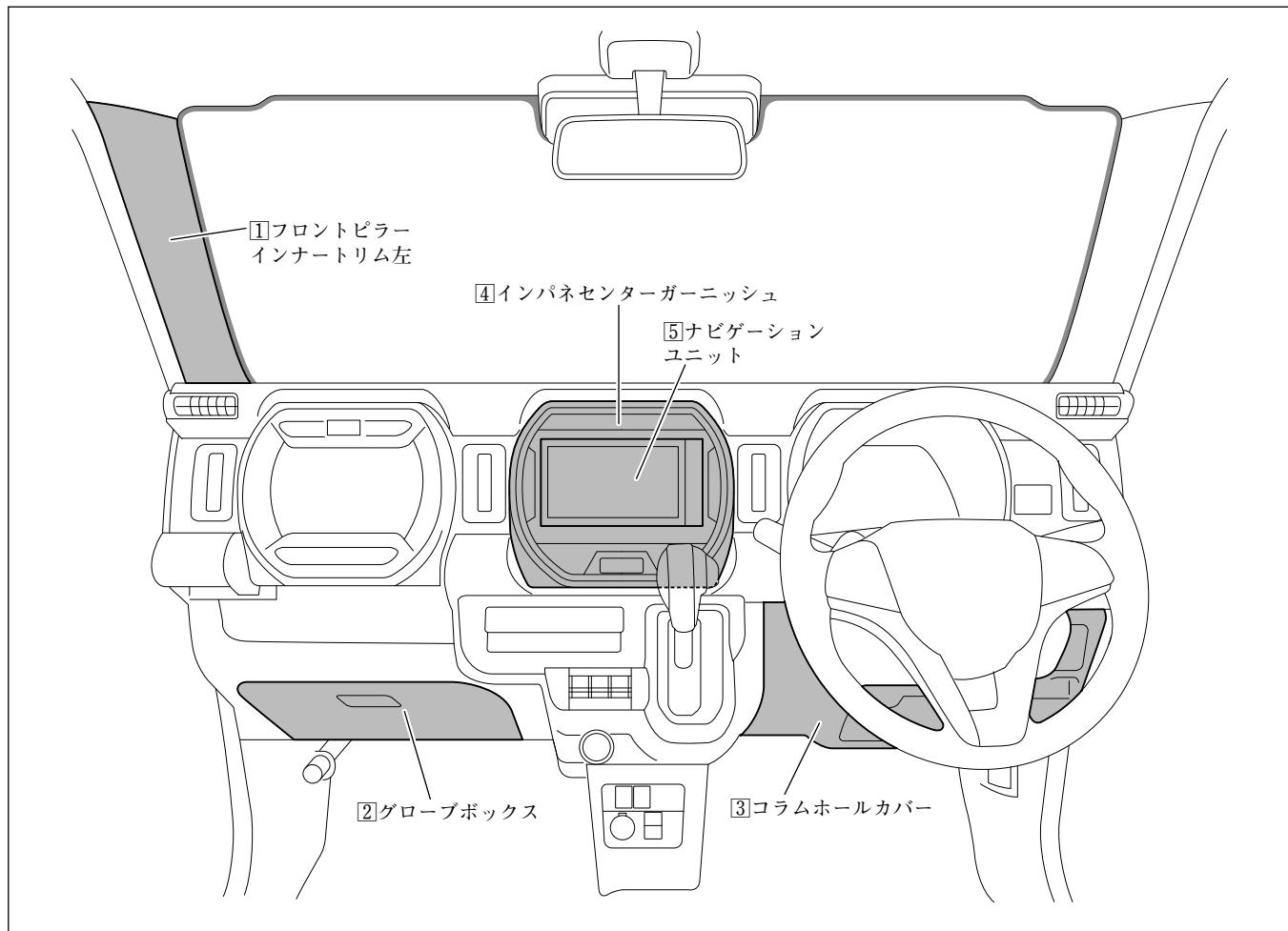
●車両部品の取り外し方法

注記

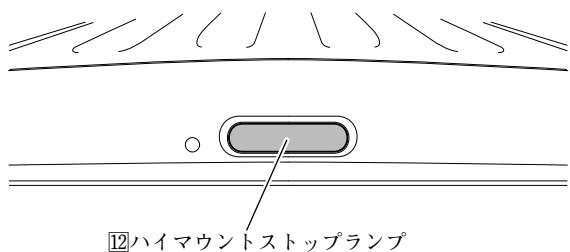
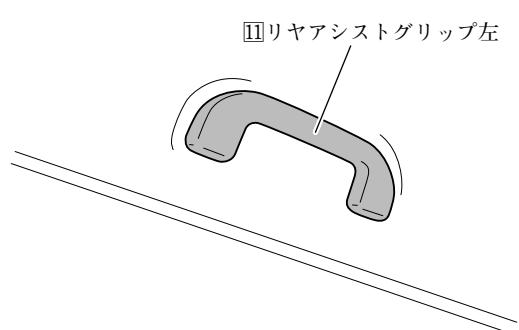
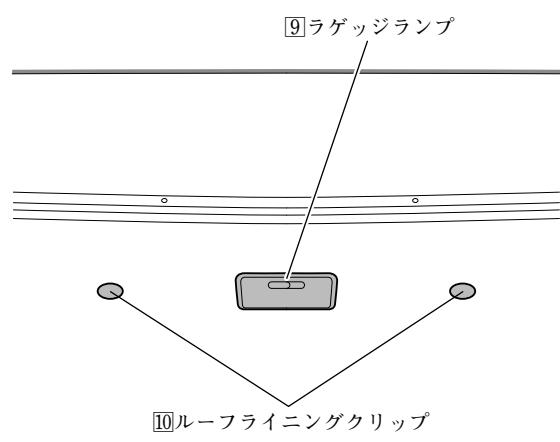
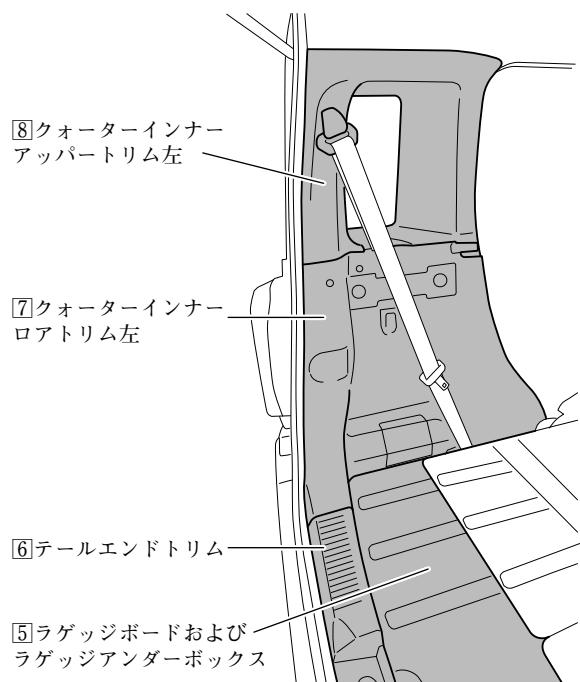
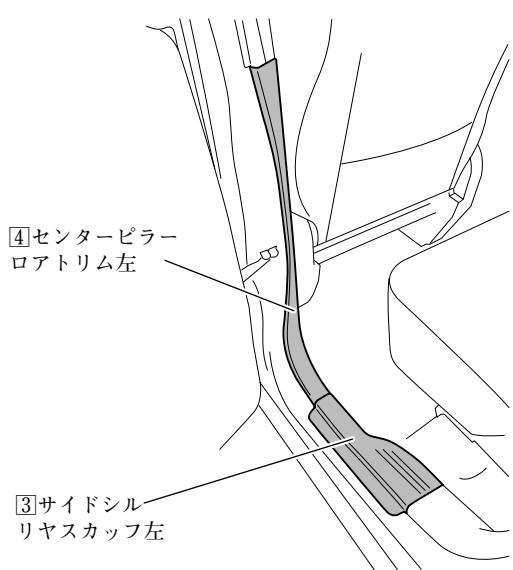
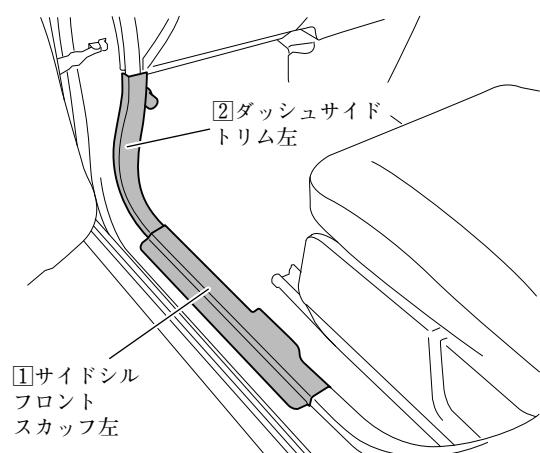
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

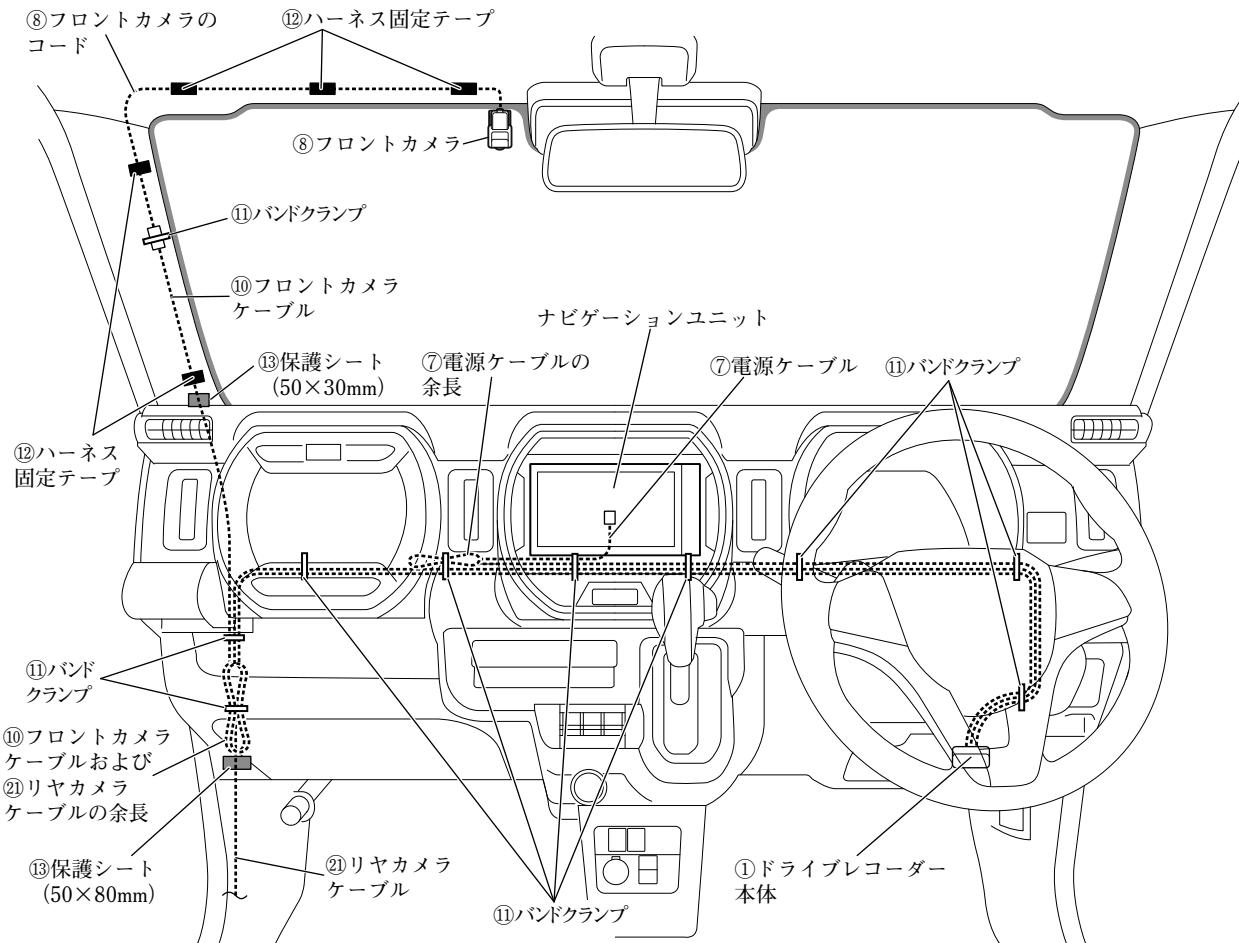


リヤカメラ



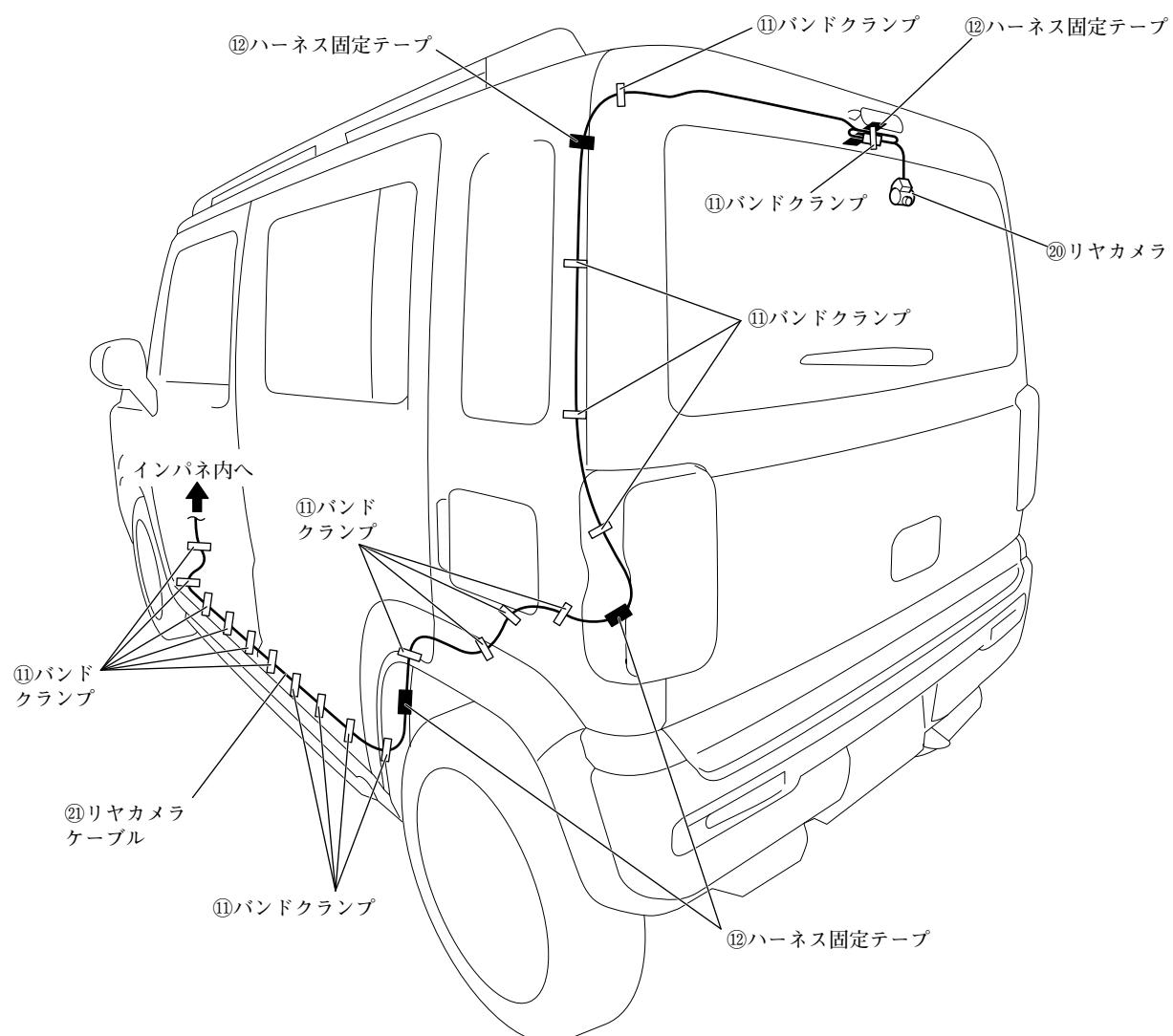
●取付概要

フロントカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

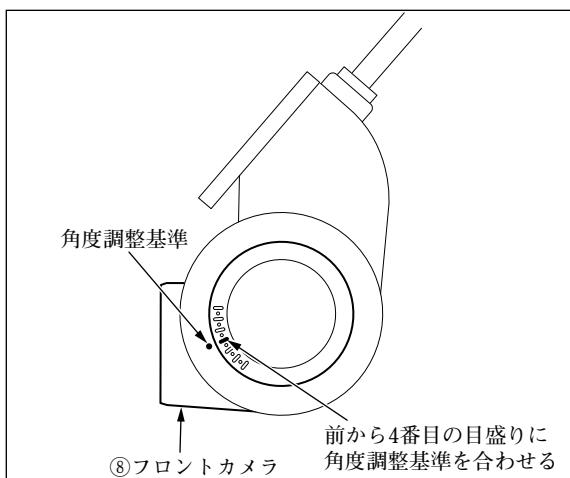
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



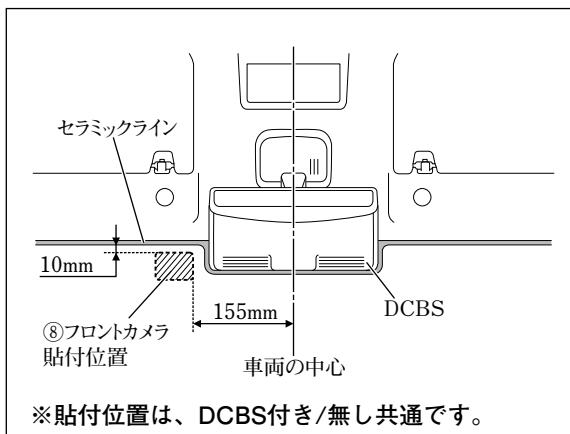
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

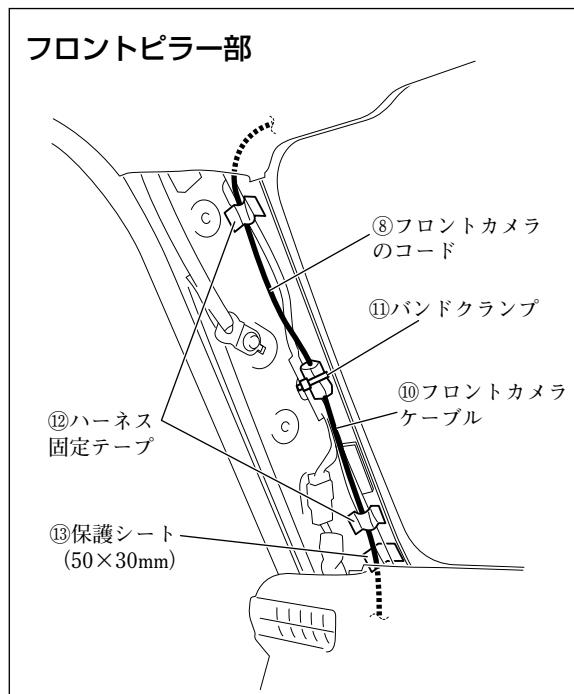
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ・⑯保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

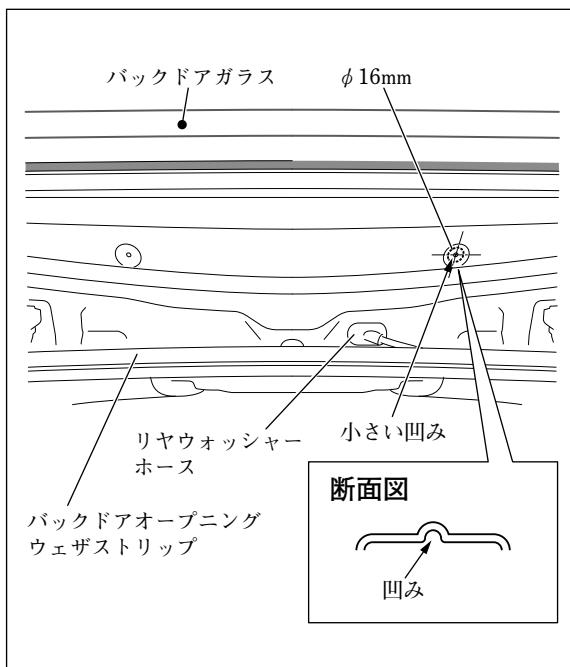
● リヤカメラ取付前の準備

■ ルーフエンドspoイラー非装備車の場合

注記

ここではルーフエンドspoイラー非装備の車両について記載をしています。ルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する車両は作業手順が異なります。

1



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

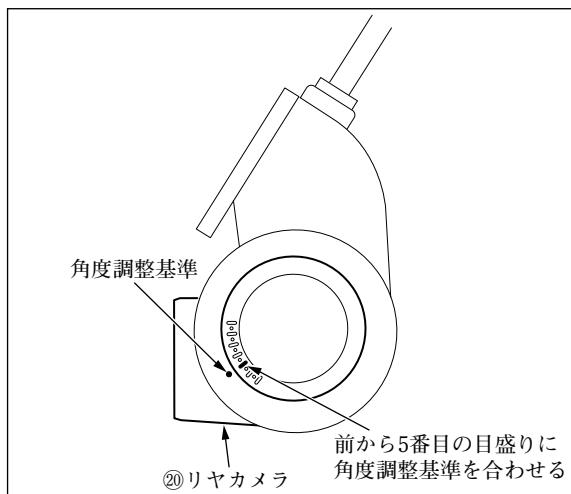
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

■ ルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する場合

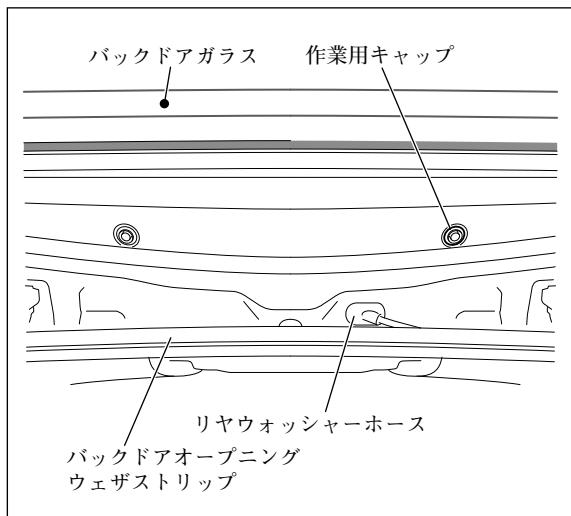
注記

ここではルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する車両について記載をしています。ルーフエンドspoイラー非装備車は作業手順が異なります。

👉アドバイス

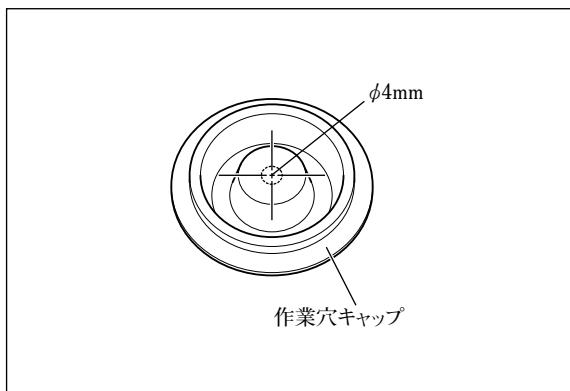
ルーフエンドspoイラーを共着する場合は、先にルーフエンドspoイラーを取り付けてください。

1



バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所の作業穴キャップを外してください。

2



- (1) 作業穴キャップの中央に穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

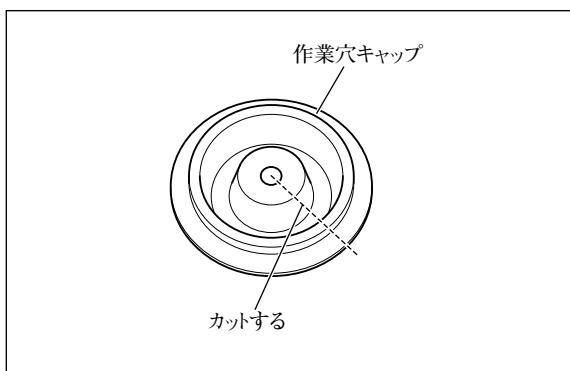
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

3



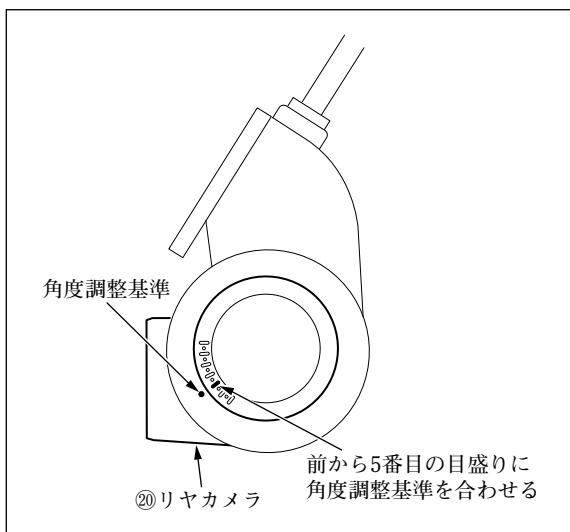
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

作業穴キャップの図示位置をカッターナイフ等でカットしてください。

注意

- カットする際は、耐切創手袋を使用してください。

4



- ②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

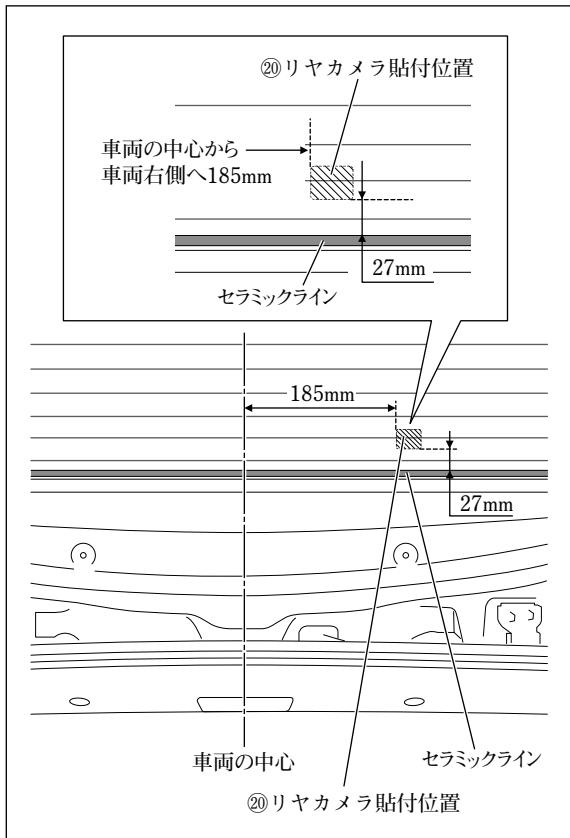
●リヤカメラの取付方法

■ルーフエンドspoイラー非装備車の場合

注記

ここではルーフエンドspoイラー非装備の車両について記載をしています。ルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する車両は作業手順が異なります。

1

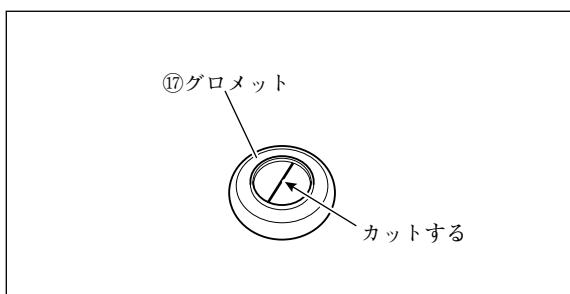


②①リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

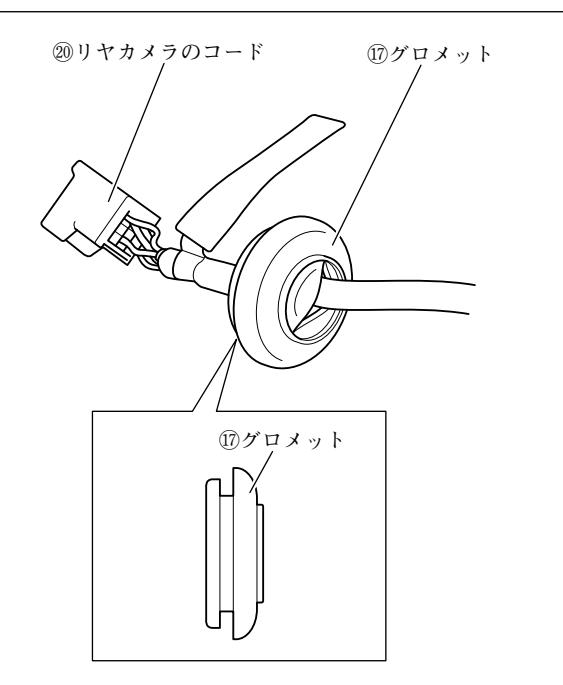
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②①リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②①リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②①リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

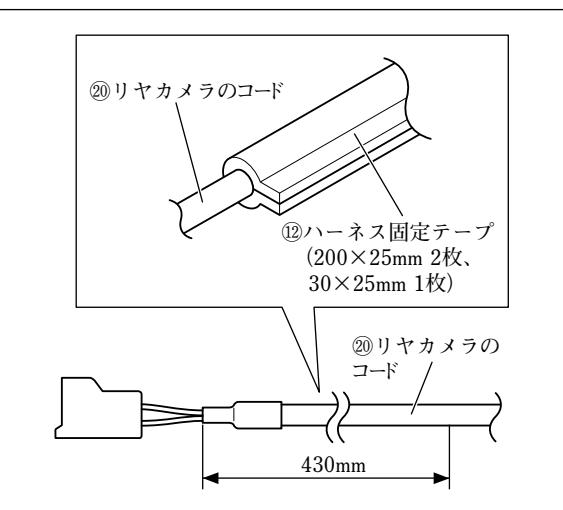


⑯グロメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

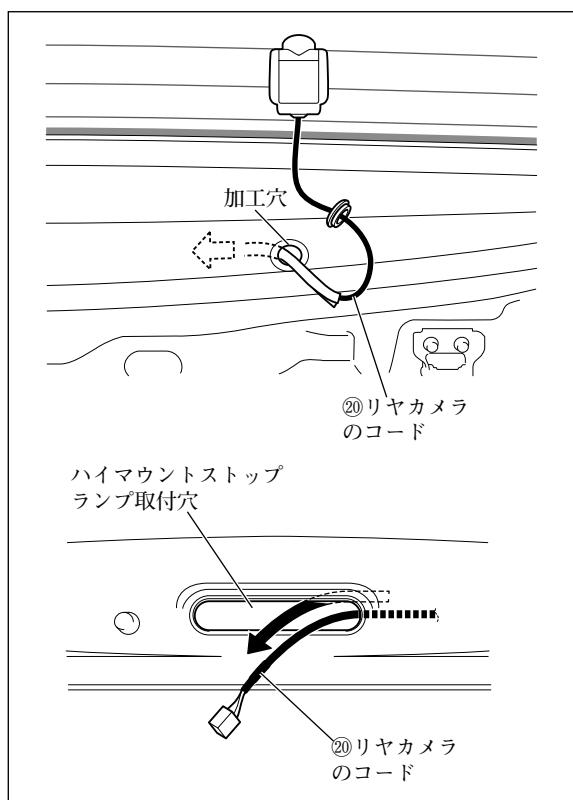
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



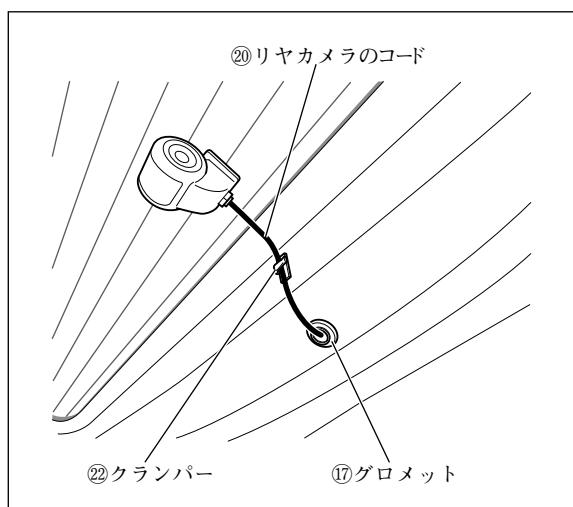
⑯ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②⓪リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



- (1) ⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ㉚クランパーで②⓪リヤカメラのコードを固定してください。

注記

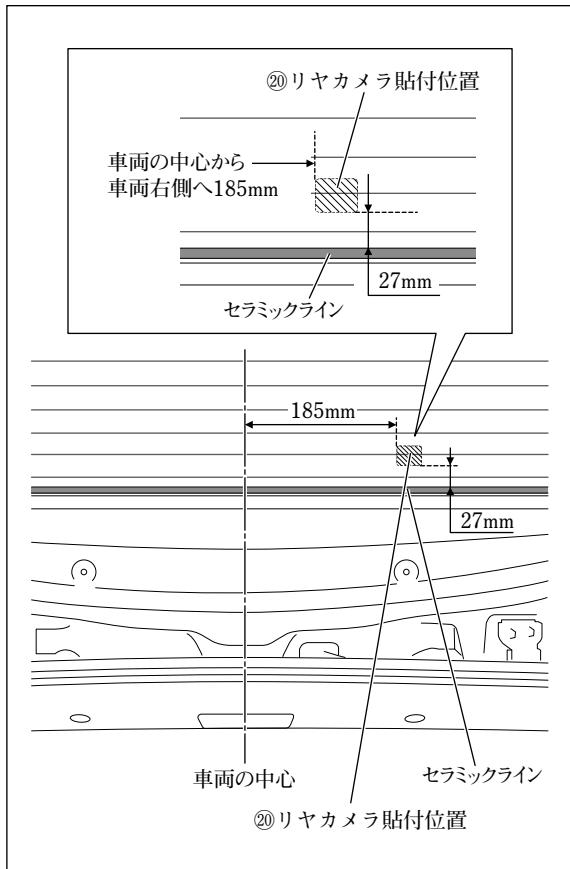
- ㉚クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

■ ルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する場合

注記

ここではルーフエンドspoイラー装備車またはルーフエンドspoイラーを共着する車両について記載をしています。ルーフエンドspoイラー非装備車は作業手順が異なります。

1

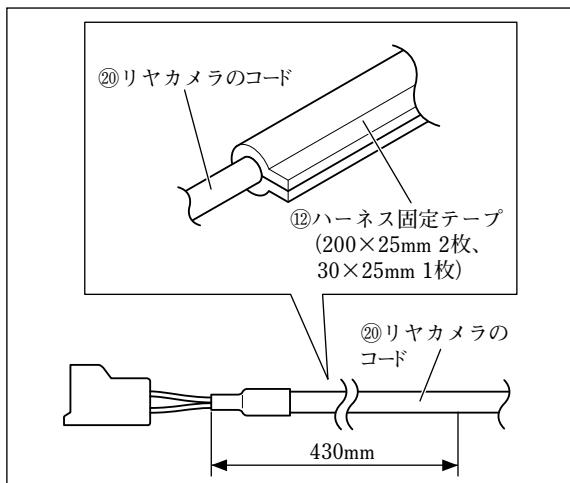


②①リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

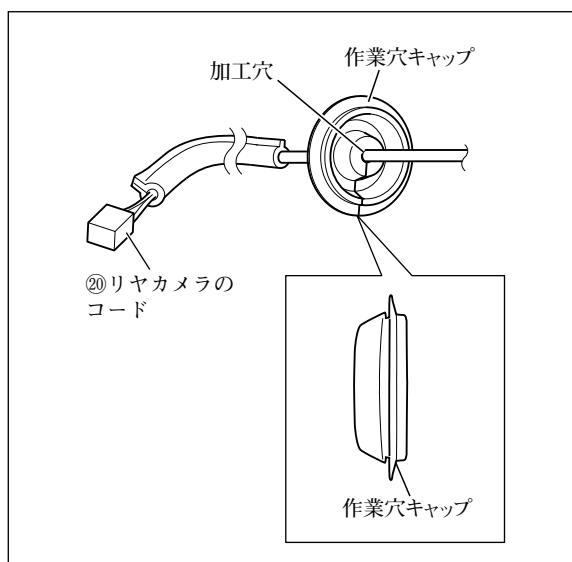
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②①リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②①リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②①リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑪ハーネス固定テープを②①リヤカメラのコードに貼り付けてください。

3

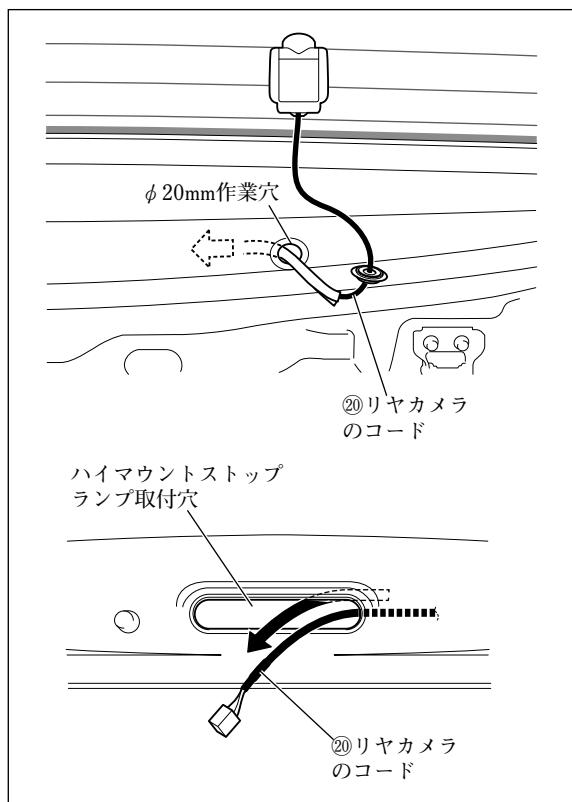


②③リヤカメラのコードを作業穴キャップの加工穴に通してください。

注記

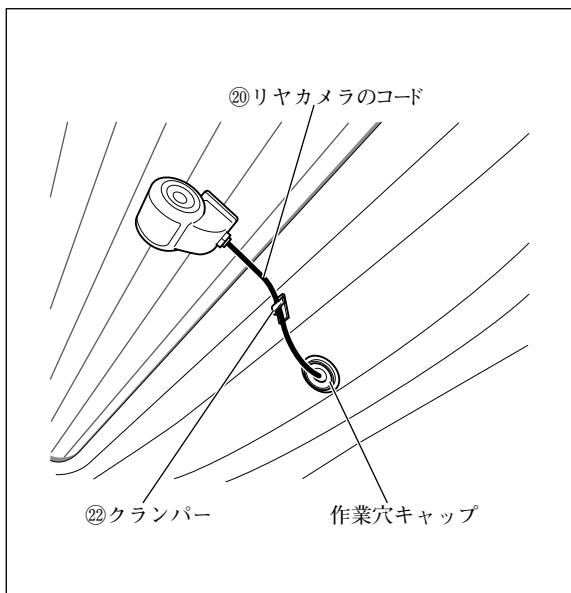
作業穴キャップは、図の向きで取り付けてください。

4



針金等を使用して②③リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

5



- (1) 作業穴キャップを復元してください。

注記

作業穴キャップは、カット部が②②リヤカメラのコードでかくれる向きに取り付けてください。

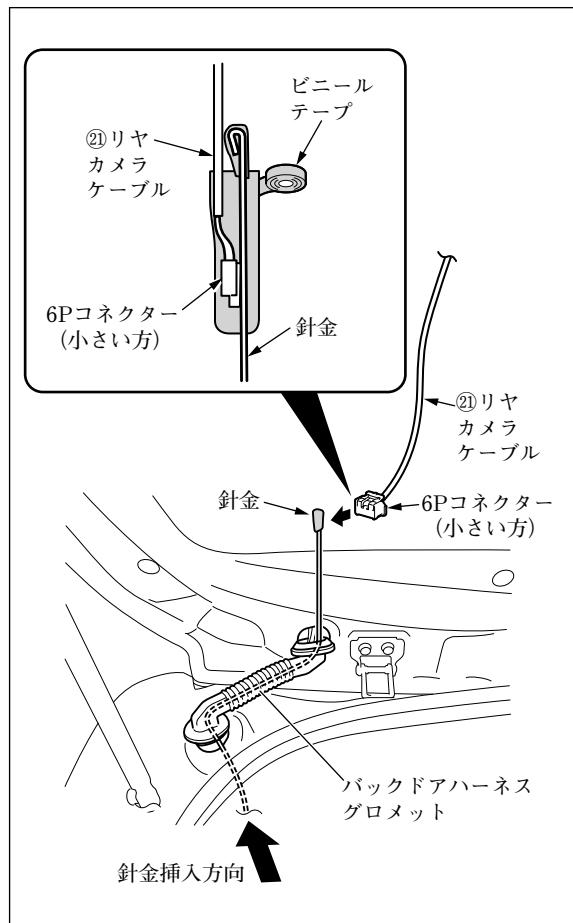
- (2) ②②クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

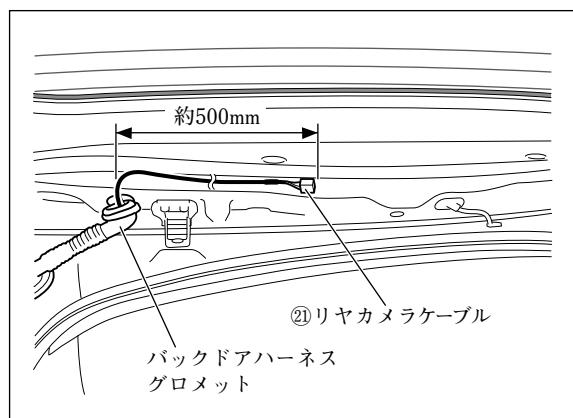


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテapingをしてください。
- (2) 先端をテapingした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテapingしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

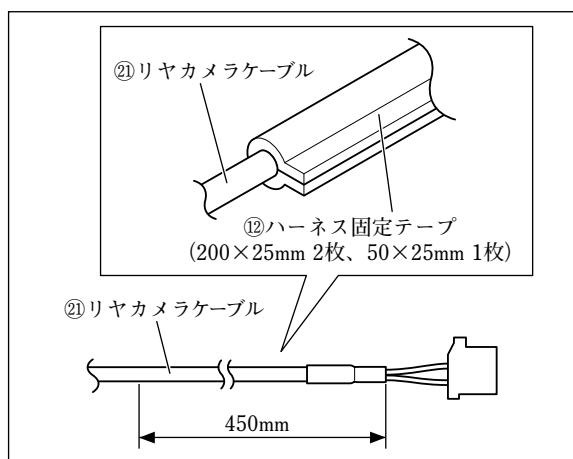
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテapingしてください。

2



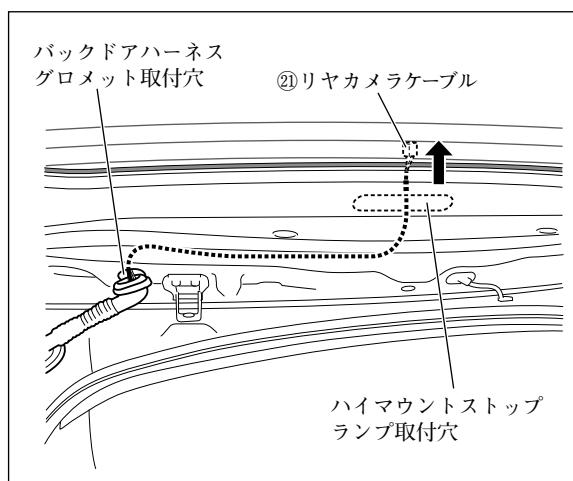
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



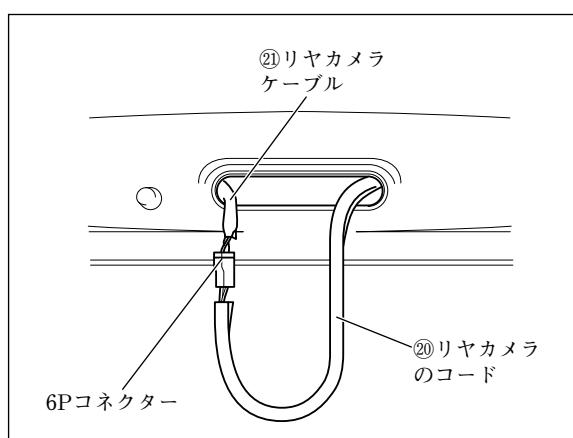
⑫ハーネス固定テープを②1リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



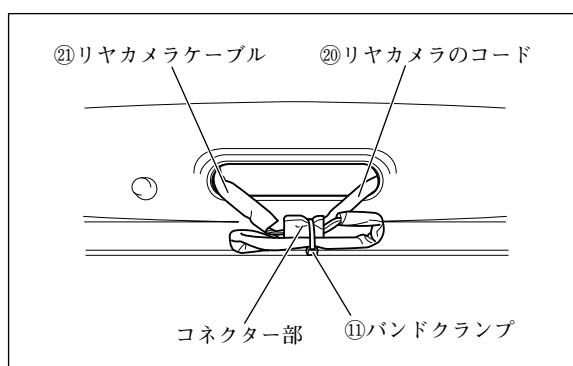
針金等を使用して②1リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



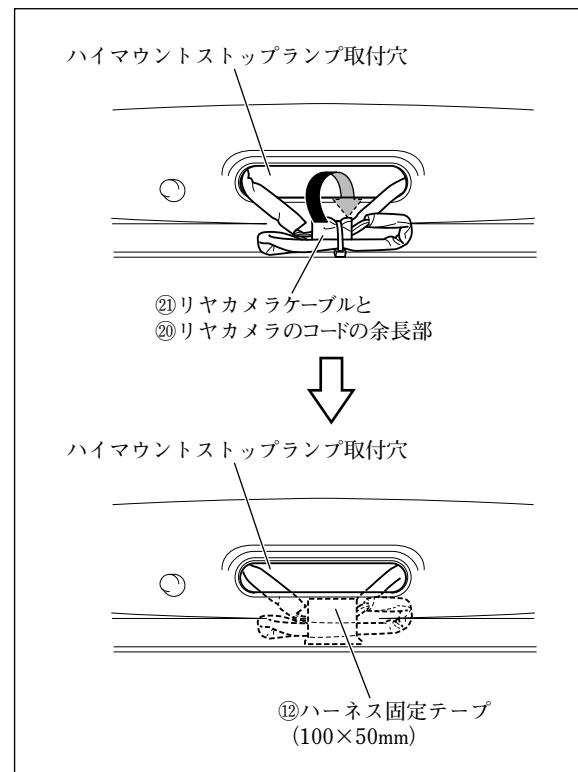
- (1) ②1リヤカメラケーブルのコネクターと②0リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



②1リヤカメラケーブルと②0リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



⑪リヤカメラケーブルと⑩リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して⑪リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑫バンドクランプまたは⑬ハーネス固定テープで固定してください。

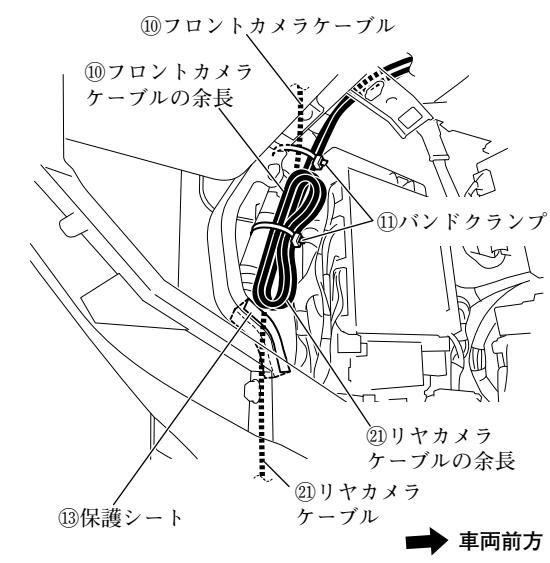
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部左



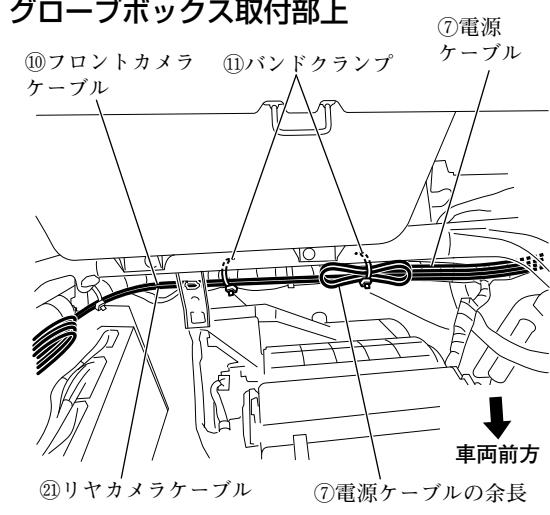
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

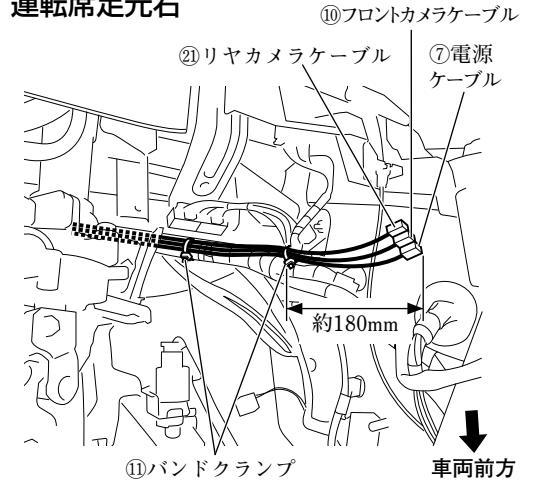
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

グローブボックス取付部上



2

運転席足元右



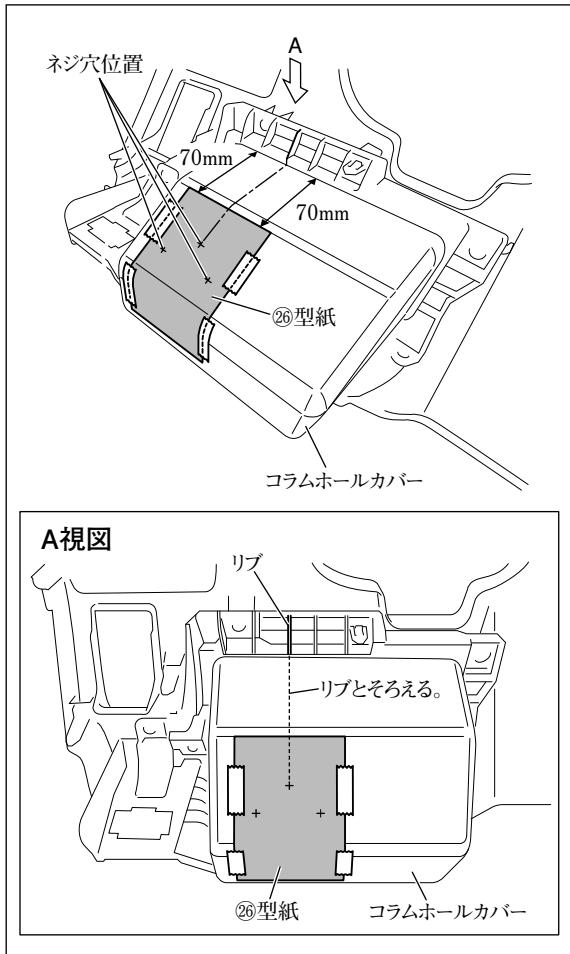
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

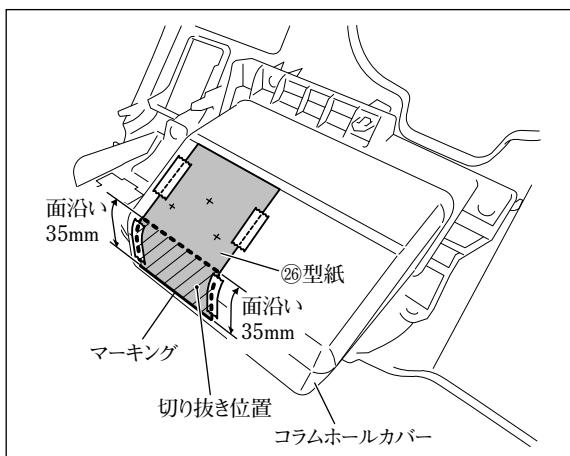
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置
へマーキングをしてください。

2

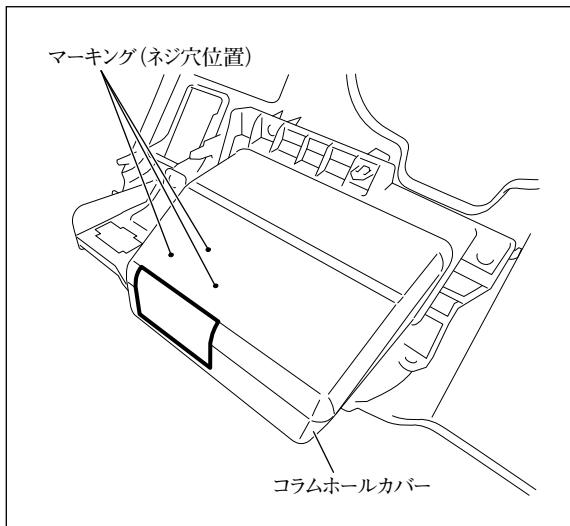


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキング
をしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキング
をしてください。

3



- ②⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

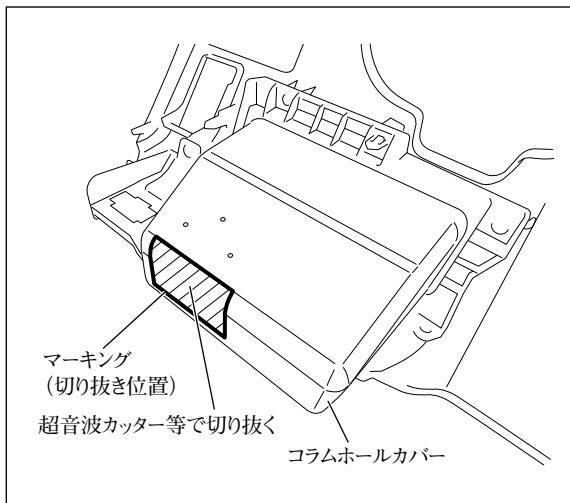
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

4



- (1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

注意

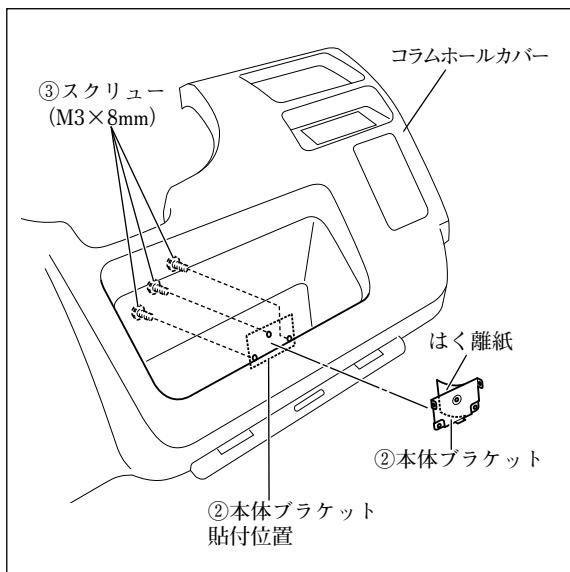
穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

5

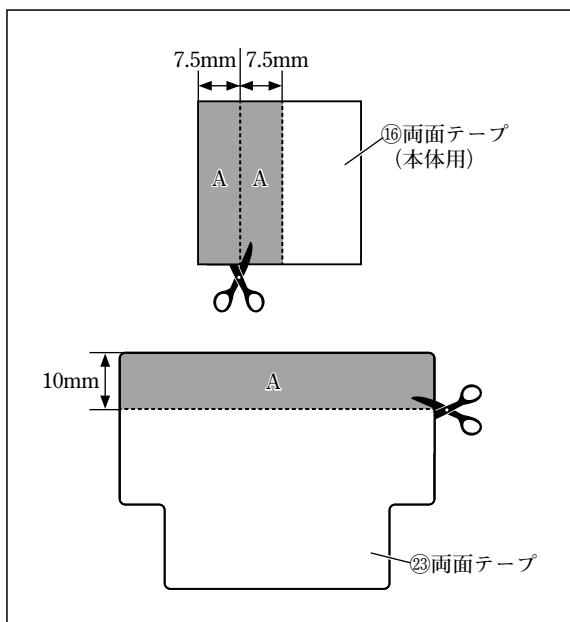


- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

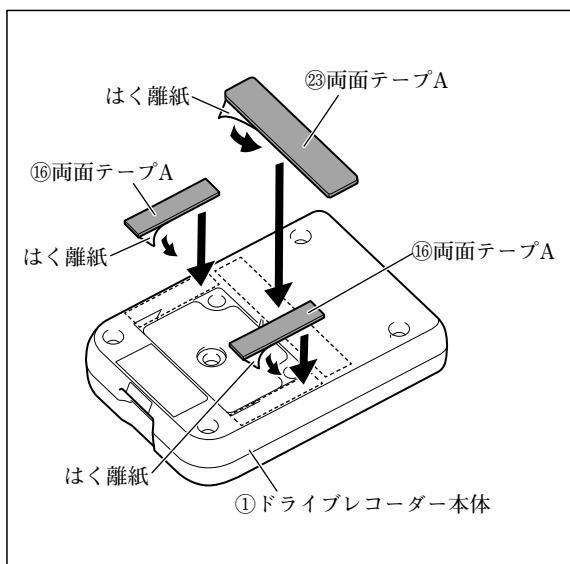
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

6



- ⑯両面テープ（本体用）と⑯両面テープを図のようにカットしてください。

7

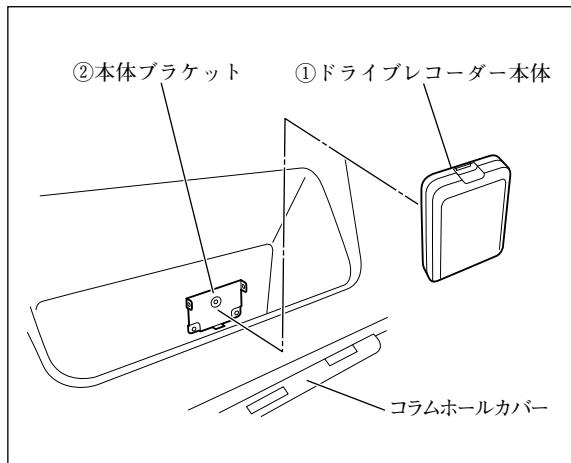


カットした⑯両面テープ（本体用）と⑯両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



- (1) ① ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ① ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、② 本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ① ドライブレコーダー本体、③ 両面テープおよび⑯ 両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

- (3) ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ① ドライブレコーダー本体にすべてのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ジムニー／ジムニーシエラの場合

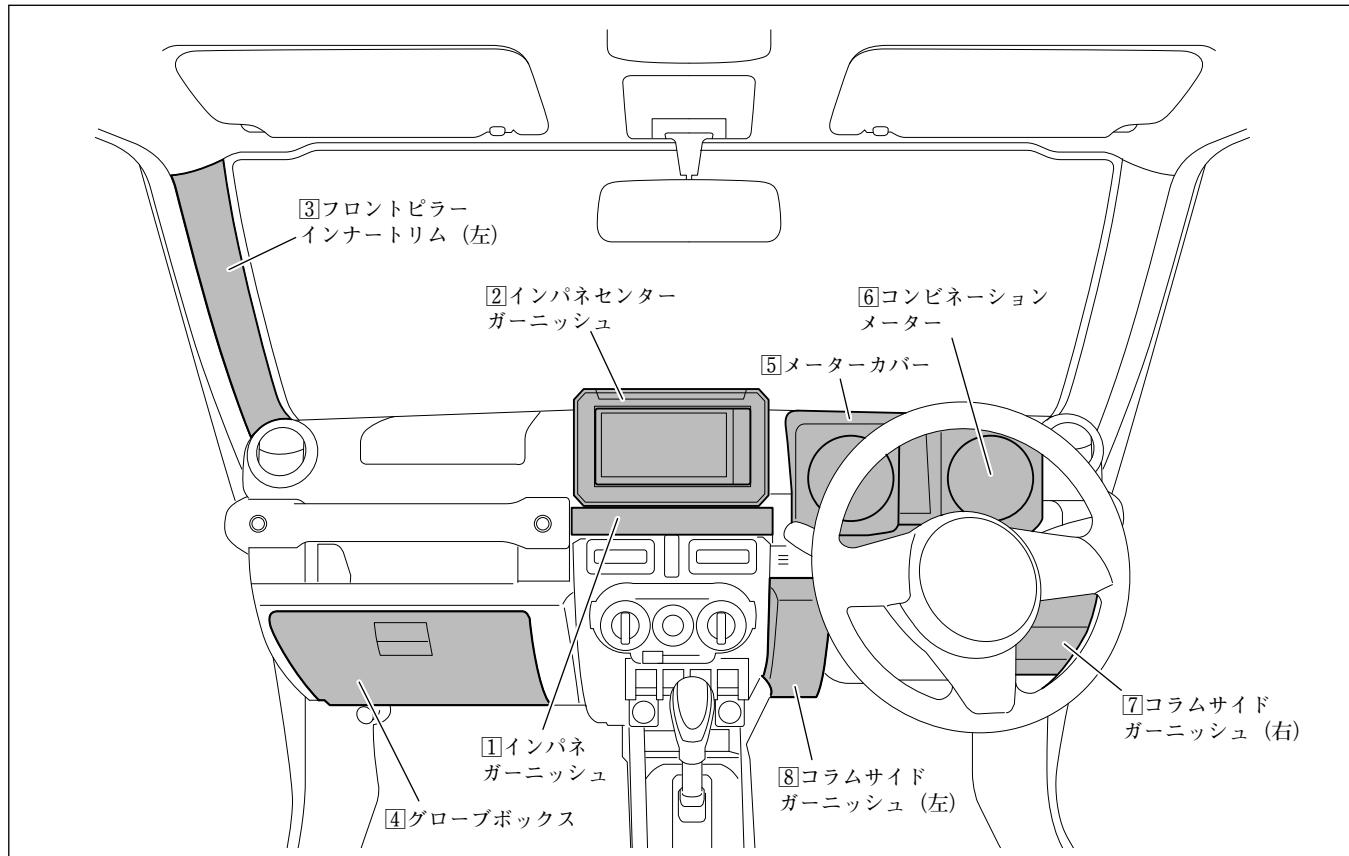
●車両部品の取り外し方法

注記

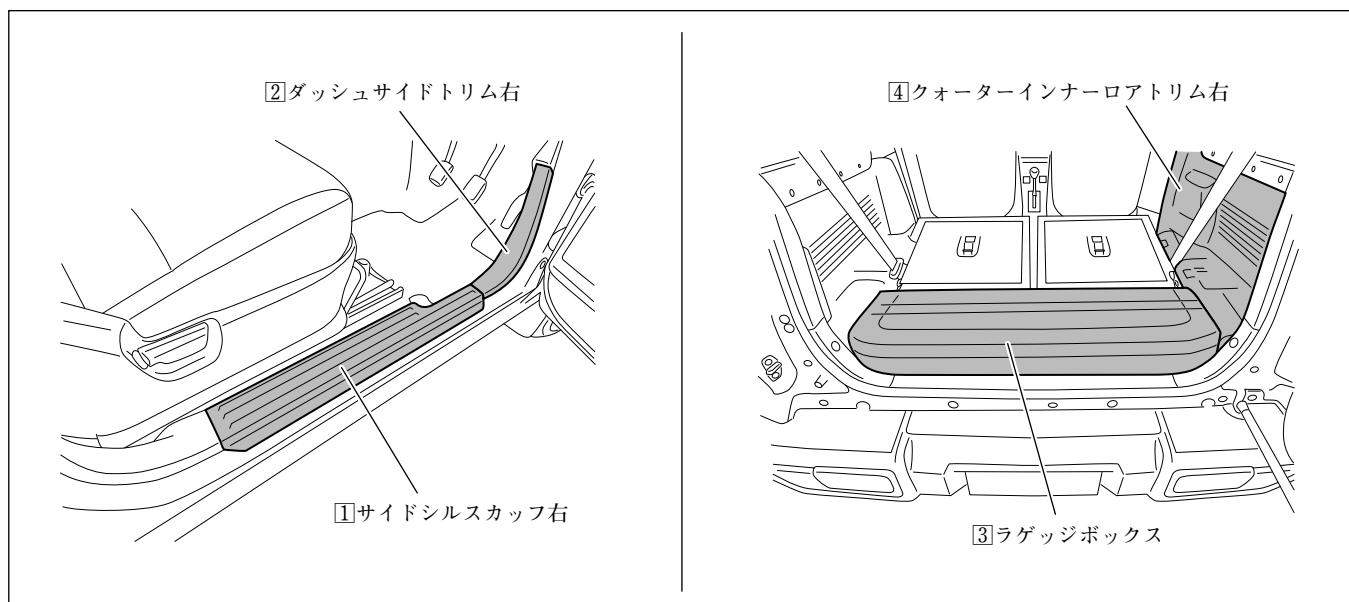
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

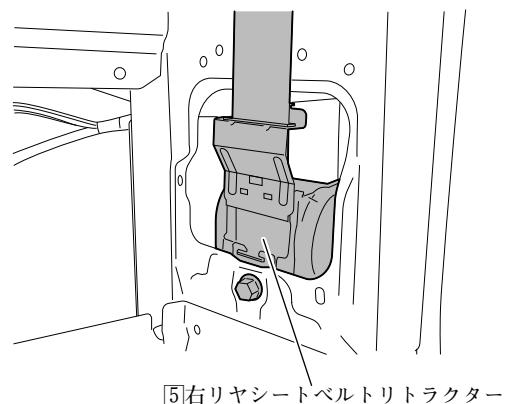
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

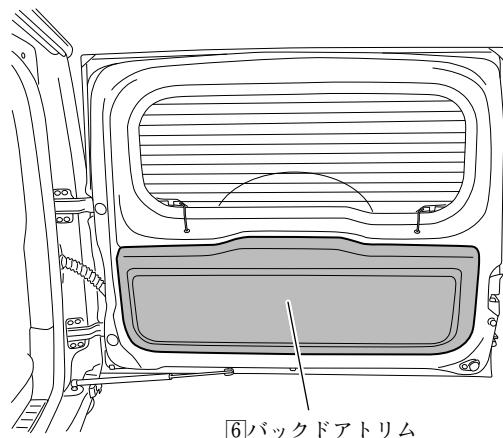


リヤカメラ

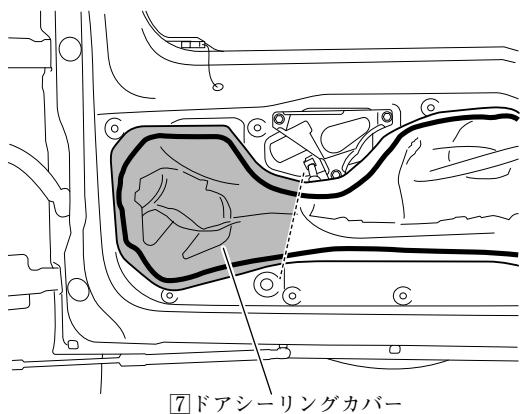




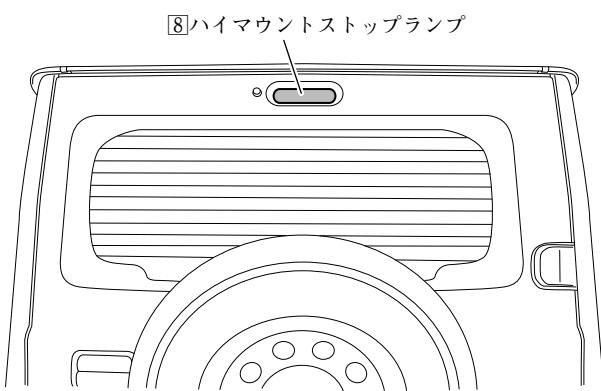
⑤右リヤシートベルトリトラクター



⑥バックドアトリム



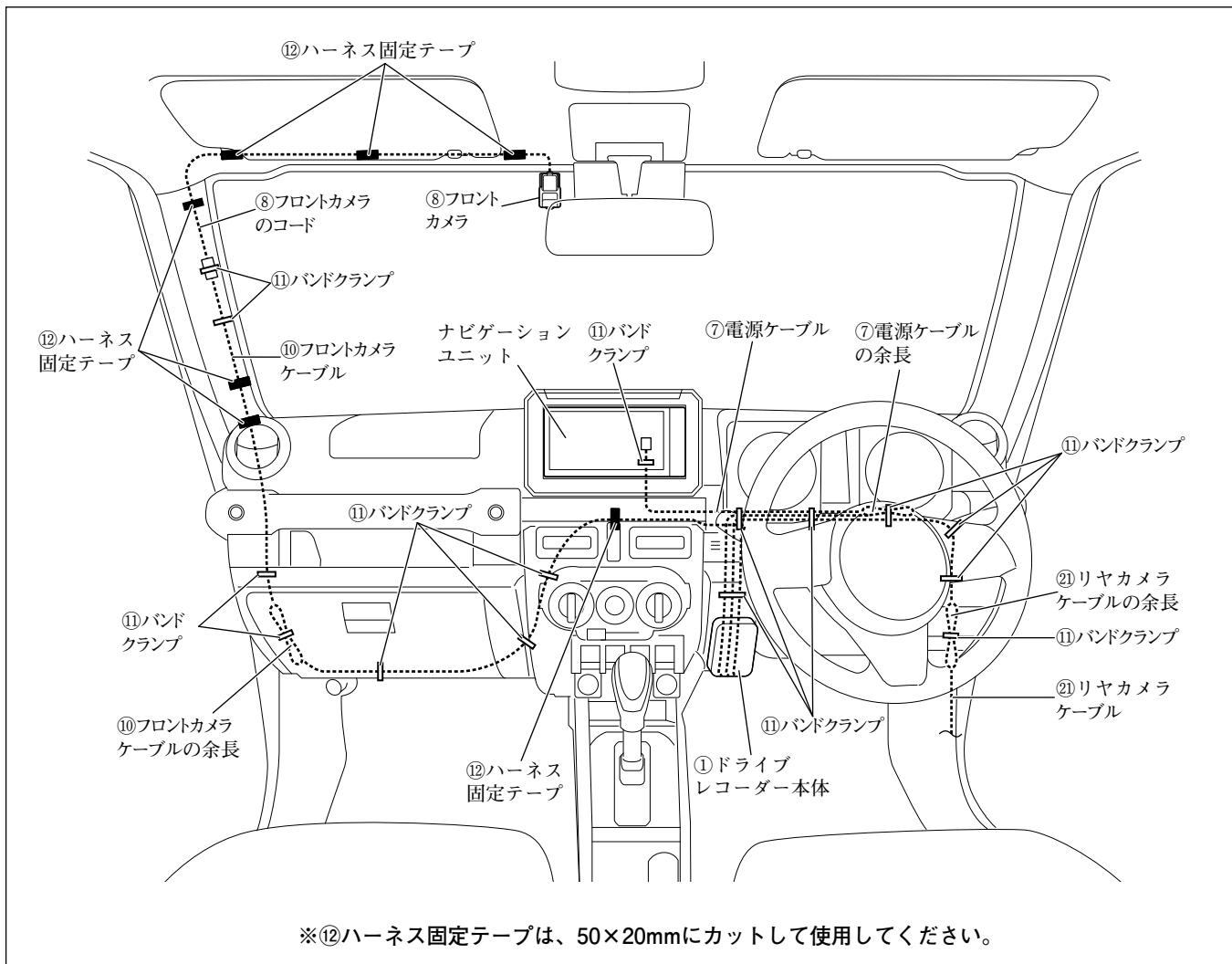
⑦ドアシーリングカバー



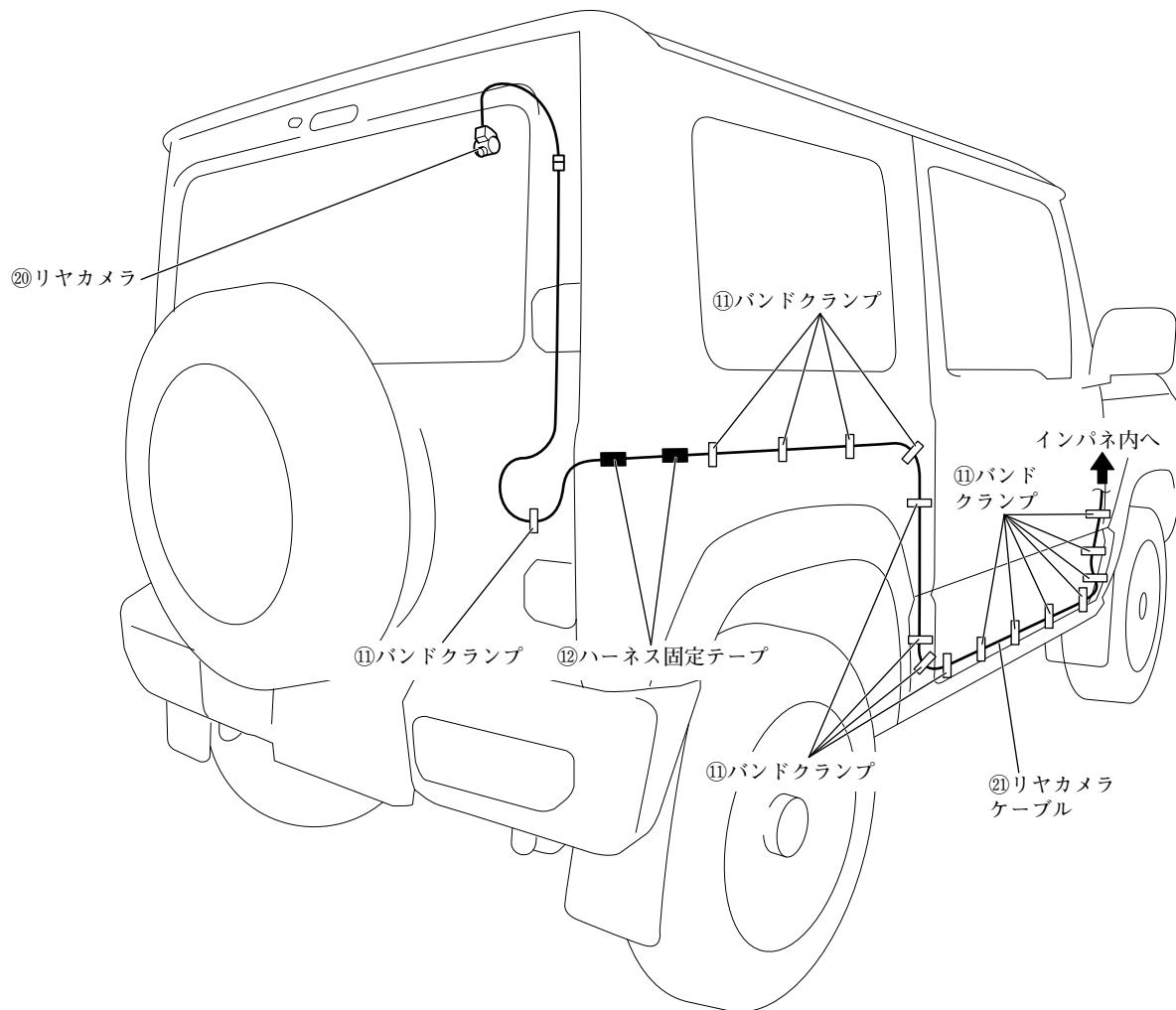
⑧ハイマウントストップランプ

●取付概要

フロントカメラ



リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



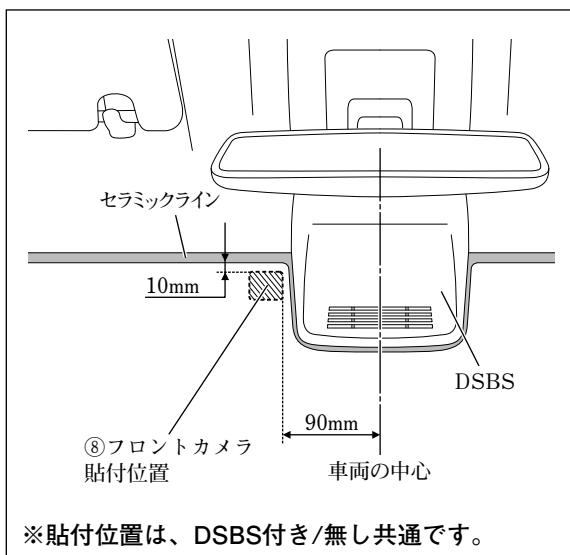
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

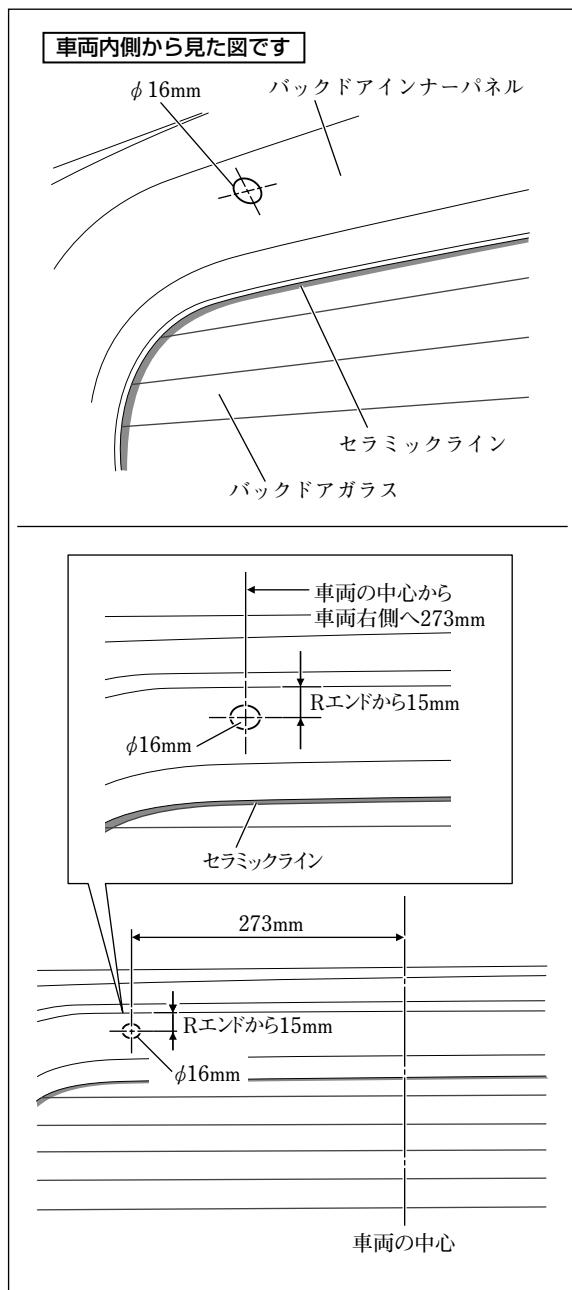
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネルの図示箇所に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

⚠ 警告

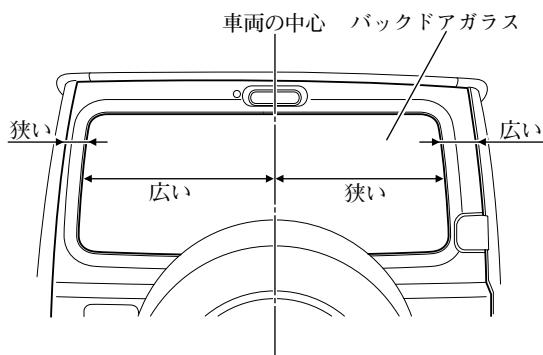
穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- バックドアガラスは、車両の中心ではありません。バックドアガラスを車両の中心として取り付けを行うと、正しい位置へ取り付けが出来なくなります。

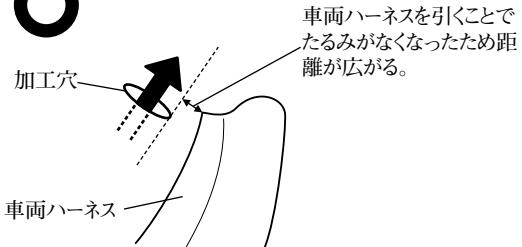


- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストップ (布テープ等) を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

⌚ アドバイス

車両ハーネスを引っ張り、たるみをなくすことでのホールソーとの距離を広げることができます。

ハイマウントストップランプ取付穴から加工穴裏側を見た図です



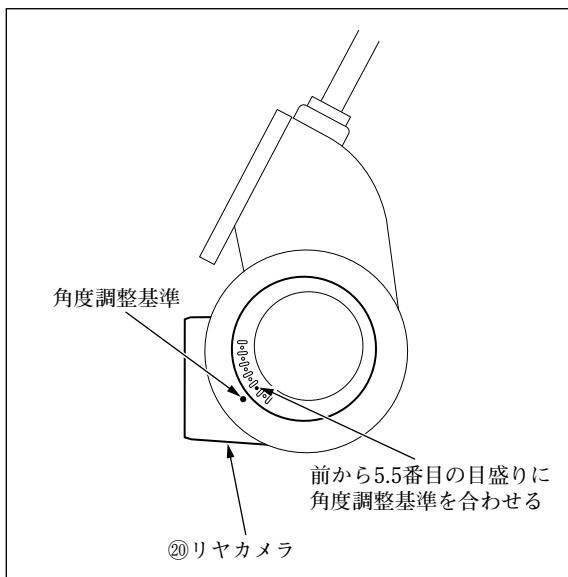
(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



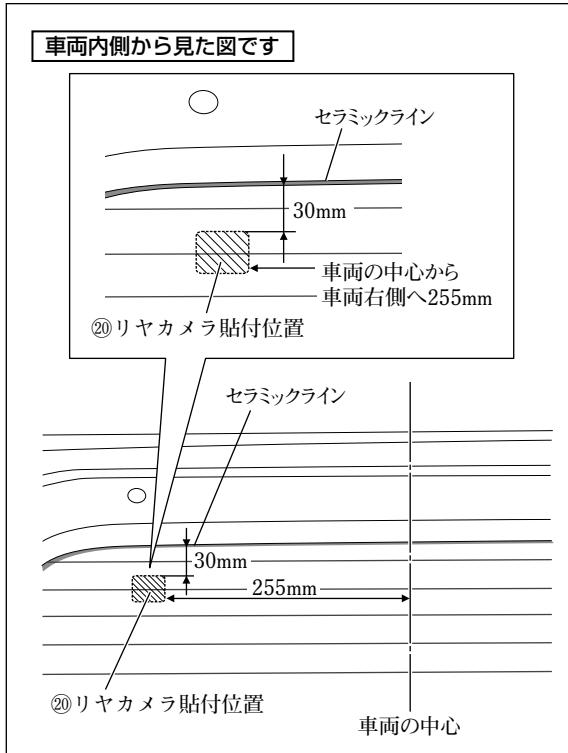
②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

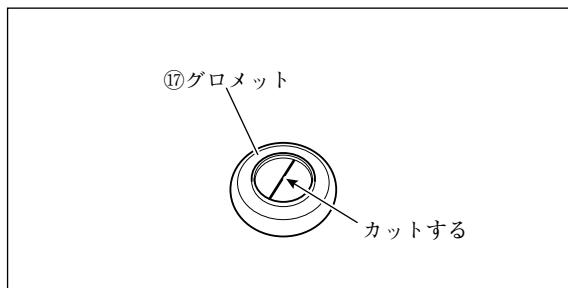


(20)リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

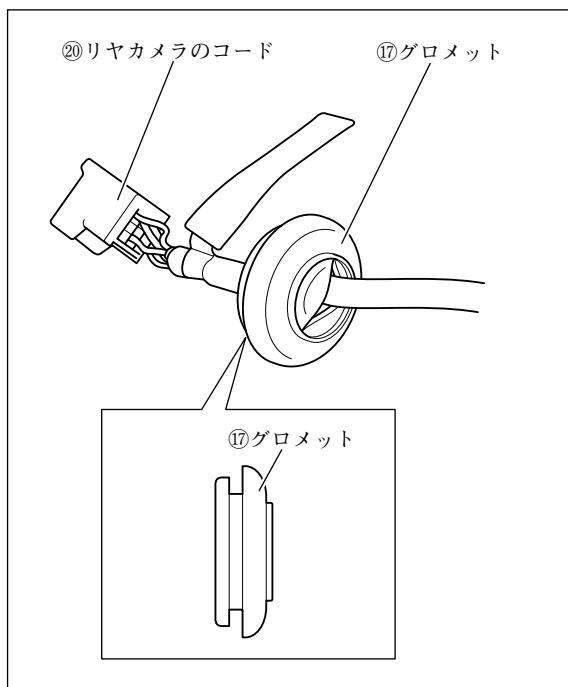
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち(20)リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、(20)リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と(20)リヤカメラの両面テープ部を温めながら貼り付け作業を行ってください。

2



(17)グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

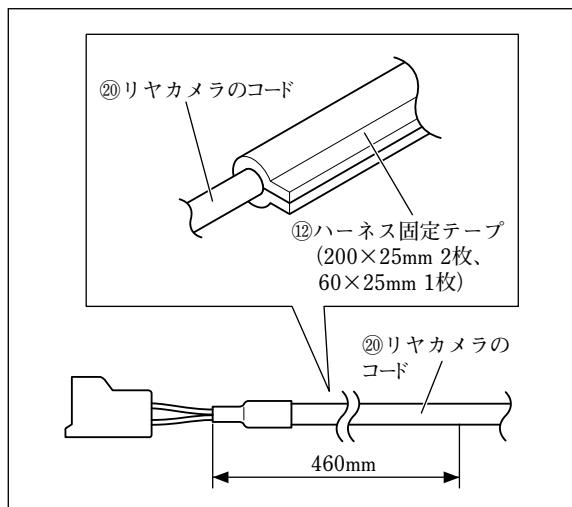


(17)グロメットを(20)リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

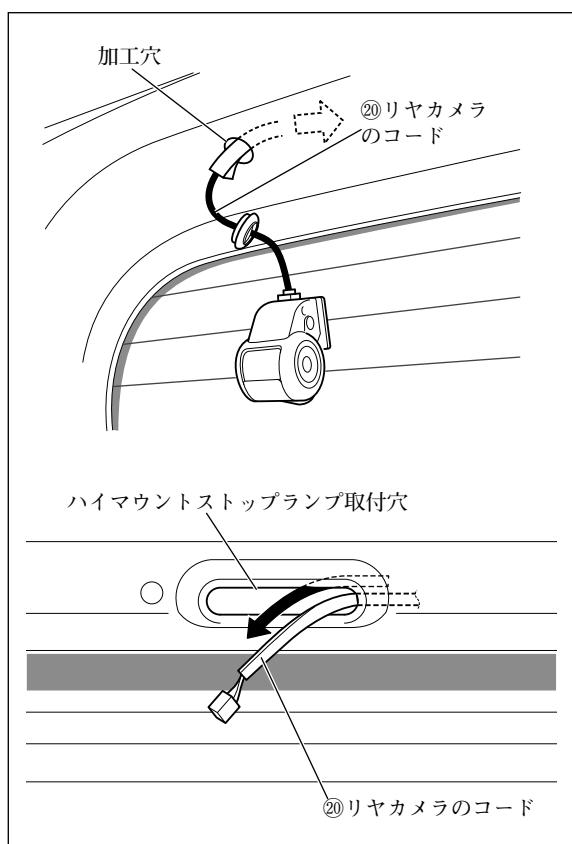
- (17)グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、(20)リヤカメラのコードを(17)グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



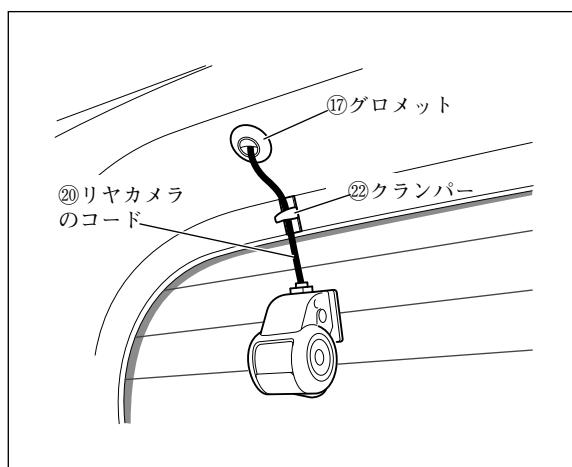
⑫ハーネス固定テープを②②リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②②リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



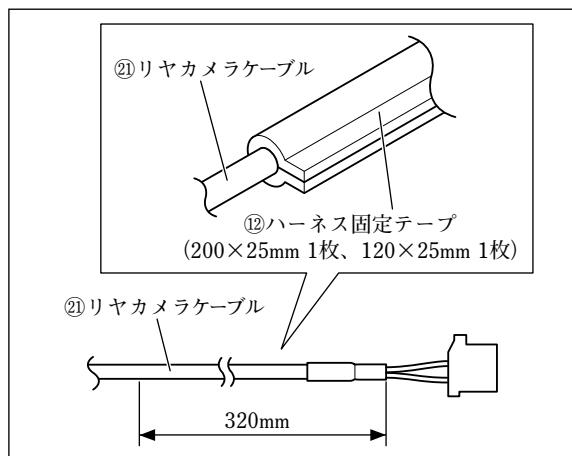
- (1) ⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ⑰クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑰クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

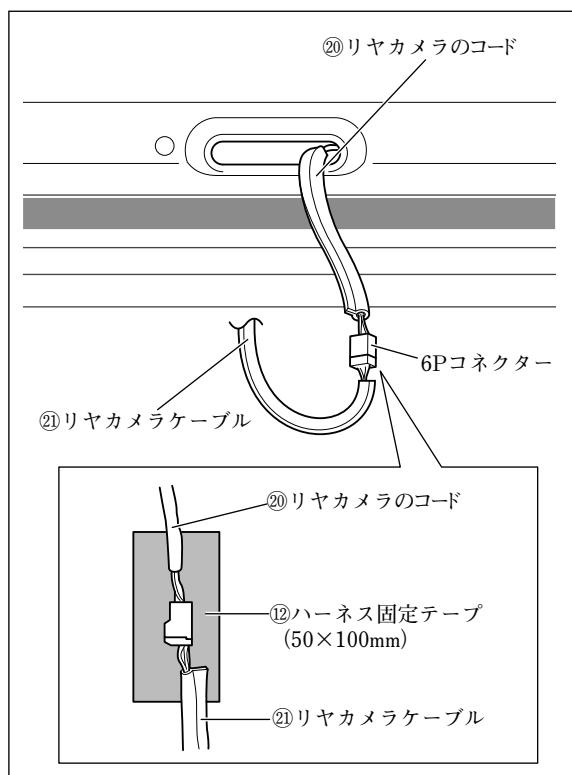
●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1



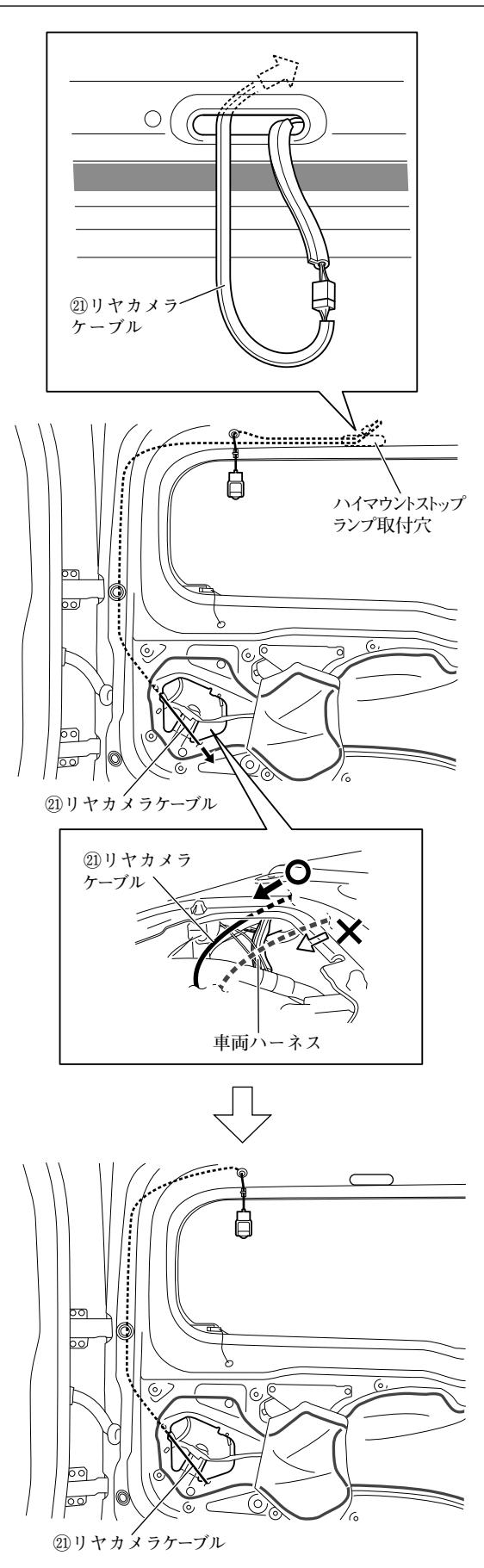
⑫ハーネス固定テープを②1リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

2



- (1) ②1リヤカメラケーブルのコネクターと②0リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）」参照)

3

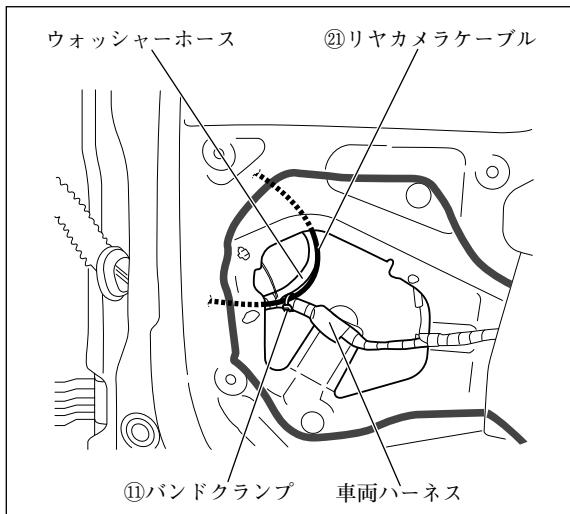


針金等を使用して②①リヤカメラケーブルをハイマウントストップランプ取付穴からバックドア下部へバックドアパネル内に通してください。

注記

- ②①リヤカメラケーブルは、車両ハーネスに沿った所を通してください。
- ②①リヤカメラケーブルおよび②①リヤカメラのコードのたるみがなくなるまで引き込んでください。

4

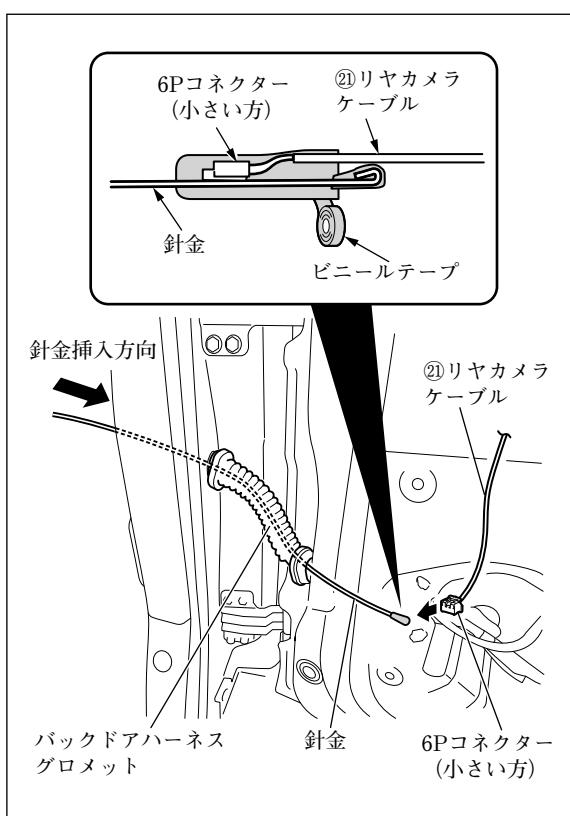


- ⑪ バンドクランプで②リヤカメラケーブルを車両ハーネスに固定してください。

注記

ウォッシャーホースには固定しないでください。

5



- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

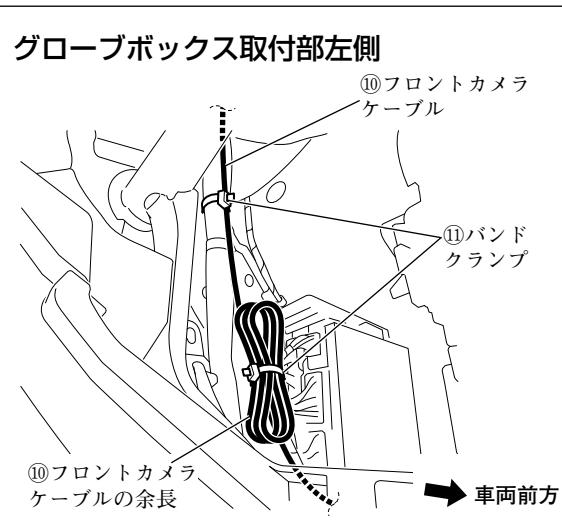
「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

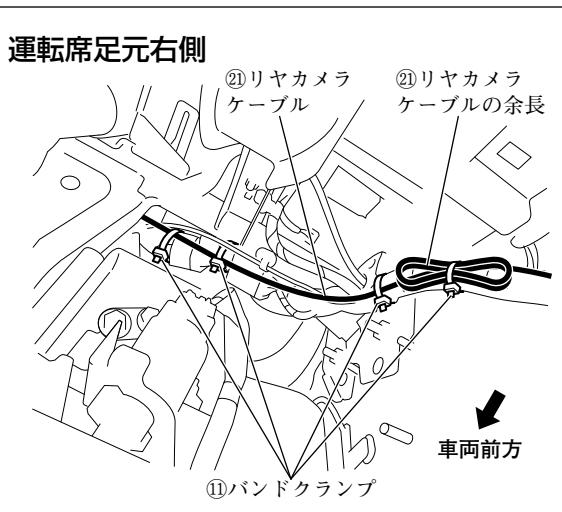
1



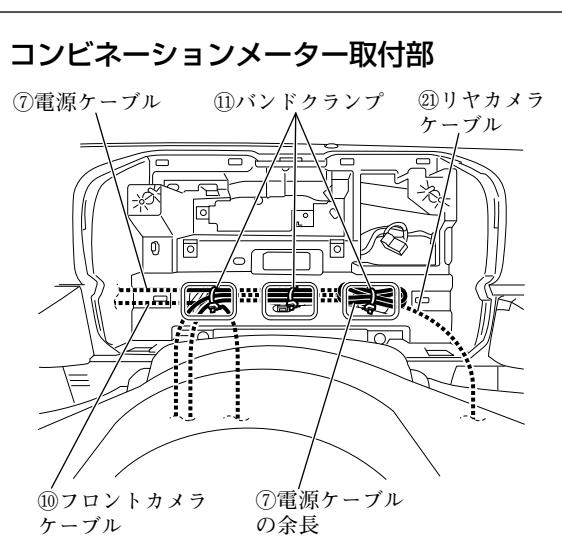
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

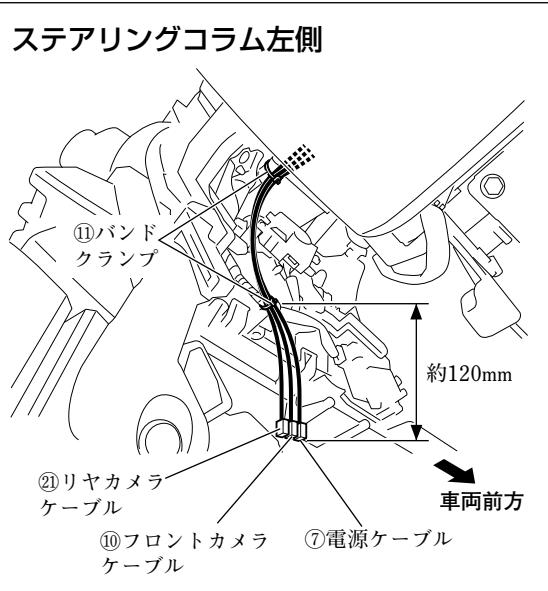
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



2



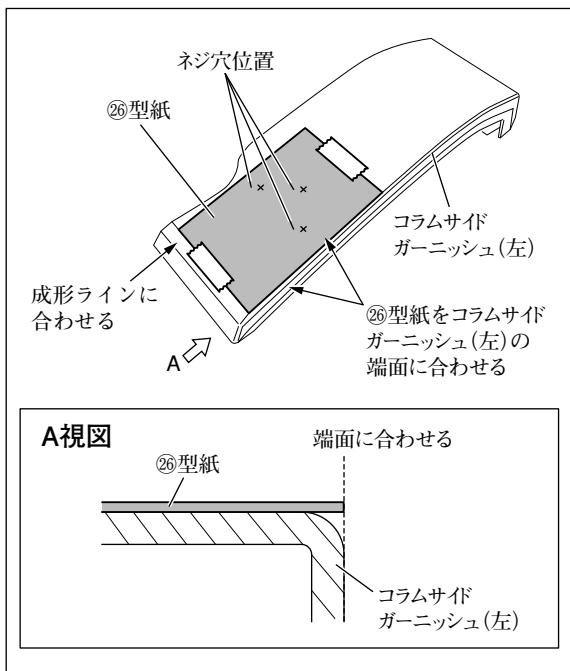
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。

1



- (1) コラムサイドガーニッシュ（左）へ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークイングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マークイングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

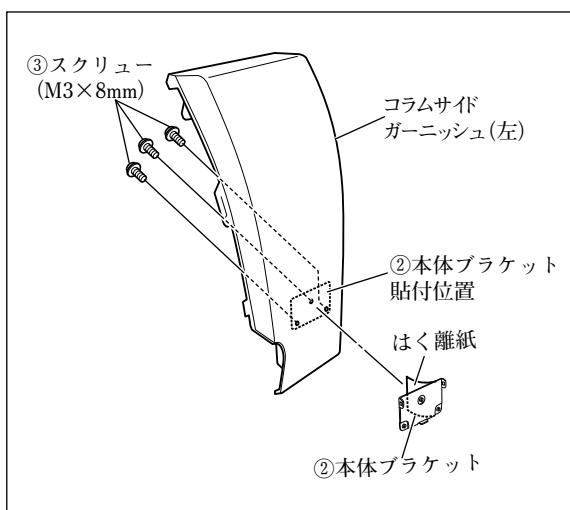
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

2

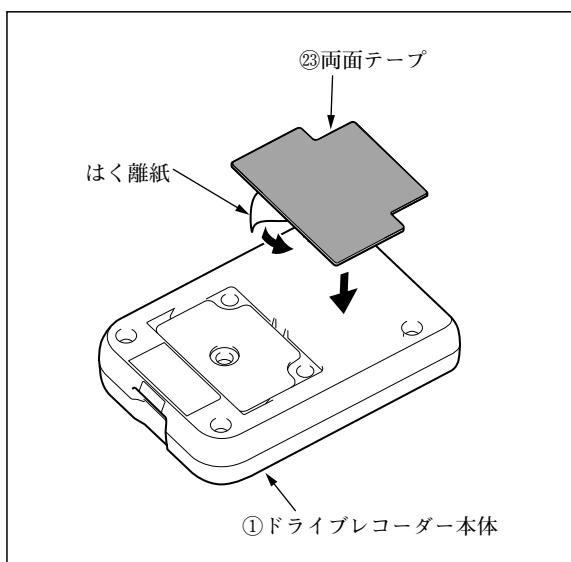


- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) コラムサイドガーニッシュ（左）の図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

3

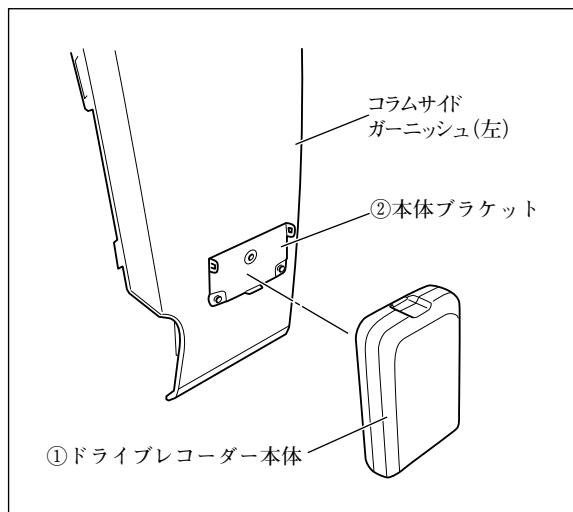


㉓両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

4



- (1) ① ドライブレコーダー本体および③両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (2) ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (3) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。「接続のしかた」参照

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ラパンの場合

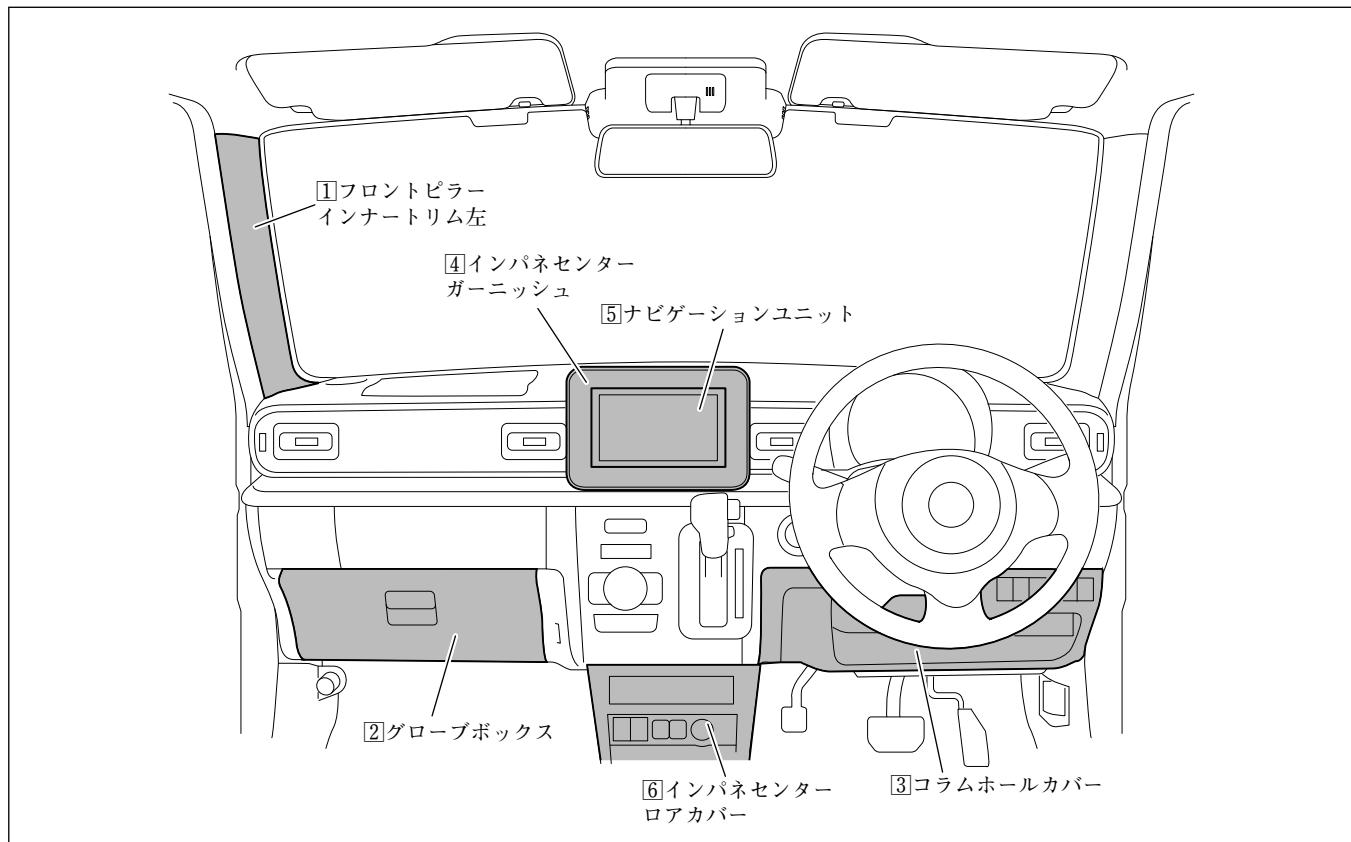
●車両部品の取り外し方法

注記

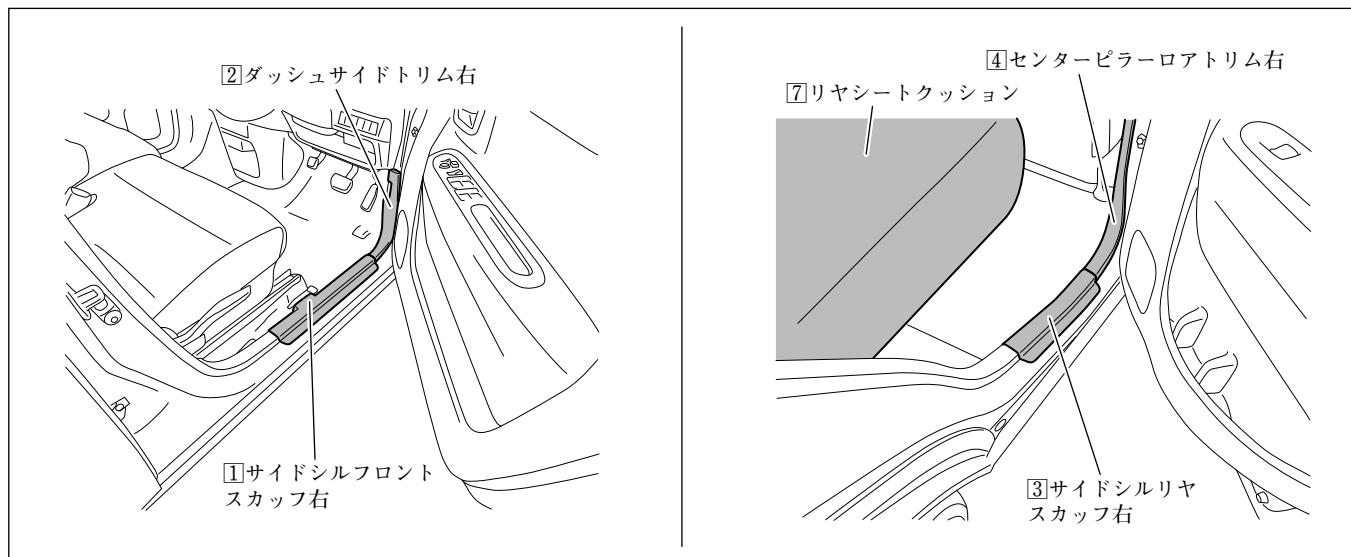
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

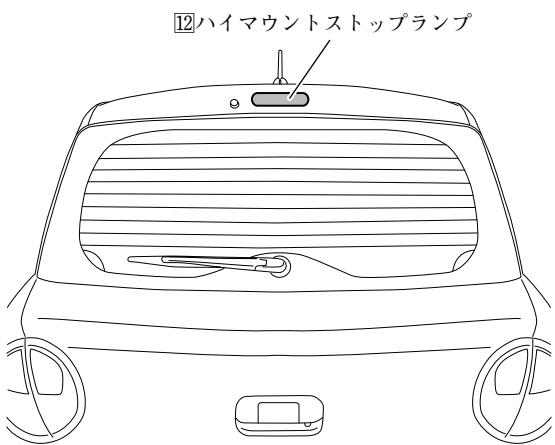
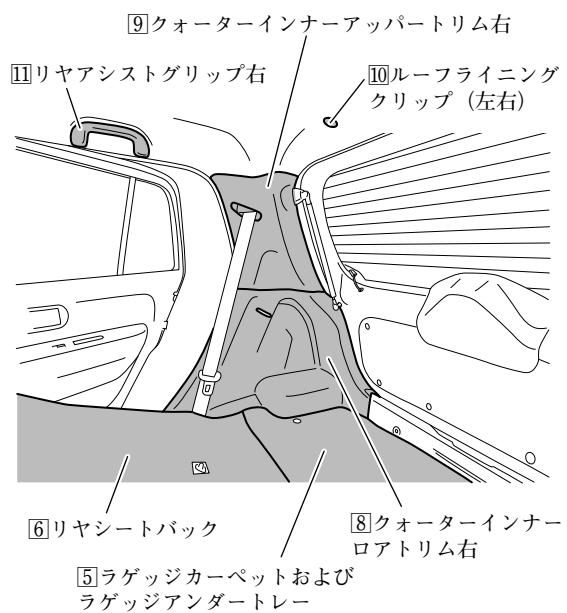
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ



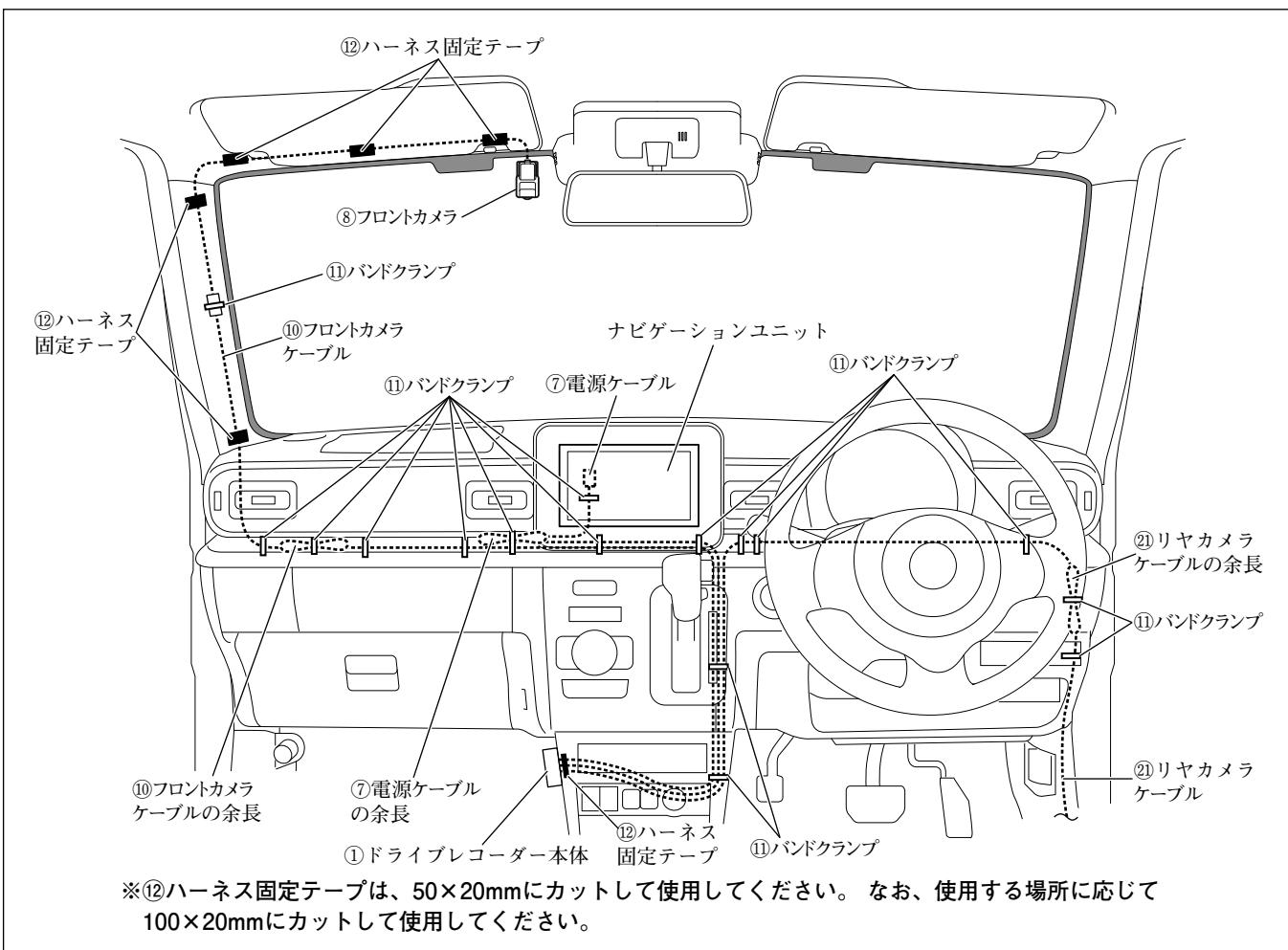
リヤカメラ



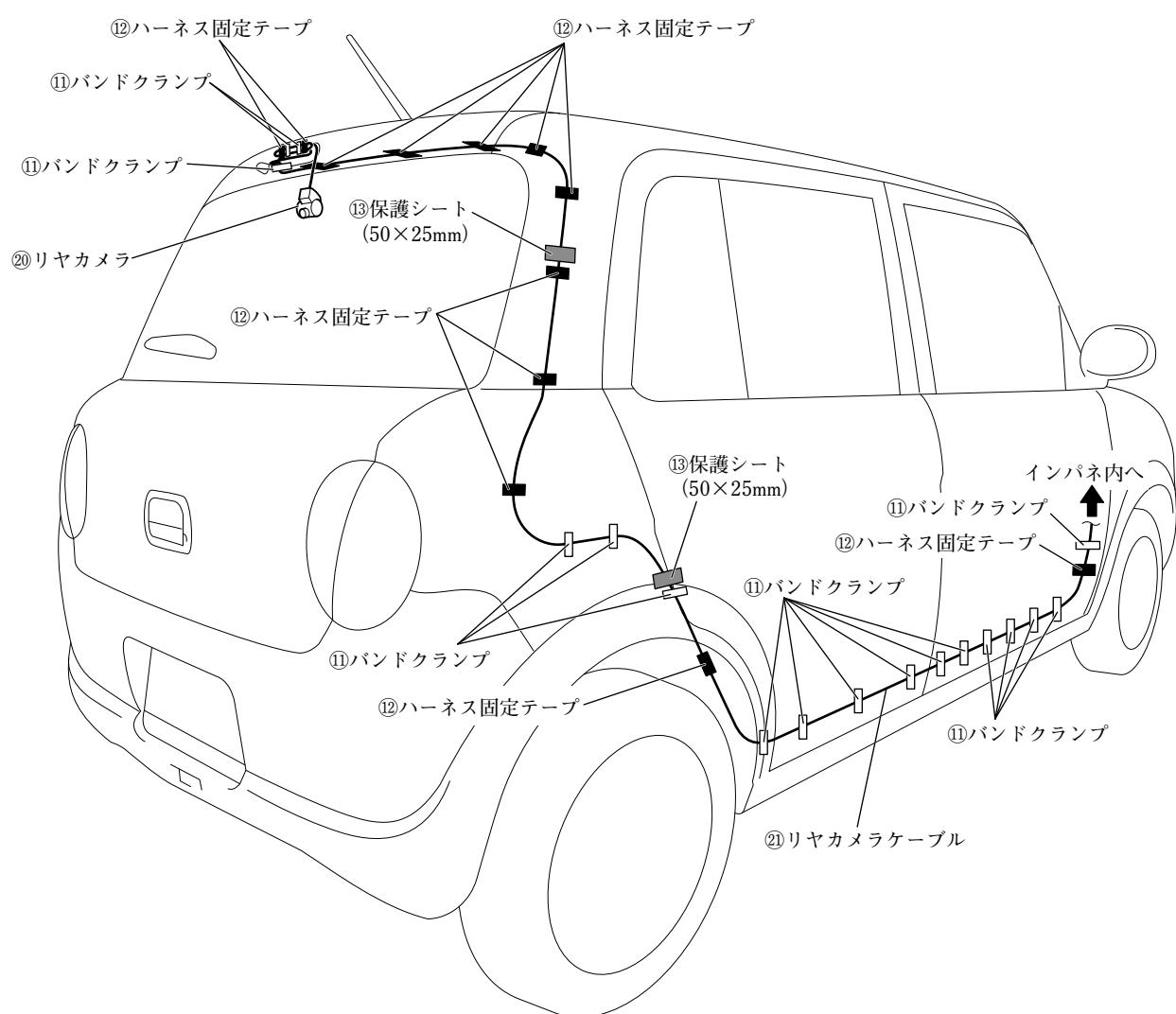


●取付概要

フロントカメラ



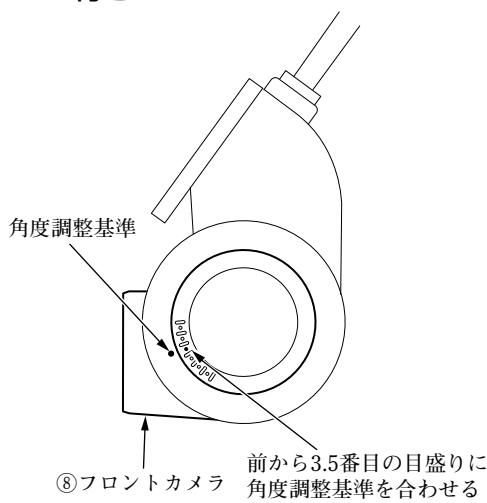
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1 DCBS 付き

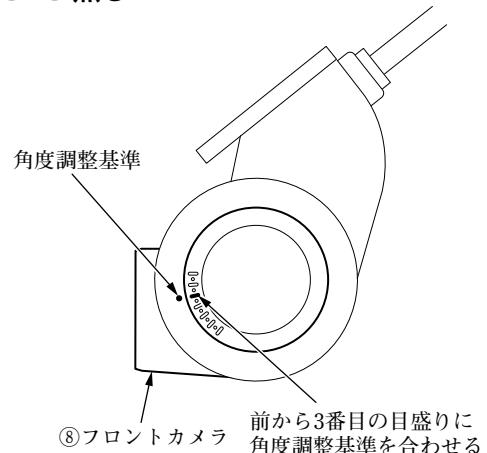


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、
カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを
確認してください。

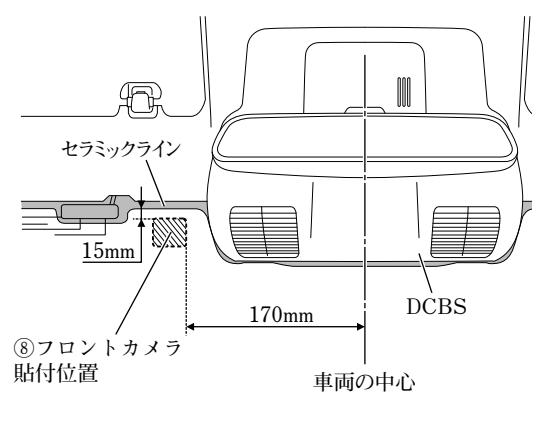
DSBS 付き DSBS 無し



※角度は、DSBS付き/無し共通です。

● フロントカメラの取付方法

1 DCBS 付き

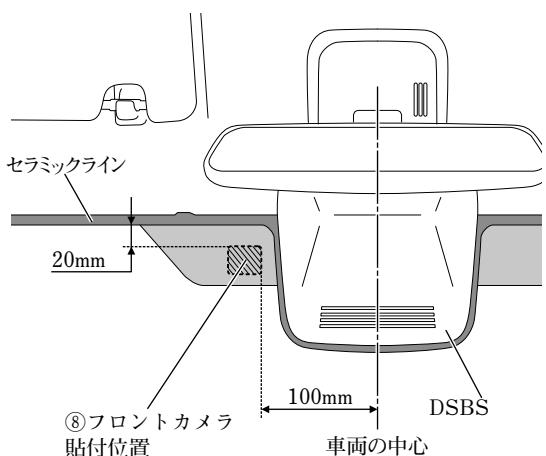


⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

DSBS 付き DSBS 無し



※貼付位置は、DSBS付き/無し共通です。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

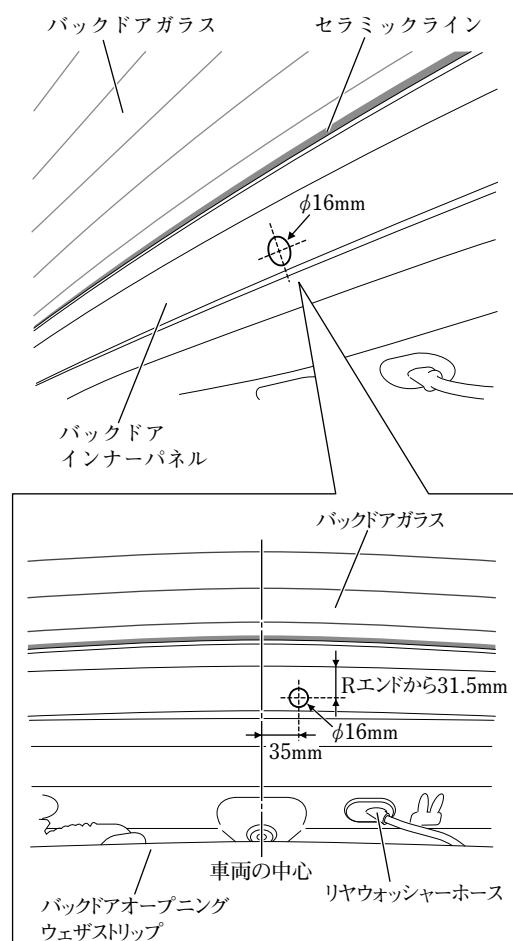
注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1

バックドア上部中央



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- 穴貫通時にパネルの切れ端がハイマウントストップランプ取付穴から飛び出しあります。テープ等で一時的にハイマウントストップランプ取付穴を塞いだ状態で穴開けを行ってください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

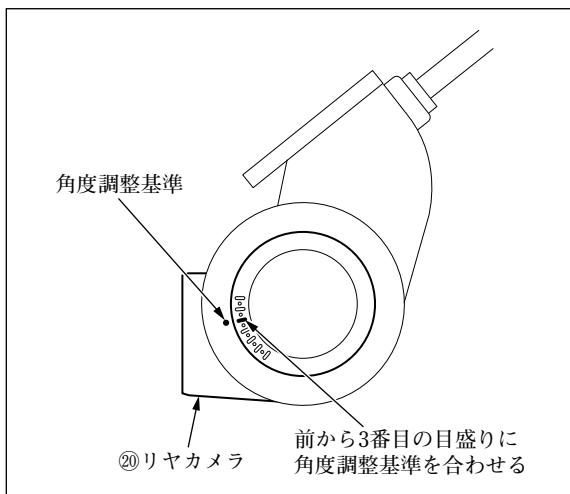
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



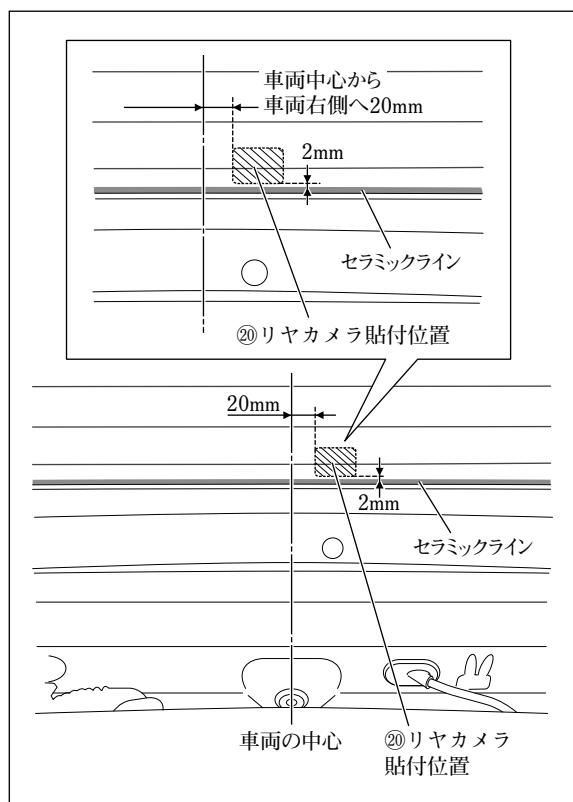
②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

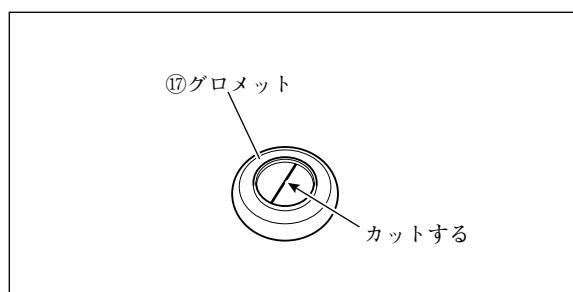


⑩リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

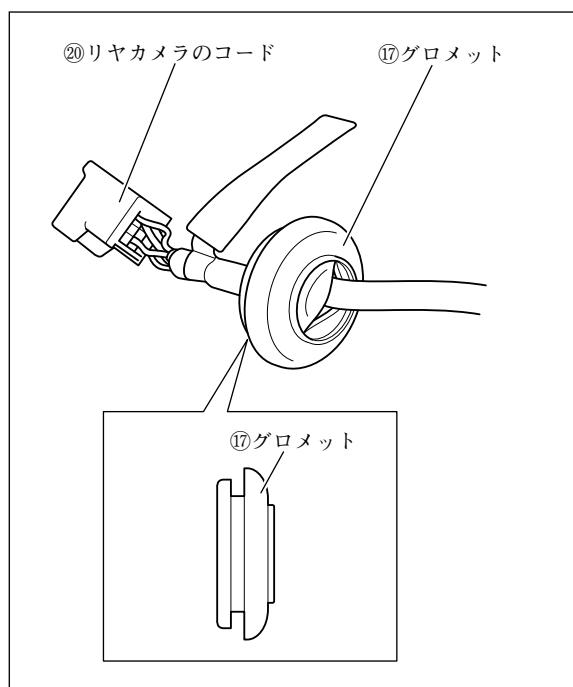
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑩リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑩リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑩リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

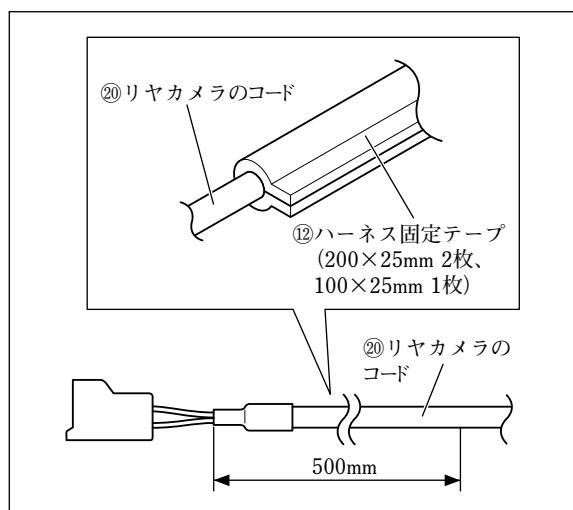


⑯グロメットを⑩リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

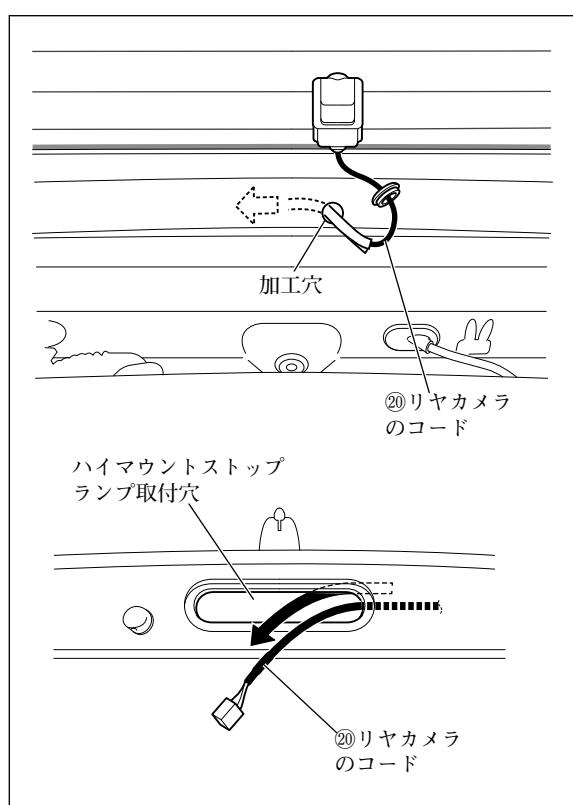
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑩リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



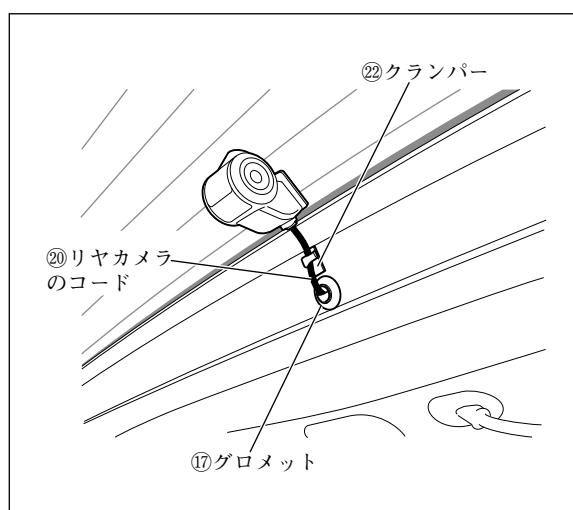
⑫ ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②ⓧリヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



(1) ⑯ グロメットを加工穴に取り付けてください。

(2) ⑫ クランパーで②ⓧリヤカメラのコードを固定してください。

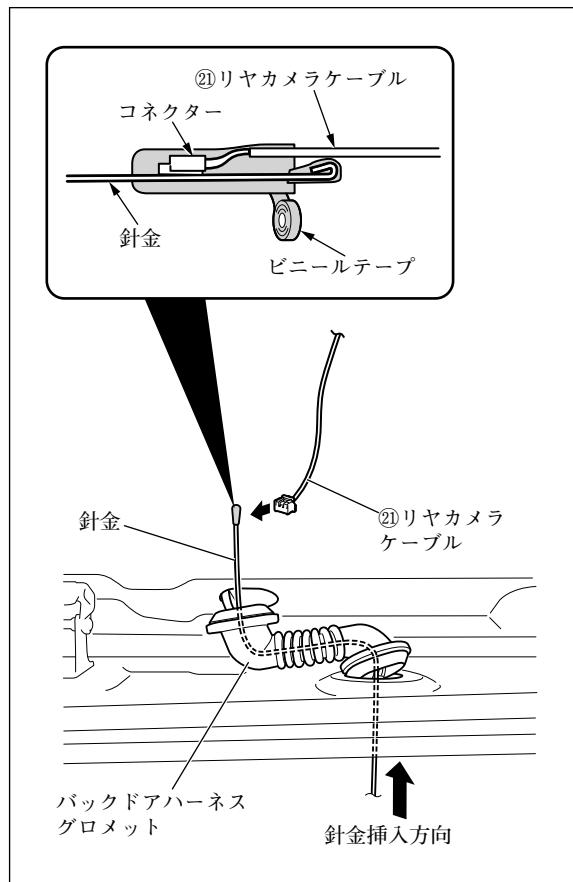
注記

- ⑫ クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。

- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

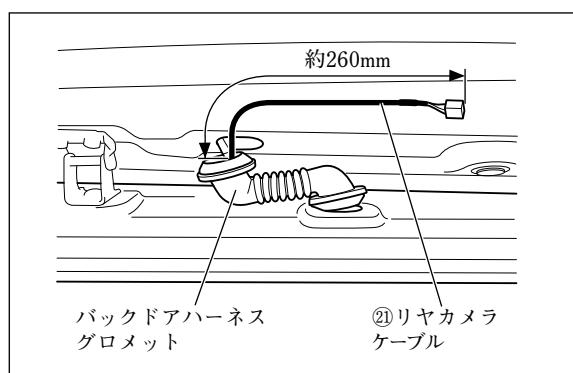


- (1) 针金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテapingをしてください。
- (2) 先端をテapingした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテapingしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

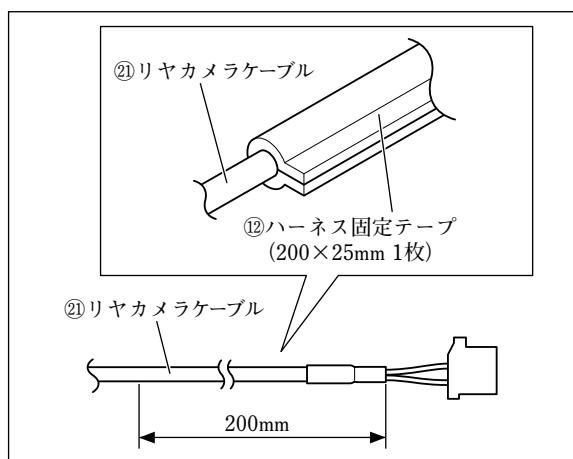
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテapingしてください。

2



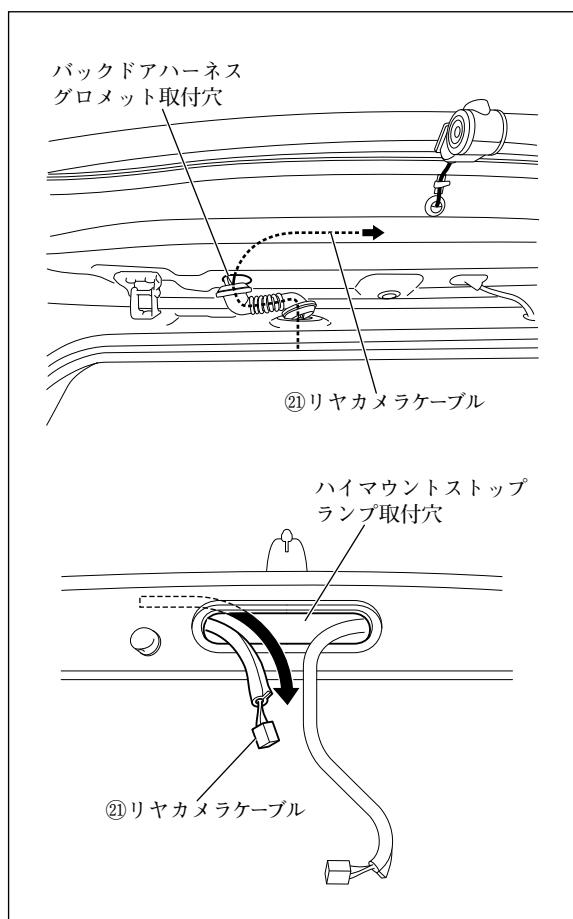
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



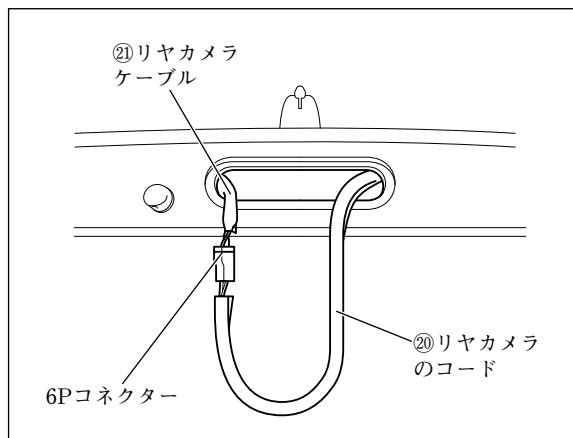
⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



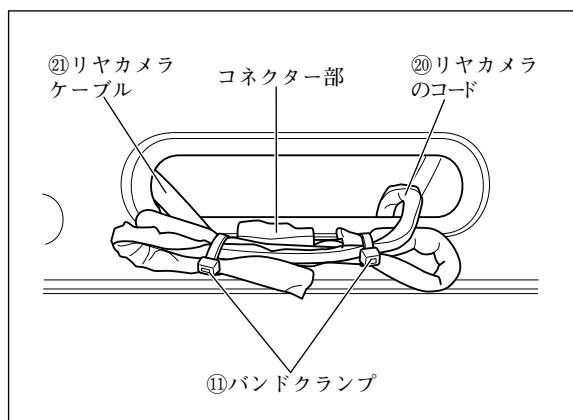
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



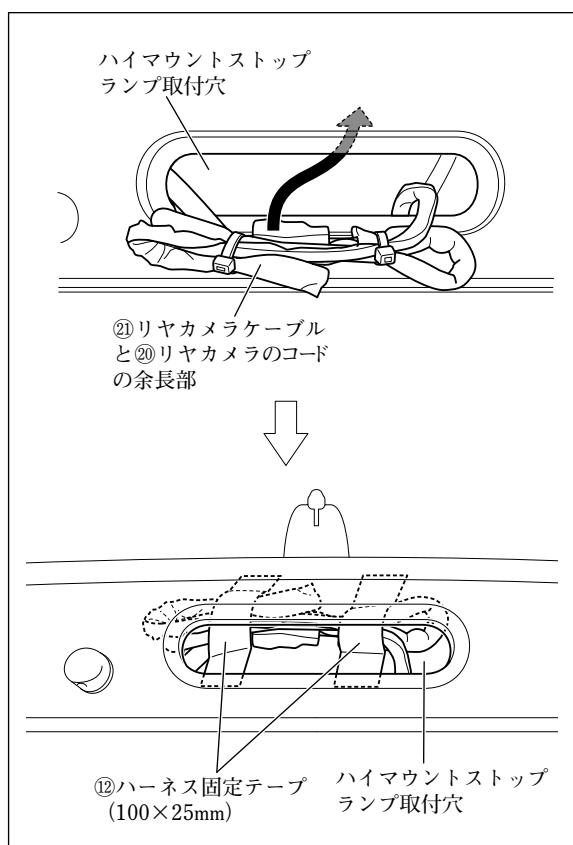
- (1) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



- ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



- ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して⑪リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

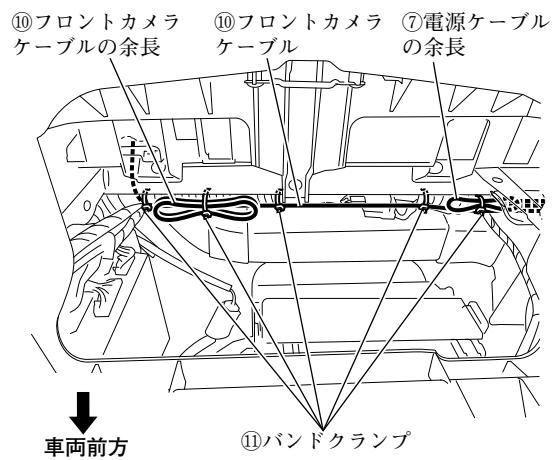
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部上



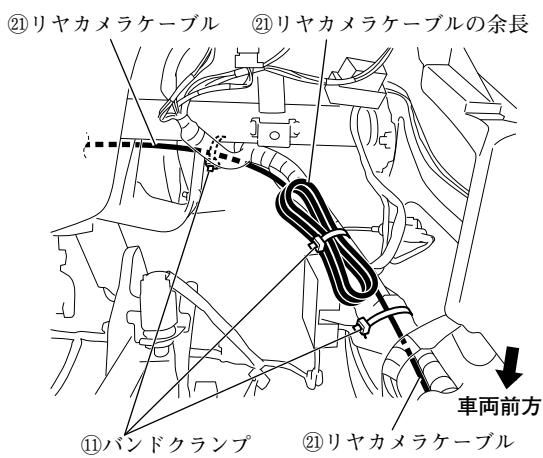
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

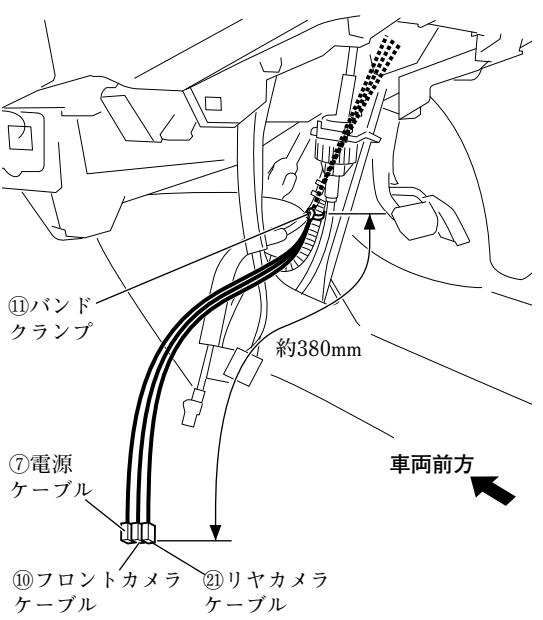
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席足元右上



2

インパネセンターロアカバー取付部



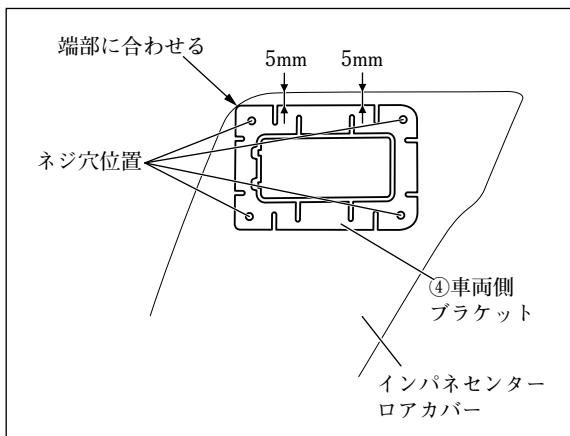
- ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用します。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴は加工しません。

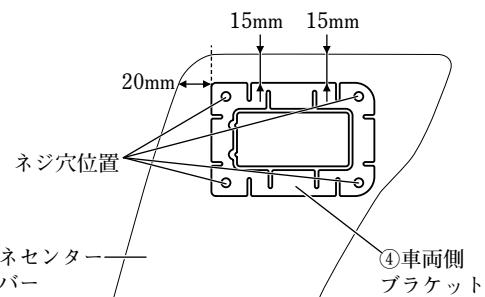
1



- (1) インパネセンターロアカバーへ④車両側ブラケットを当て、ネジ穴位置へマークングをしてください。

注記

- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。
- 本製品と別売のワイヤレスエンジンスターターを共着する場合は、アンテナ（別売品に同梱）取付位置が本製品の穴開け位置と干渉するため、下図の位置へと取付位置を変更してください。



- (2) ④車両側ブラケットを外し、マークングした位置にドリルで穴（φ3mm）を開けてください。

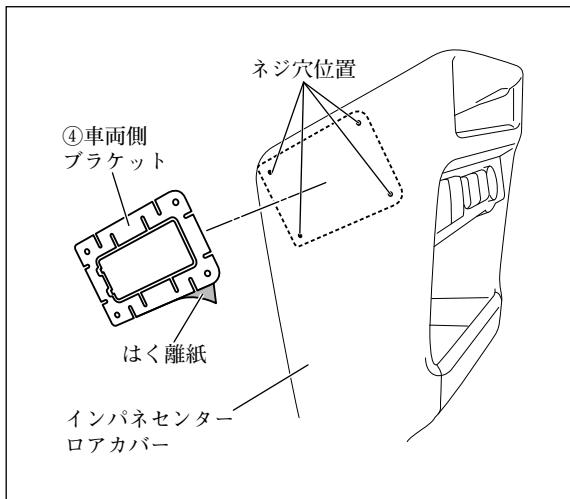
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

2

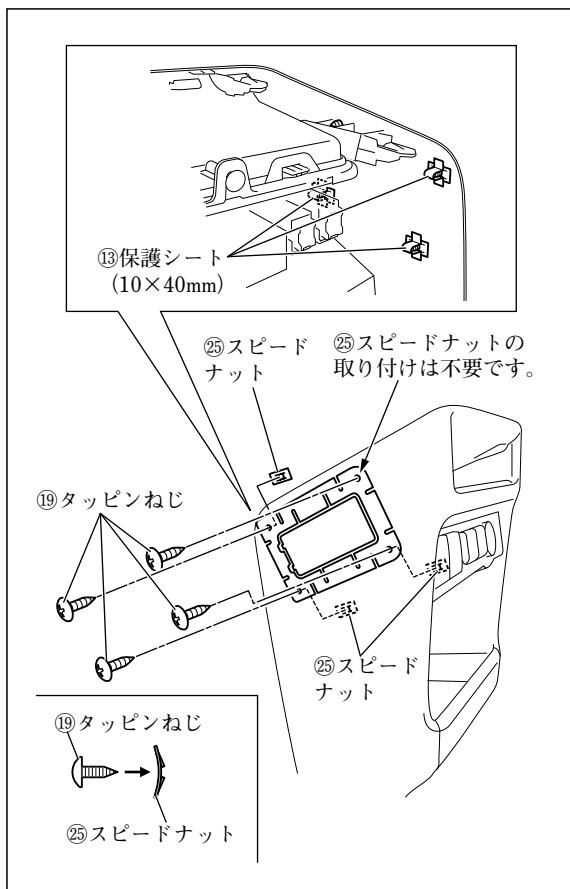


- (1) ⑯両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
- (2) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (3) ネジ穴位置が合うように④車両側ブラケットを貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。

3



- (1) ⑯スピードナット（3個）および⑯タッピンねじ（4本）で④車両側ブラケットを固定してください。

注記

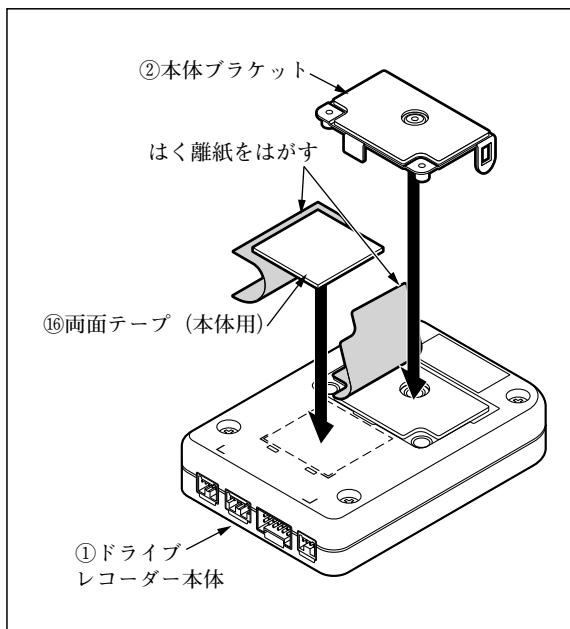
- ⑯スピードナットは、図の向きで取り付けてください。
- 別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合は、⑯タッピンねじ（4本）全てへ⑯スピードナットを取り付けてください。

- (2) 図示位置の⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。

注意

必ず⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。指等が触れるところがあります。

4

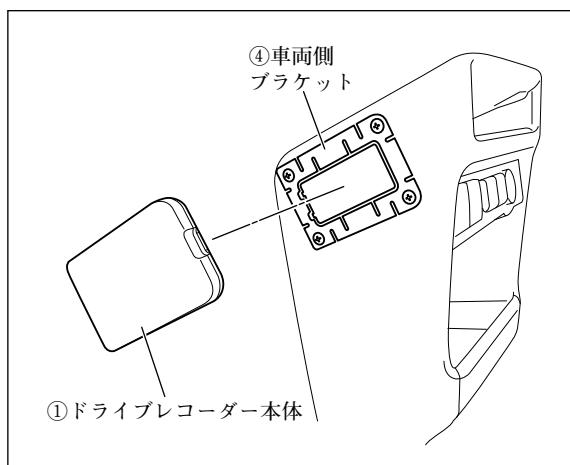


- (1) ① ドライブレコーダー本体と⑯ 両面テープ (本体用) のはく離紙をはがしてください。
- (2) ② 本体ブラケットと⑯ 両面テープ (本体用) を① ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

5

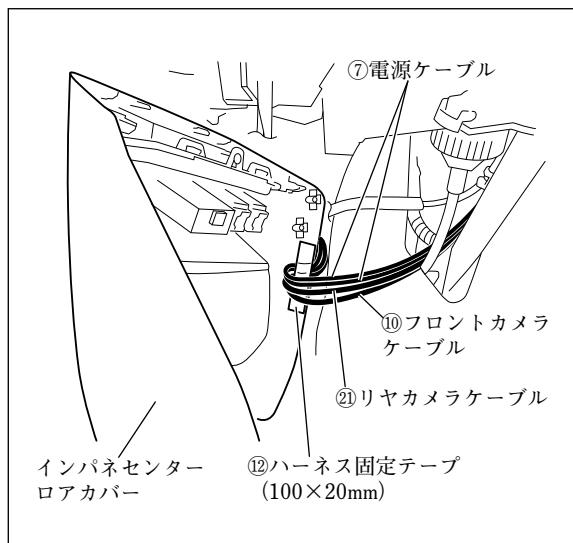


- (1) ① ドライブレコーダー本体に貼り付けた② 本体ブラケットおよび⑯ 両面テープ (本体用) のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (2) ① ドライブレコーダー本体を④ 車両側ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を④ 車両側ブラケットに貼り付ける際、取付穴をツメにはめ込んでください。

6



- (1) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、㉑リヤカメラケーブルを⑫ハーネス固定テープで固定しながらインパネセンターロアカバーを復元してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(20°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- インパネセンターロアカバーの復元時、インパネと⑯タッピンねじが干渉しないように位置を調整しながらクリップをしっかりととかん合させてください。

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スペーシア／スペーシアベースの場合

本書に記載の取付位置は推奨となります。他の用品と取付位置が重なる場合、取付位置の調整をしてください。

注記

別売のETC2.0車載器をビルトイン取付キットを使用せずに取り付ける場合は、ETC2.0車載器本体をグローブボックス内に取り付けてください。

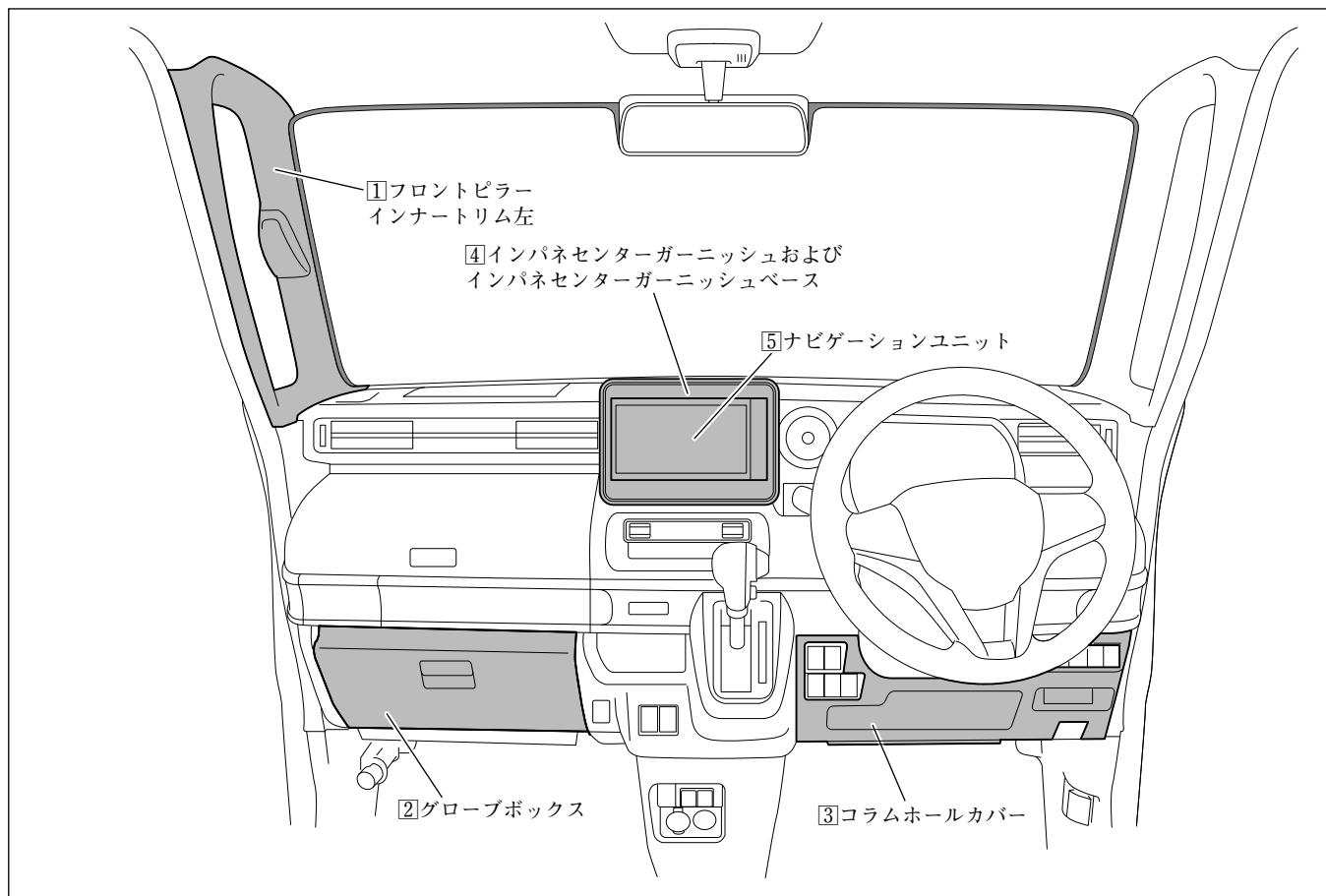
●車両部品の取り外し方法

注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

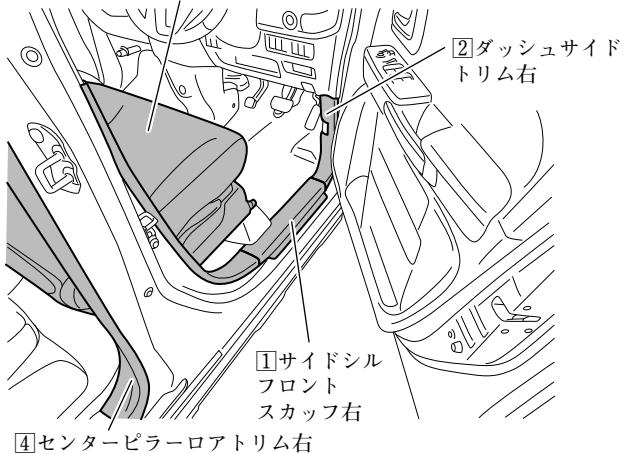


リヤカメラ

👉アドバイス

スペーシアベースに取り付ける場合、運転席シートを取り外すと作業性が向上します。

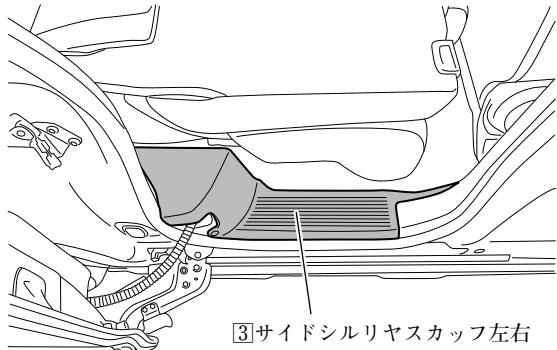
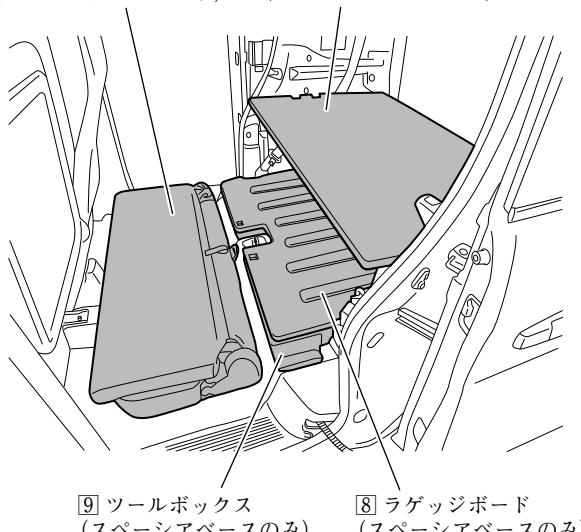
⑤ 運転席シート(スペーシアのみ)および
フロアサイレンサーパット(スペーシアのみ)



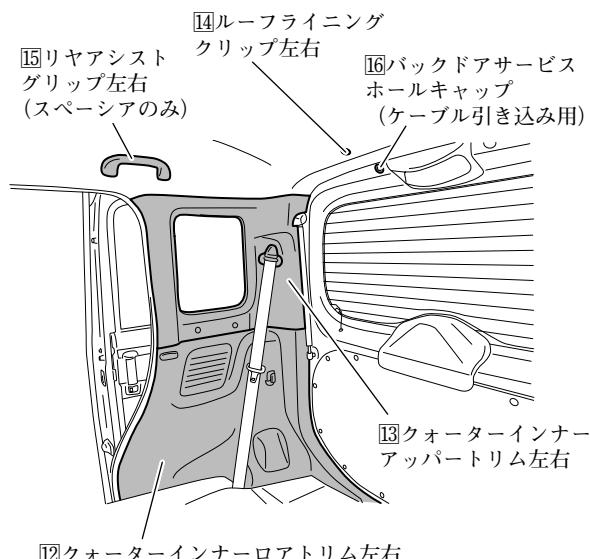
※本図は代表例としてスペーシアを示しています。

⑥ リヤシート
(スペーシアベースのみ)

⑦ ラゲッジトノボード
(スペーシアベースのみ)

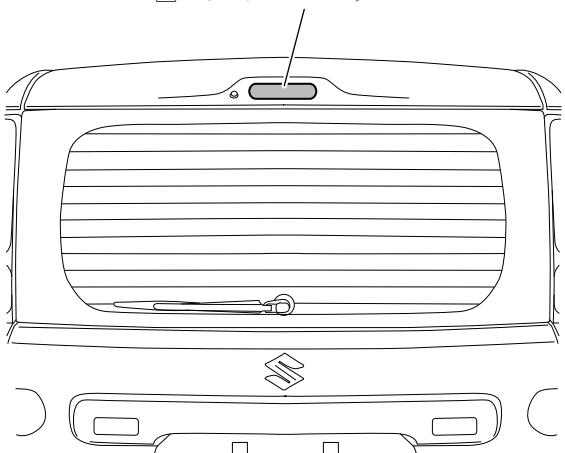


⑫ ルーフライニング
クリップ左右
(スペーシアのみ)
⑮ リヤアシスト
グリップ左右
(スペーシアのみ)



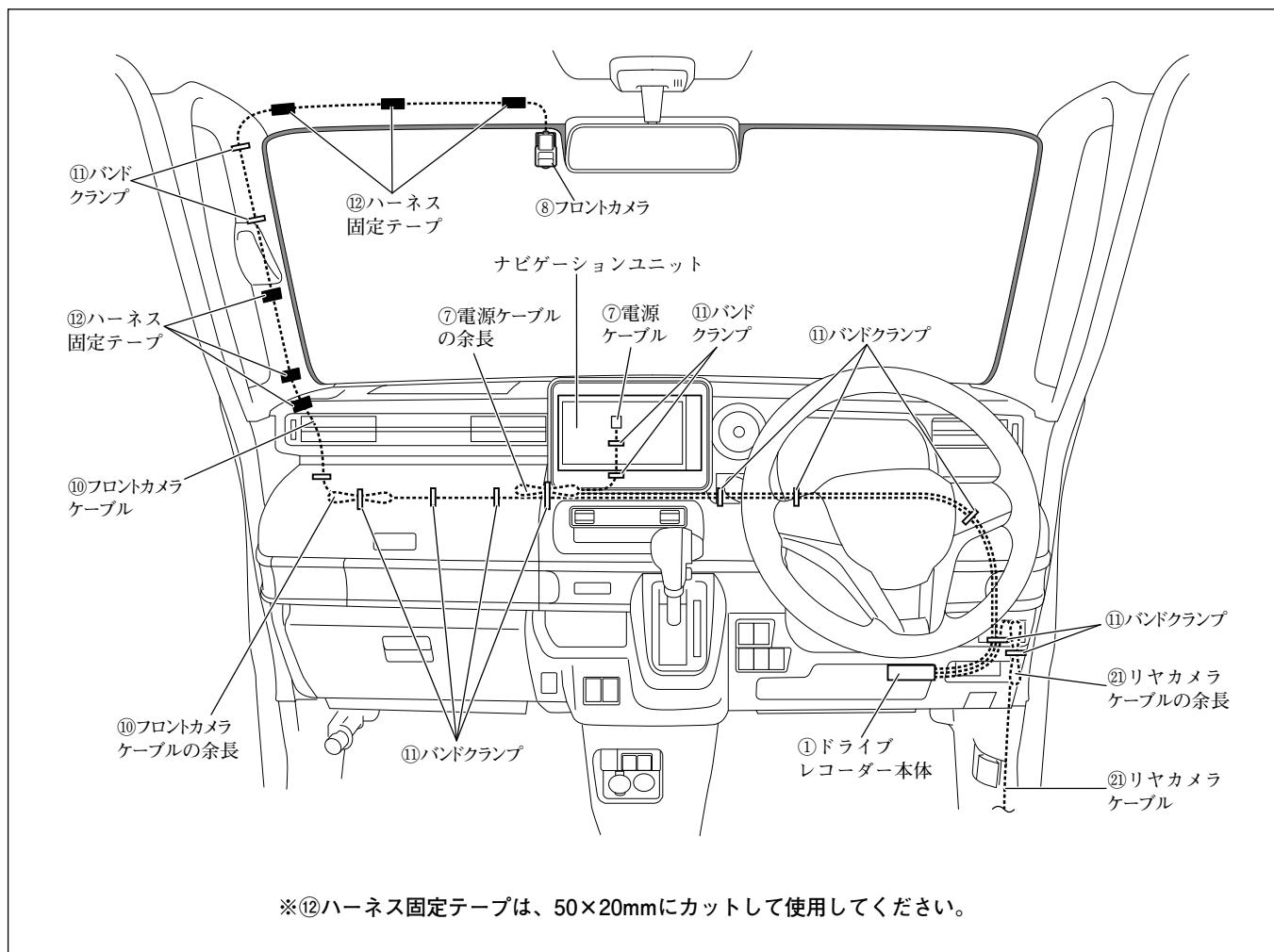
※本図は代表例としてスペーシアを示しています。

⑰ ハイマウントストップランプ



●取付概要

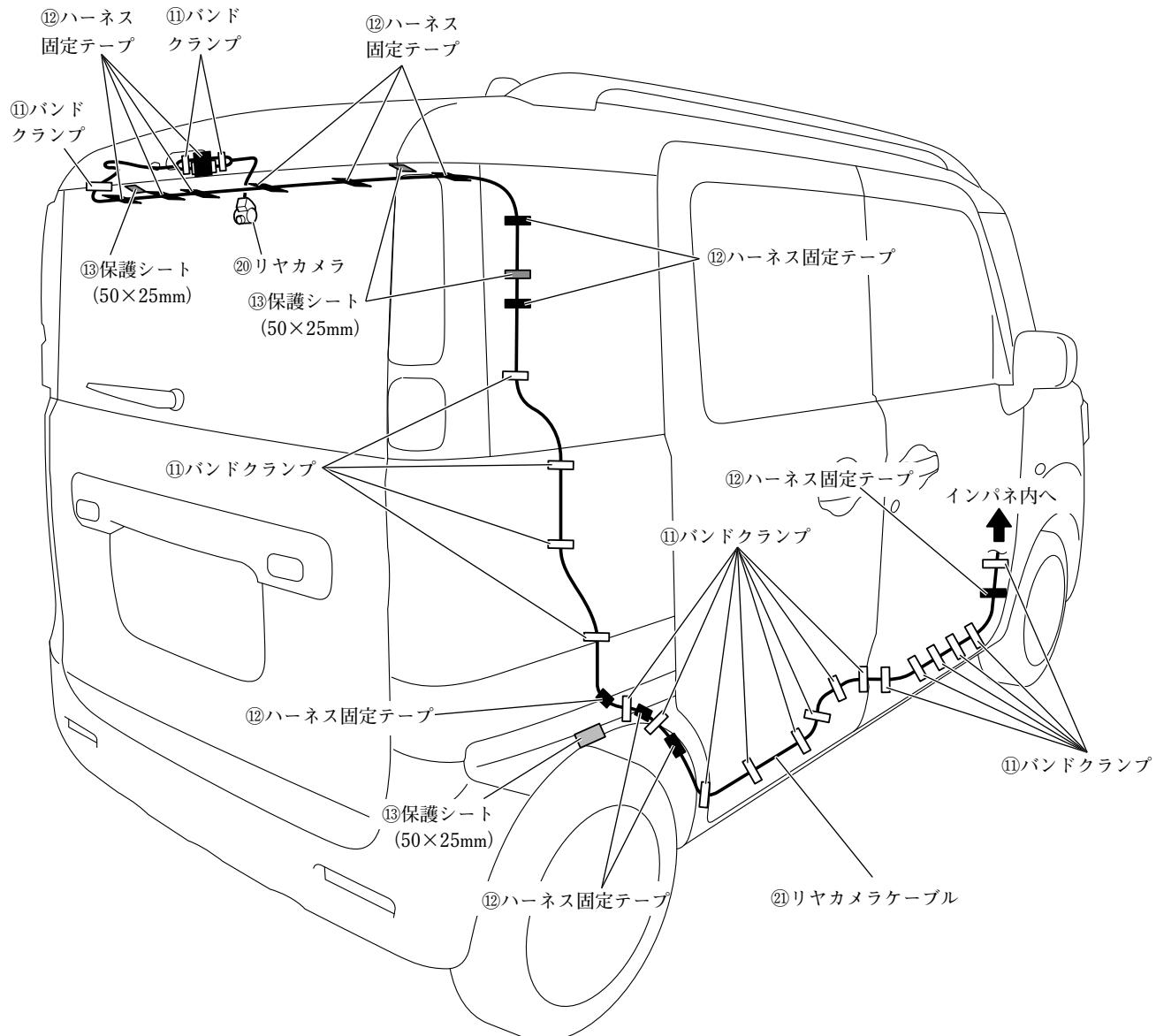
フロントカメラ



リヤカメラ

注記

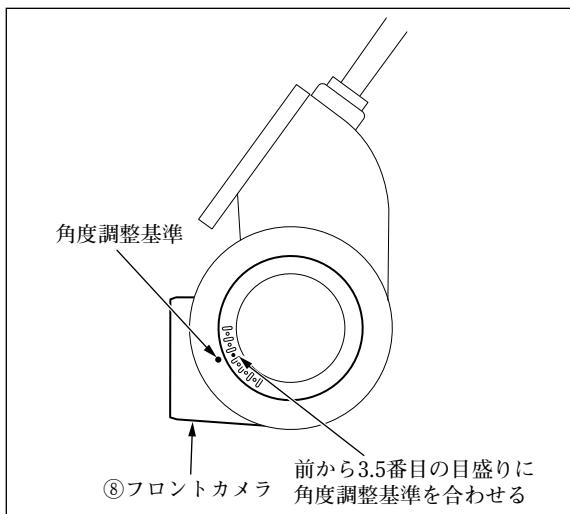
スペーシアベースの運転席シートの下の配線は、リヤシート取付部のサイレンサーパットを割らないよう慎重に持ち上げながら作業を行ってください。なお、運転席シートを取り外すとサイレンサーパットが取り外しでき、作業性が向上します。



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



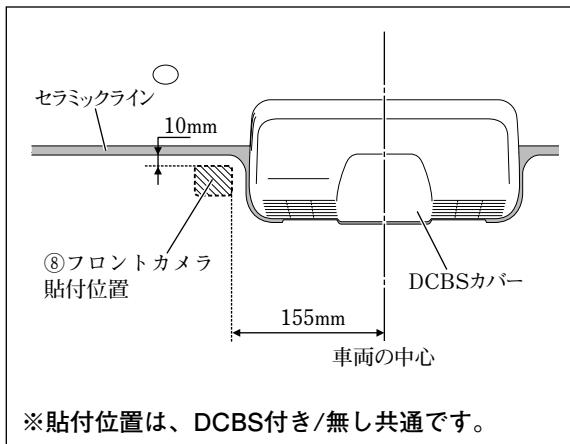
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

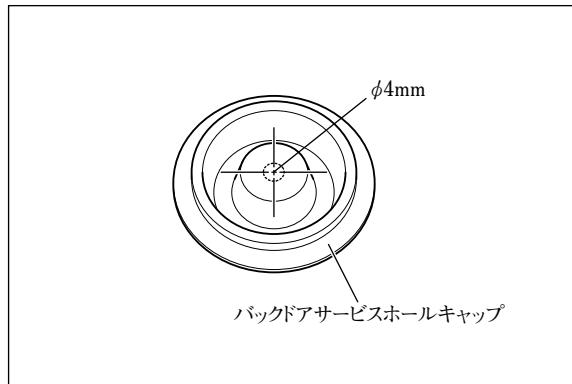
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) 「車両部品の取り外し方法」 – 「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央に穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

注意

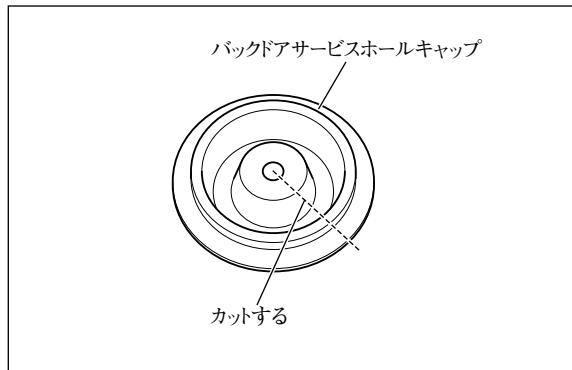
- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

2

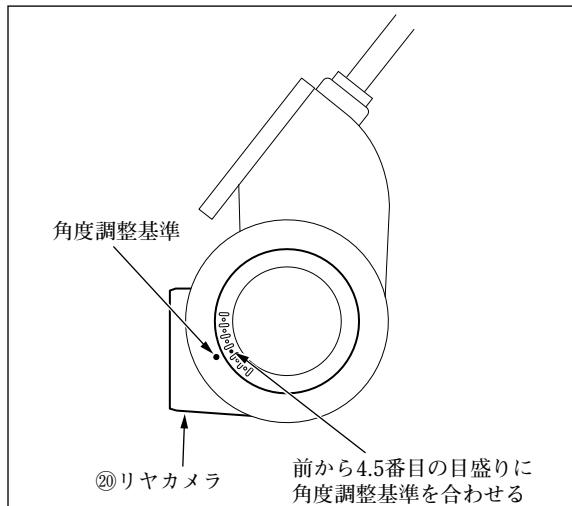


バックドアサービスホールキャップの図示位置をカッターナイフ等でカットしてください。

注意

カットする際は、耐切創手袋を使用してください。

3



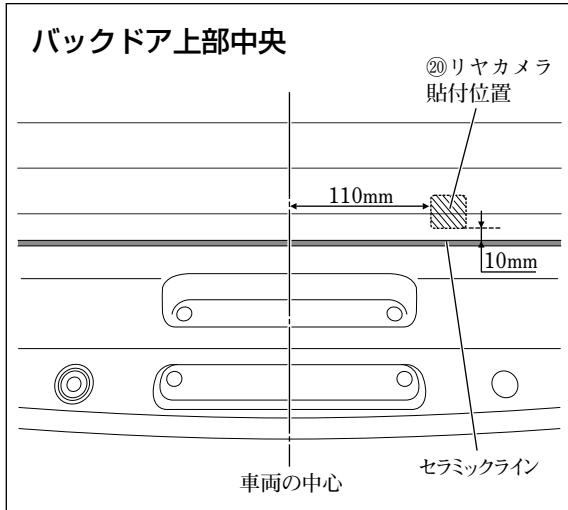
②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

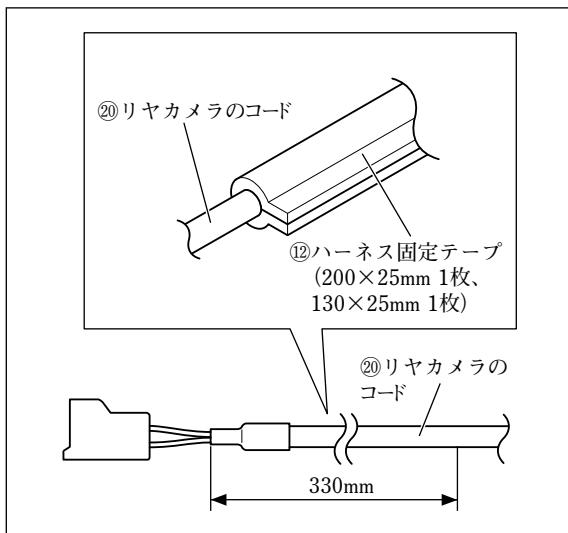


②②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

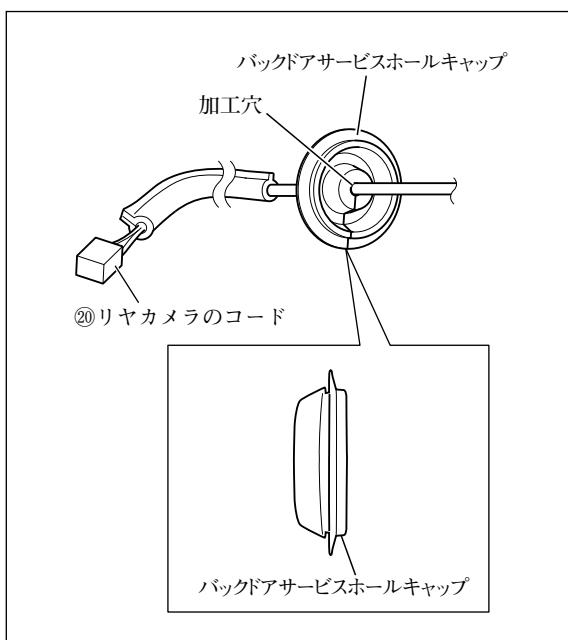
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



②②ハーネス固定テープを②②リヤカメラのコードに貼り付けてください。

3

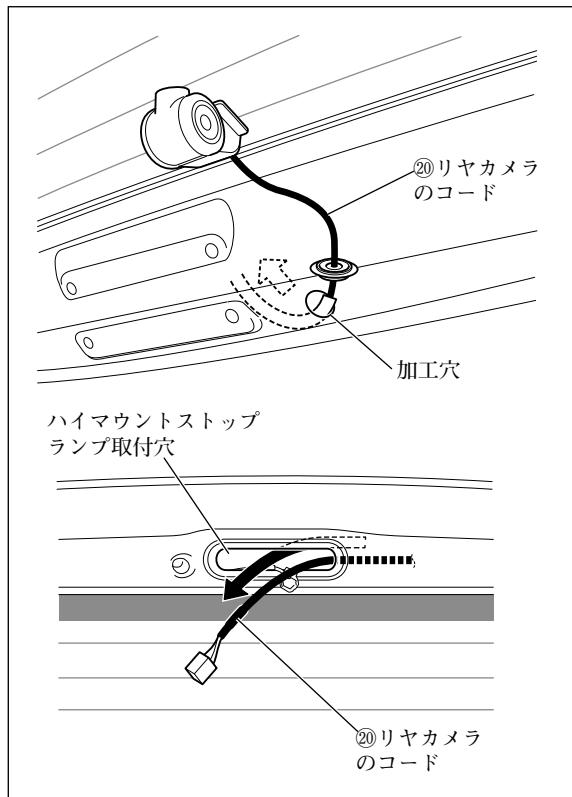


②②リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

注記

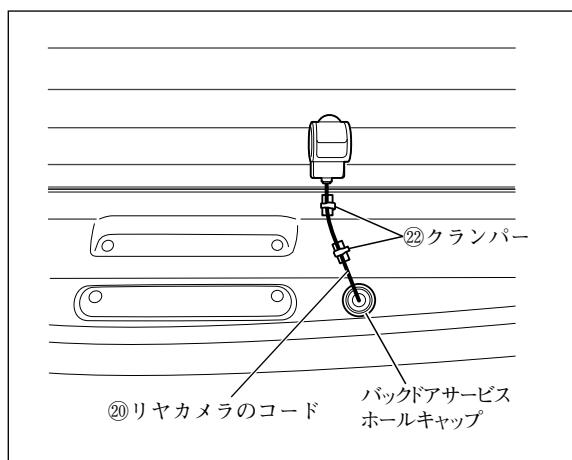
- バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。

4



針金等を使用して②⓪リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

5



(1) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

注記

バックドアサービスホールキャップは、カット部が②⓪リヤカメラのコードでかくれる向きに取り付けてください。

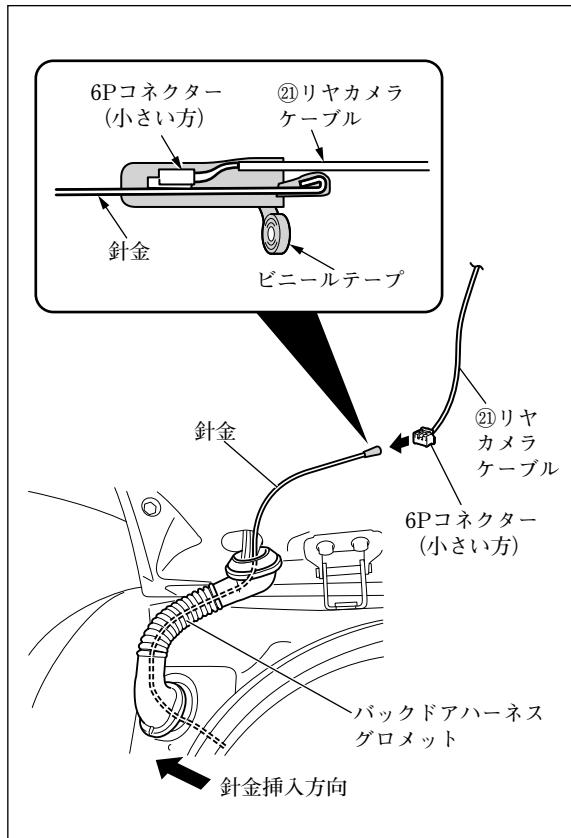
(2) ②㉚クランパー（2個）で②⓪リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②㉚クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

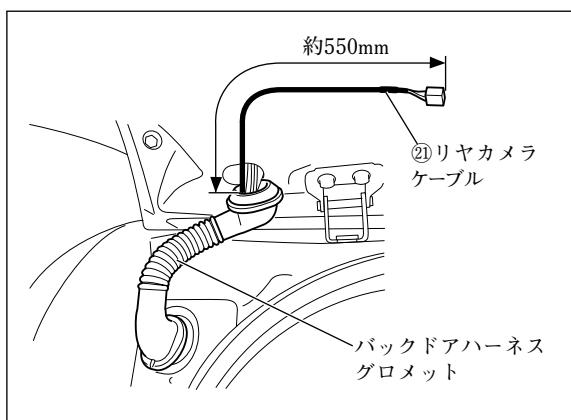


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター (小さい方) を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

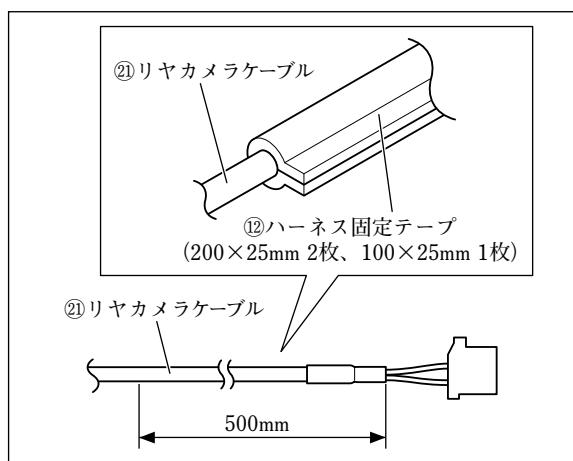
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。

2



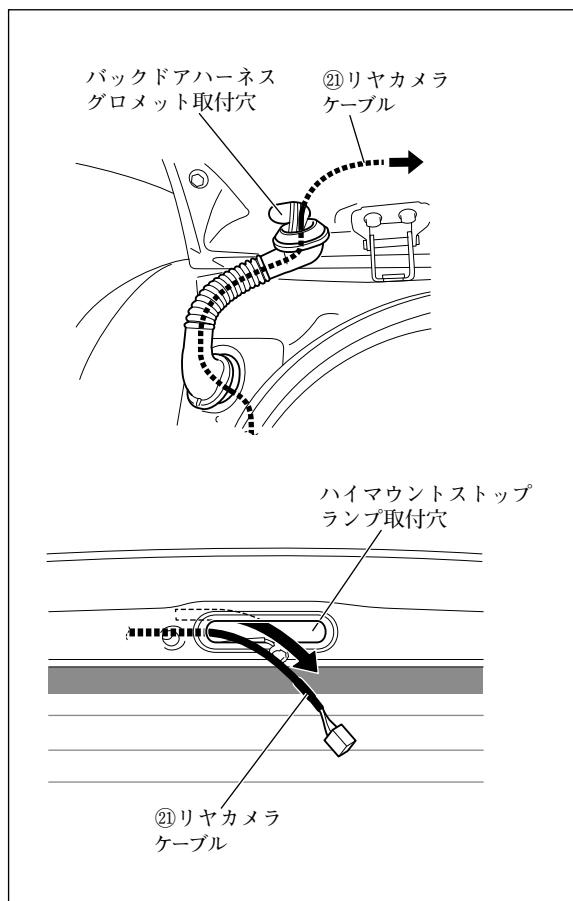
バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



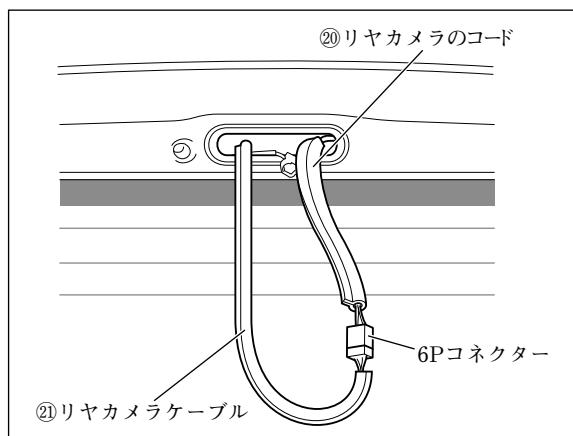
⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



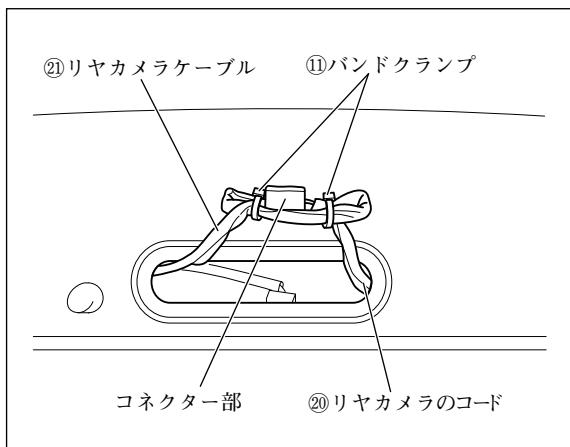
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



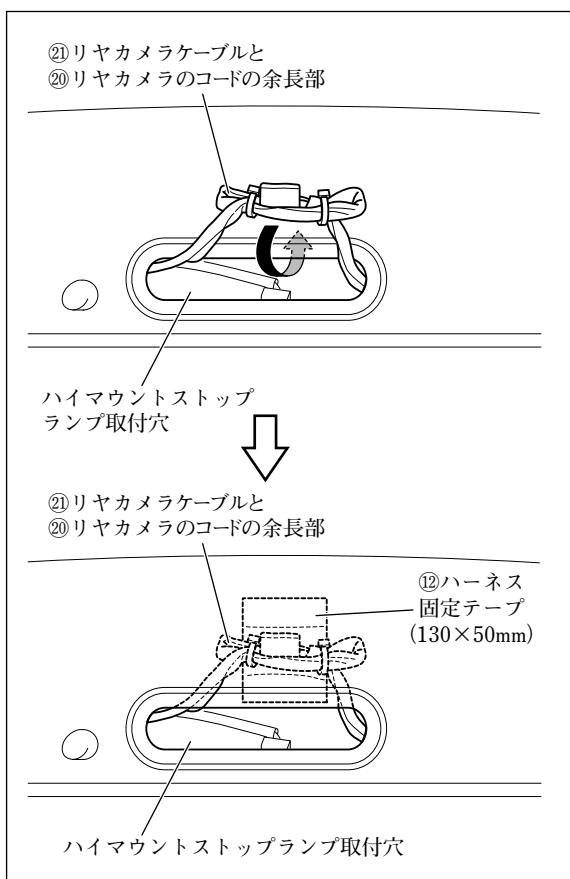
- (1) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



⑪ リヤカメラケーブルと⑩ リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪ バンドクランプで固定してください。

7



⑪ リヤカメラケーブルと⑩ リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②①リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

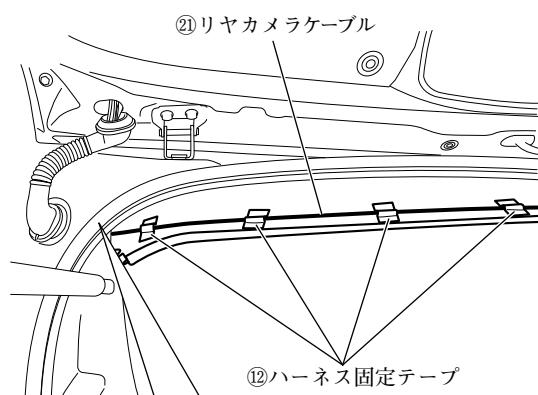
配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

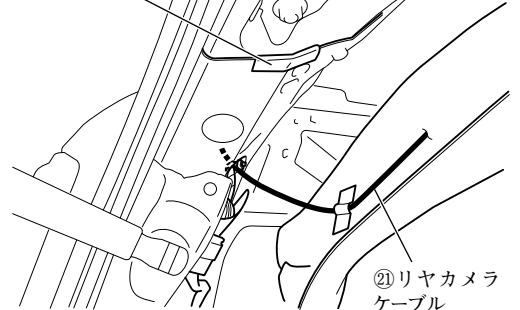
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

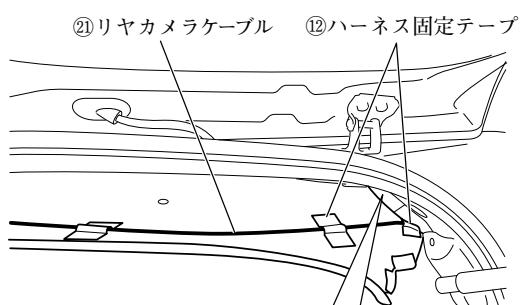
バックドア開口部左



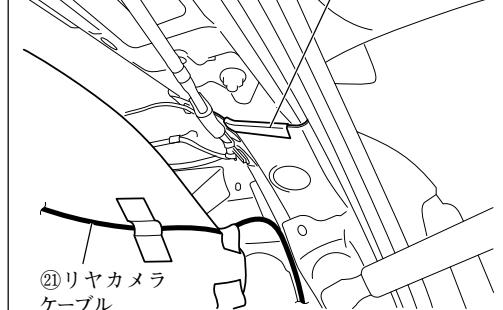
⑬保護シート
(50×25mm)

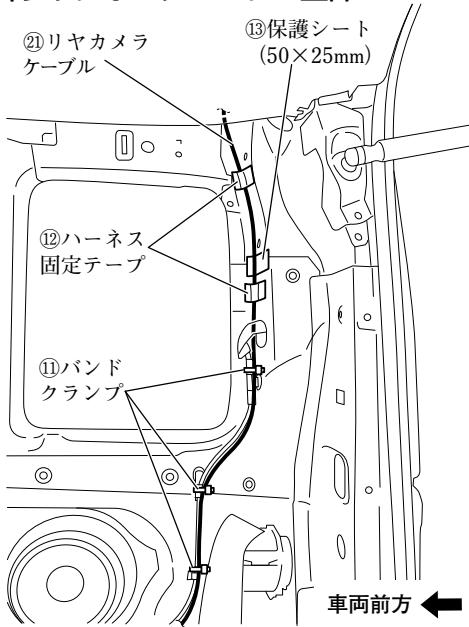
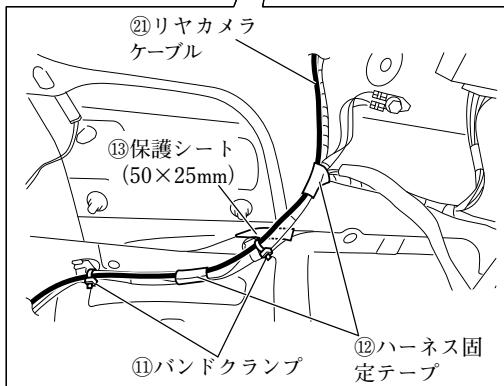
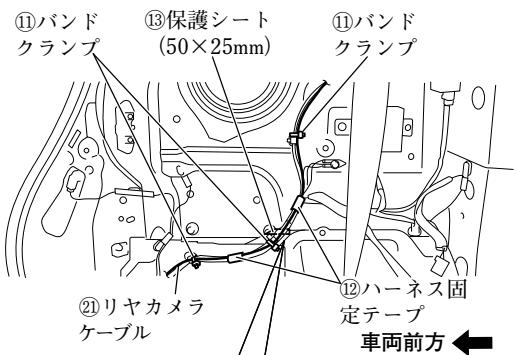


バックドア開口部右



⑬保護シート
(50×25mm)

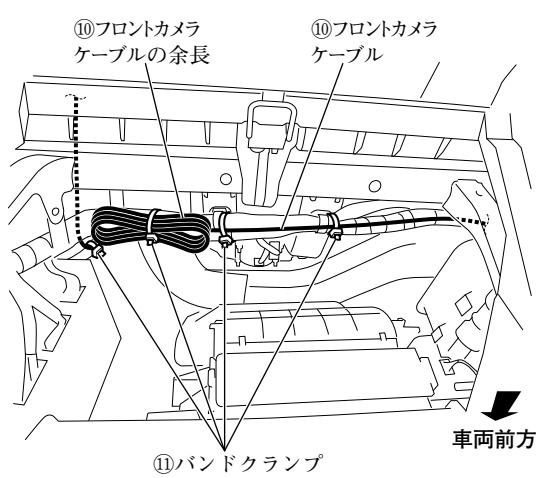


右リヤクォーターピラー上部**右リヤクォーターピラーアンダーパーツ**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部



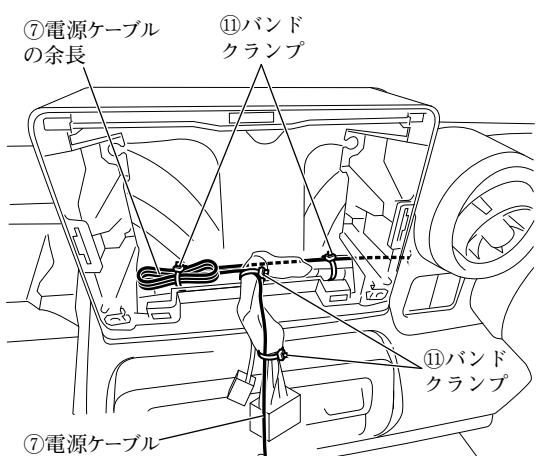
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

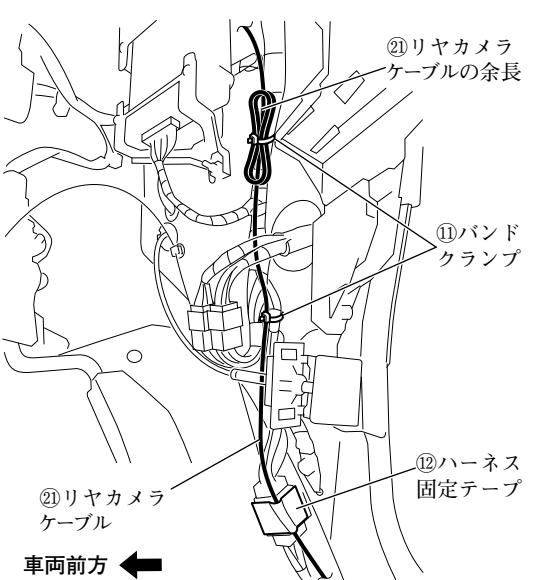
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

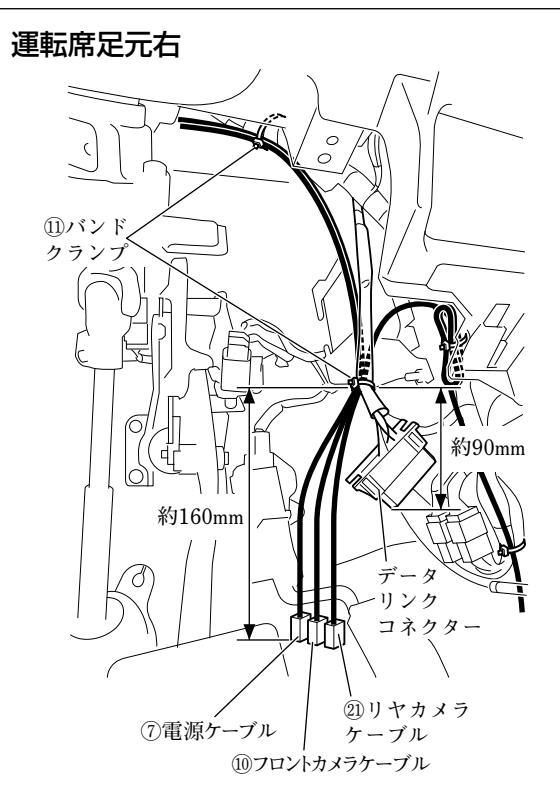
ナビゲーション取付部



運転席足元右



2



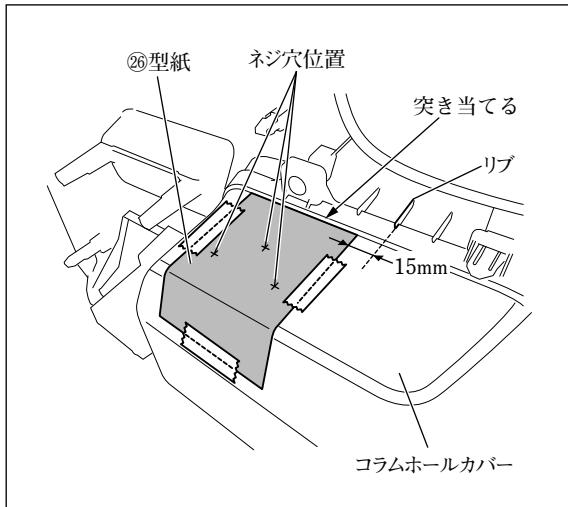
① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

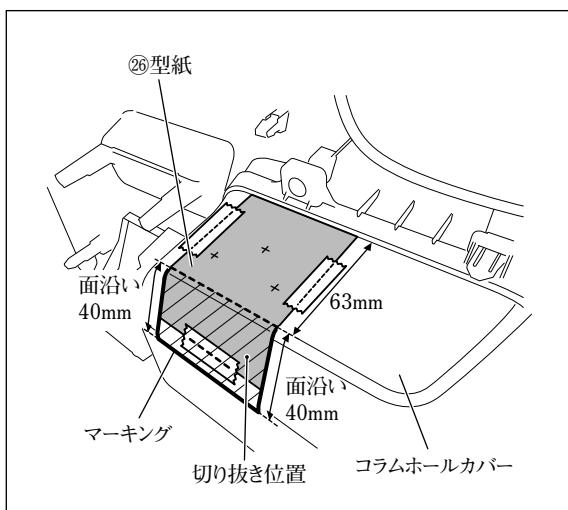
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

2

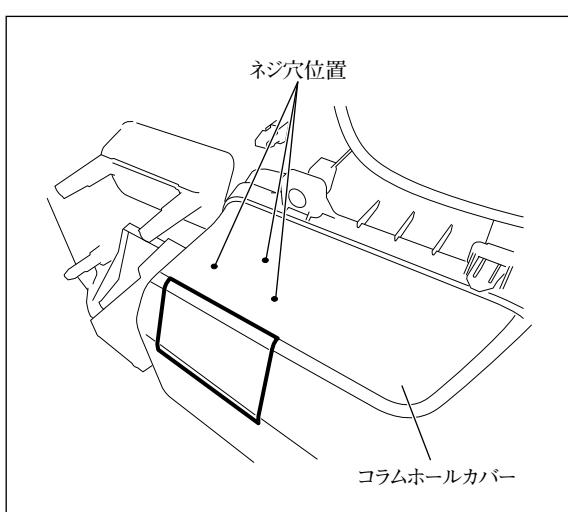


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

3



⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

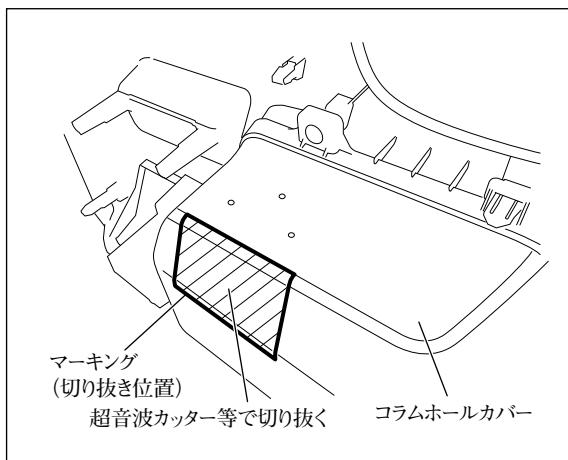
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

4



- (1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠ 注意

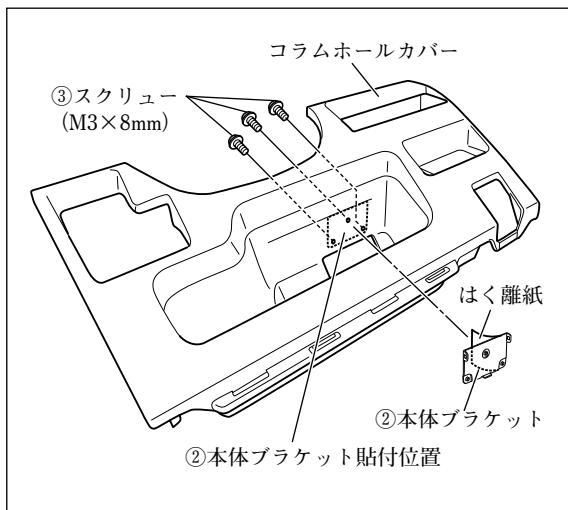
穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

5



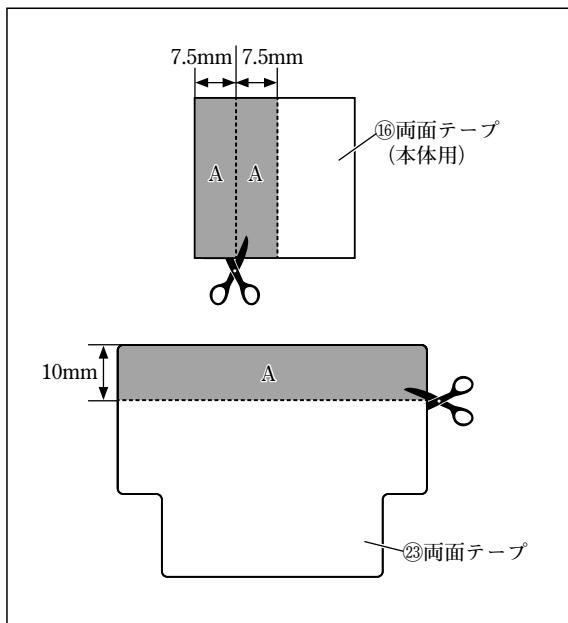
- (1) ②本体ブラケットのはぐ離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

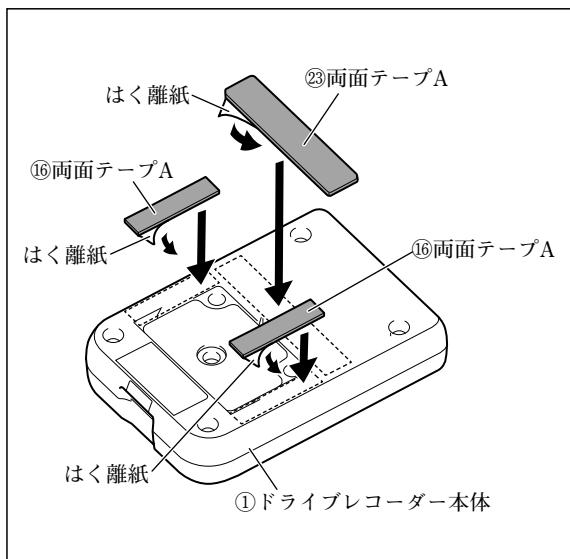
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

6



- ⑯両面テープ（本体用）と⑬両面テープを図のようにカットしてください。

7

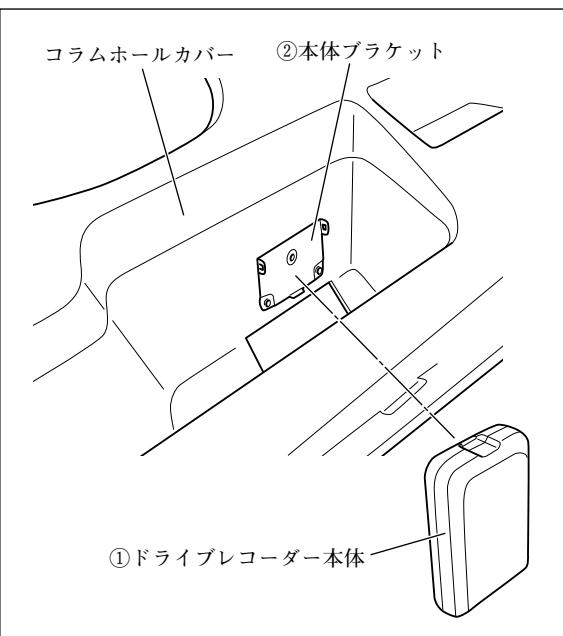


カットした⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを①ドライプレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



- (1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体、③両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
(3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。
- 既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

ワゴンRの場合

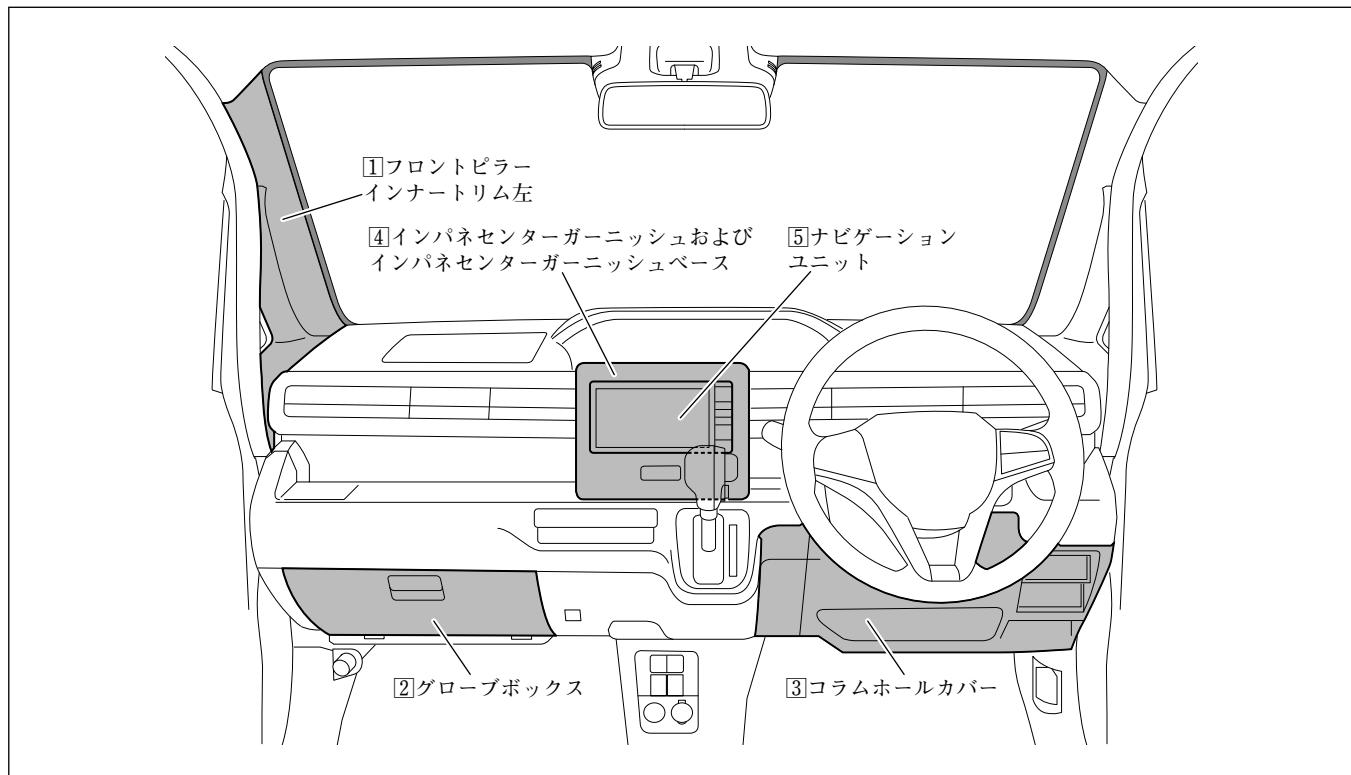
●車両部品の取り外し方法

注記

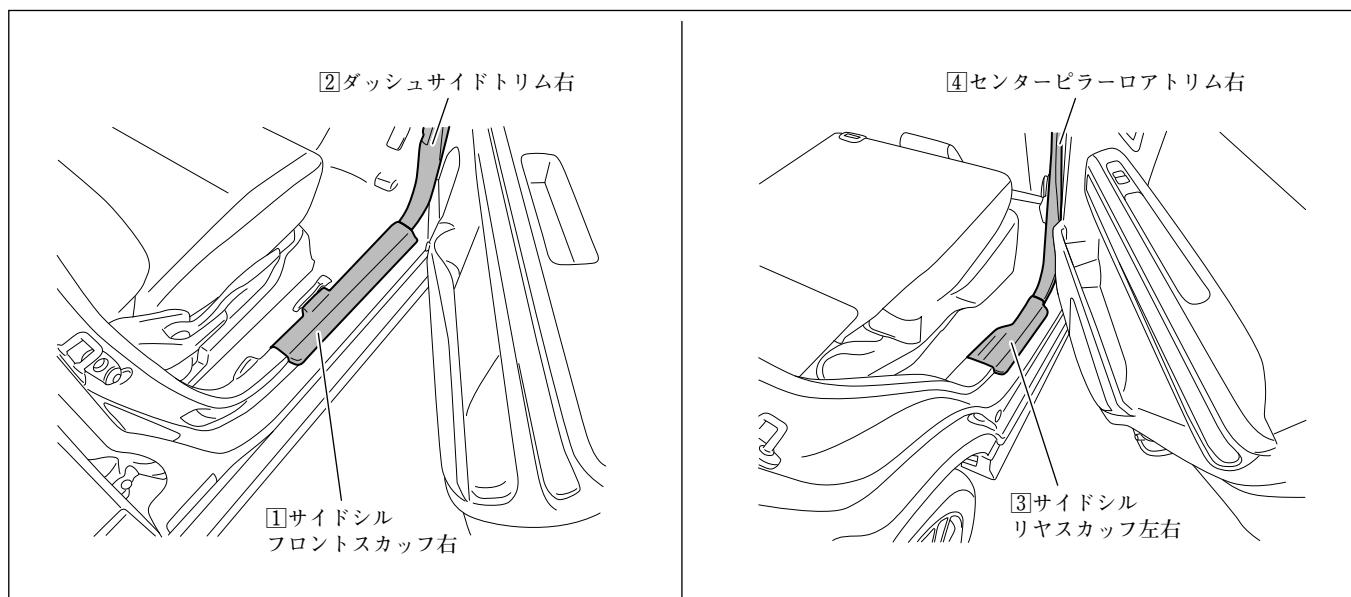
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

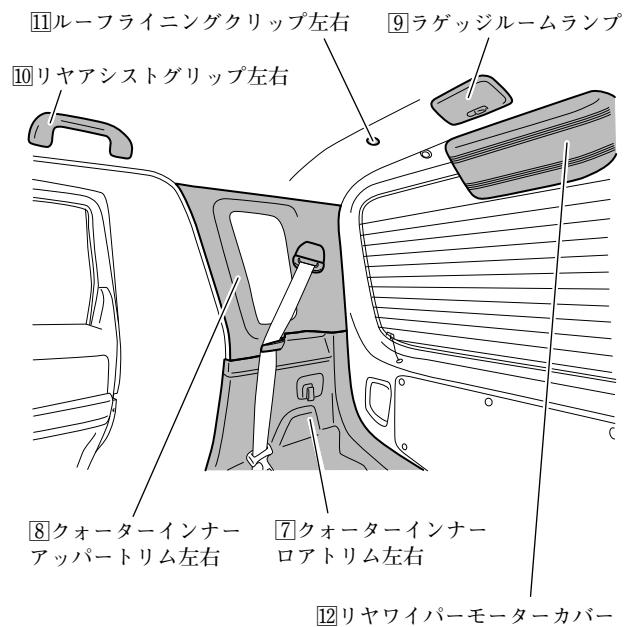
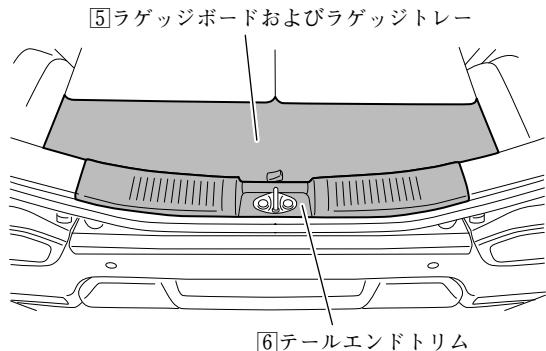
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ



リヤカメラ



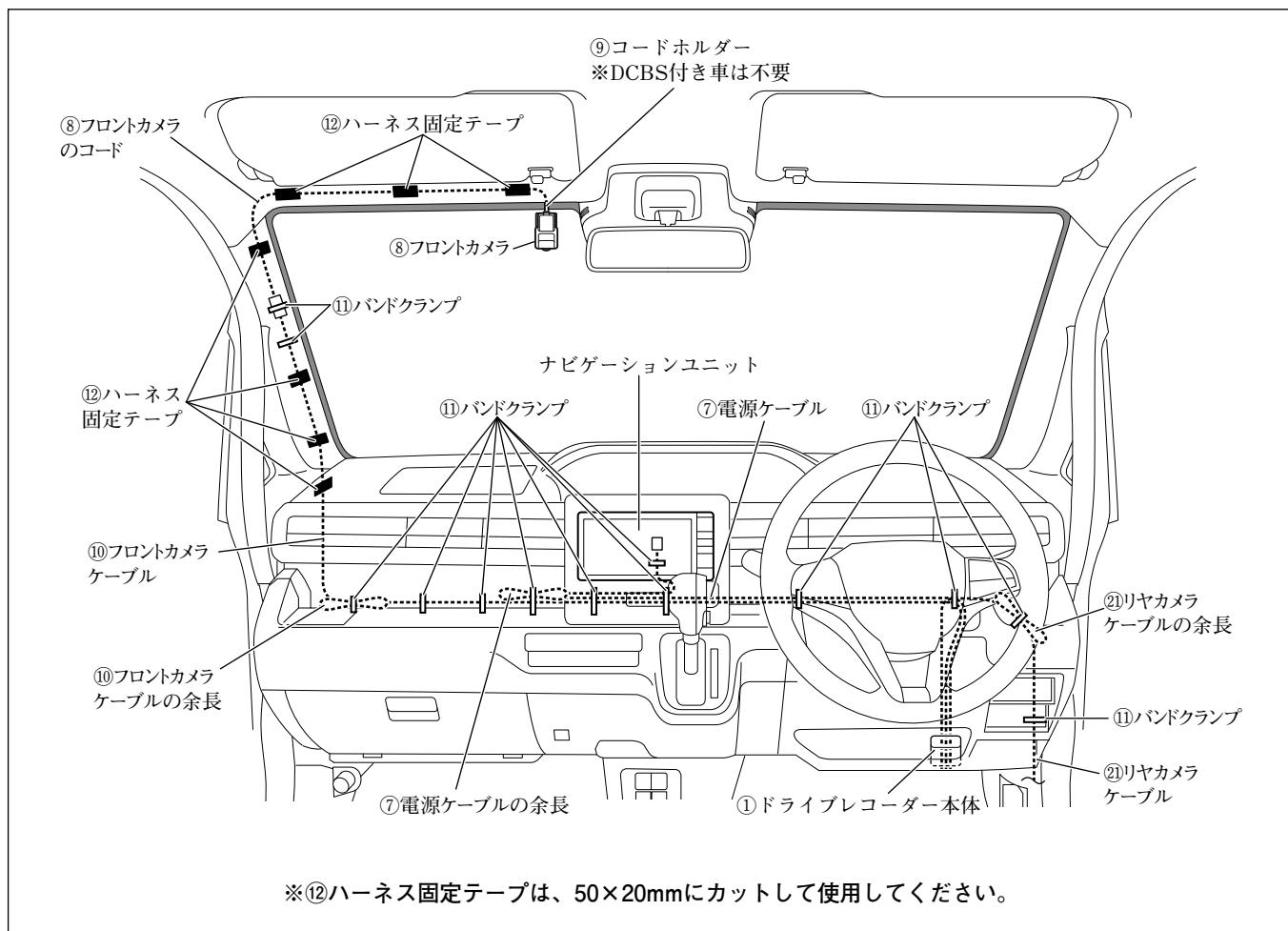


注記

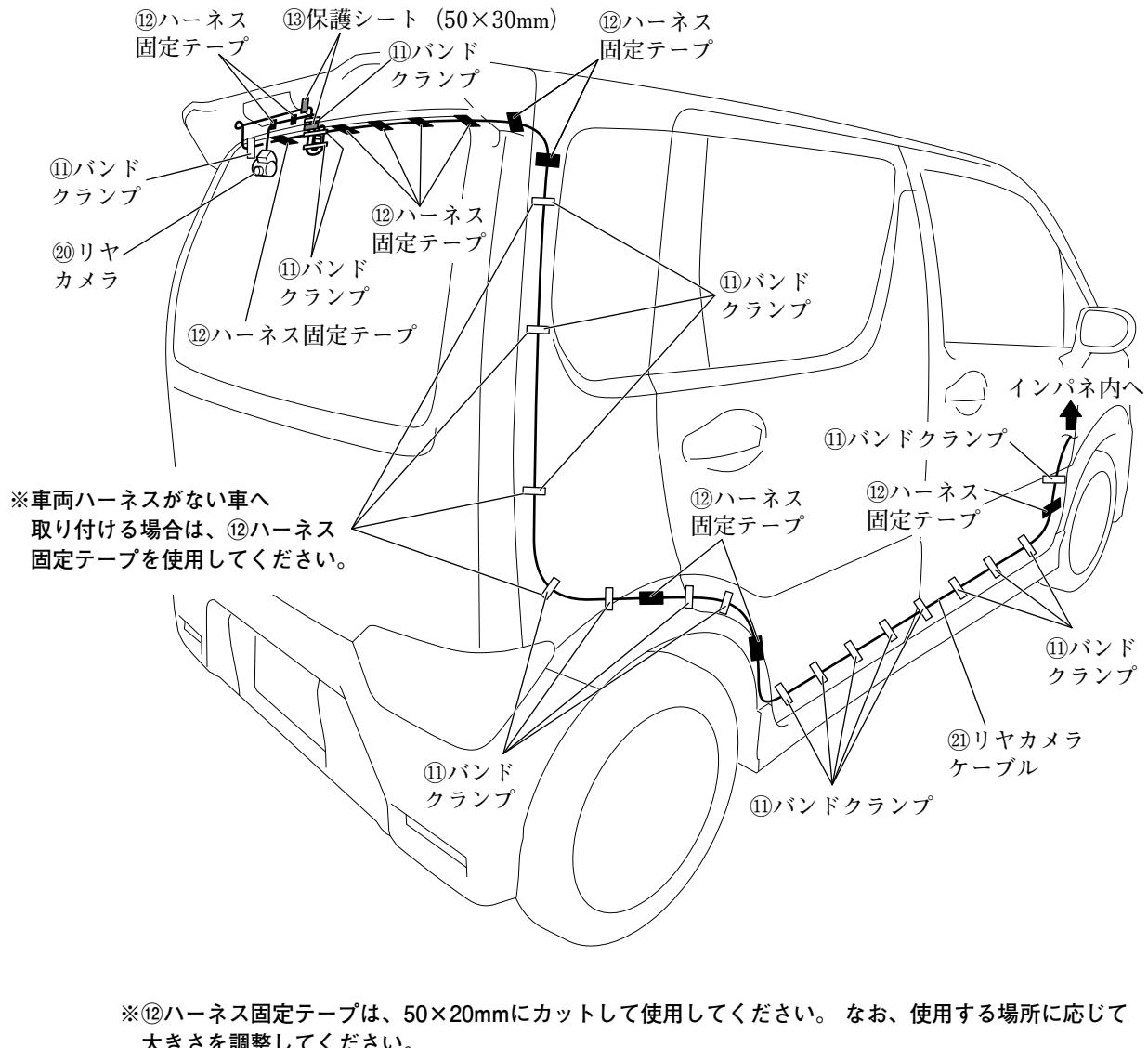
リヤワイパーモーターカバーは取り外すとクリップ（77290-65P00：4個）が傷みます。必ず新品と交換してください。

●取付概要

フロントカメラ

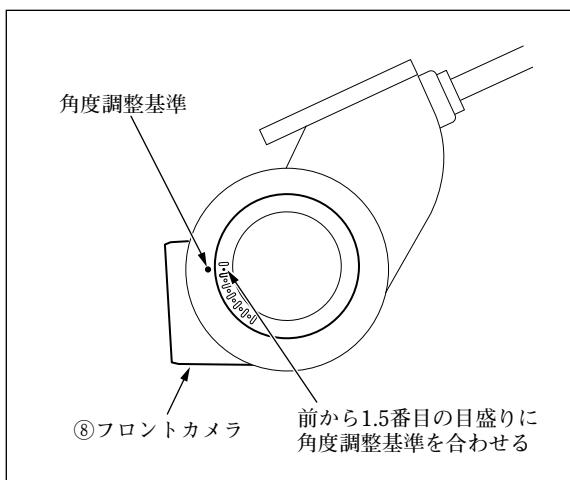


リヤカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

1



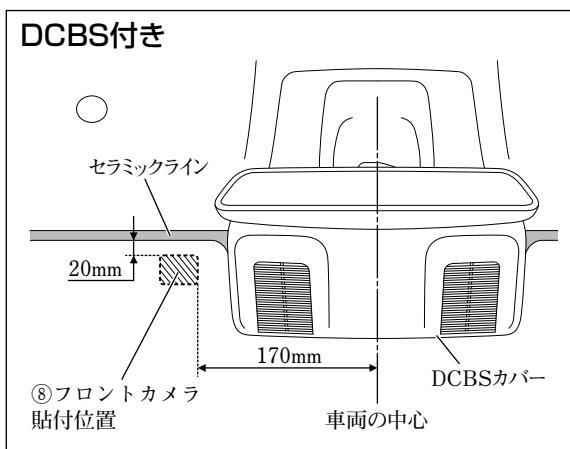
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

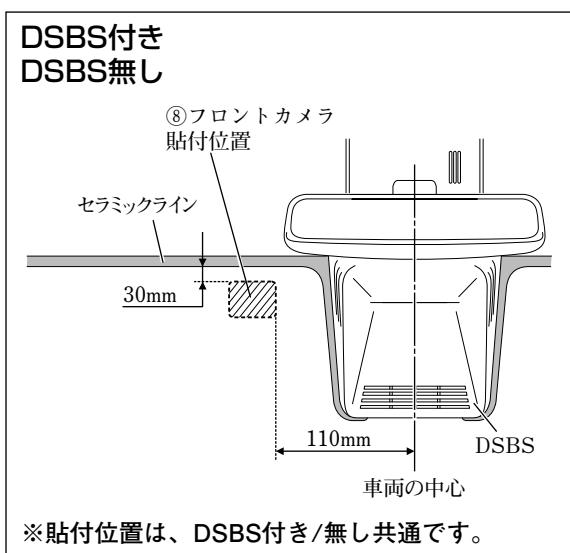
1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

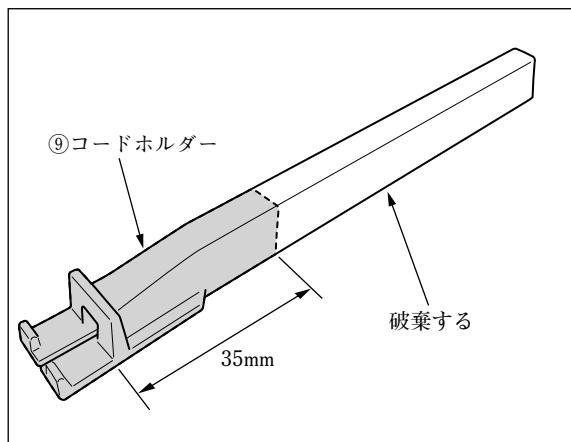
注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



※貼付位置は、DSBS付き/無し共通です。

2



指定の寸法にカットした⑨コードホルダーを取り付けてください。(全車共通の「フロントカメラ取付前の準備」参照)

⚠ 注意

- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

👉 アドバイス

⑨コードホルダーは、DCBS付き車には取付不要です。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

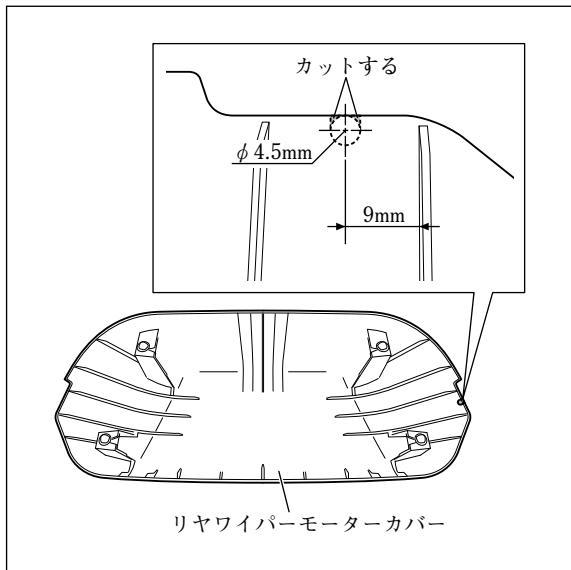
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



(1) 図示箇所に穴（ $\phi 4.5\text{mm}$ ）を開けてください。

注意

- ・ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- ・巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

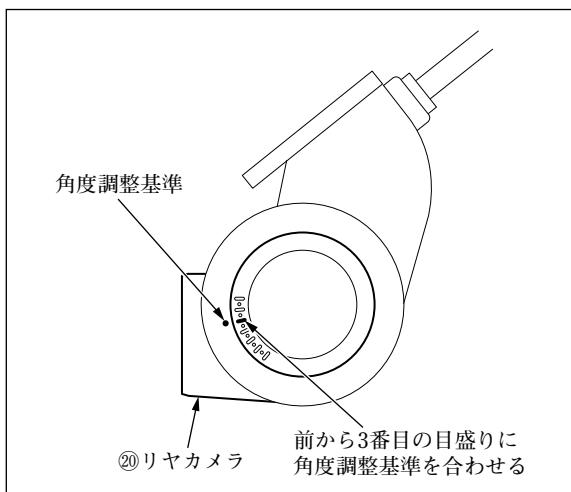
注記

- ・ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ・ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

(2) 図示箇所をカットしてください。

(3) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

2



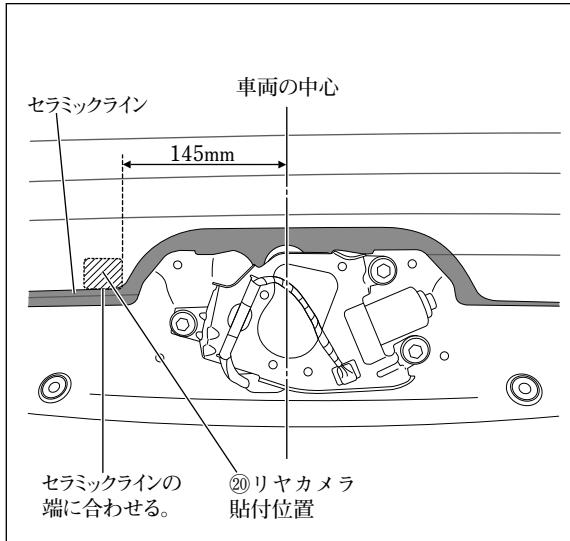
⑩リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

● リヤカメラの取付方法

1

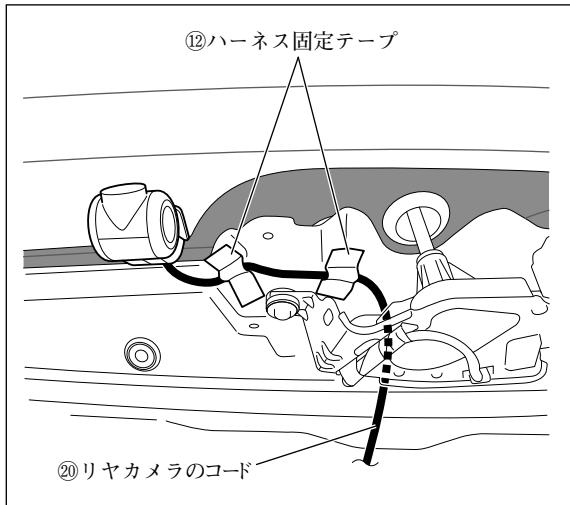


⑩リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑩リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑩リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑩リヤカメラの両面テープ部を温めながら貼り付け作業を行ってください。

2



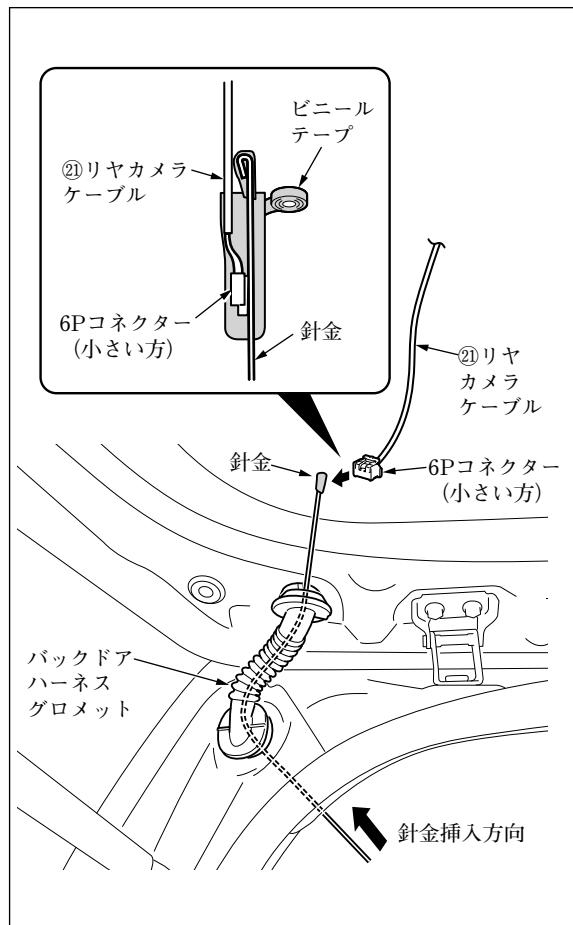
⑩リヤカメラのコードを配線し、⑩ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑩ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

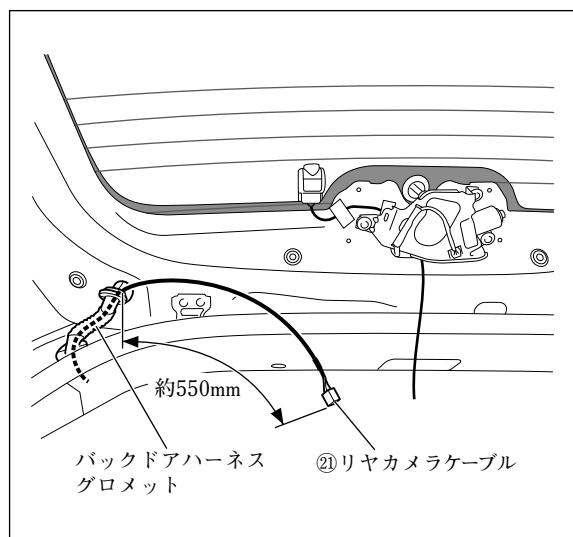


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

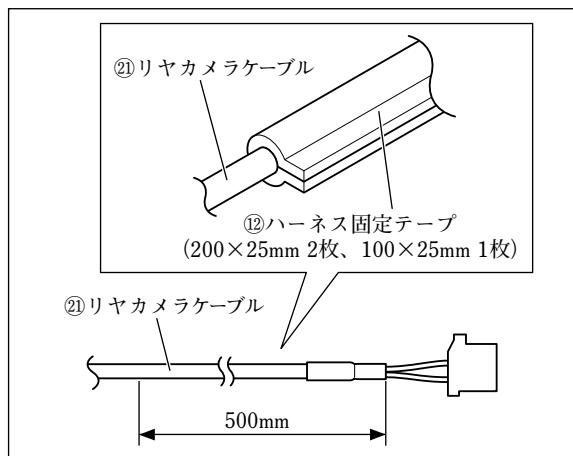
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテープィングしてください。

2



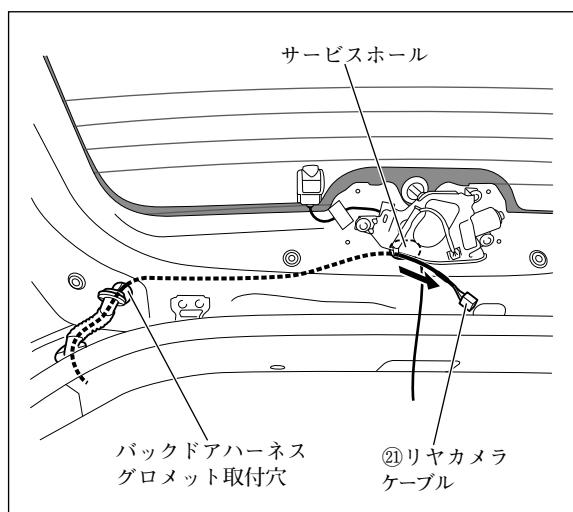
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



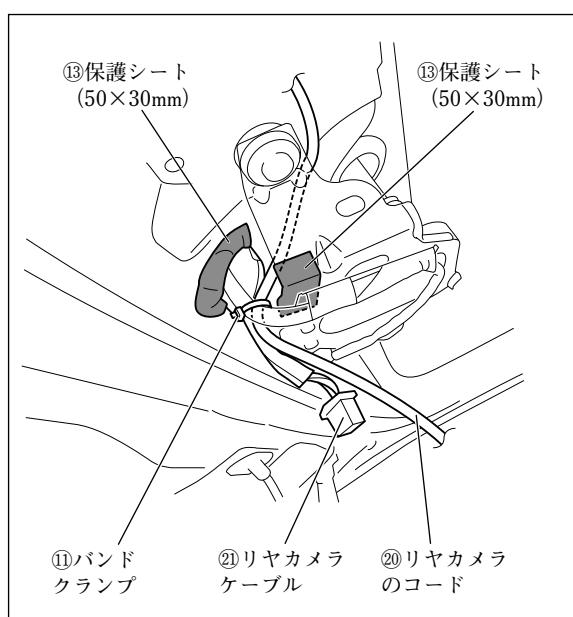
⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



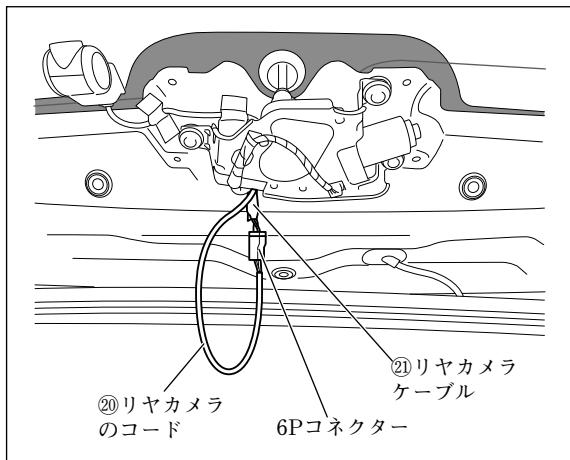
(1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

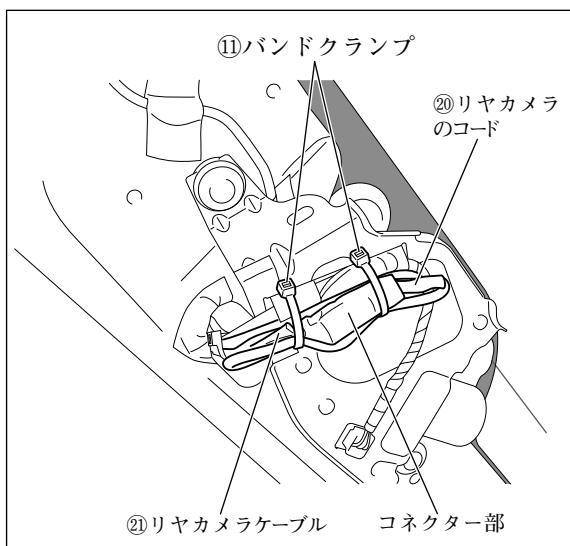
(2) ②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードを⑪バンドクランプで固定してください。

6



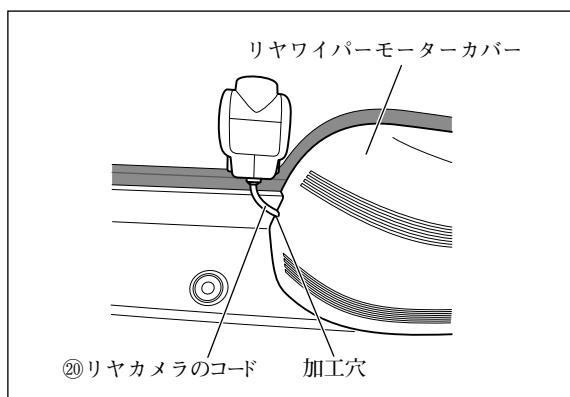
- (1) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

7



- ②①リヤカメラケーブルと②⑩リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

8



- リヤワイパーモーターカバーを復元する際は、②⑩リヤカメラのコードを加工穴へ通してください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②①リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

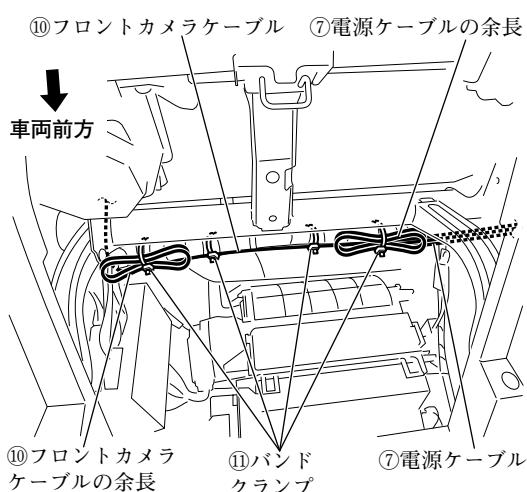
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部上

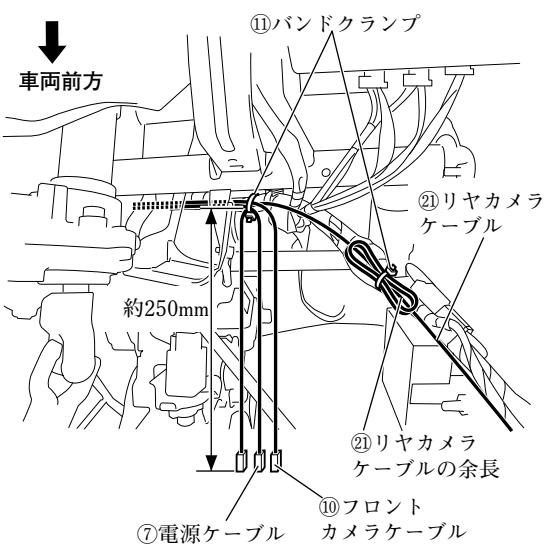


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ステアリングコラム右上



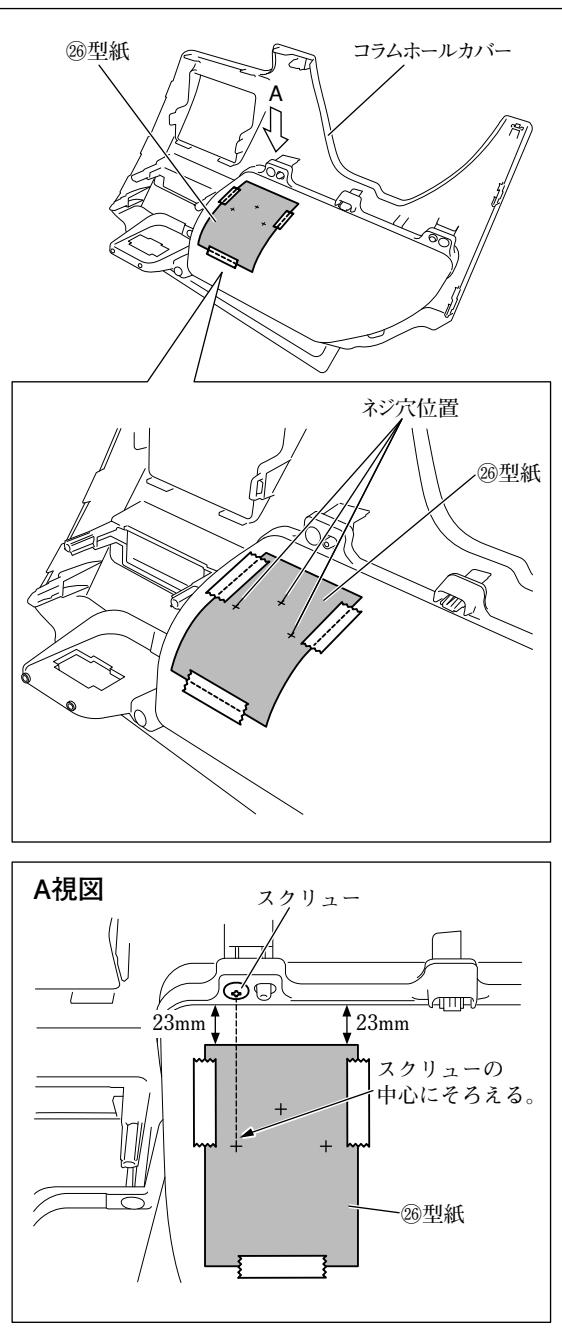
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

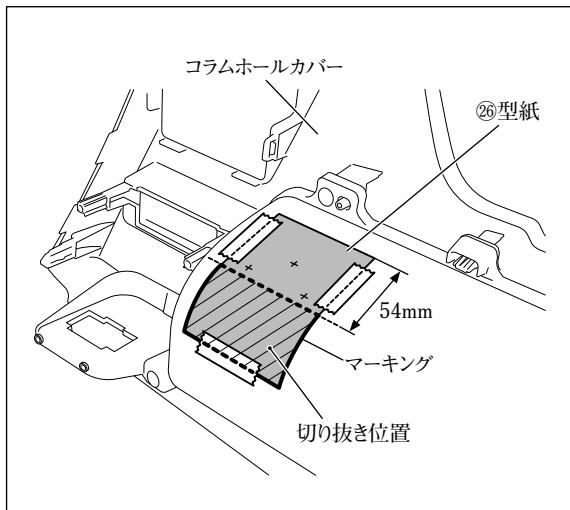
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

2

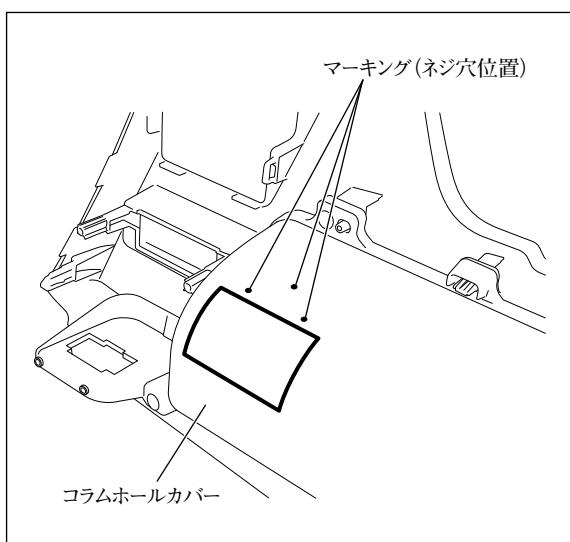


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

3



⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（φ 4mm）を開けてください。

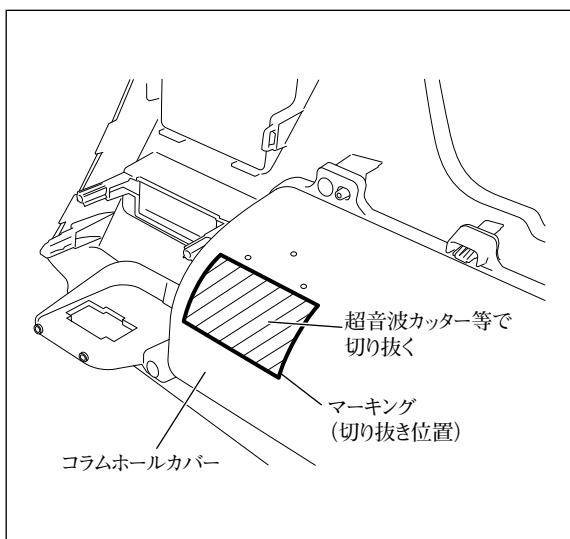
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

4



(1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠ 注意

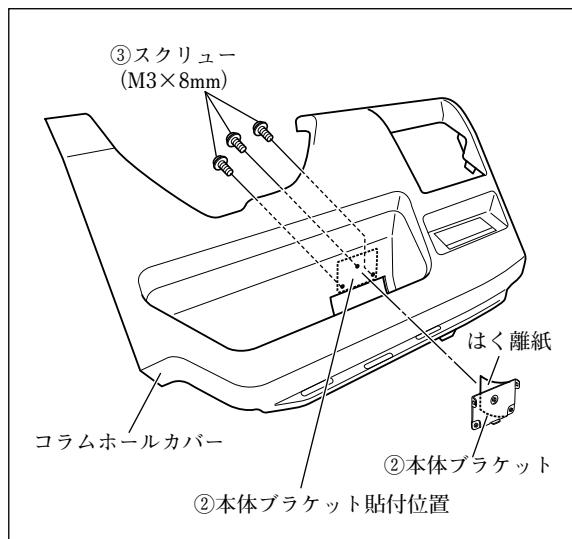
穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

(2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

5



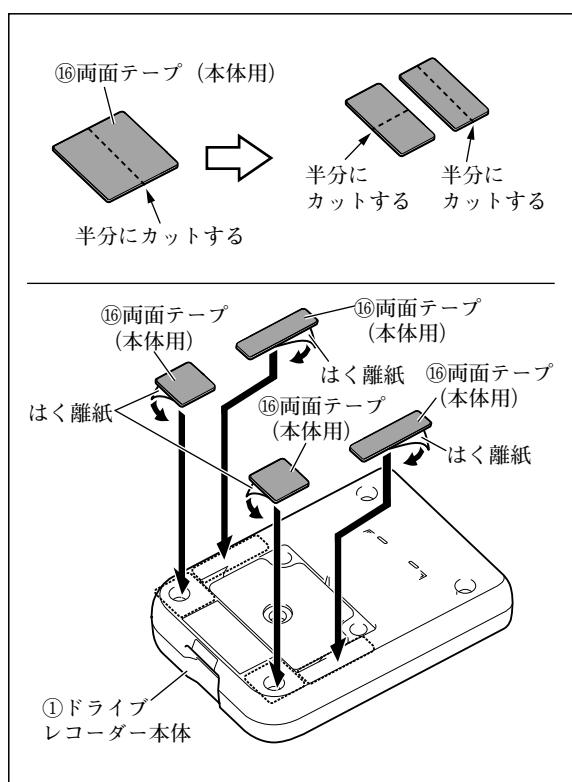
- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

6



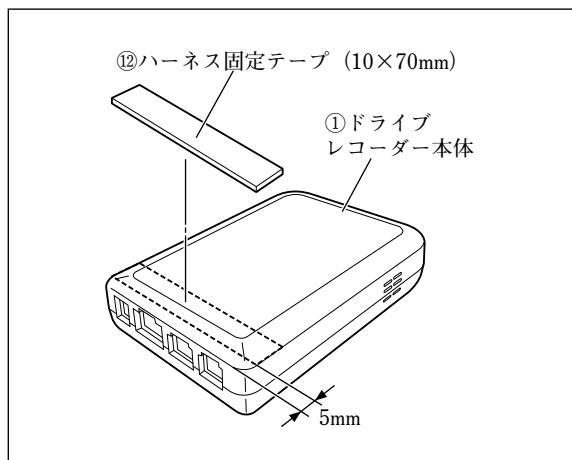
- (1) ⑯両面テープ (本体用) を図のようにカットしてください。

- (2) カットした⑯両面テープ (本体用) を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

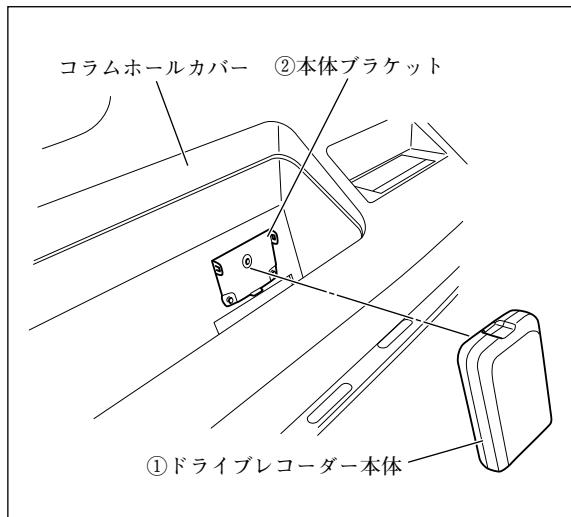
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

7



カットした⑯ハーネス固定テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

8



- (1) ① ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ① ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、② 本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ① ドライブレコーダー本体および⑯両面テープ(本体用)のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (3) ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(20°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- ・「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- ・既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ワゴンRスマイルの場合

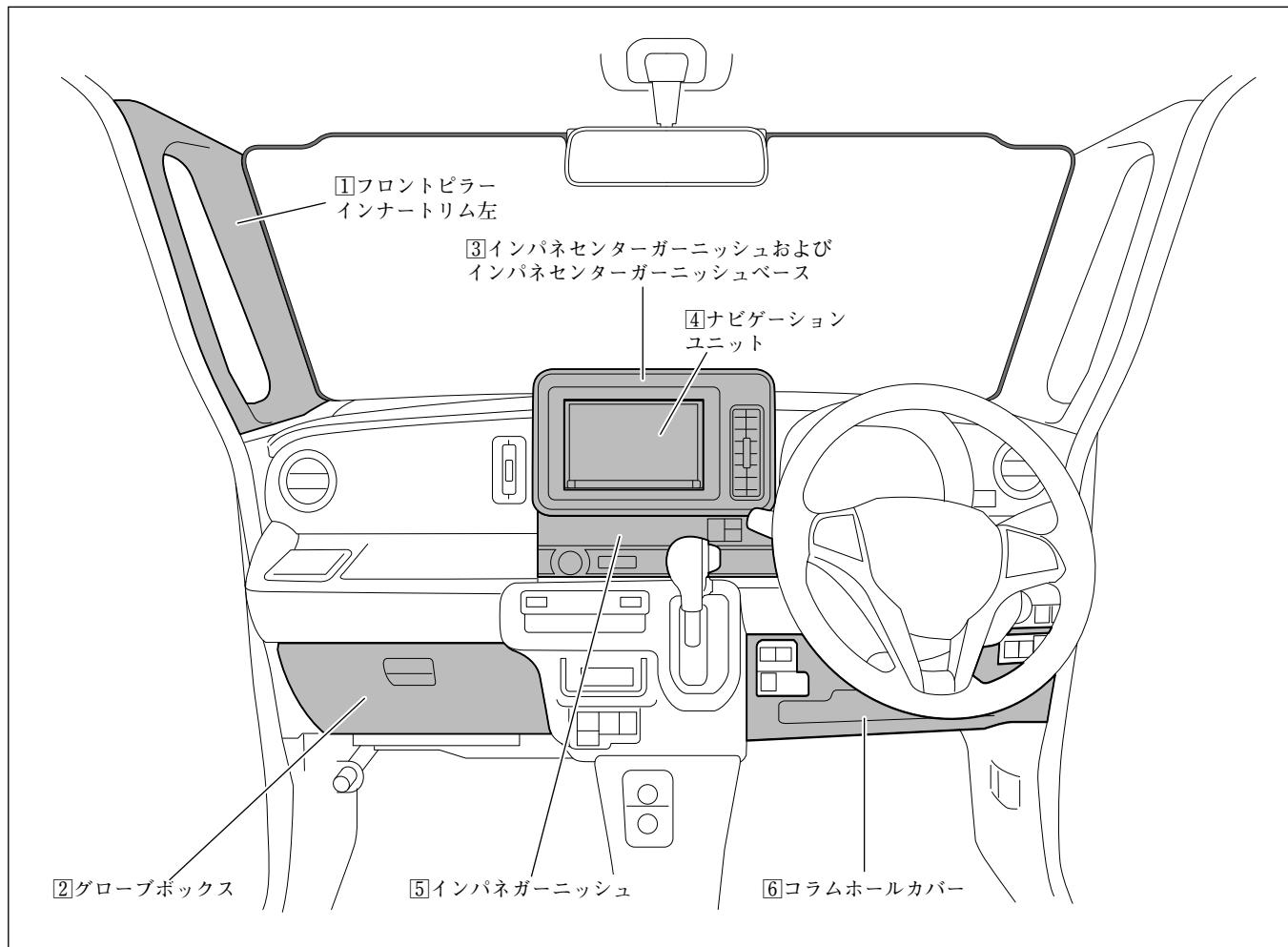
●車両部品の取り外し方法

注記

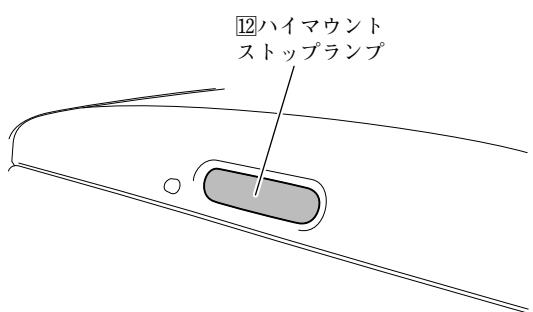
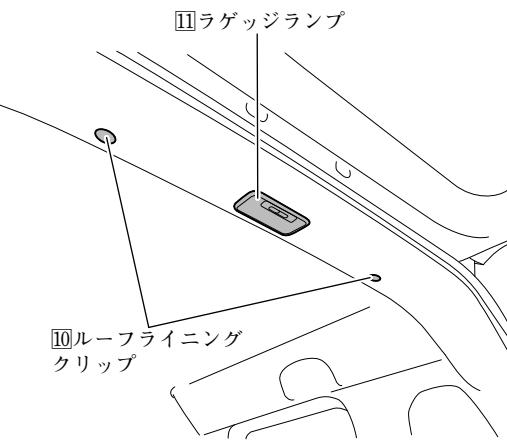
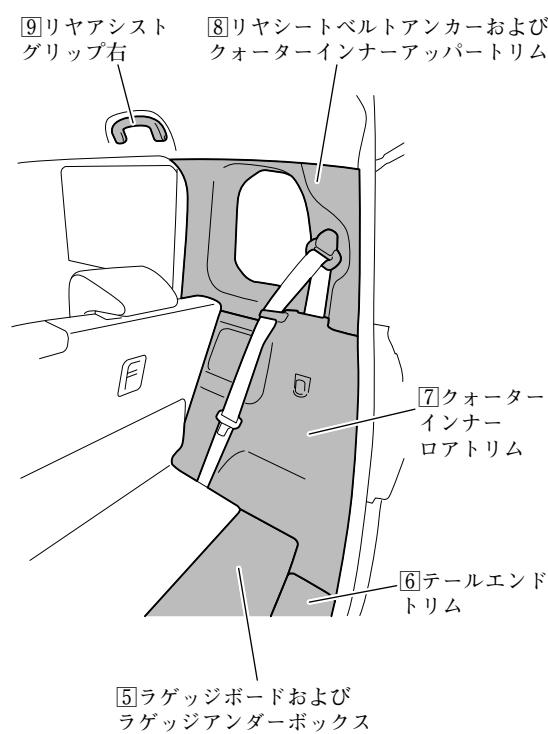
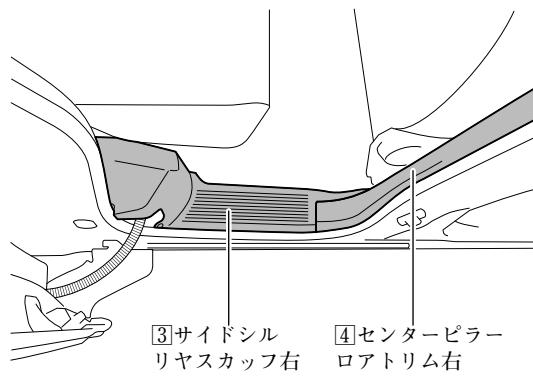
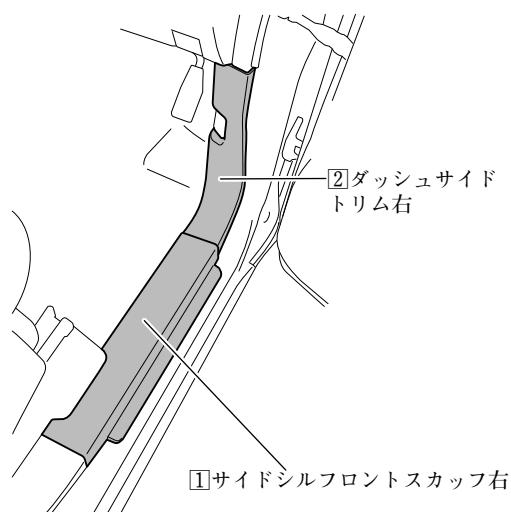
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

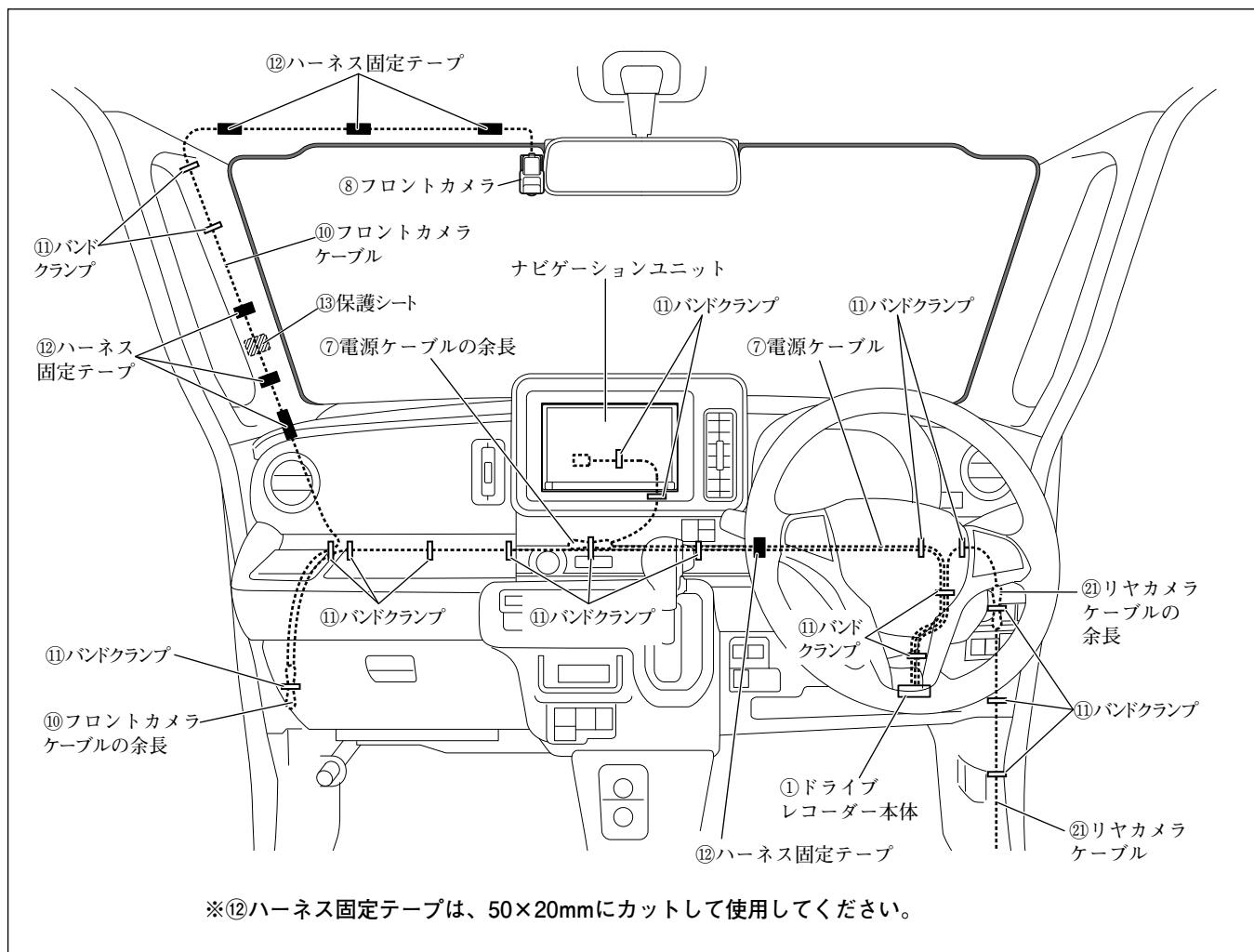


リヤカメラ

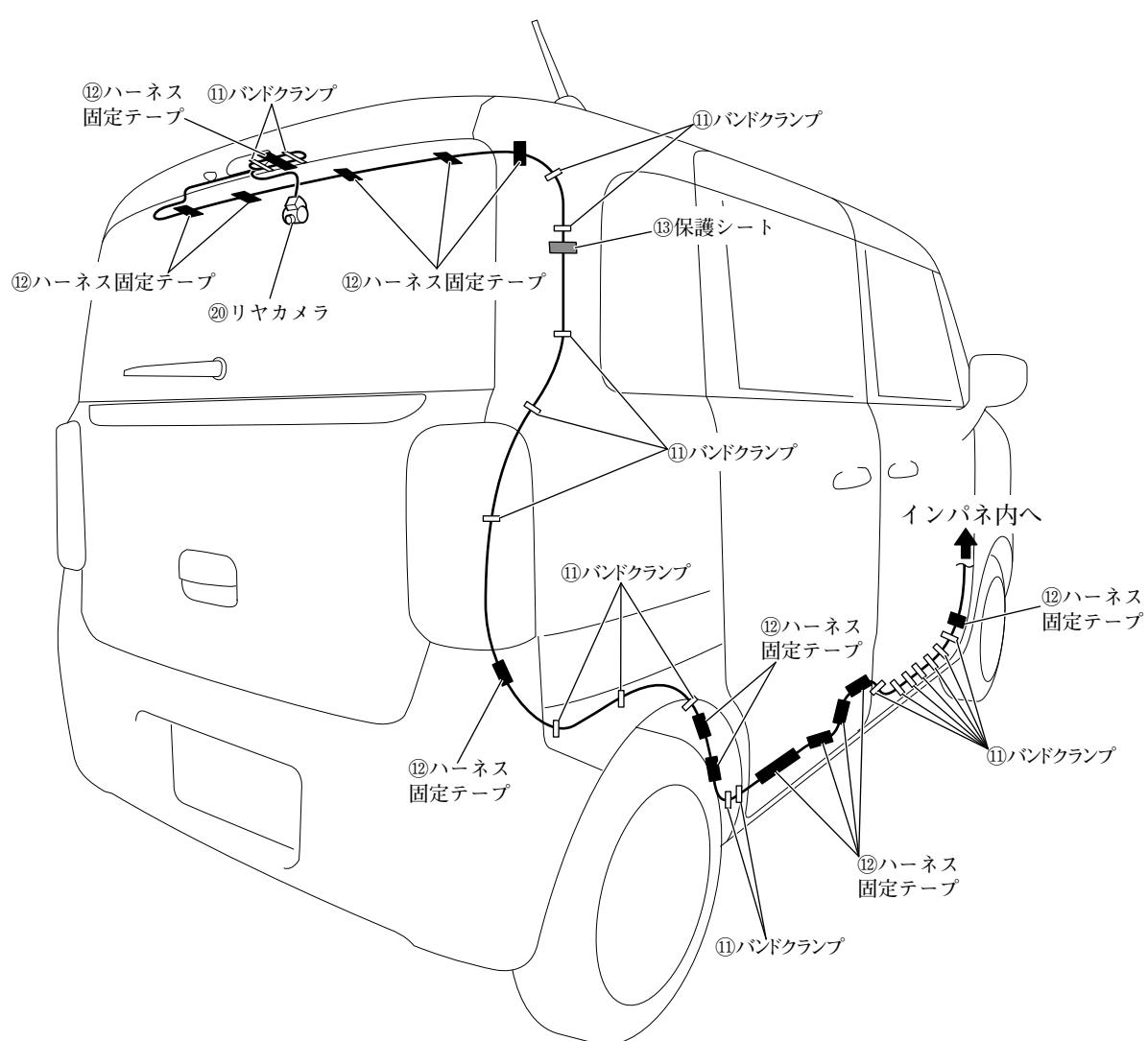


●取付概要

フロントカメラ



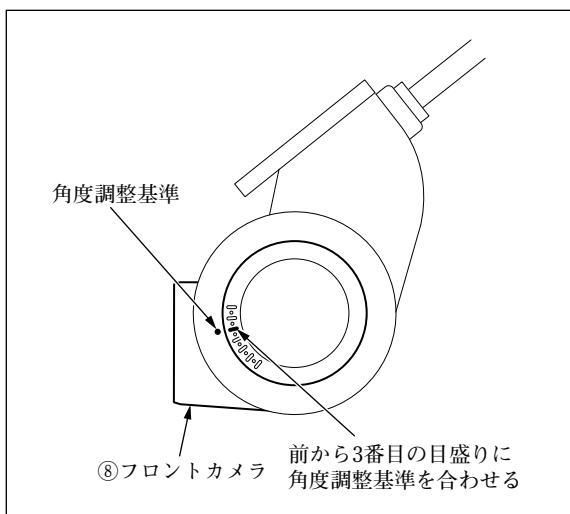
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



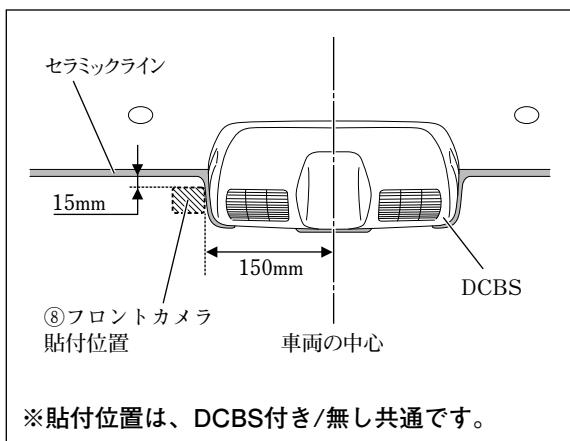
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

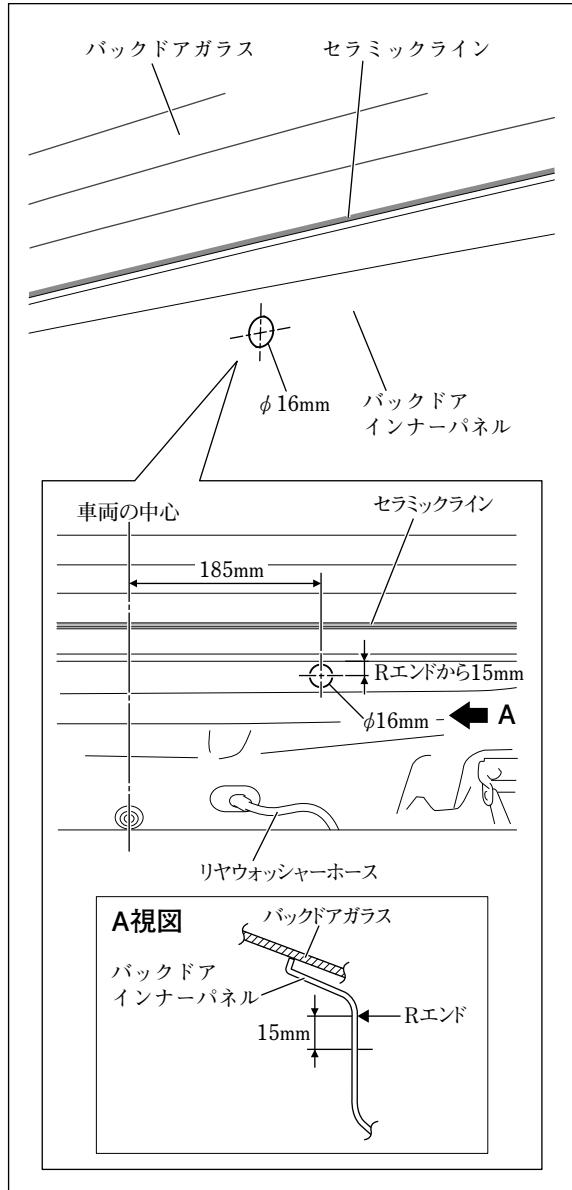
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

⚠️ 警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

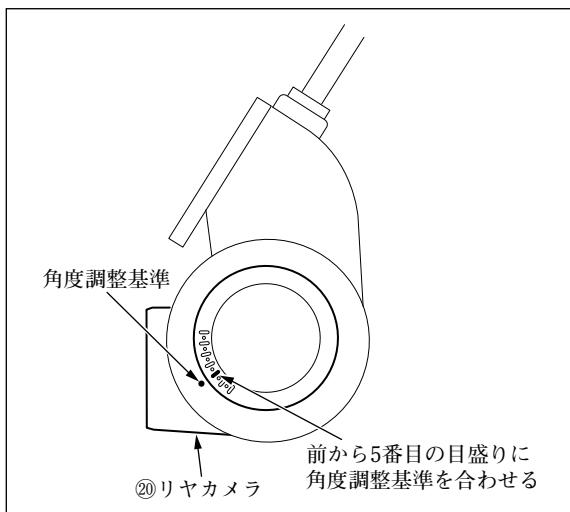
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



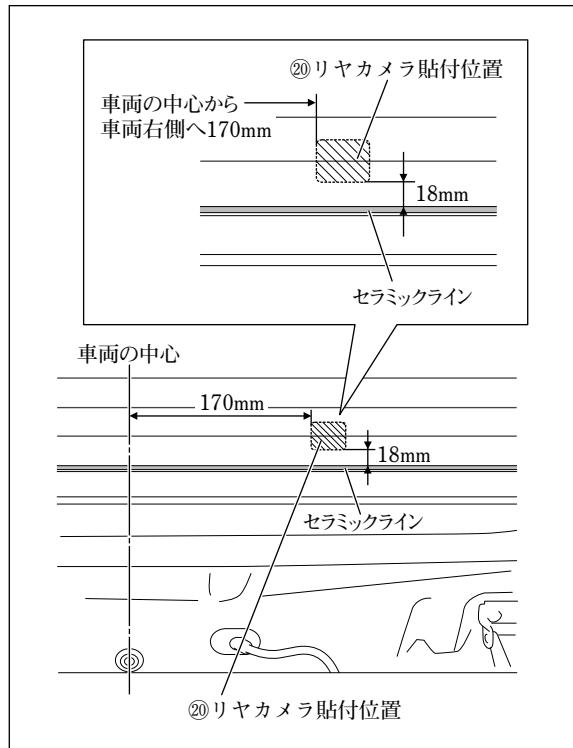
②①リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

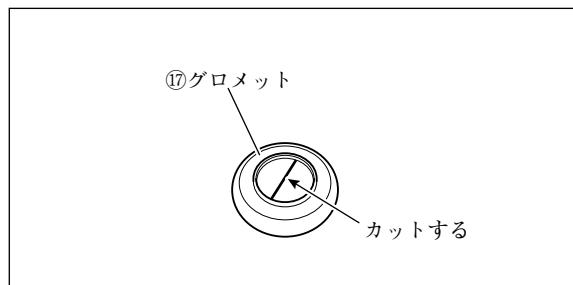


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

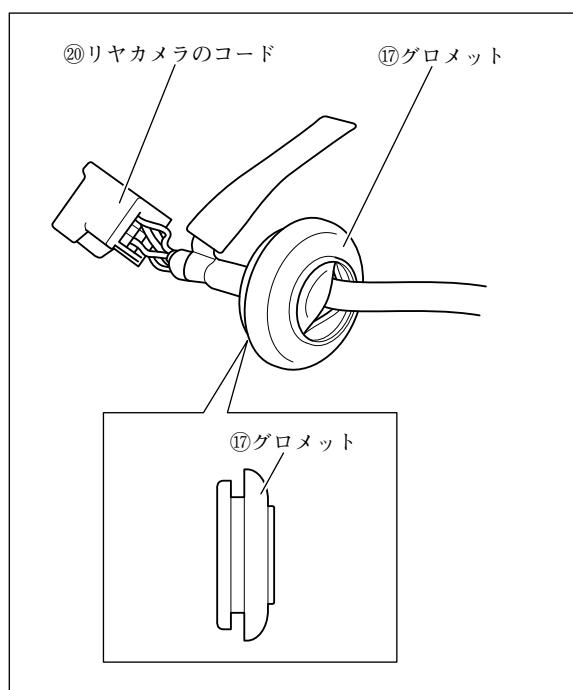
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めながら貼り付け作業を行ってください。

2



⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

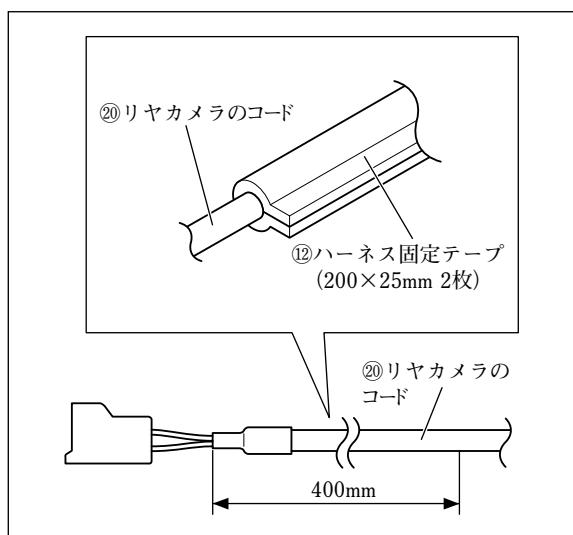


⑦グロメットを②リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

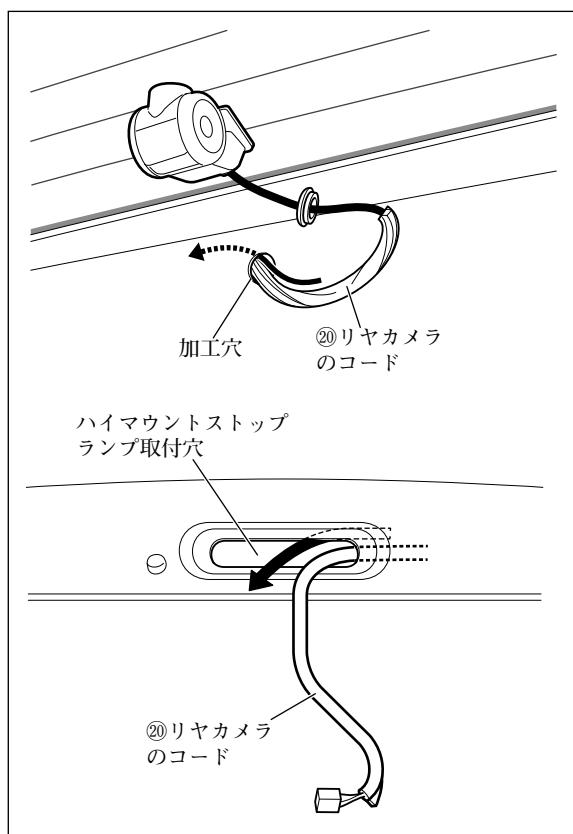
- ⑦グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②リヤカメラのコードを⑦グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



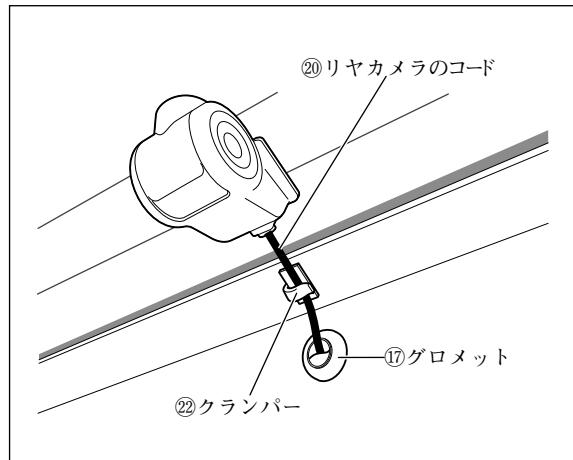
⑫ ハーネス固定テープを⑪リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を利用して⑪リヤカメラのコードを加工穴からハイマウントストップランプ取付穴へとバックドアパネル内を通して下さい。

6



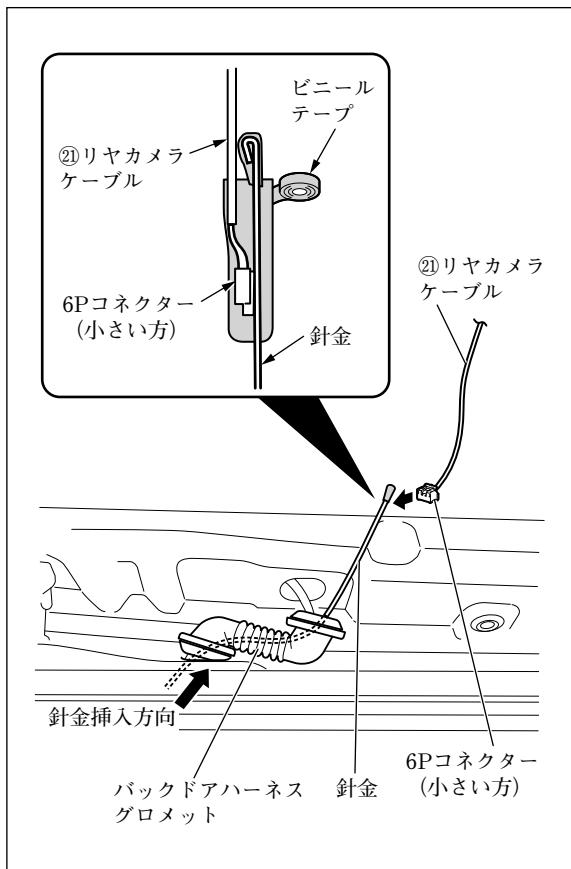
- (1) ⑪ グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ⑫ クランパーで⑪リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑫ クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

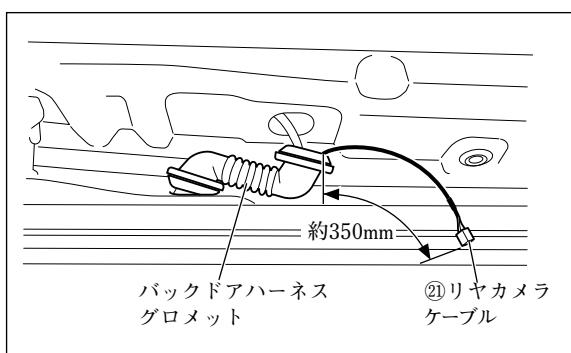


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

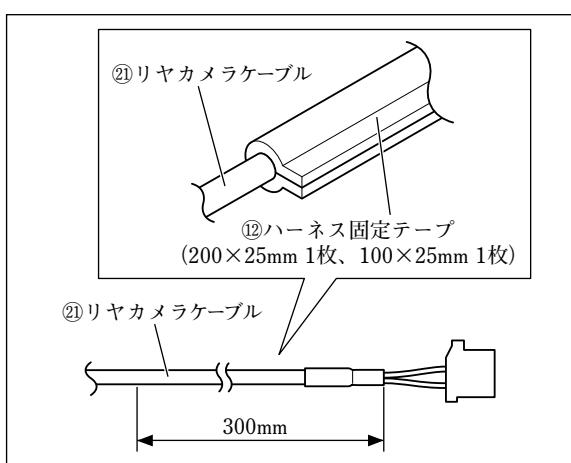
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。

2



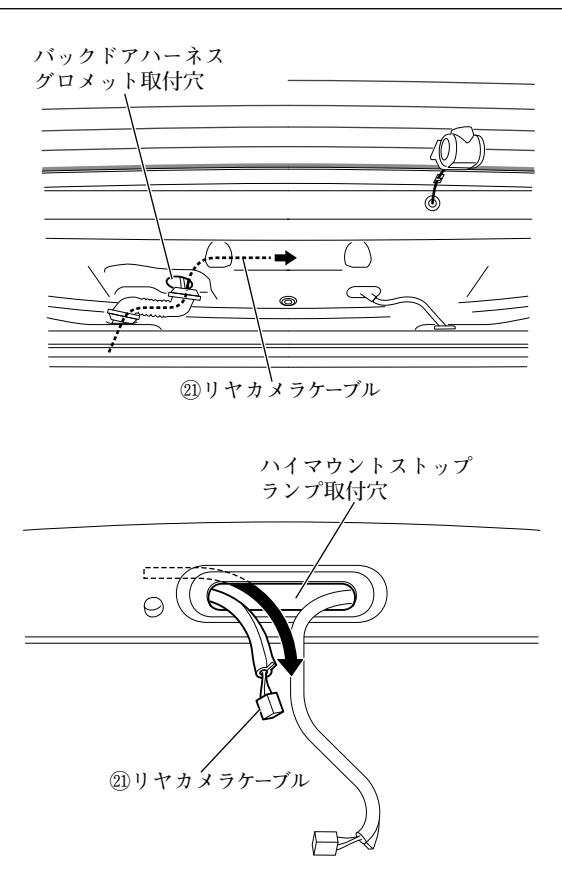
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



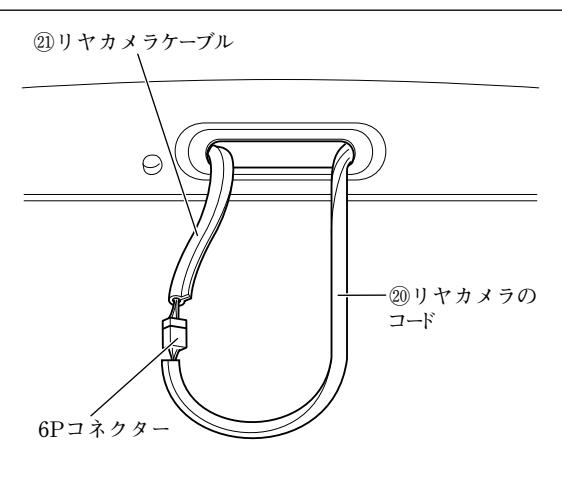
⑫ハーネス固定テープを②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



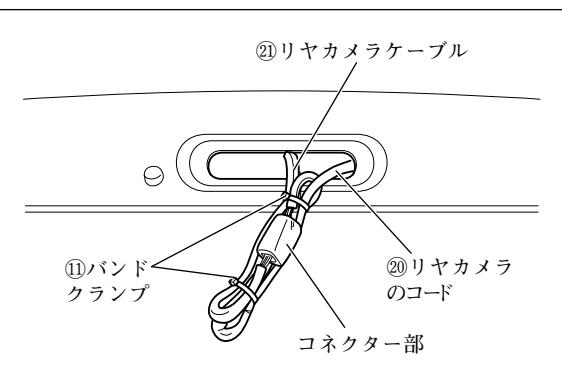
針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



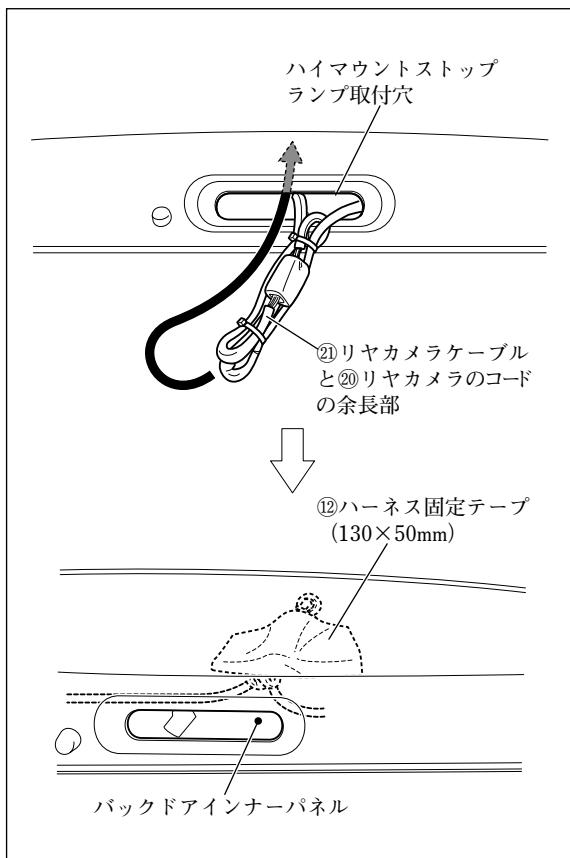
- (1) ②リヤカメラケーブルのコネクターと②リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンド クランプで固定してください。

7



⑪リヤカメラケーブルと⑩リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドAINナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ハイマウントストップランプと干渉しない位置へ貼り付けてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

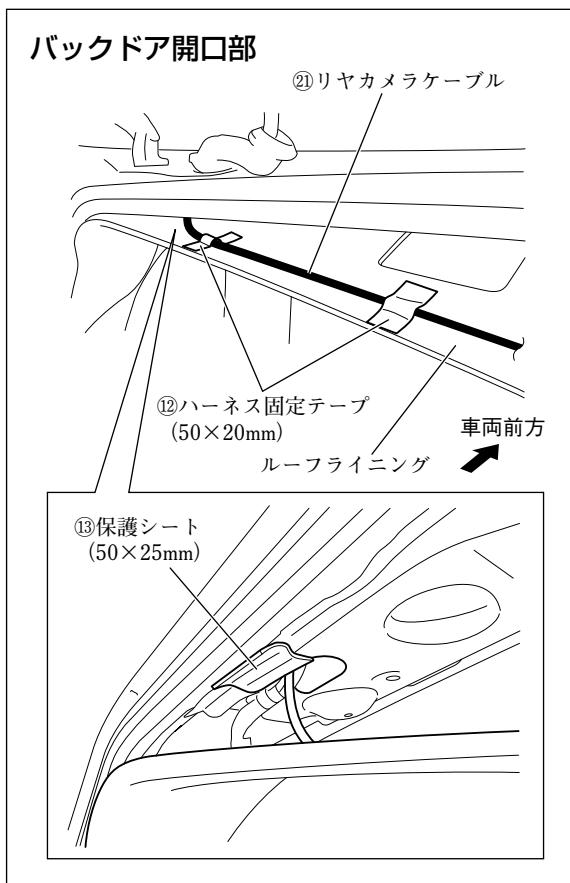
「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

1

バックドア開口部



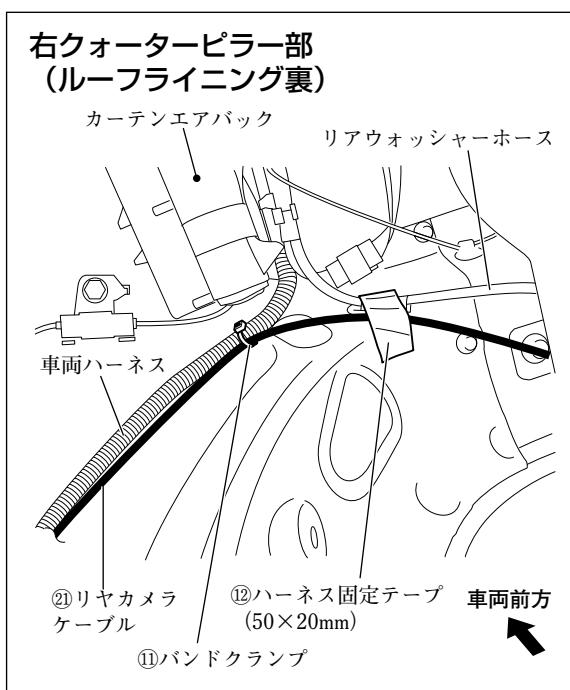
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

2

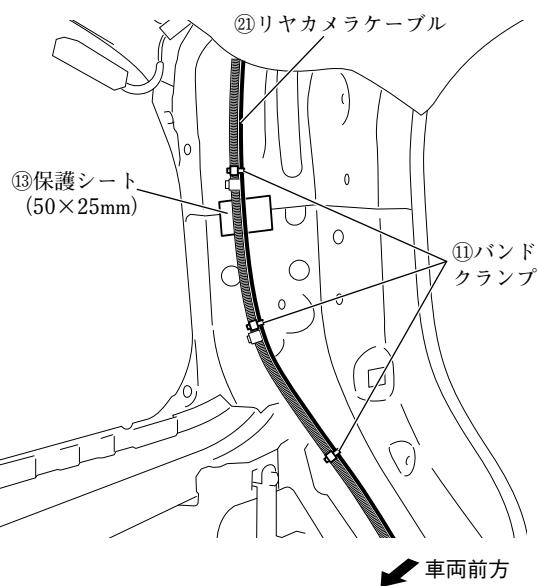
右クォーターピラ一部 (ルーフライニング裏)



カーテンエアバック展開時の妨げとならないよう
に必ず車両ハーネス等に沿わせてください。

3

右クォーターピラー部

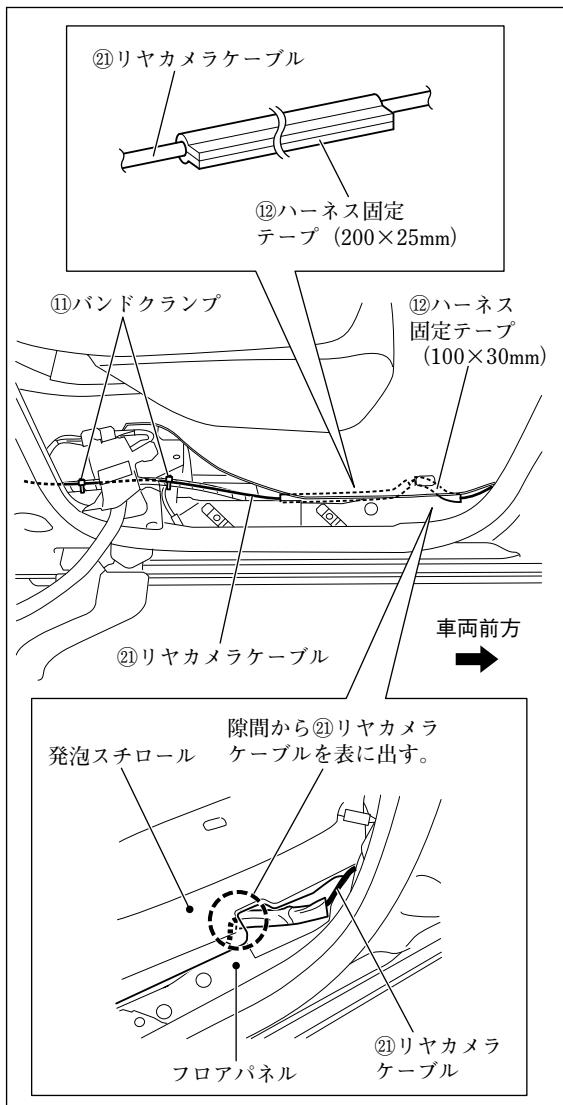


配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

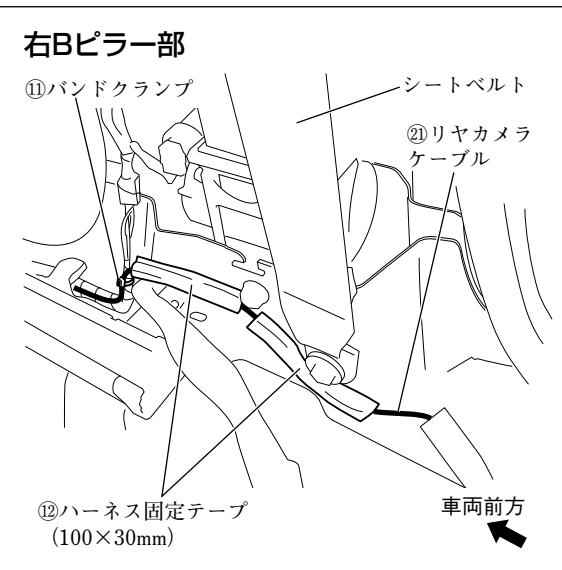
- ⑯保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

4



- (1) 配線を保護するため、図示箇所の⑫リヤカメラケーブルに⑯ハーネス固定テープ（200×25mm）を巻き付けてください。
- (2) 図示箇所の⑫リヤカメラケーブルは、発泡スチロールとフロアパネルの隙間から表へ出してください。

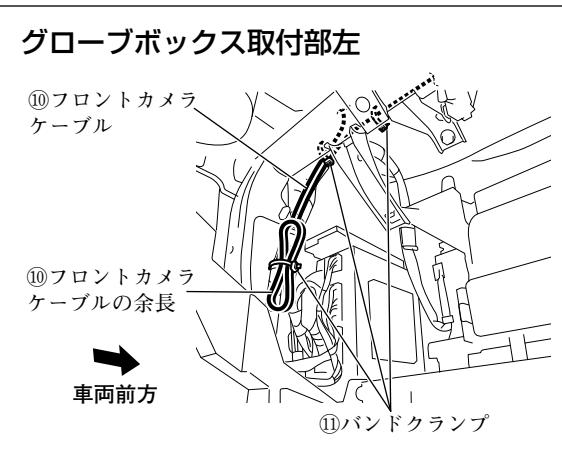
5



シートベルトと干渉しないように⑭リヤカメラケーブルを配線してください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

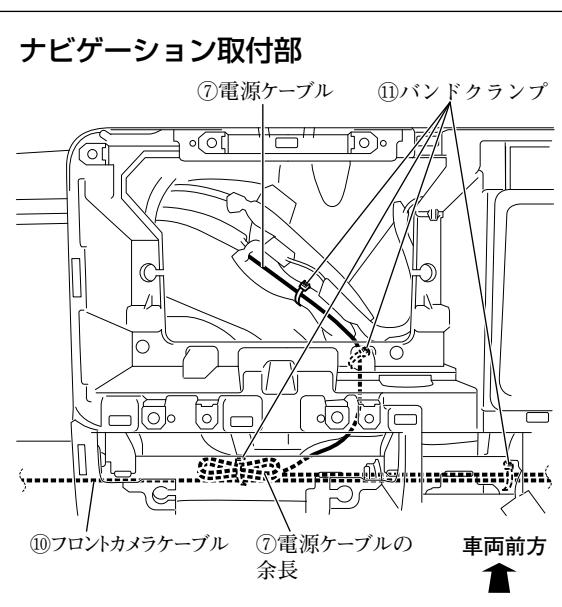
1



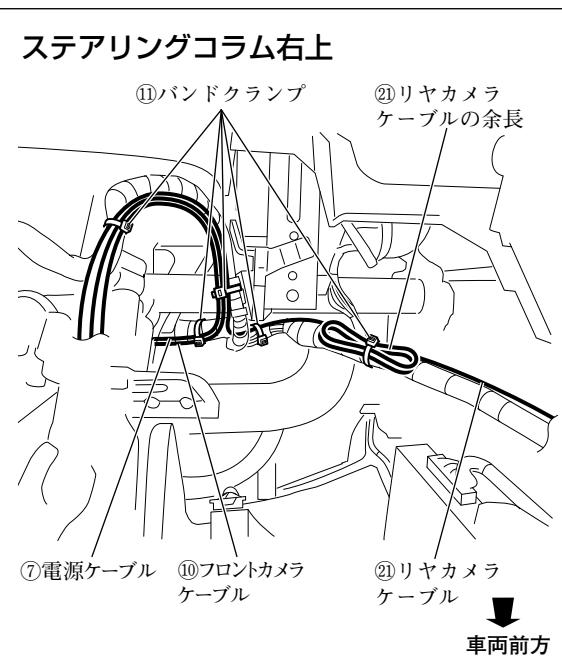
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑭リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

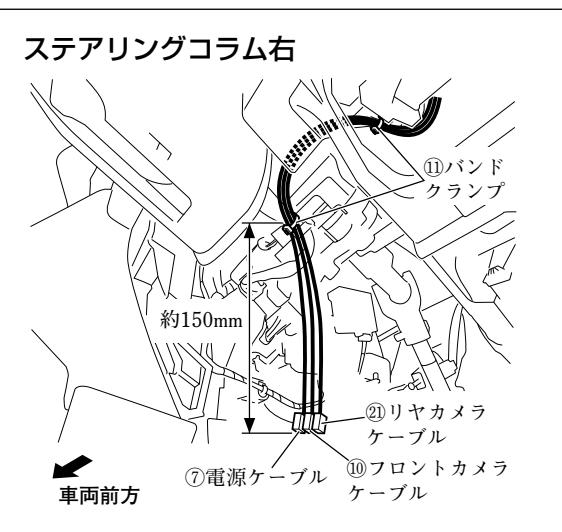
- ⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑭リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



2



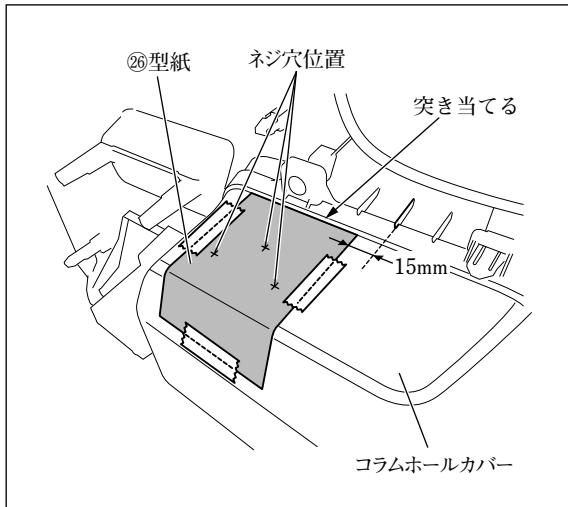
① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

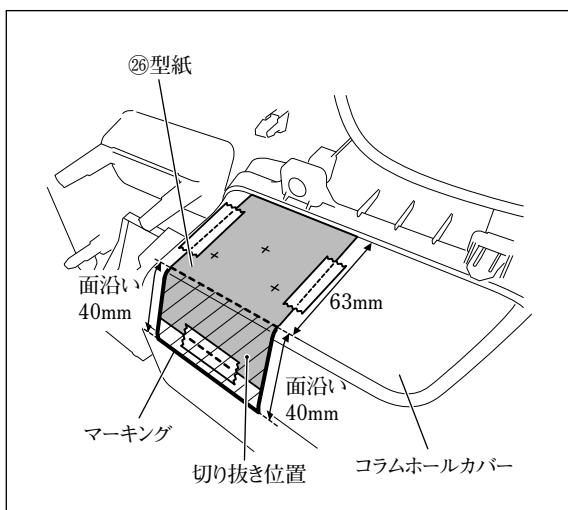
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

2

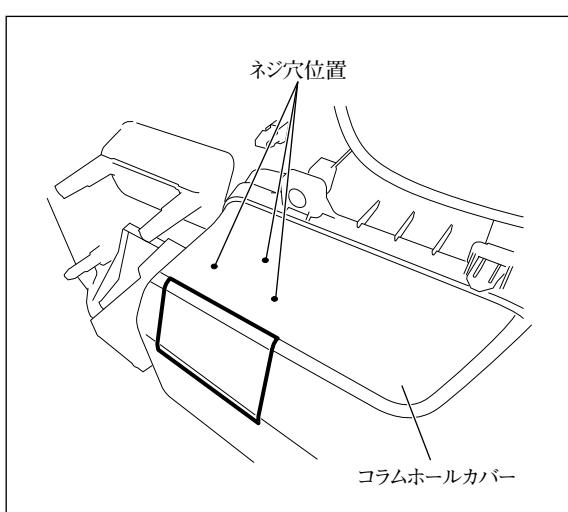


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

3



⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

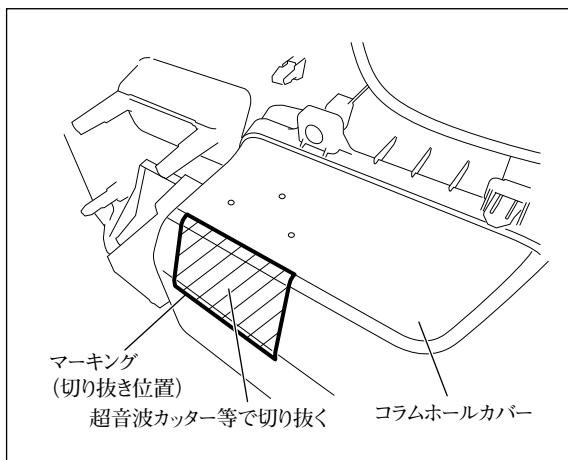
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にトップバー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

4



- (1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠ 注意

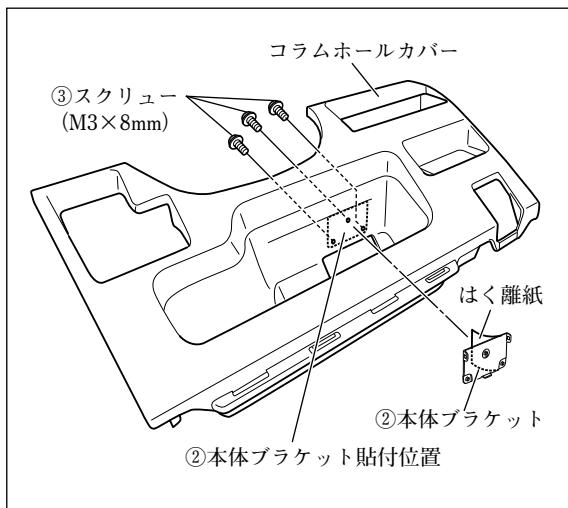
穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

5



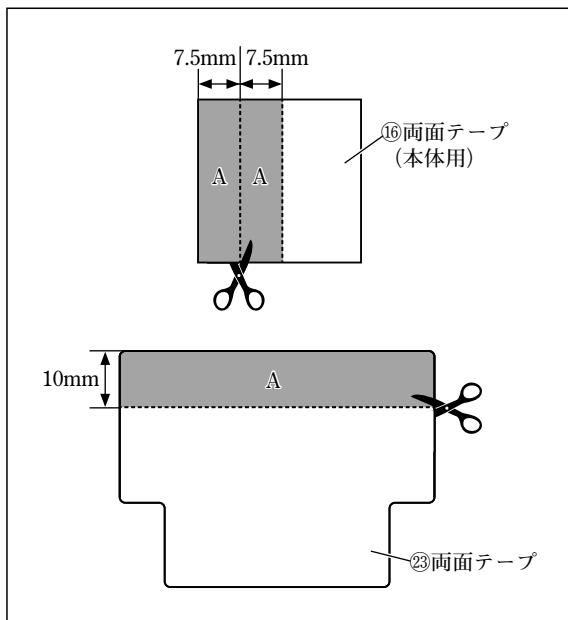
- (1) ②本体ブラケットのはぐ離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

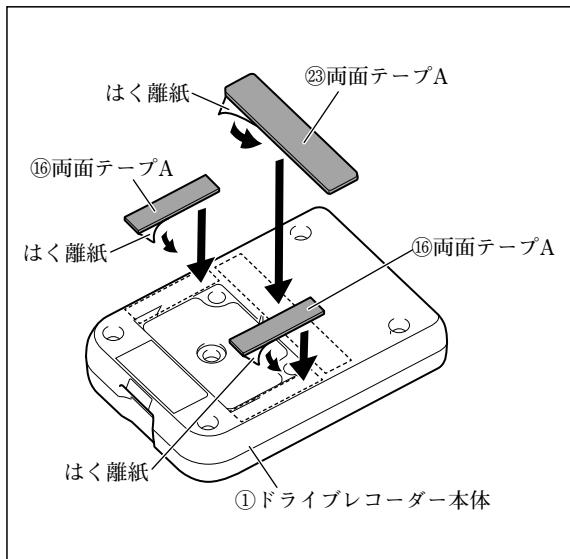
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

6



- ⑯両面テープ（本体用）と⑰両面テープを図のようにカットしてください。

7

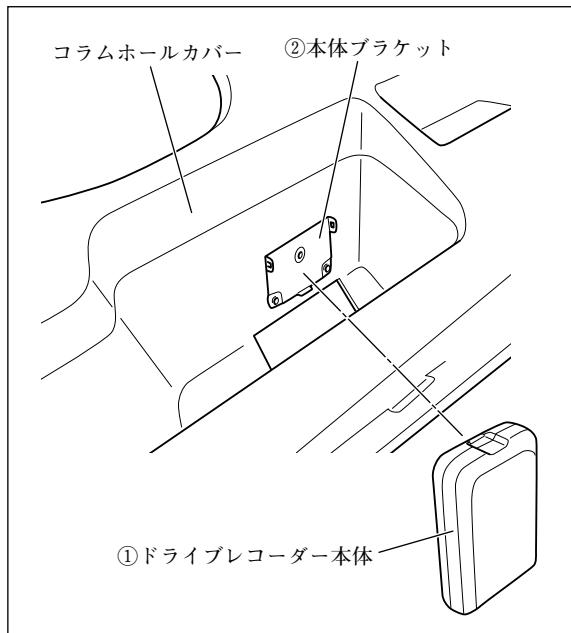


カットした⑯両面テープ（本体用）と②3両面テープを①ドライプレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



- (1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体、③両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
 (3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

- ・「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。
- 既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

エスクードの場合

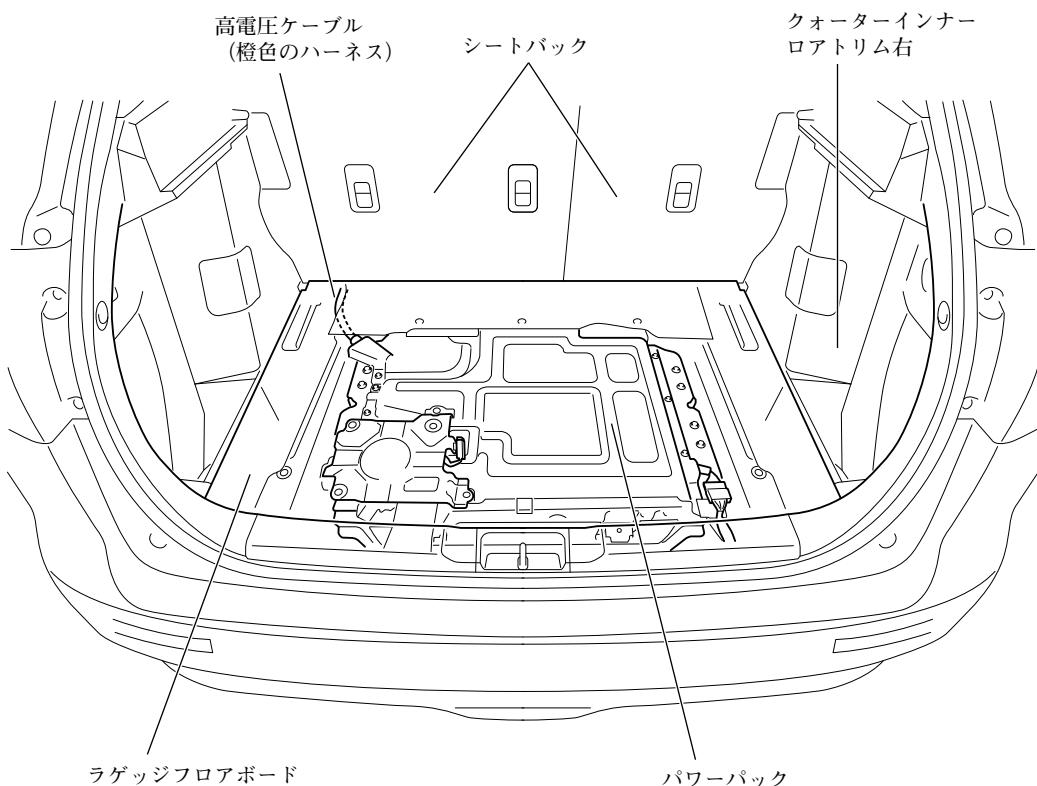
●車両部品の取り外し方法

エスクードのハイブリッド車は、ラゲッジ下部にパワーパック（高電圧バッテリー、インバーター）が取り付けられていますので作業の途中に高電圧回路が露出をします。

このため、有資格者がサービスマニュアルを参照した上で保護具（絶縁手袋や絶縁靴など）を着用し、絶縁工具を使用しながら作業を行わないと感電や漏電などの原因となります。



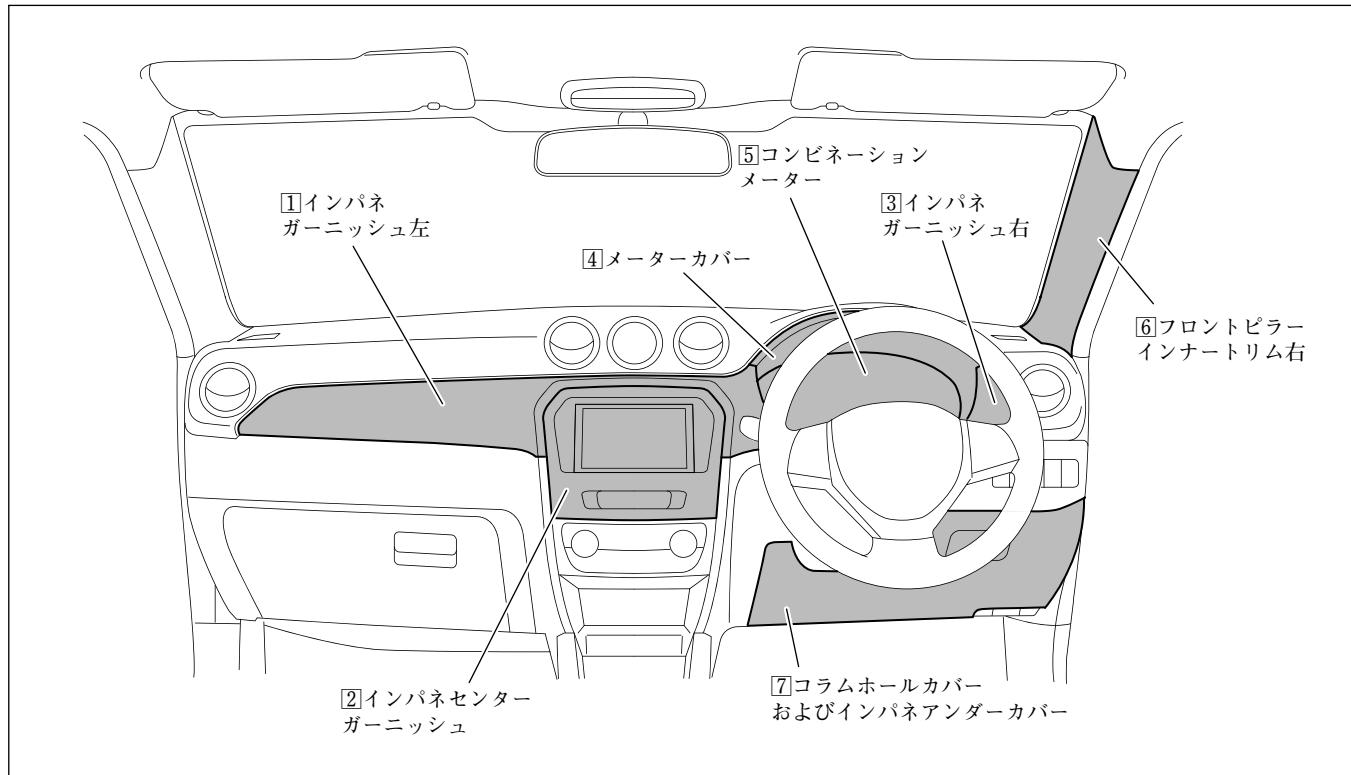
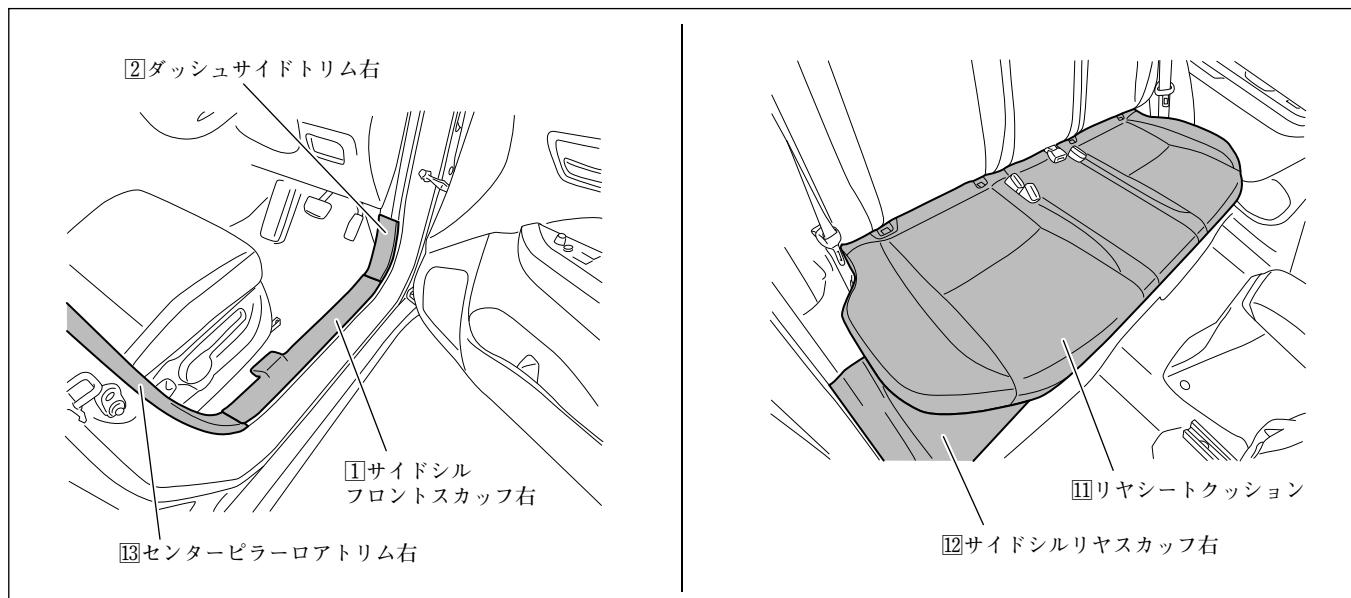
- ハイブリッド車に取り付ける場合、低圧電気取扱業務特別教育を修了した作業者が作業を行ってください。
- ハイブリッド車に取り付ける場合、「高電圧ケーブル（橙色のハーネス）」やラゲッジルーム下部のパワーパックは、みだりに触らないでください。内部に高電圧が印加されているため、感電や重大な傷害のおそれがあります。
- パワーパックに部品や工具を載せないでください。
- パワーパックに衝撃を与えないでください。
- パワーパックを水等の液体で濡らさないでください。
- パワーパックに貼り付けられた警告ラベルの記載を読んで理解をした上で作業を行ってください。

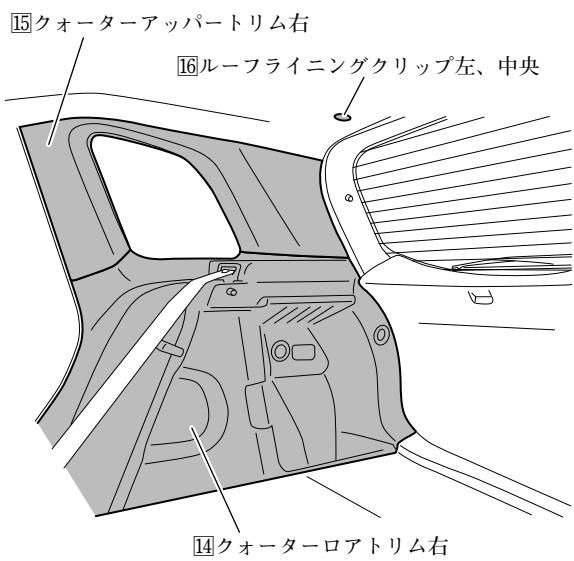
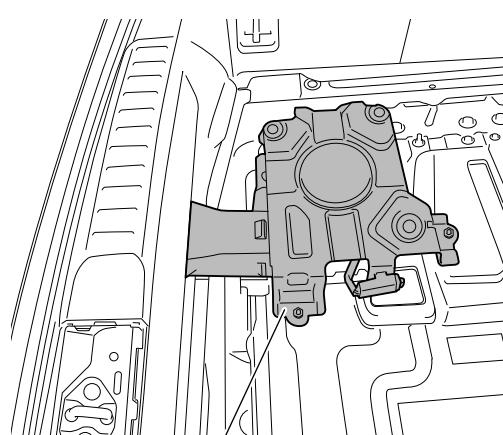
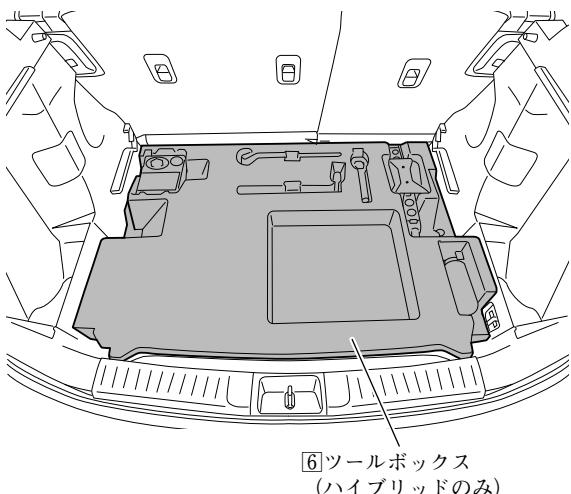
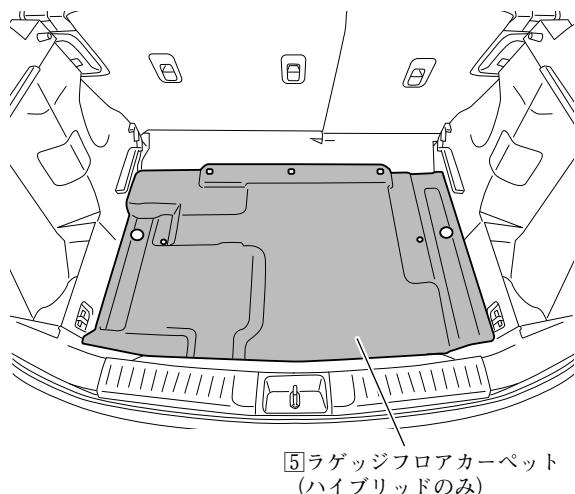
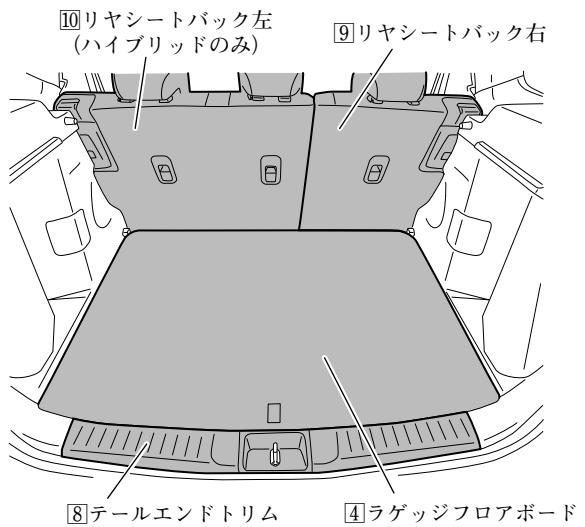
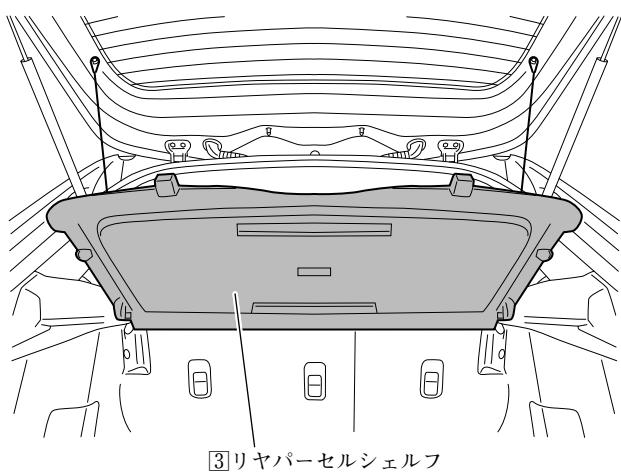


注記

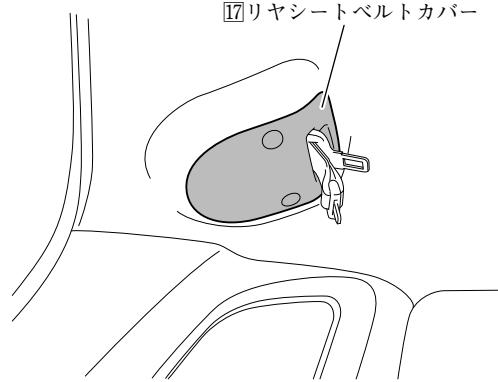
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。
 - ハイブリッド車は、ガソリン車と比べ、ラゲッジ部やリヤシート部の脱着部品や脱着方法等が異なります。
- サービスマニュアルを参照して作業を行ってください。

図に示す車両部品を取り外してください。

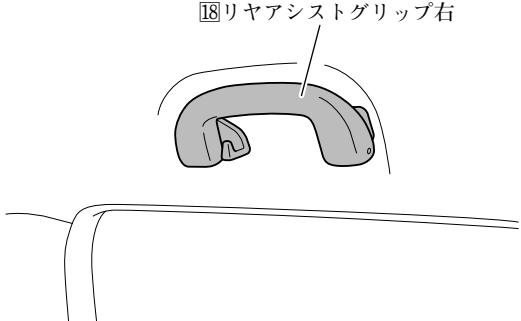
フロントカメラ**リヤカメラ**



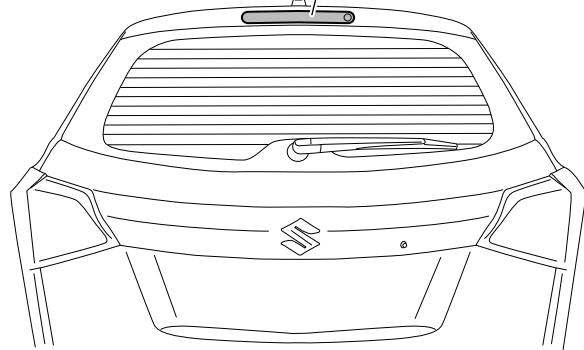
17 リヤシートベルトカバー



18 リヤアシストグリップ右

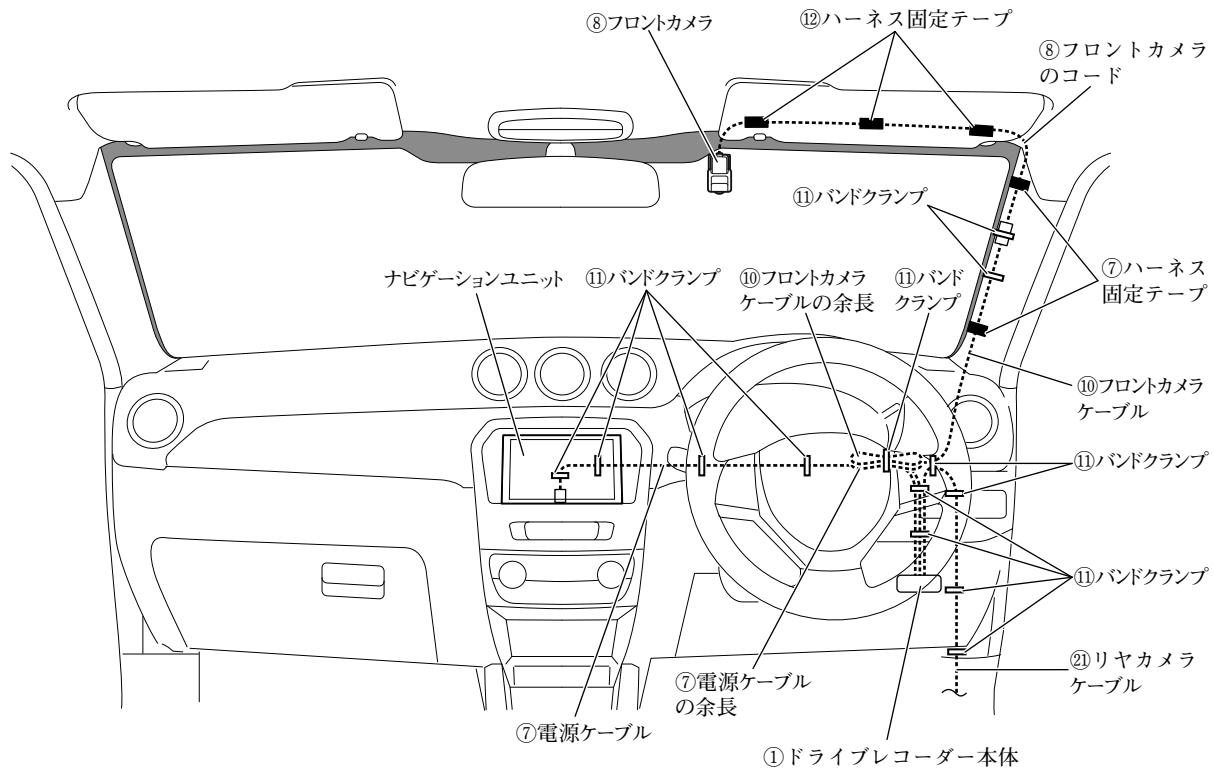


19 ハイマウントストップランプ



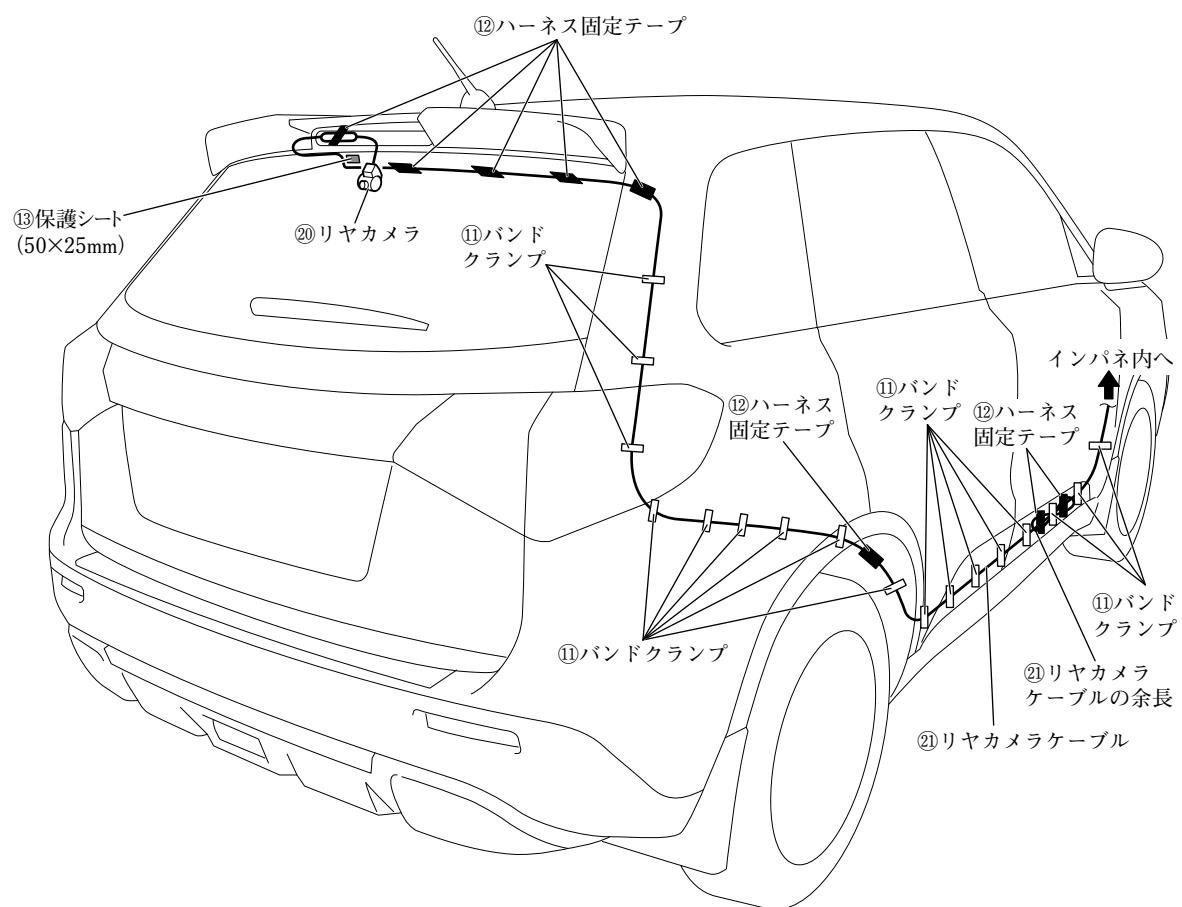
●取付概要

フロントカメラ



※(12)ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

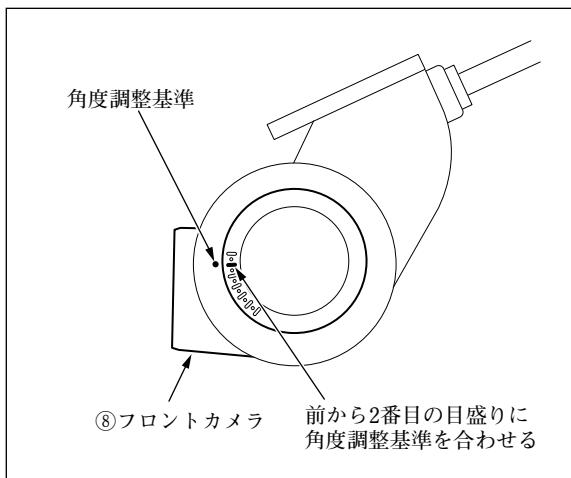
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



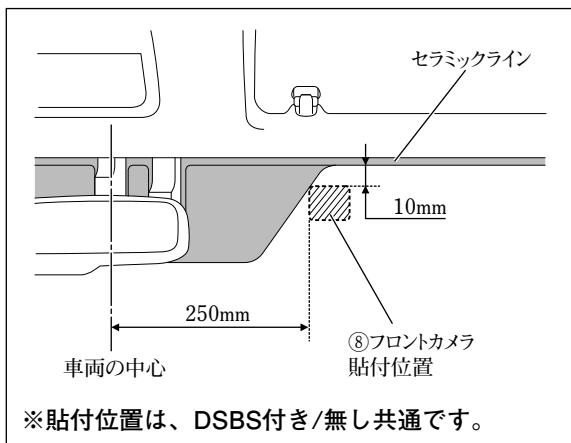
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

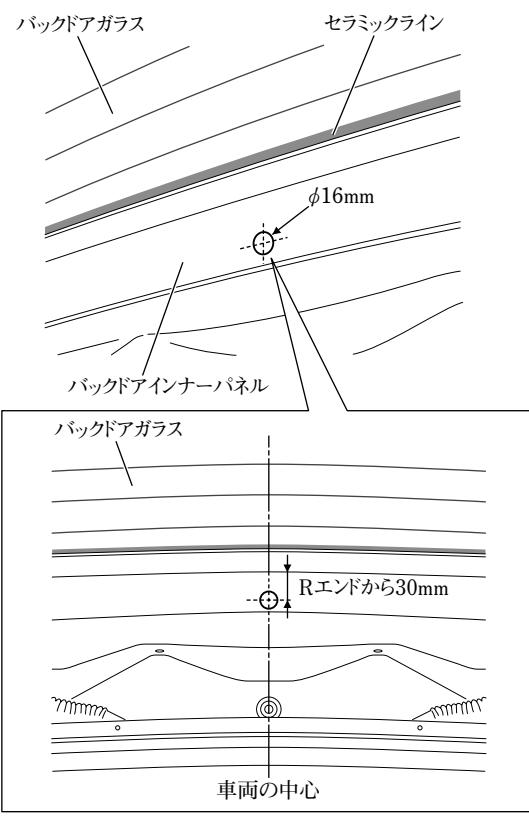
注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラ取付前の準備

1

バックドア上部中央



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

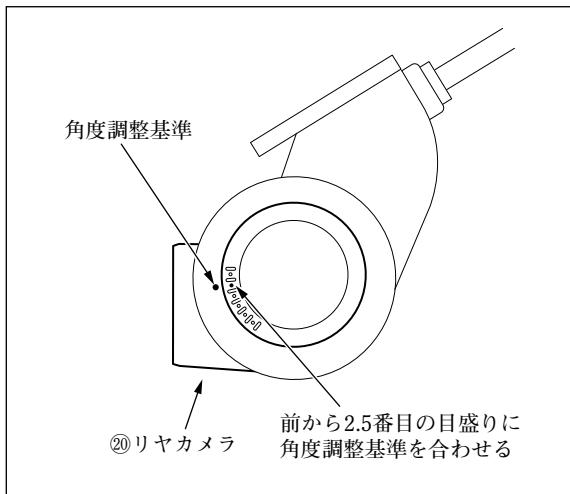
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



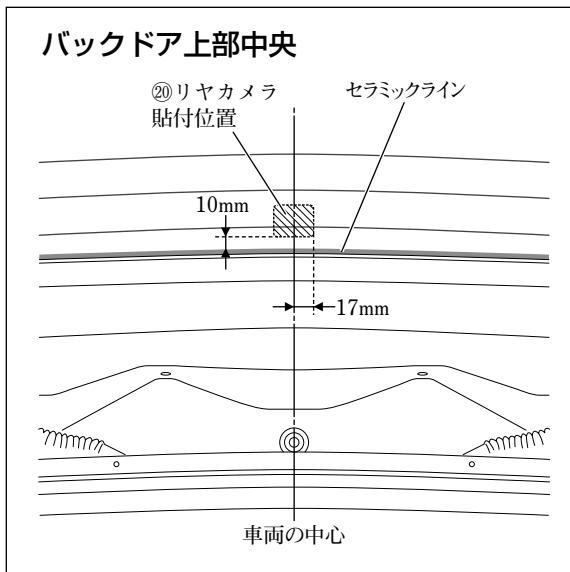
②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

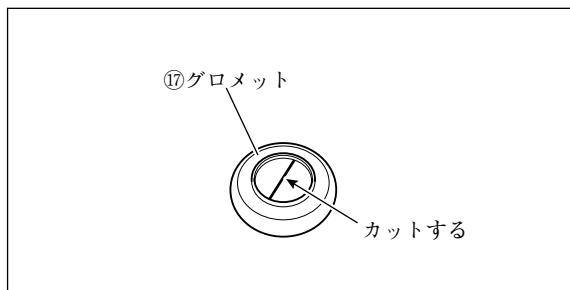


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

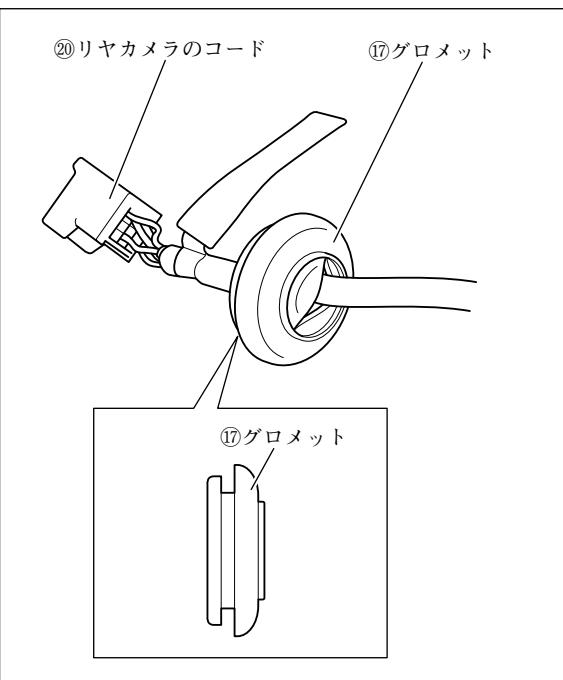
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

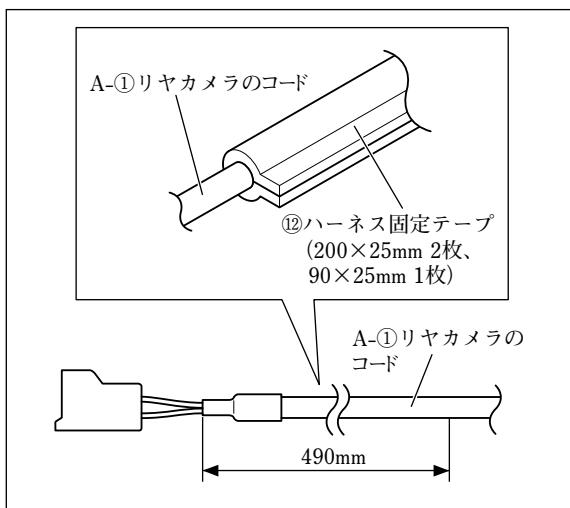


⑦グローメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

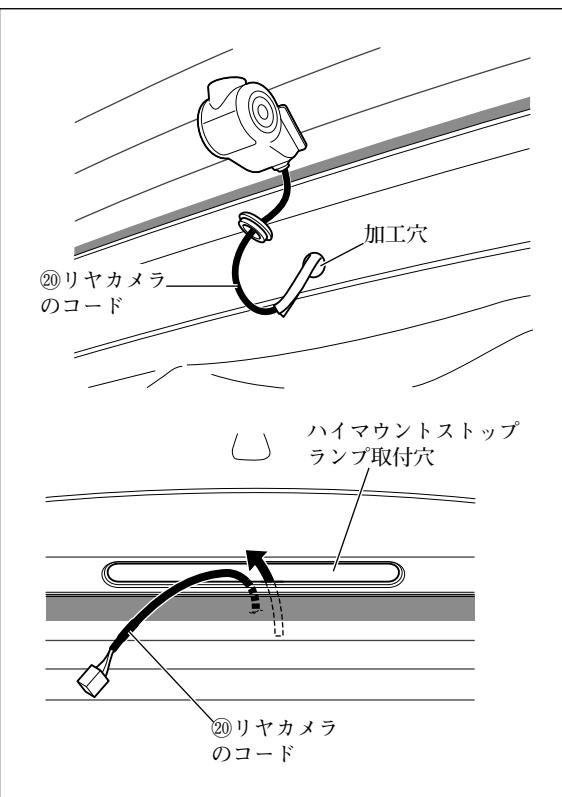
- ⑦グローメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑦グローメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



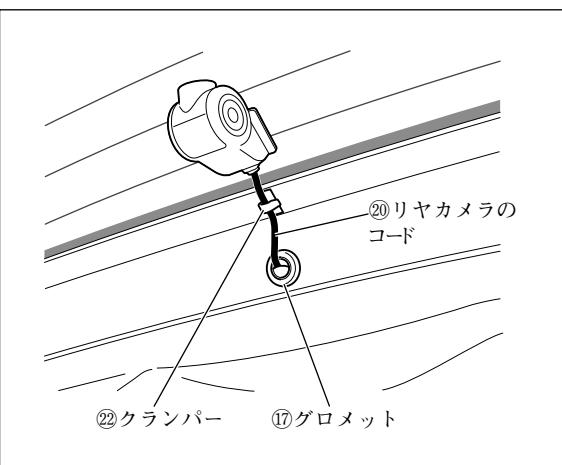
⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して②〇リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



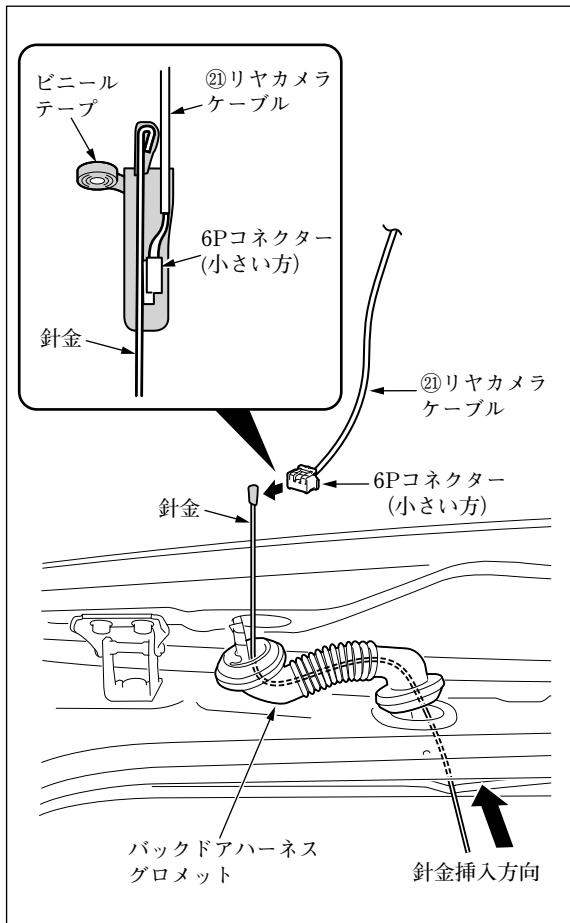
- (1) ⑦〇グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ②〇クランパーで②〇リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②〇クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

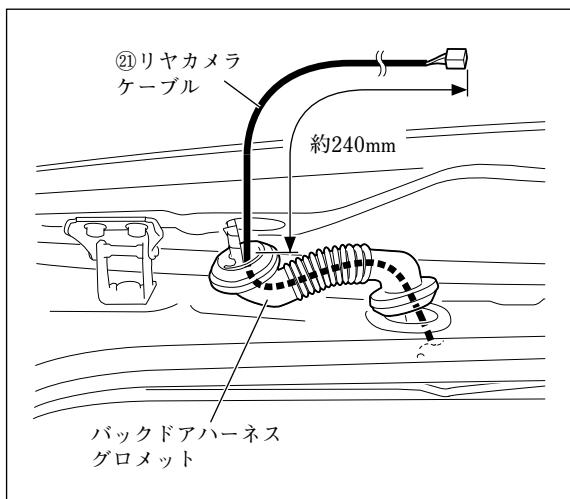


- (1) 针金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

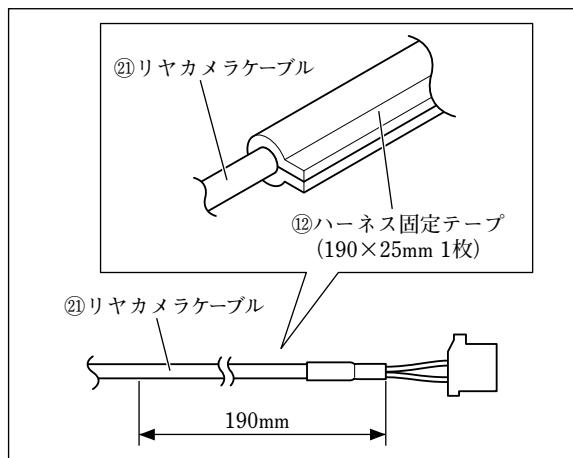
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。

2



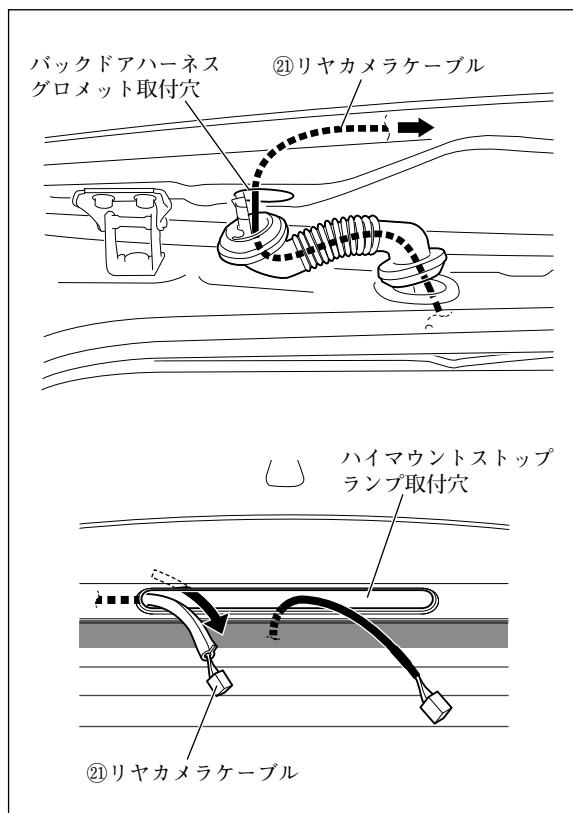
バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



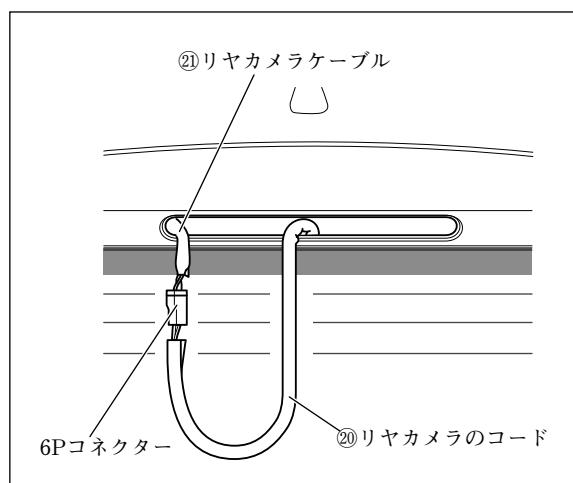
⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



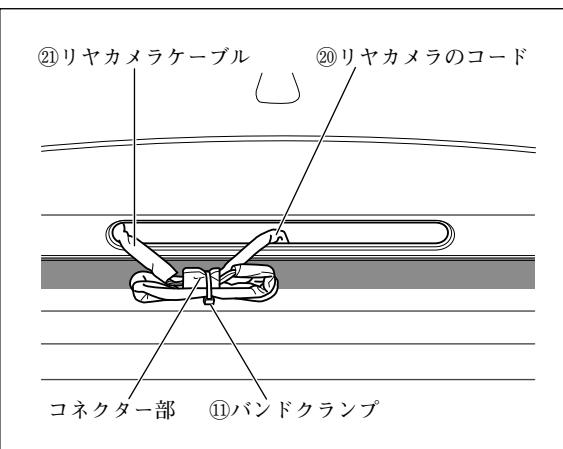
針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



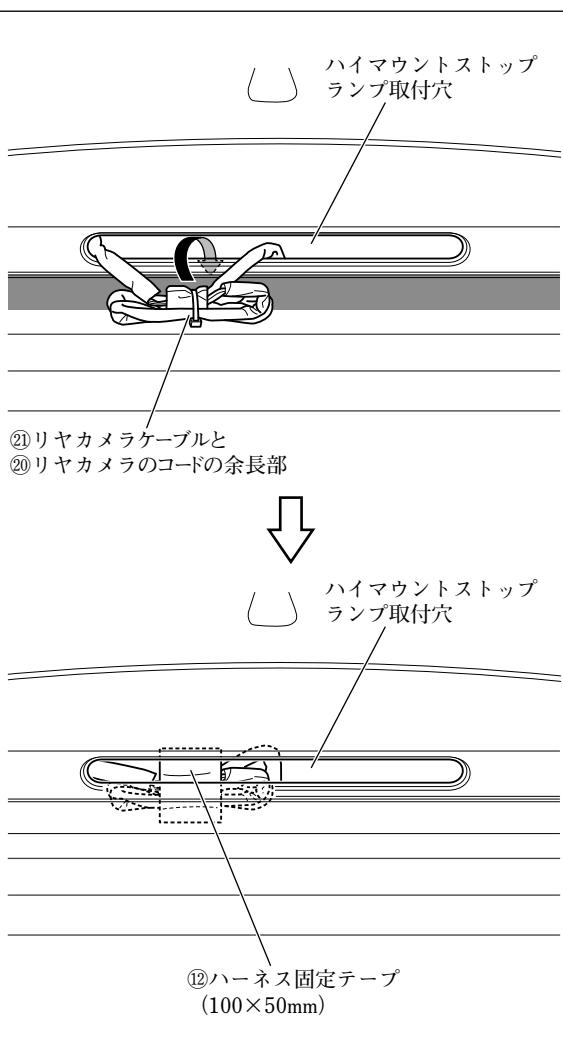
- (1) ②リヤカメラケーブルのコネクターと⑰リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

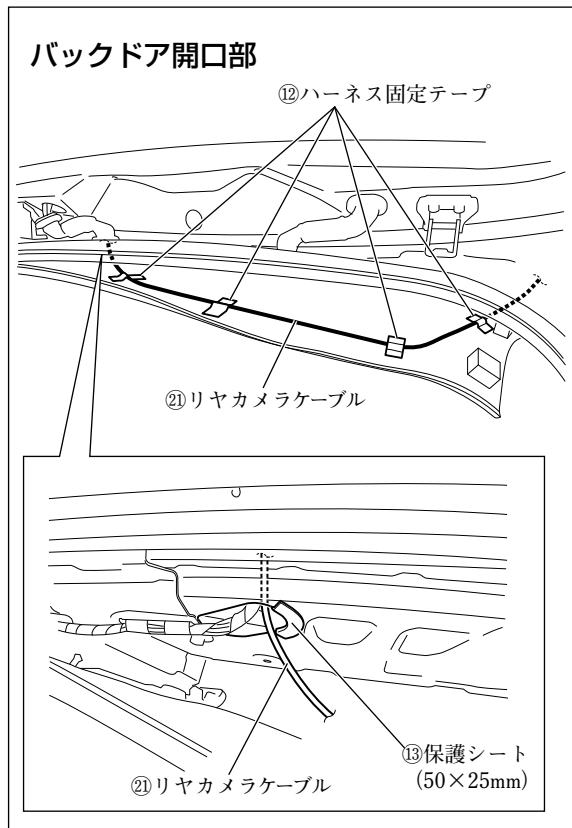
- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

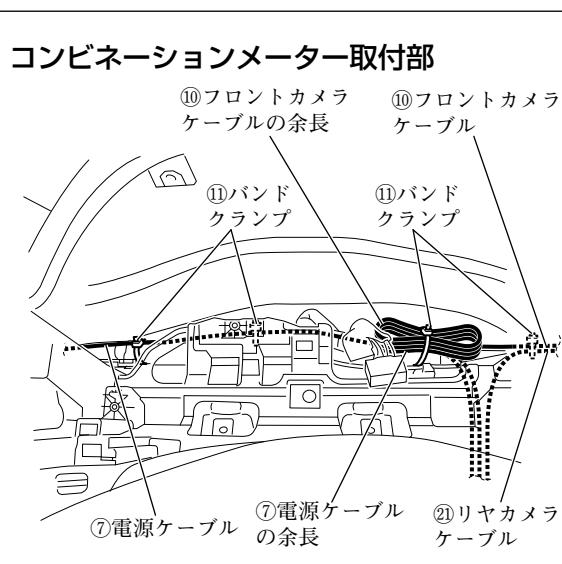
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

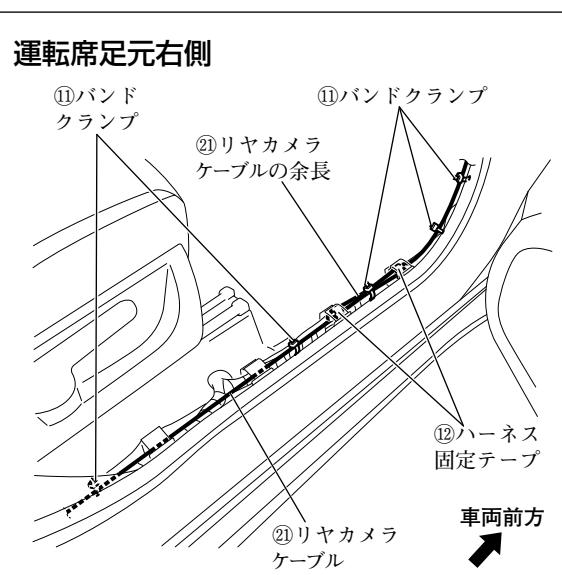


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②1リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

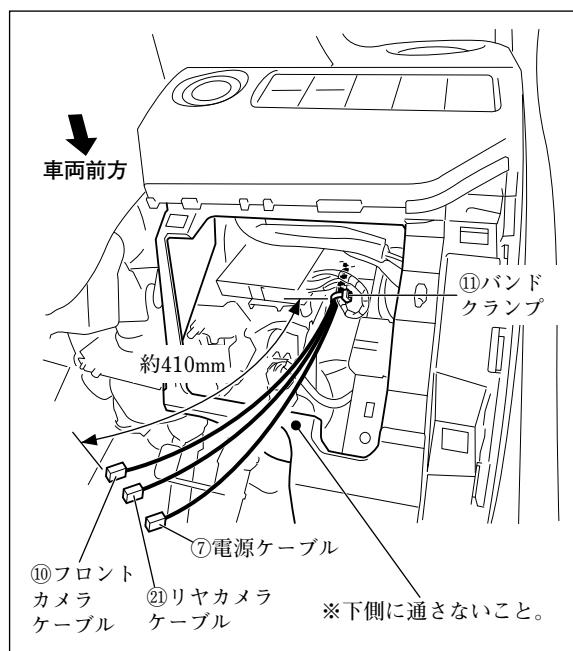
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②1リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



2



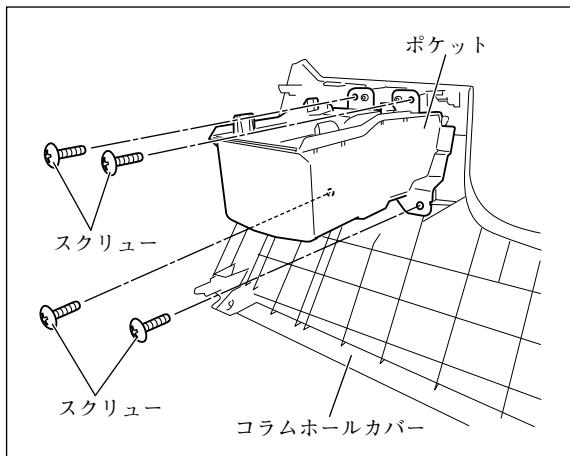
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

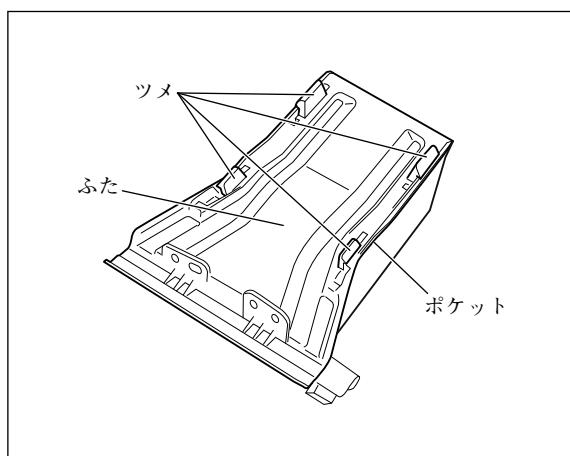
- 本車両は④車両側ブラケットを使用します。配線を通す穴を加工します。
- 本車両は①ドライブレコーダー本体を取り付けることにより、ポケットの機能が一部制限されます。

1



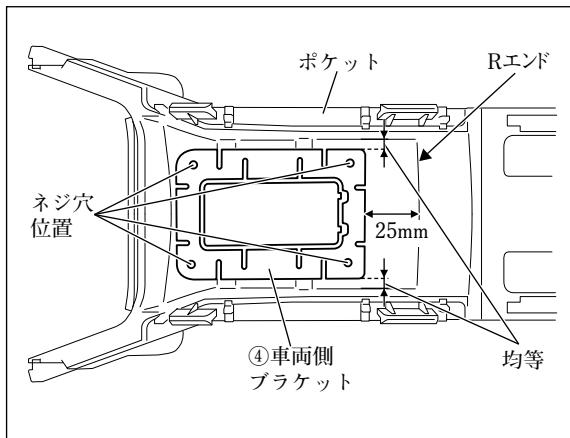
スクリュー（4本）を外し、コラムホールカバーからポケットを取り外してください。

2



ツメ（4箇所）を外し、ポケットのふたを開けてください。

3



- (1) ポケットへ④車両側ブラケットを当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

注記

④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。

- (2) ④車両側ブラケットを外し、マーキングした位置にドリルで穴 ($\phi 3\text{mm}$) を開けてください。

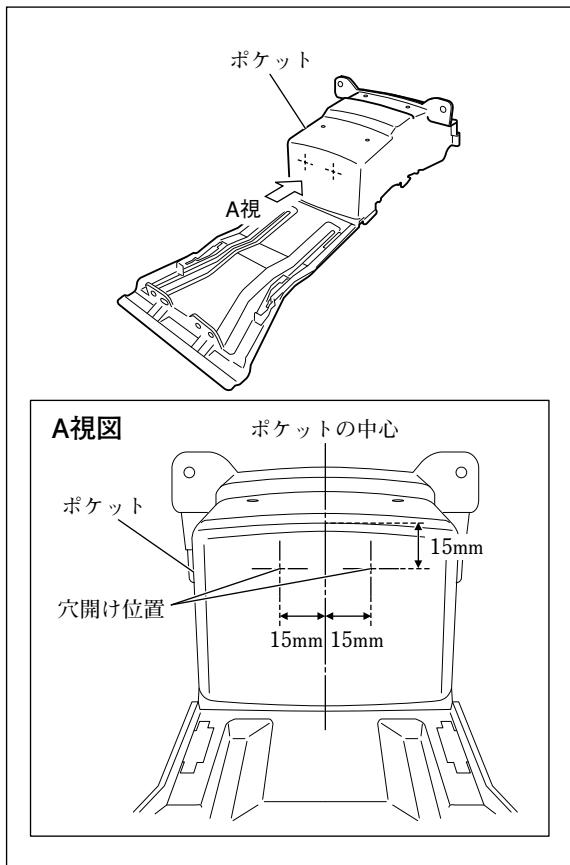
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

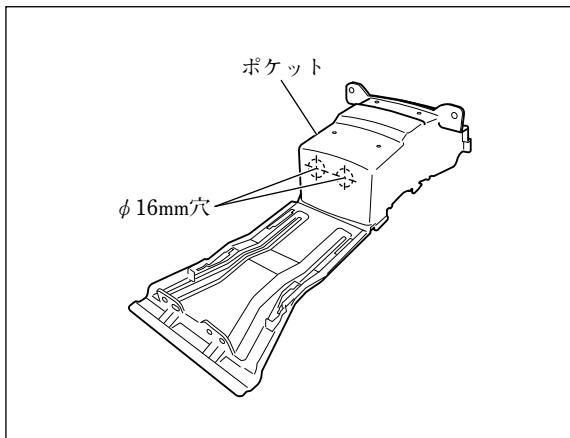
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

4



ポケットの穴開け位置にマーキングをしてください。

5



ポケットの穴開け位置にホールソーで穴（φ16mm）を開けてください。

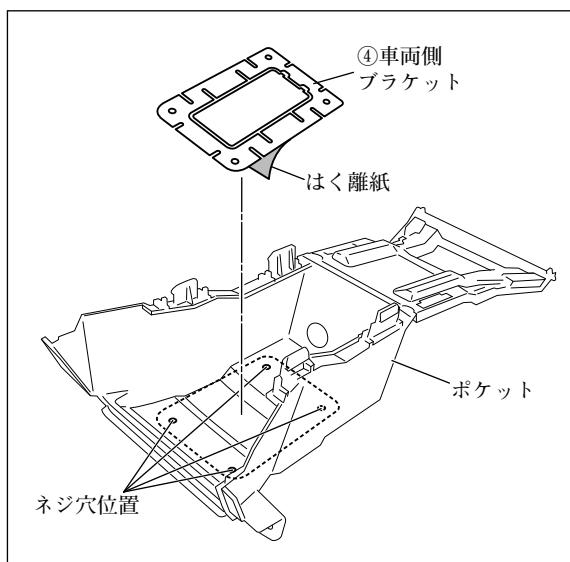
注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

6

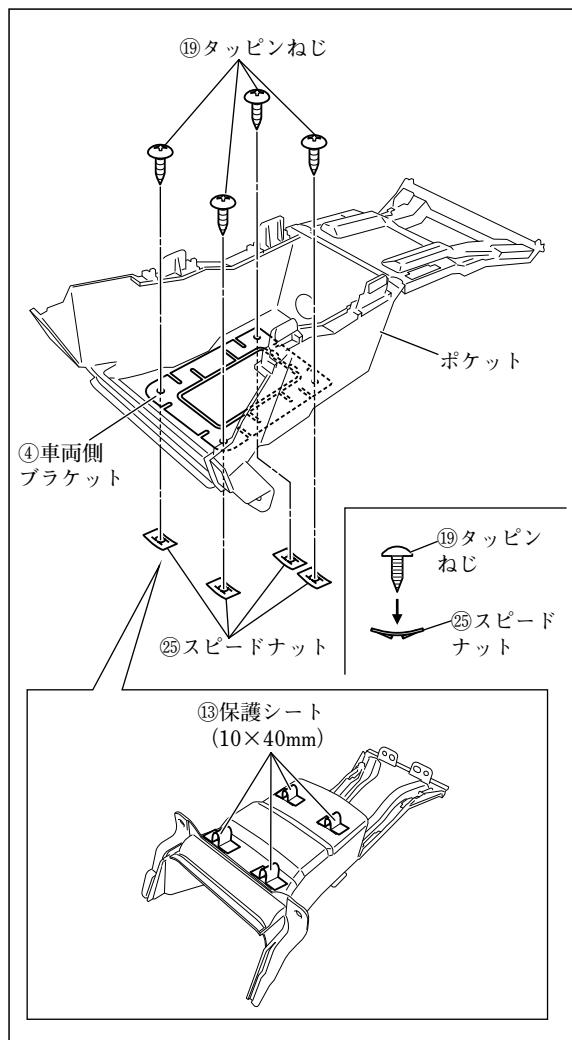


- (1) ⑯両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
- (2) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (3) ネジ穴位置が合うように④車両側ブラケットを貼り付けてください。

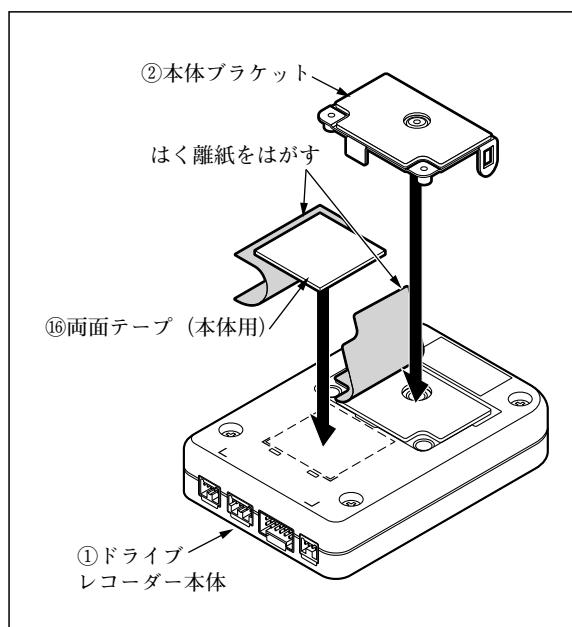
注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。

7



8



- (1) ㉕スピードナット（4個）および⑯タッピンねじ（4本）で④車両側ブラケットを固定してください。

注記

㉕スピードナットは、図の向きで取り付けてください。

- (2) ⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。

注意

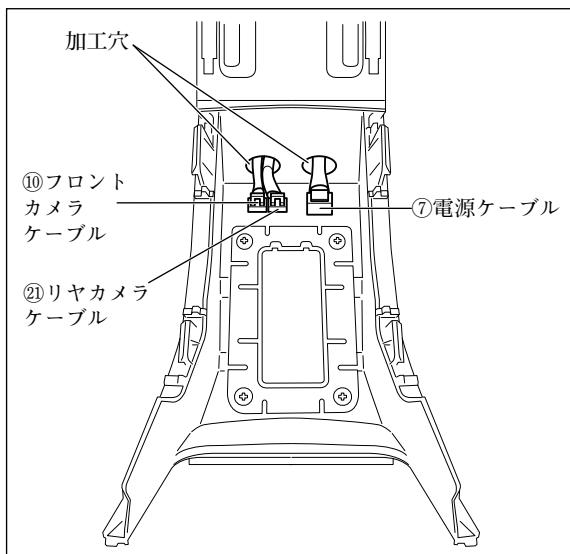
必ず⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。指等が触れるだけがをするおそれがあります。

- (1) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。
- (2) ②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

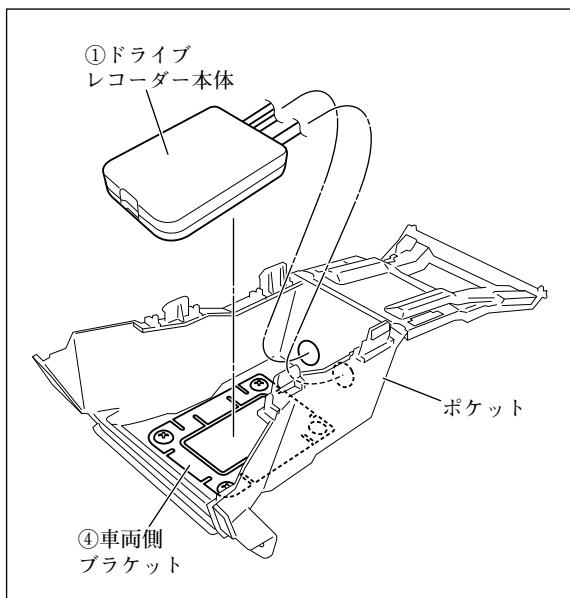
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

9



ポケットの加工穴に本図のようにケーブルを通してください。

10

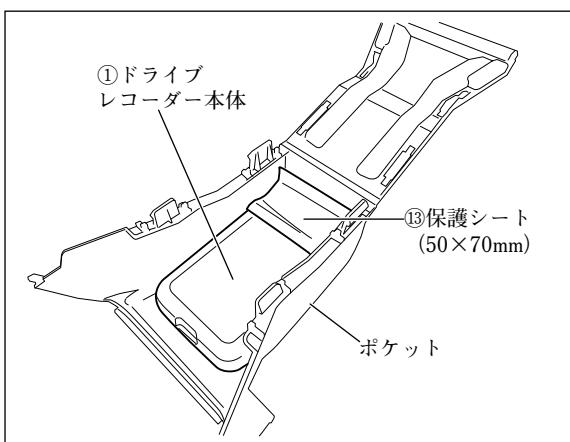


- (1) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）
- (2) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
- (3) ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに貼り付ける際、取付穴をツメにはめ込んでください。

11

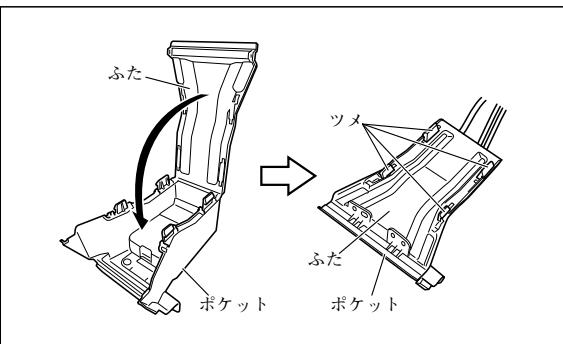


図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

12

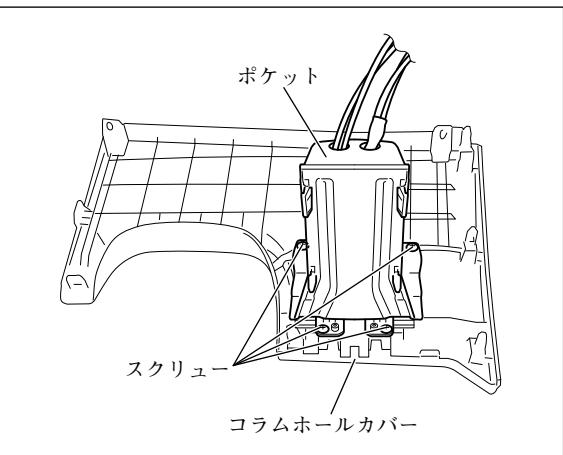


ポケットのふたを閉じてください。

注記

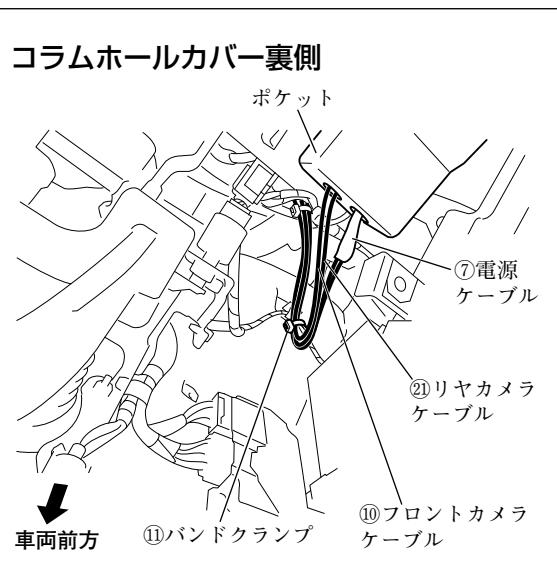
ツメを確実にかん合させてください。

13



ポケットをコラムホールカバーに組み付け、スクリュー（4本）で固定してください。

14



コラムホールカバーを復元し、たるんだ各ケーブルを⑪バンドクランプで固定してください。

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。
- 既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

イグニスの場合

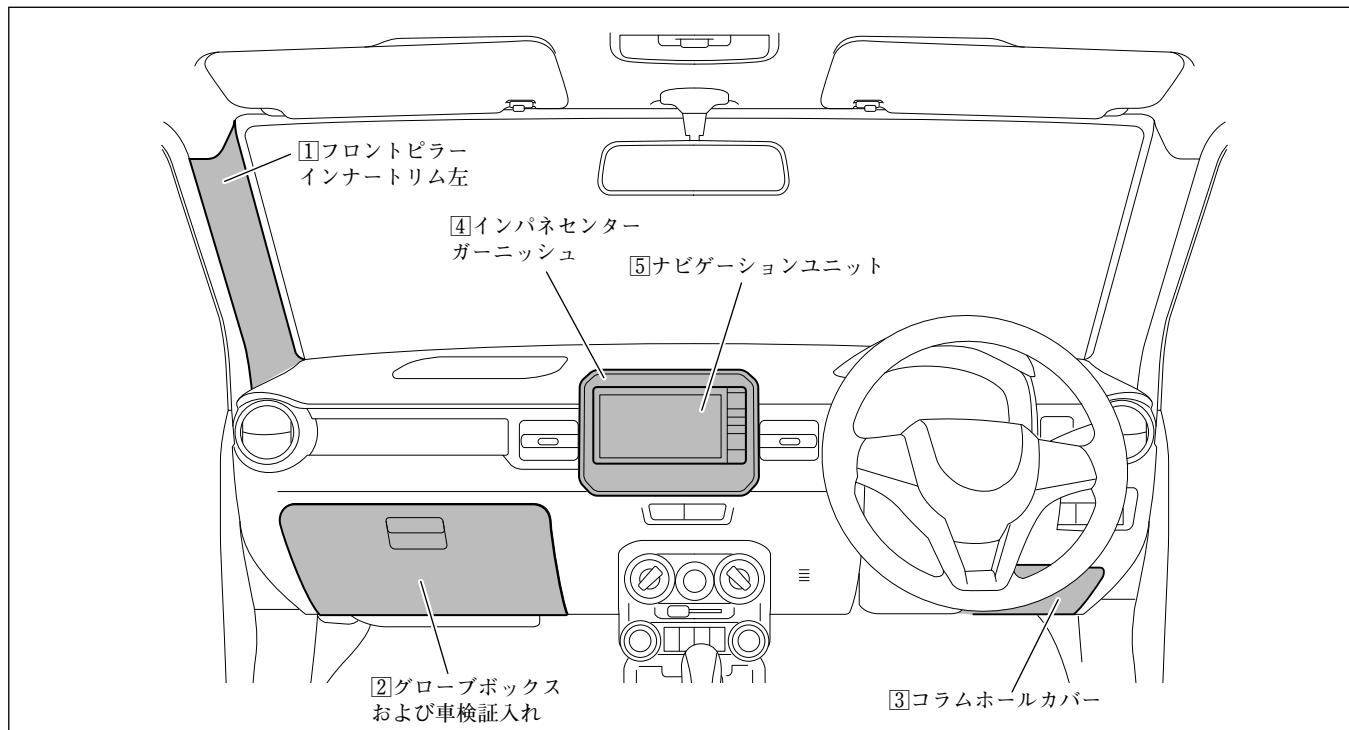
●車両部品の取り外し方法

注記

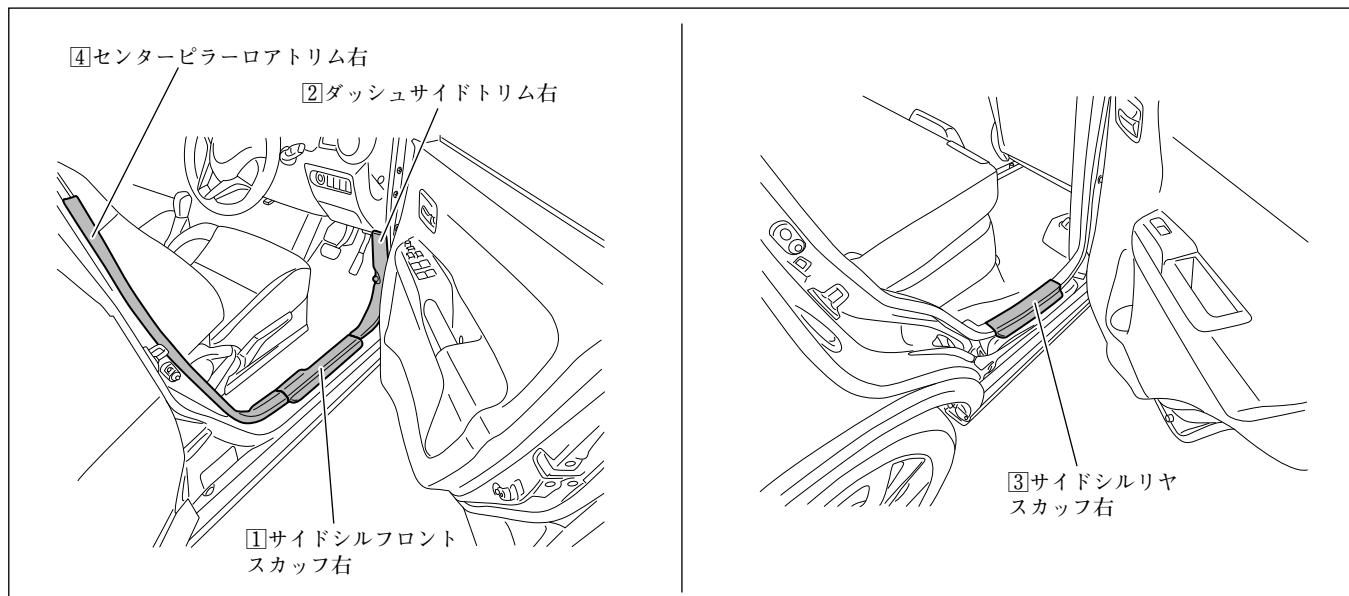
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

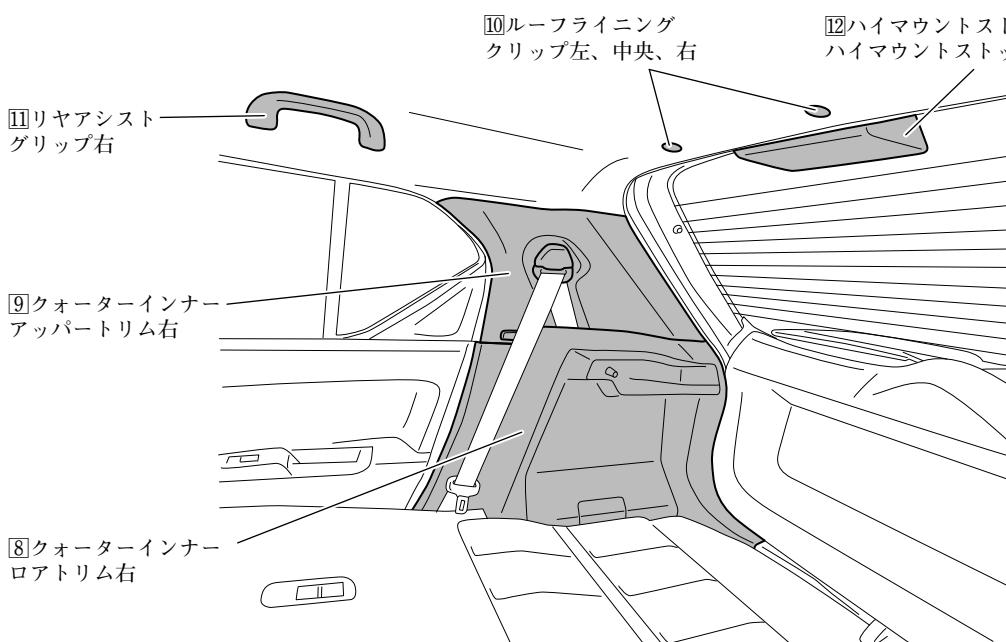
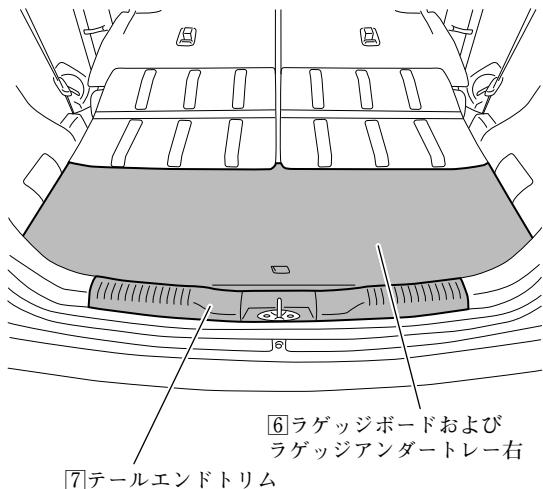
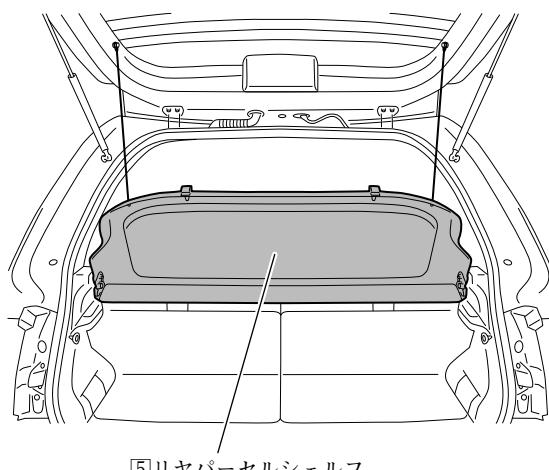
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ



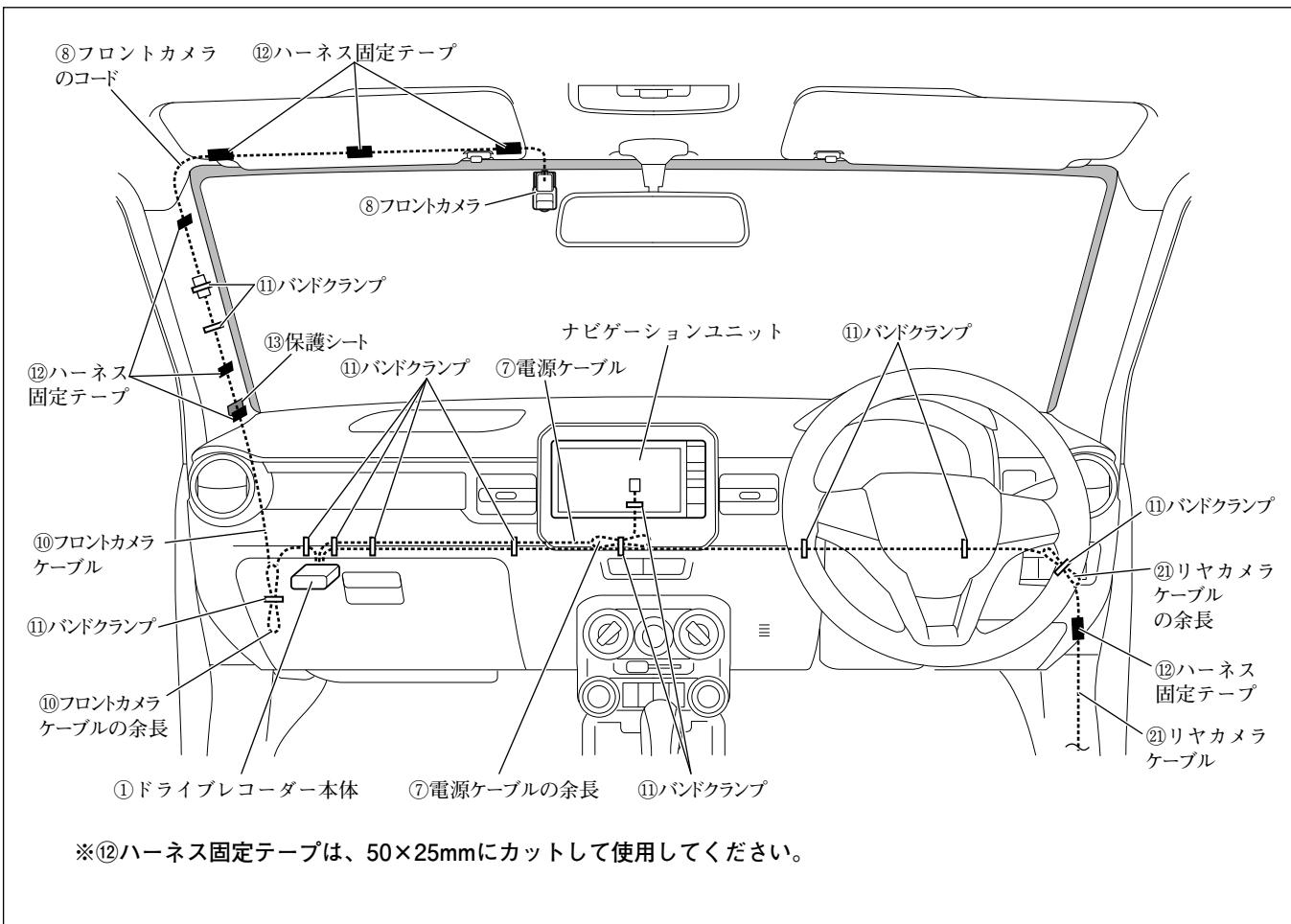
リヤカメラ



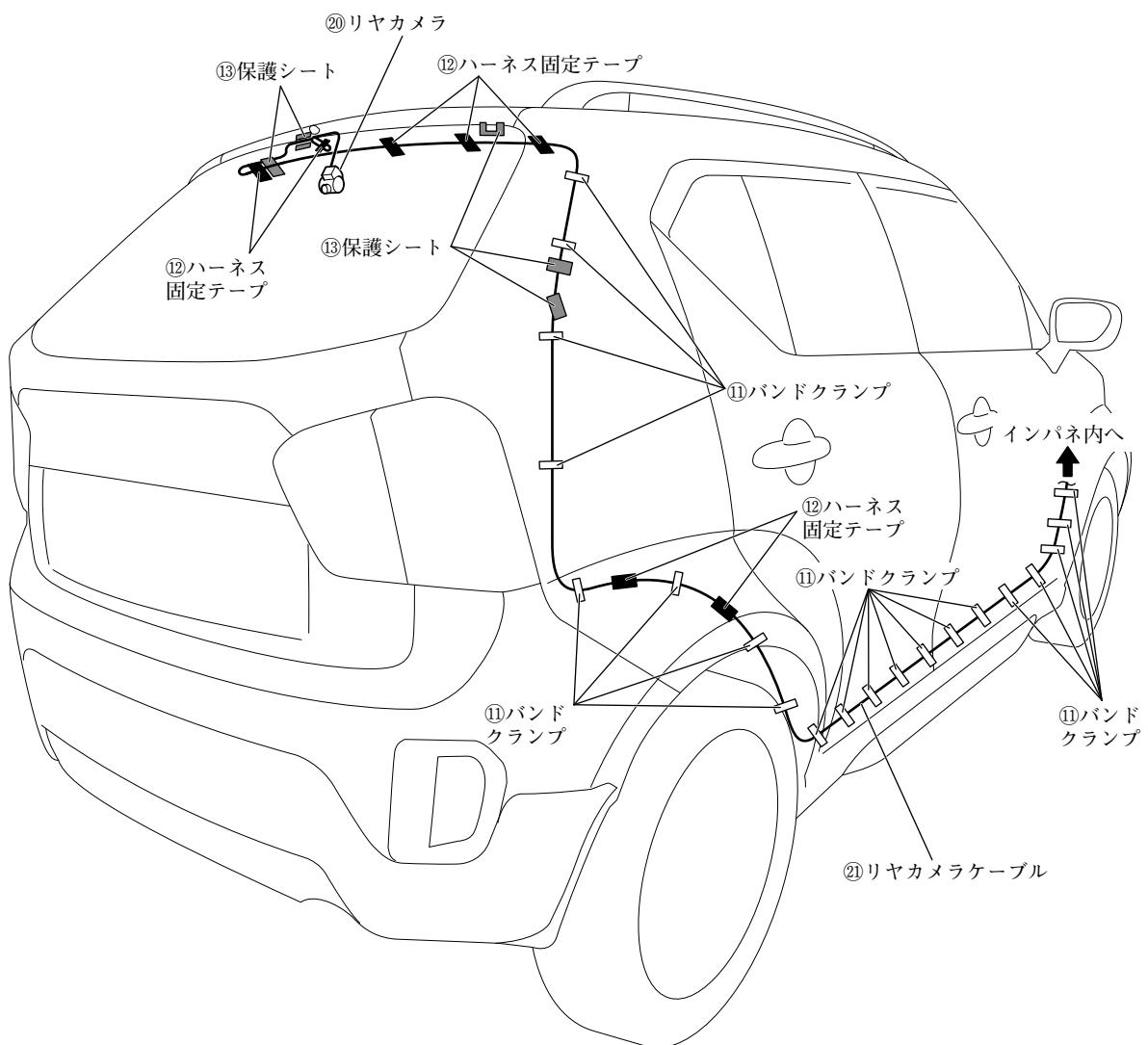


●取付概要

フロントカメラ



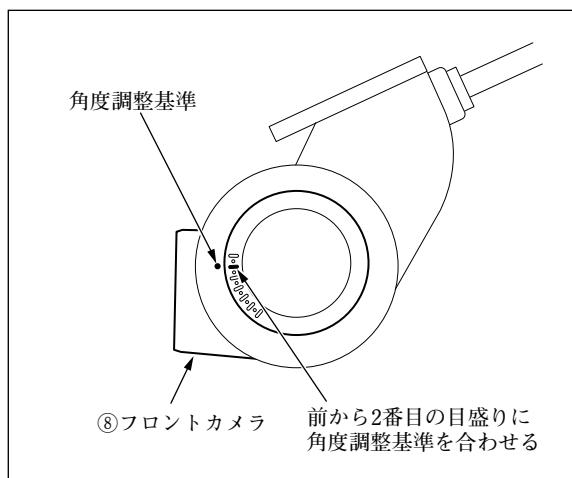
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



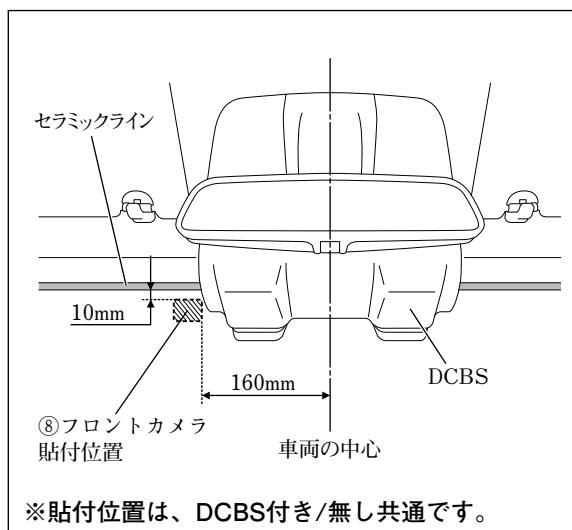
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

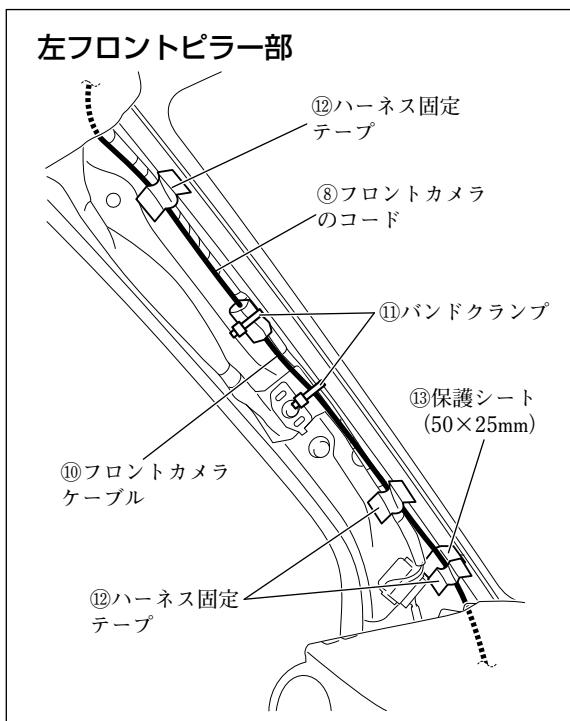
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。



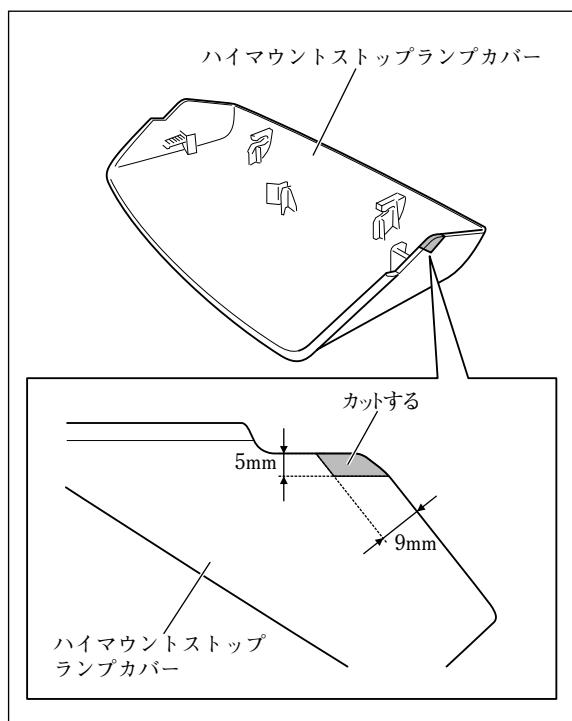
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ・⑯保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) ハイマウントストップランプカバーの図示箇所を超音波カッター等で切り取ってください。

注意

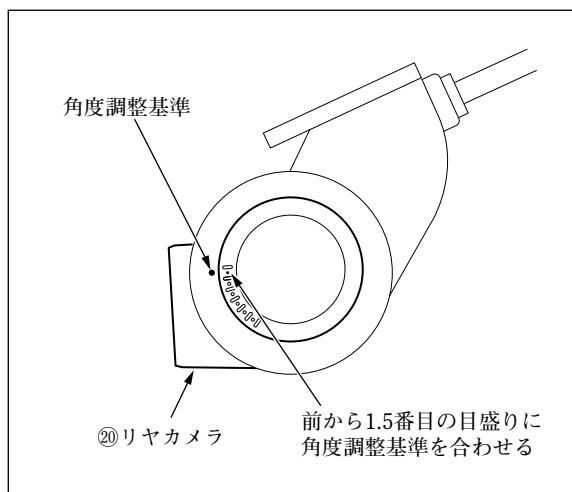
切り取る際は、耐切創手袋を使用してください。

注記

ニッパーで切り取らないでください。ハイマウントストップランプカバーが割れるおそれがあります。

- (2) 切り取り後、ヤスリで周囲を整えてください。

2



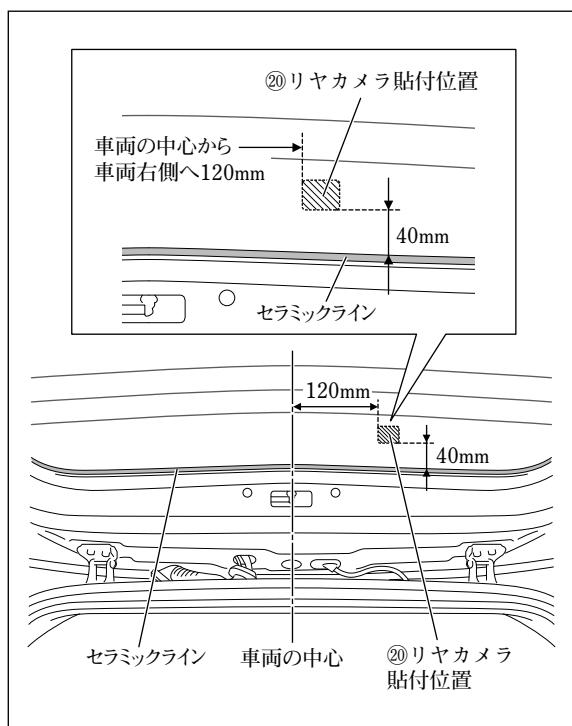
- ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

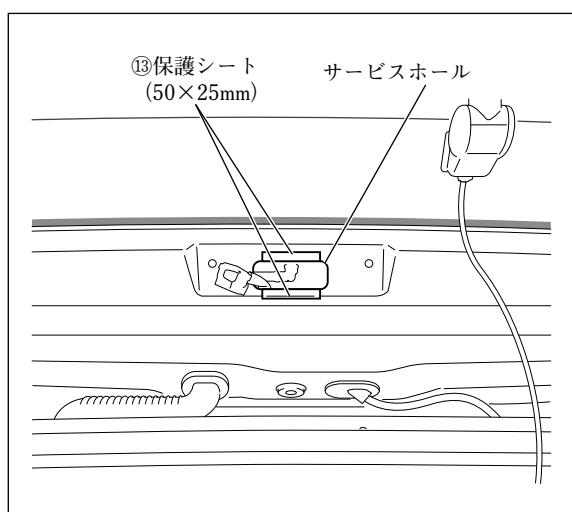


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2

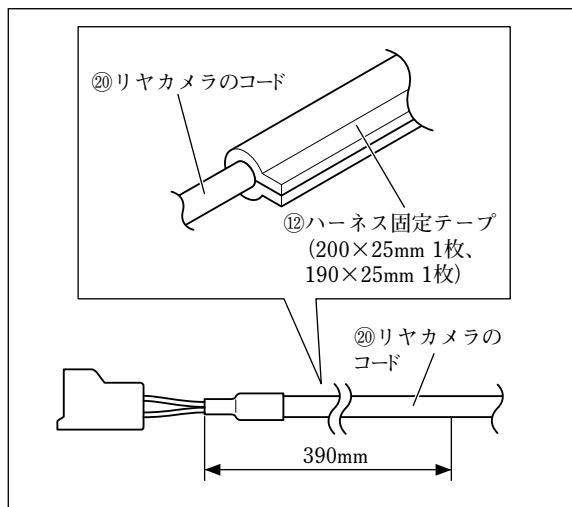


配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

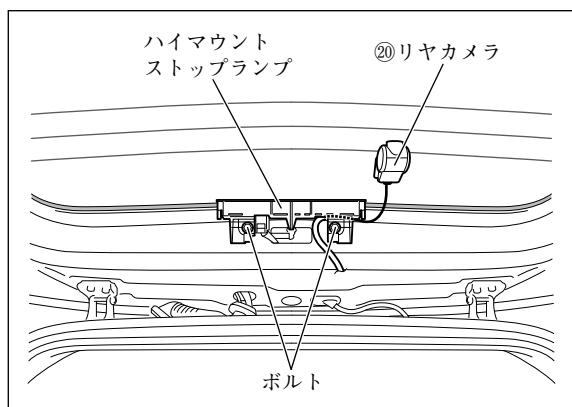
- ⑬保護シートは、ハイマウントストップランプカバーを復元した際に表から見えない位置へ貼ってください。
- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

3



⑫ ハーネス固定テープを⑪リヤカメラのコードに貼り付けてください。

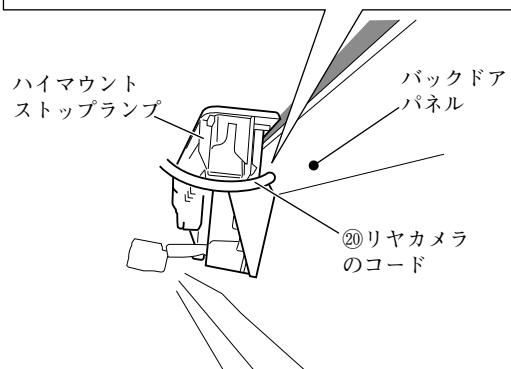
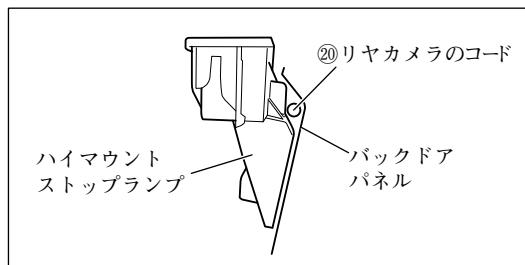
4



⑪ リヤカメラのコードをハイマウントストップランプとバックドアパネルの隙間を通して、ハイマウントストップランプを復元してください。

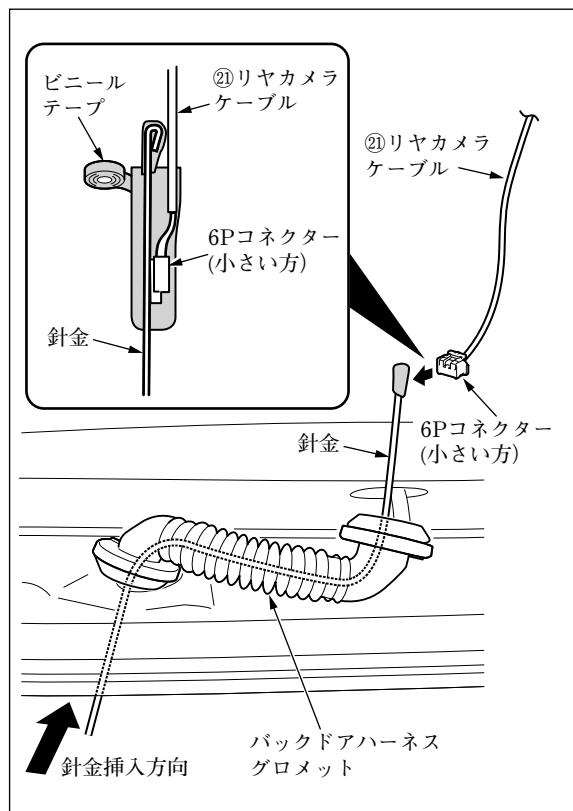
注記

⑪ リヤカメラのコードは、かみ込まれない位置を通してください。



●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

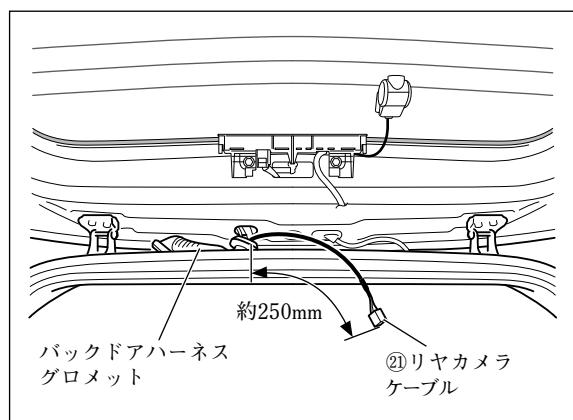


- (1) 鉄金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした鉄金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ㉑リヤカメラケーブルの6Pコネクター(小さい方)を鉄金にテープィングしてください。
- (4) 鉄金を室内側に引き戻し、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

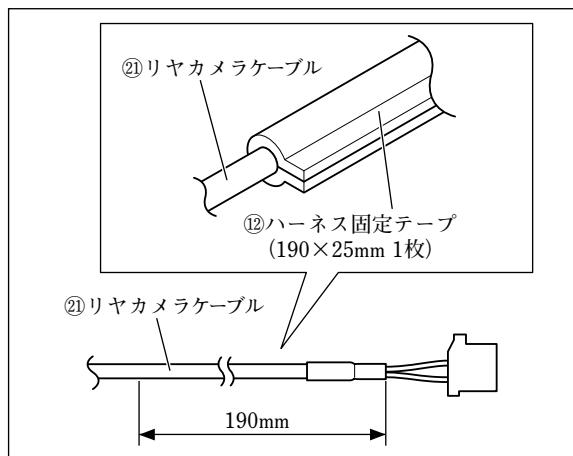
- バックドアハーネスおよび㉑リヤカメラケーブル破損防止のため、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。

2



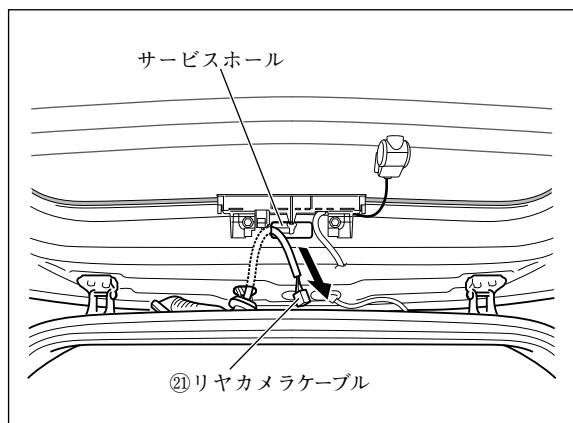
バックドアハーネスグロメットから㉑リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



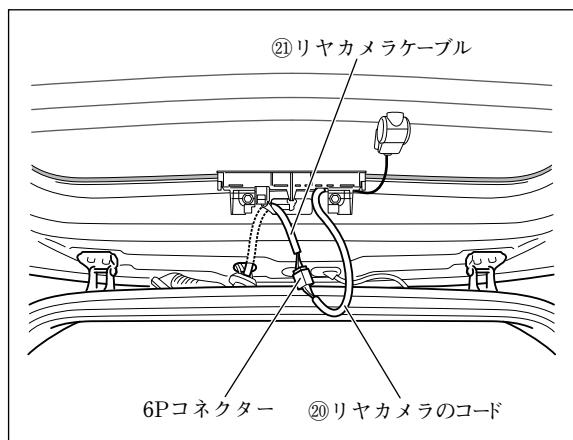
⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



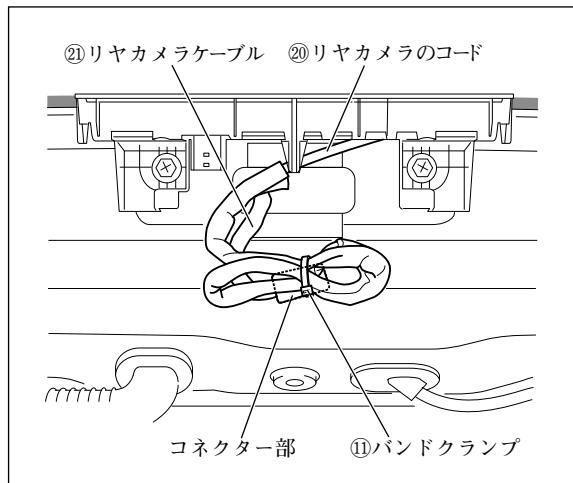
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



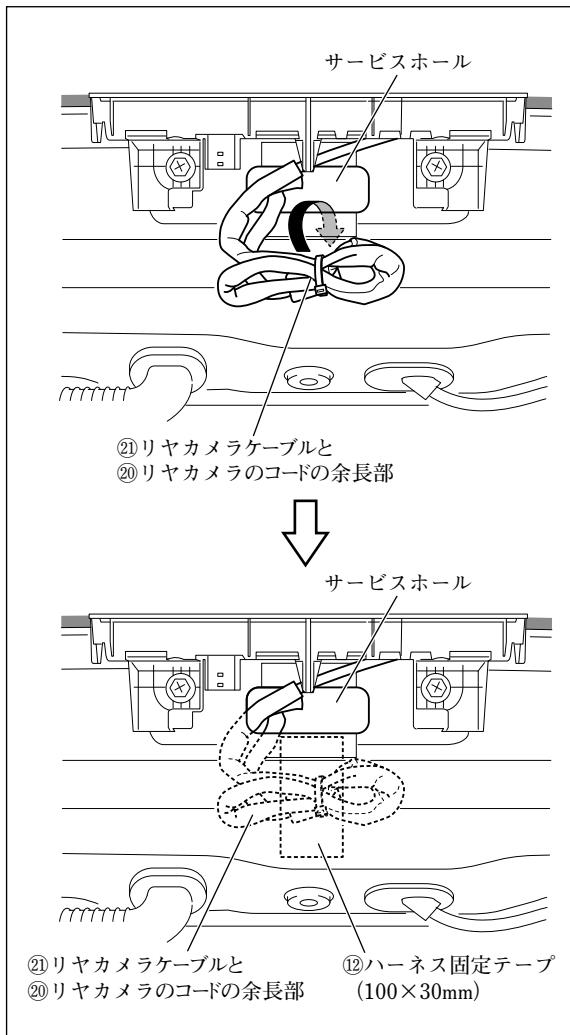
- (1) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



⑪リヤカメラケーブルと⑩リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7

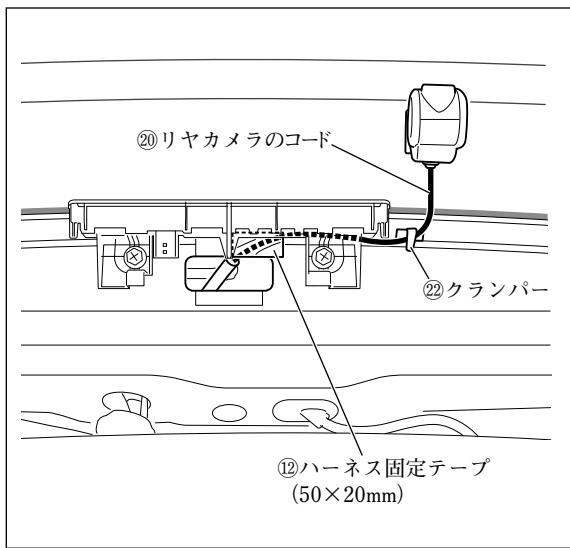


(21)リヤカメラケーブルと(20)リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、(12)ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- (12)ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



(12)ハーネス固定テープおよび(22)クランパーで(20)リヤカメラのコードを固定してください。

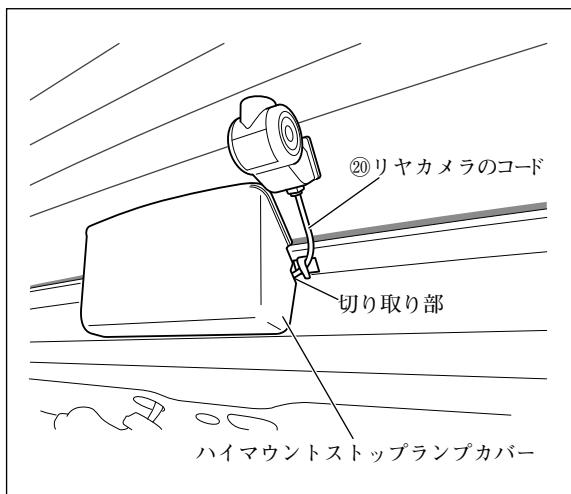
注記

- (12)ハーネス固定テープおよび(22)クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

👉 アドバイス

ハイマウントストップランプカバーを仮組みし、位置を確認しながら作業をしてください。

9



ハイマウントストップランプカバーを復元する際は、②①リヤカメラのコードを切り取り部へ通してください。

注記

ハイマウントストップランプカバーの復元時、②①リヤカメラのコードがかみ込まれないよう位置を調整しながら復元してください。

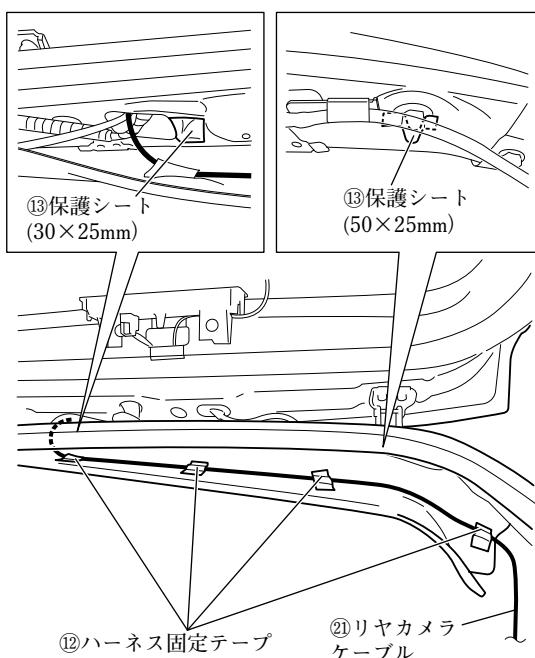
●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

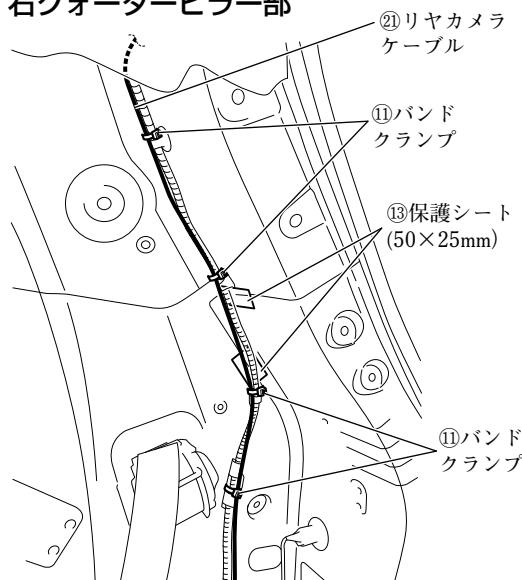
注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右



右クォーターピラー部



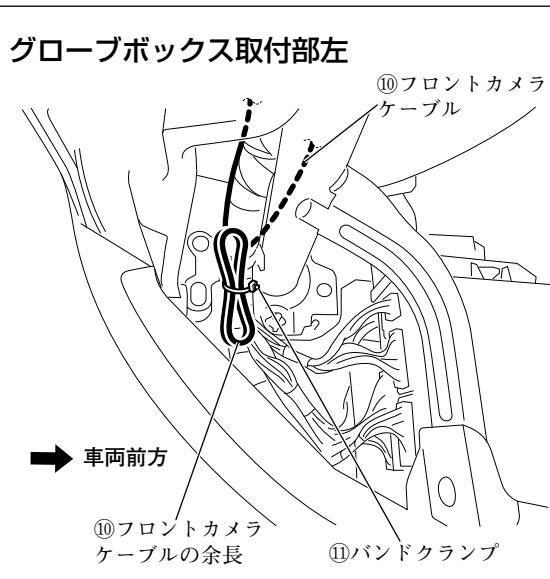
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1



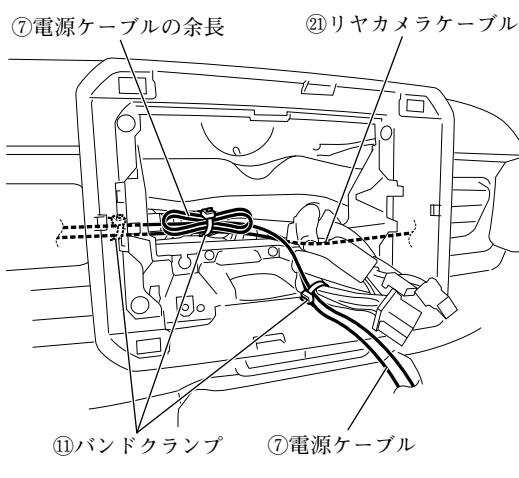
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

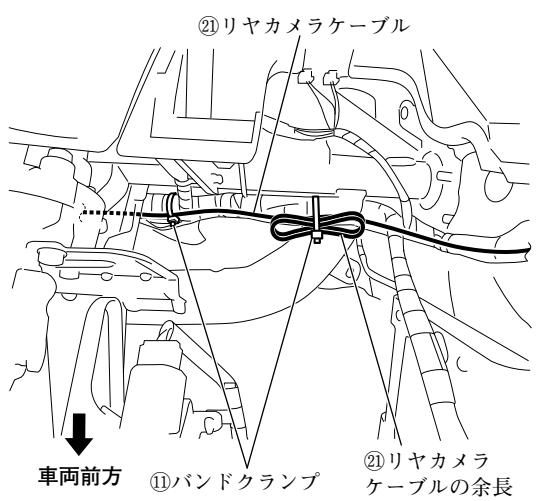
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

ナビゲーション取付部

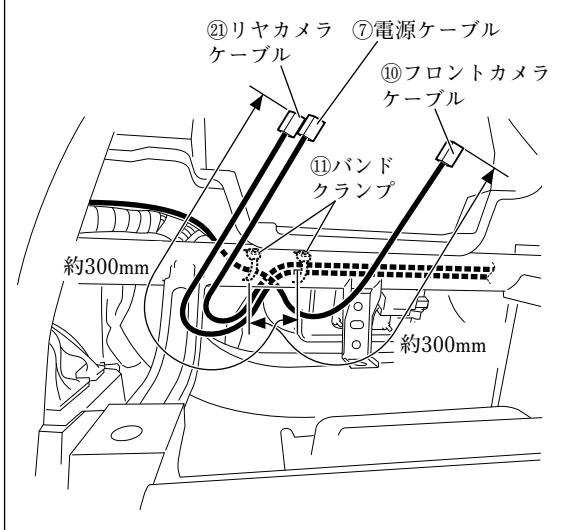


ステアリングコラム右上



2

グローブボックス取付部上



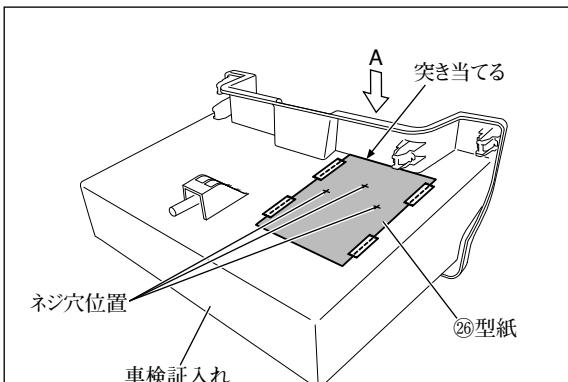
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

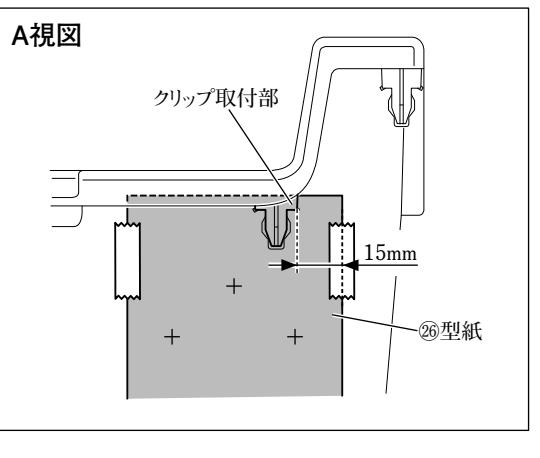
👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。配線を通す穴を加工します。

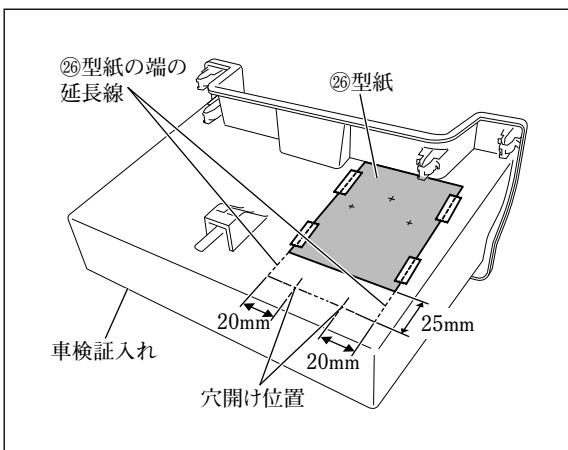
1



車検証入れへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーク
ングをしてください。

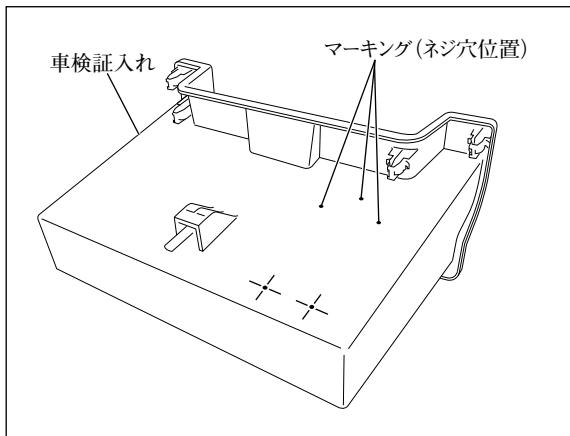


2



車検証入れの穴開け位置にマーキングしてください。

3



- ②型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

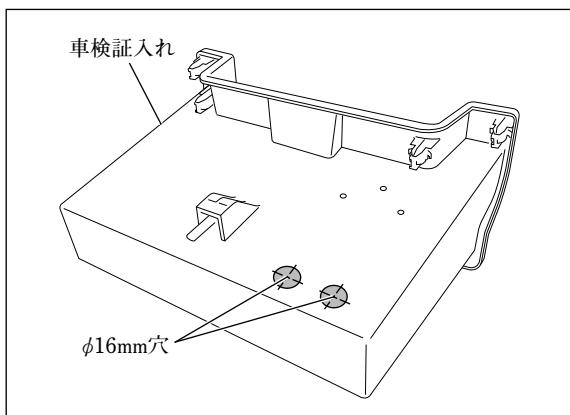
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

4



- 車検証入れの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

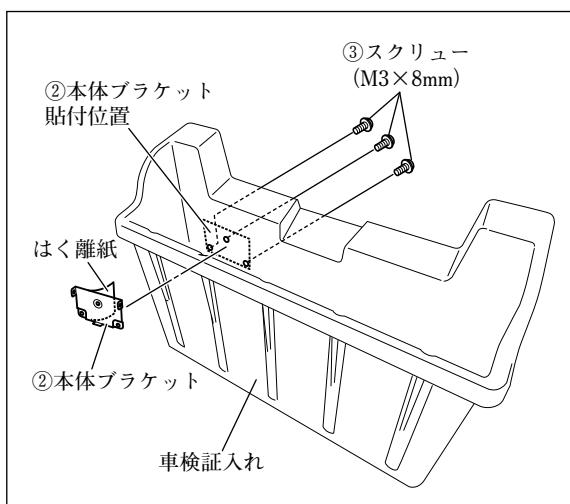
注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

5

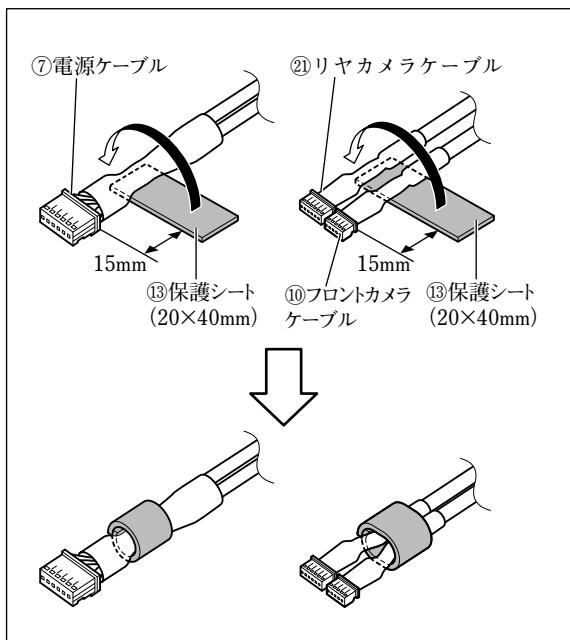


- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) 車検証入れの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

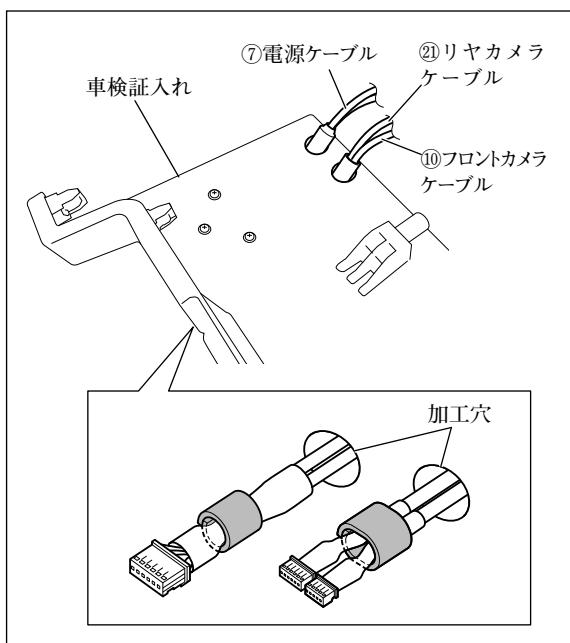
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

6



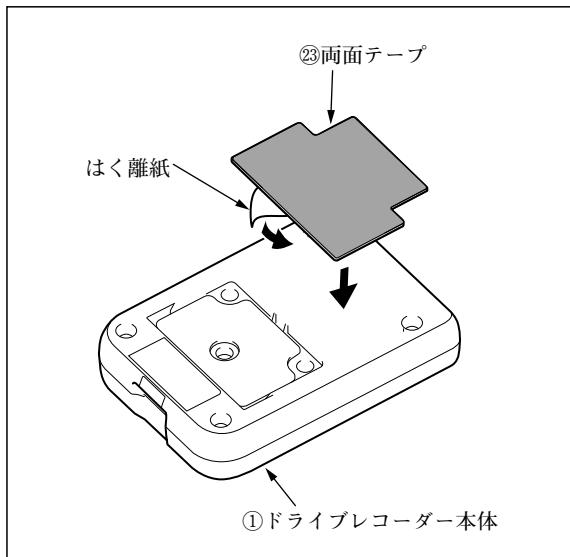
配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。

7



車検証入れの加工穴に本図のようにケーブルを通して下さい。

8



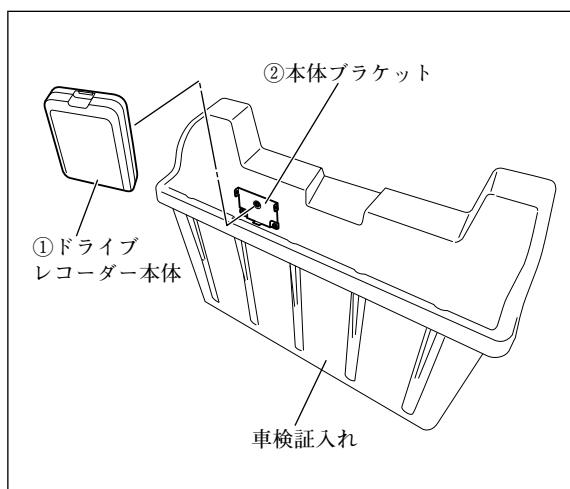
- (1) ②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

9



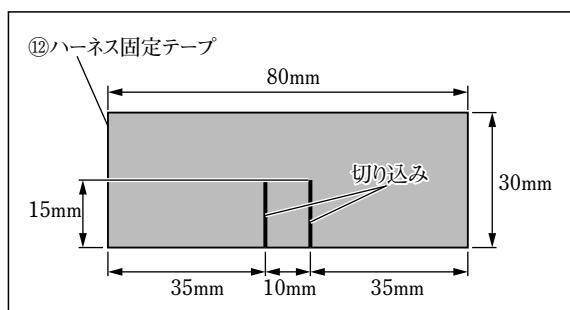
- (1) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

- (2) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

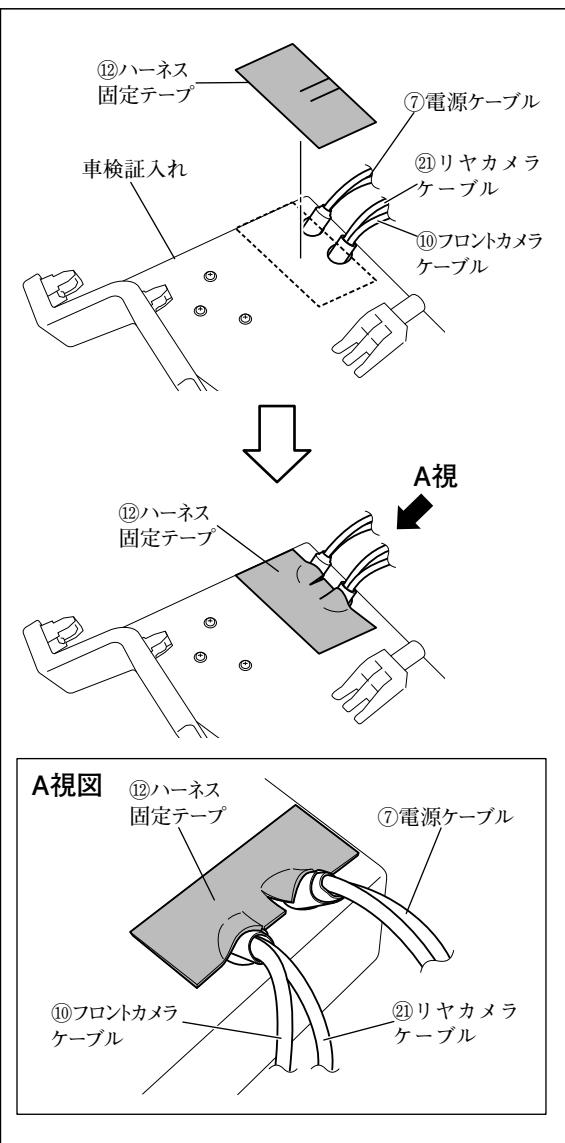
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

10



- ⑫ハーネス固定テープを図のようにカットしてください。

11



カットした⑫ハーネス固定テープを車検証入れに貼り付けてください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

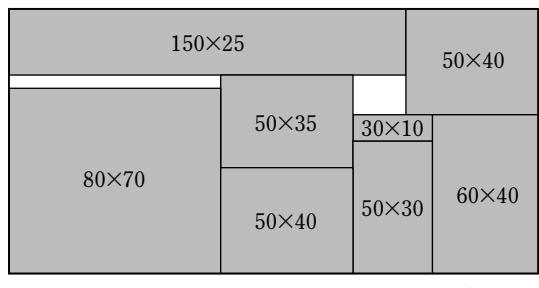
ランディの場合

● ランディへ取り付ける際の注意

- ランディへ取り付ける際は、ドライブレコーダーの付属品のみでは⑬保護シートが不足しています。このため同時装着される別売品ナビゲーションに付属の保護シートを併せて使用してください。
- 保護シートは以下の寸法でカットして使用ください。

⑬保護シート

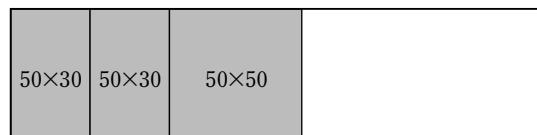
(ドライブレコーダー側付属品 (200×100mm))



単位:mm

保護シート

(別売品ナビゲーション側付属品)



単位:mm

●車両部品の取り外し方法

注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

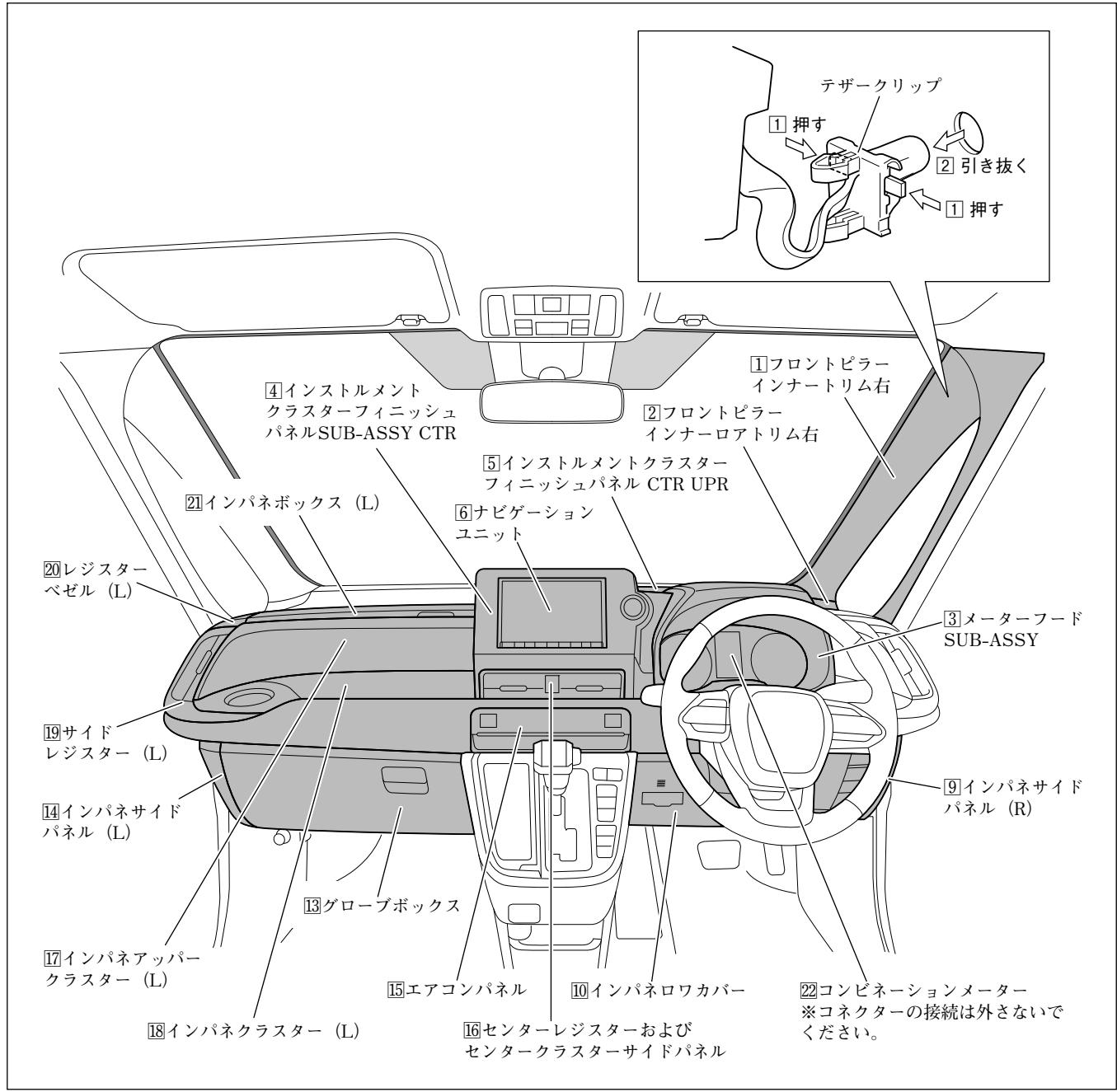
図に示す車両部品を取り外してください。

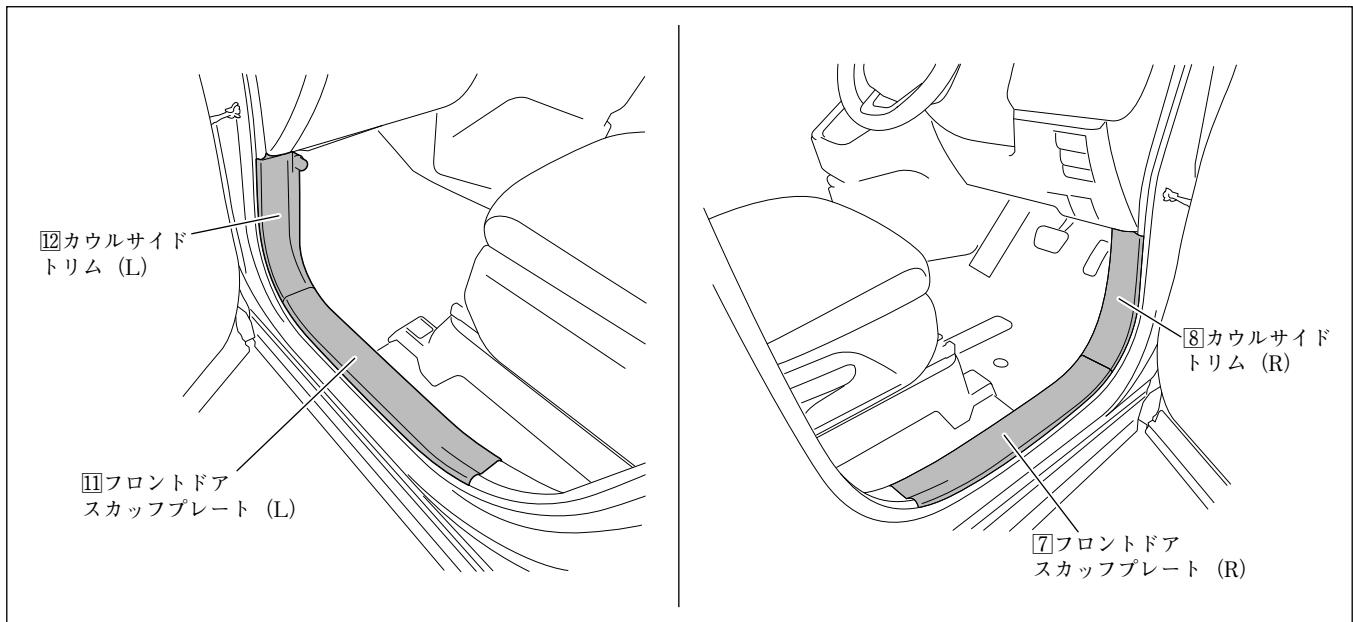
フロントカメラ

注記

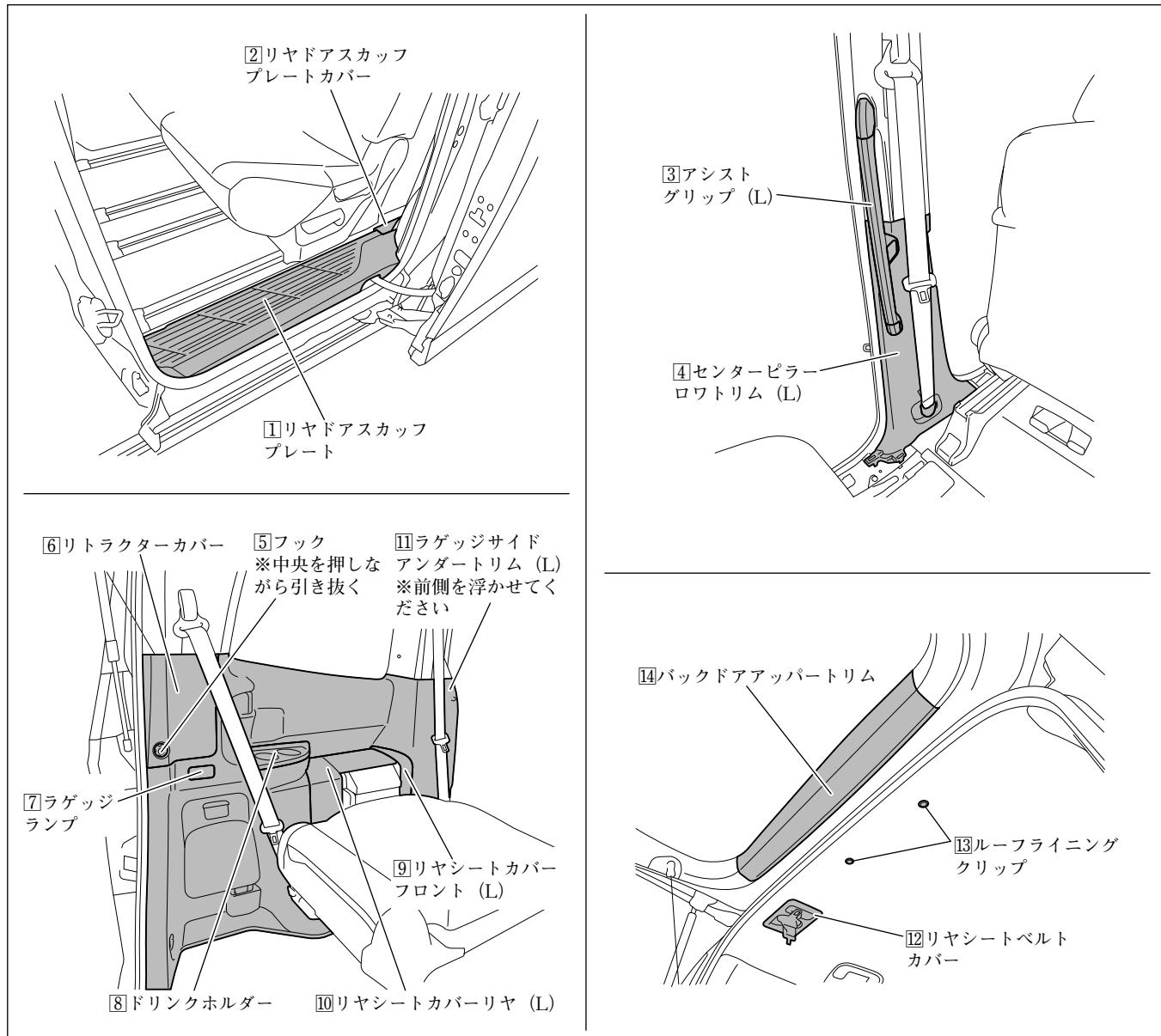
コンビネーションメーターは、コネクターの接続を外さないでください。

なおこの際、インパネやメーターに傷が付かないよう養生をしながら作業を行ってください。

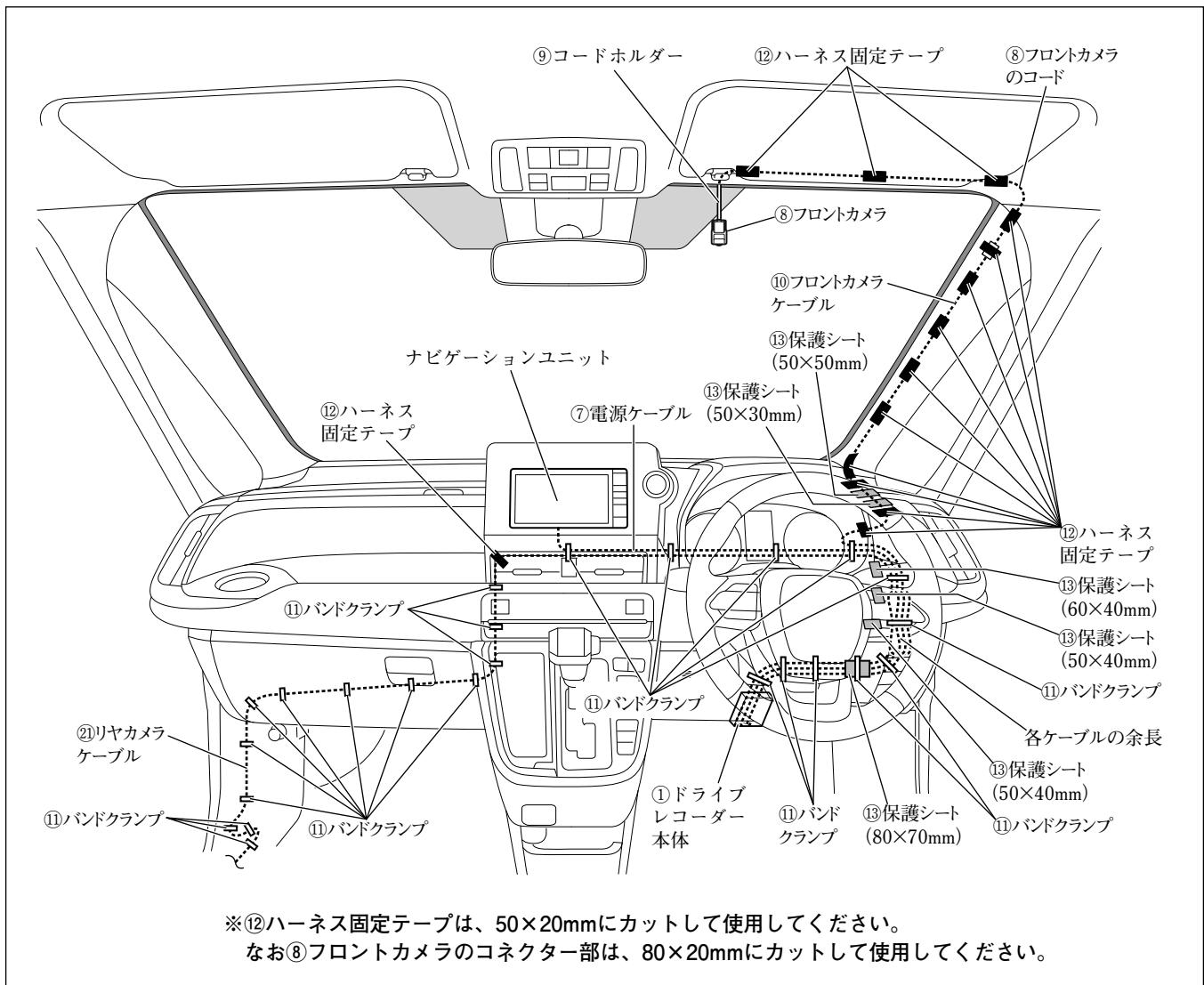




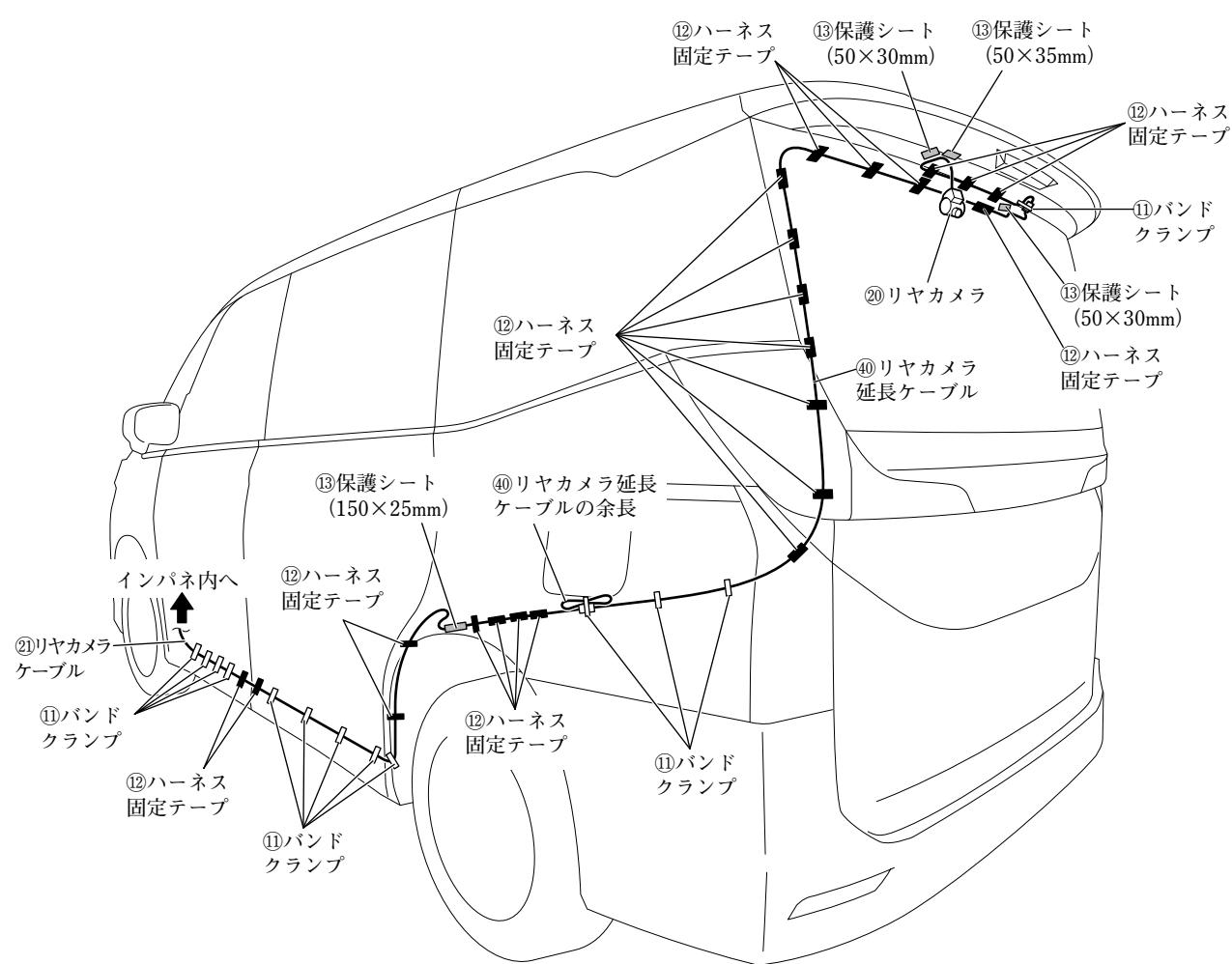
リヤカメラ



● 取付概要 フロントカメラ



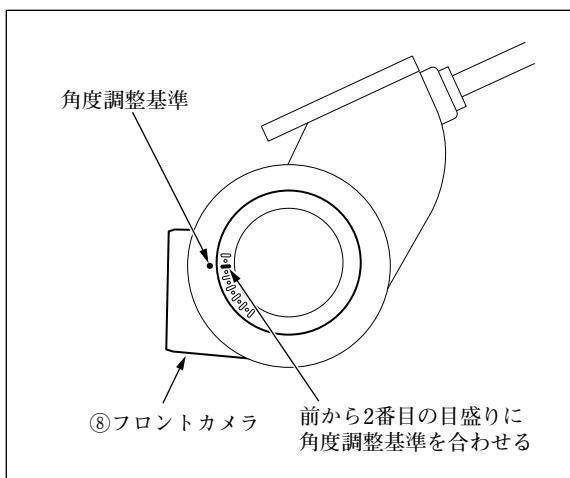
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



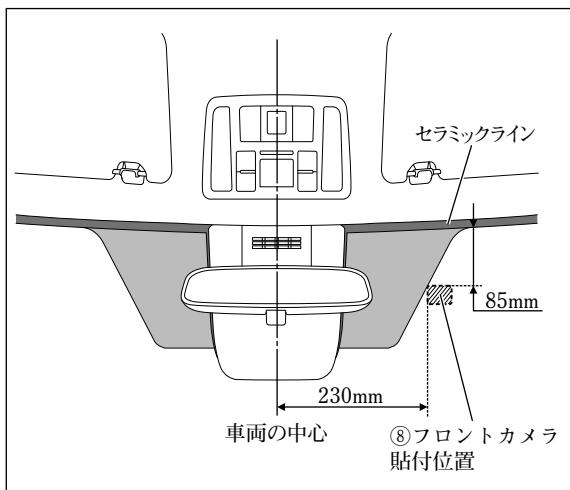
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1

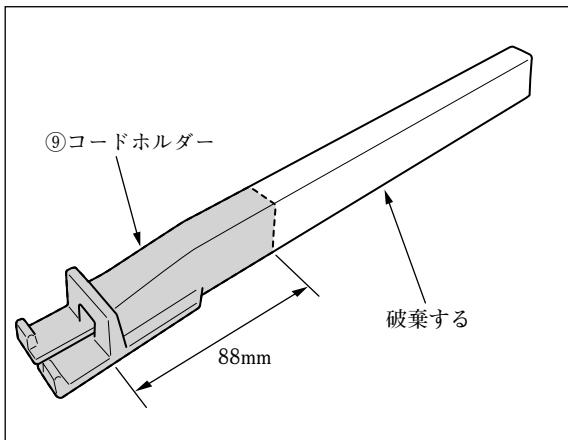


⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



指定の寸法にカットした⑨コードホルダーを取り付けてください。(全車共通の「フロントカメラ取付前の準備」参照)

⚠ 注意

- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

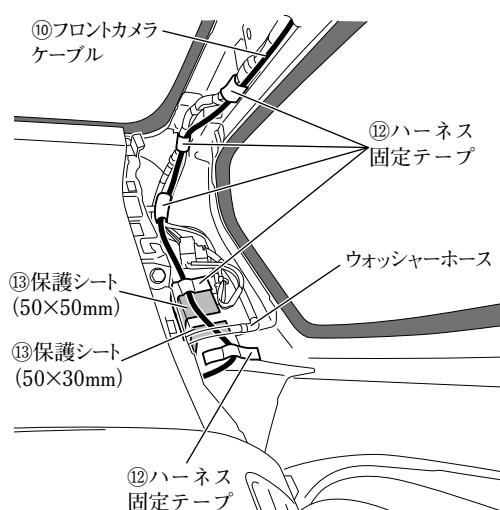
● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

左フロントピラーアンダーパネル



- (1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

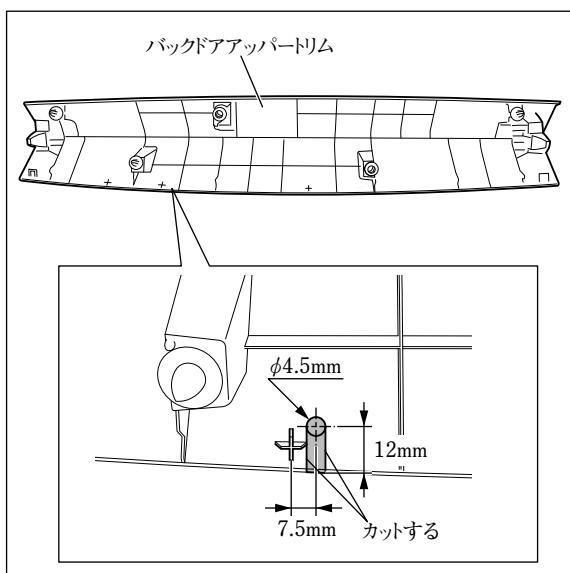
注記

- ・⑯保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑩フロントカメラケーブルは、ウォッシャーホースの下側を通してください。

● リヤカメラ取付前の準備

1

(1) 図示箇所に穴 ($\phi 4.5\text{mm}$) を開けてください。

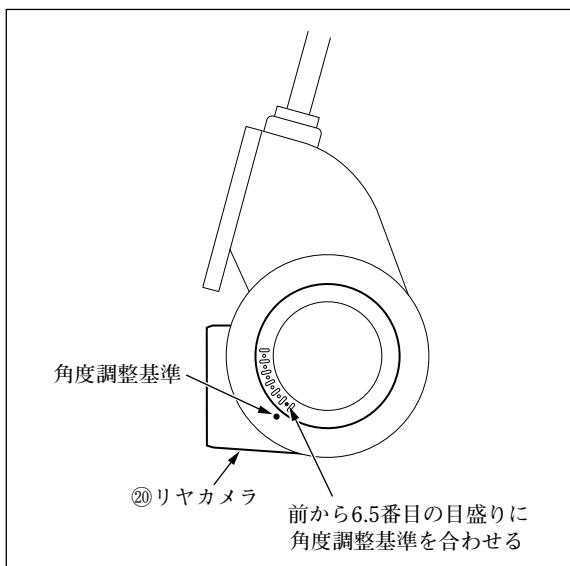
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

2



(2) 図示箇所をカットしてください。

(3) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

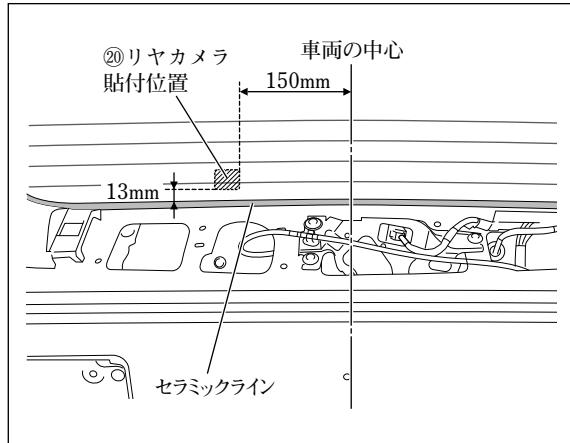
⑩リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

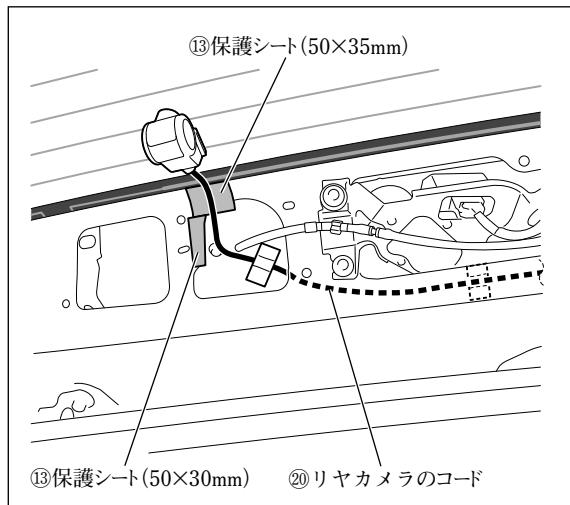


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2

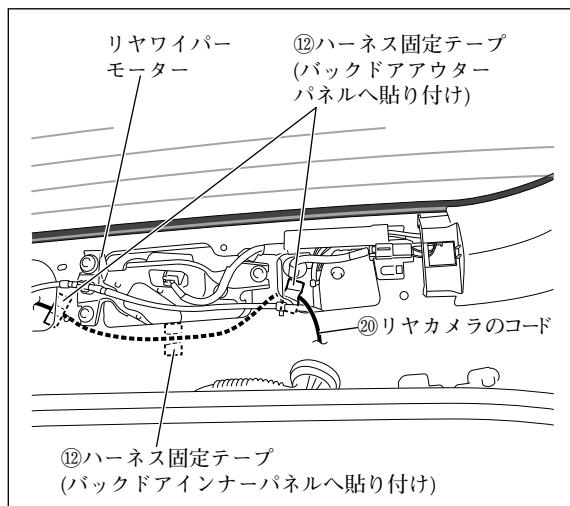


配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

3



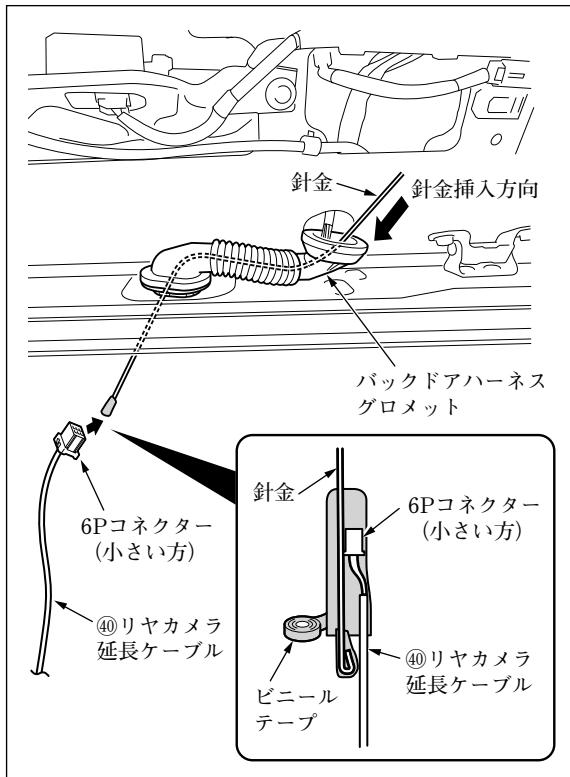
②リヤカメラのコードを配線し、⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- エッジ部およびリヤワイパーモーターの可動部をさけて配線してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

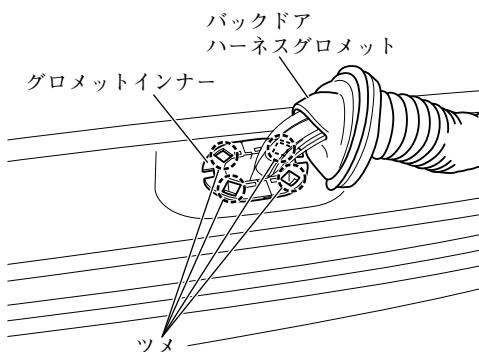
1



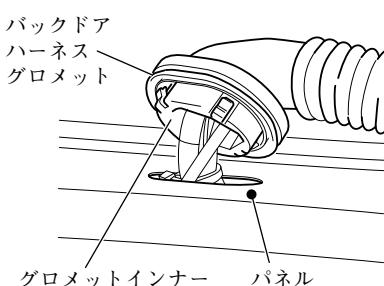
- (1) 鈑金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした鈑金をバックドア側からバックドアハーネスグロメット室内側に通してください。
- (3) ④リヤカメラ延長ケーブルの6Pコネクター(小さい方)を鈑金にテープィングしてください。
- (4) 鈑金をバックドア側に引き戻し、④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- グロメットインナーを外す際は、ツメを縮めてください。

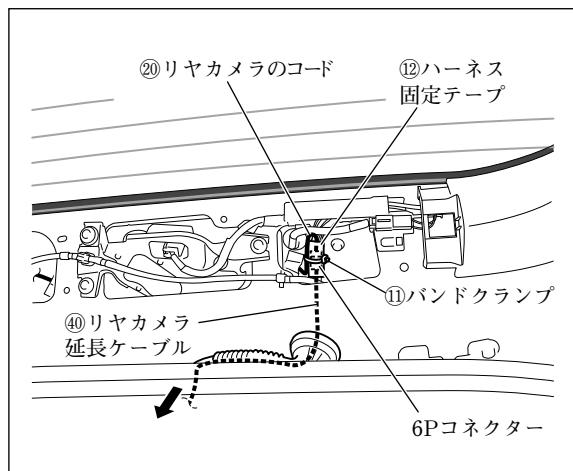


- バックドアハーネスグロメットを復元する際は、グロメットインナーをバックドアハーネスグロメット側へはめてからパネルへはめ込んでください。



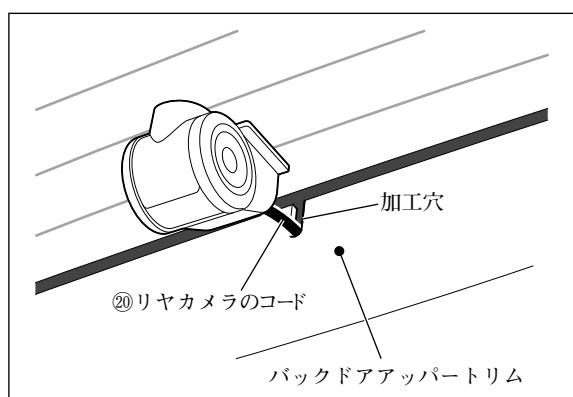
- バックドアハーネスおよび④リヤカメラ延長ケーブル破損防止のため、④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテープィングしてください。

2



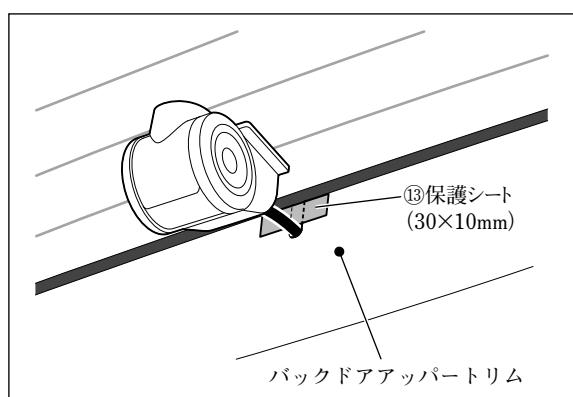
- (1) ④⓪リヤカメラ延長ケーブルのコネクターと②⓪リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)
- (3) ④⓪リヤカメラ延長ケーブルおよび②⓪リヤカメラのコードのたるみがなくなるまで引き込んでください。
- (4) ④⓪リヤカメラ延長ケーブルと②⓪リヤカメラのコードを⑪バンドクランプで固定してください。

3



バックドアアップバートリムを復元する際は、②⓪リヤカメラのコードを加工穴へ通してください。

4



加工穴を目立たなくするため、図示箇所に⑬保護シートを貼ってください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

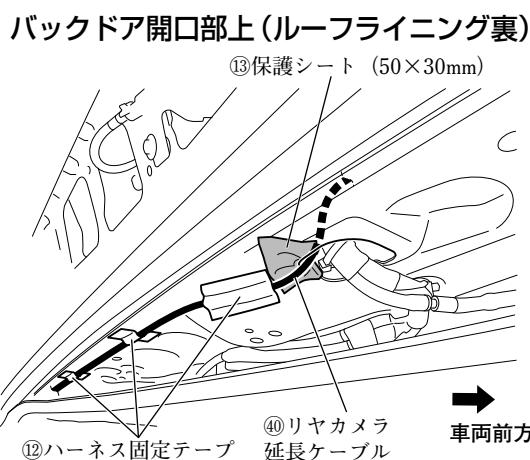
●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して④リヤカメラ延長ケーブルおよび②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

1



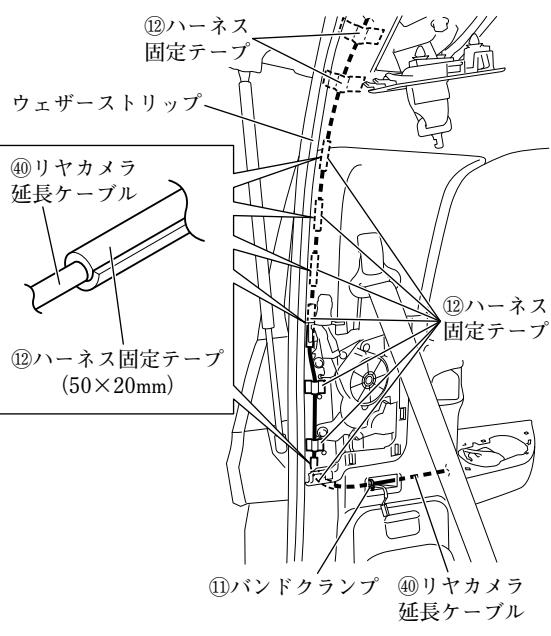
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

2

バックドア開口部左



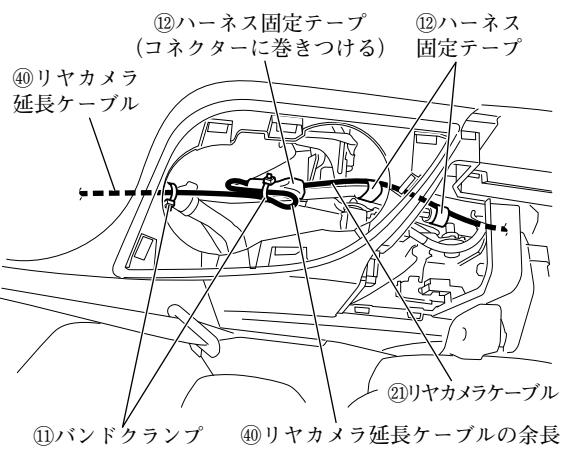
- 図示箇所の④リヤカメラ延長ケーブルに⑫ハーネス固定テープを巻き付けてください。
- ウェザーストリップを一時的に外し、トリムと車両パネルの隙間に④リヤカメラ延長ケーブルを配線してください。

注記

ウェザーストリップ内にはシーラーが塗られているため、ウェザーストリップを外すとシーラーが露出します。シーラーはルーフライニングなどに付着するととれませんので、他の部品へ付着させないように注意して作業を行ってください。

- 配線ができたらウェザーストリップを復元してください。

3

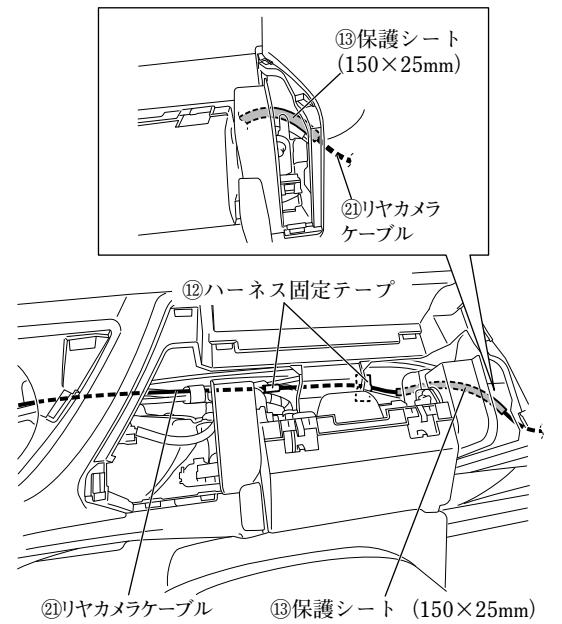
ラゲッジサイドアンダートリム部

- (1) ④リヤカメラ延長ケーブルのコネクターと②リヤカメラケーブルのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)
- (3) ④リヤカメラ延長ケーブルと②リヤカメラケーブルのコネクターは図示位置で固定してください。

注記

コネクターおよびケーブルが可動部や、復元したドリンクホルダーと干渉しない位置へ固定してください。

4

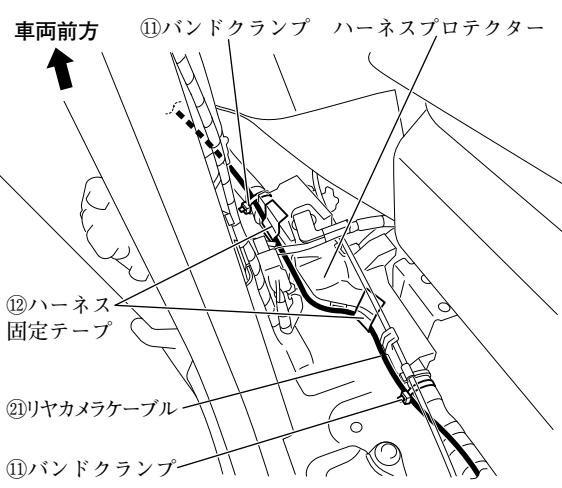
3列目シート取付部

配線を保護するために、図示箇所の②リヤカメラケーブルに⑬保護シートを巻き付けて配線してください。

注記

- ・巻き付けた⑬保護シートがはがれないようにビニールテープを巻いて押さえてください。
- ・配線後、3列目シートを上げ／下げし、②リヤカメラケーブルが3列目シート部品の可動部と干渉しないことを確認してください。

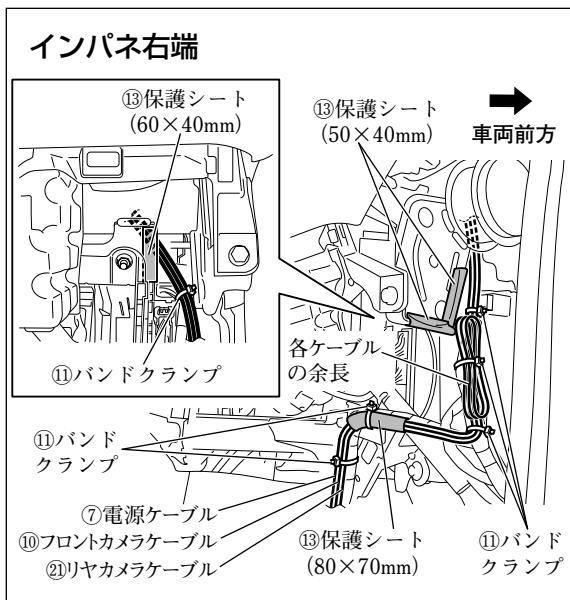
5

センターピラーロワトリム取付部

図示位置の②リヤカメラケーブルは、ハーネスプロテクターの側面側を通してください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1



- (1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

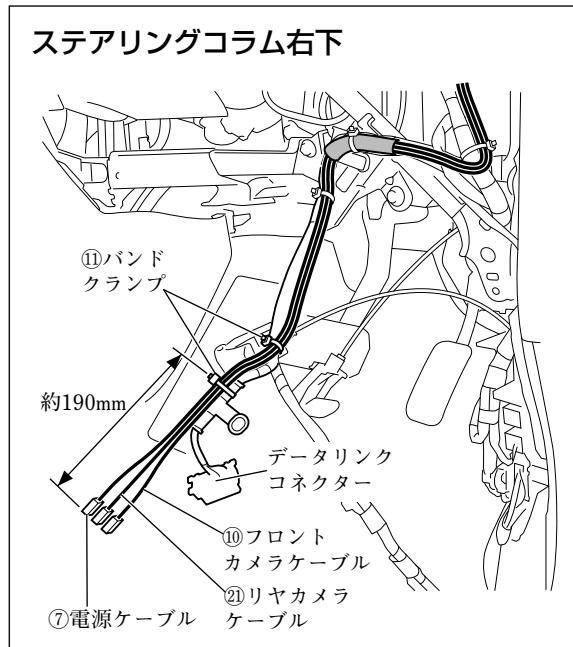
- (2) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (3) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

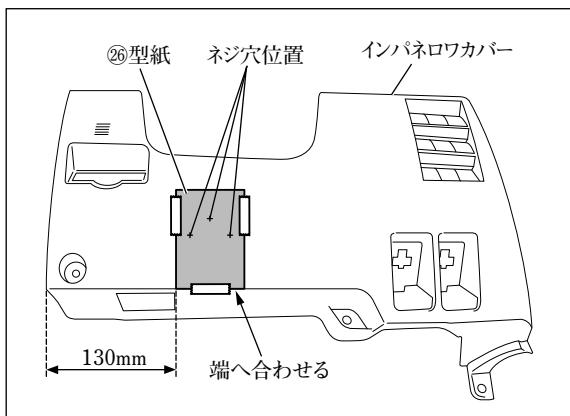


● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。

1



- (1) インパネロワカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

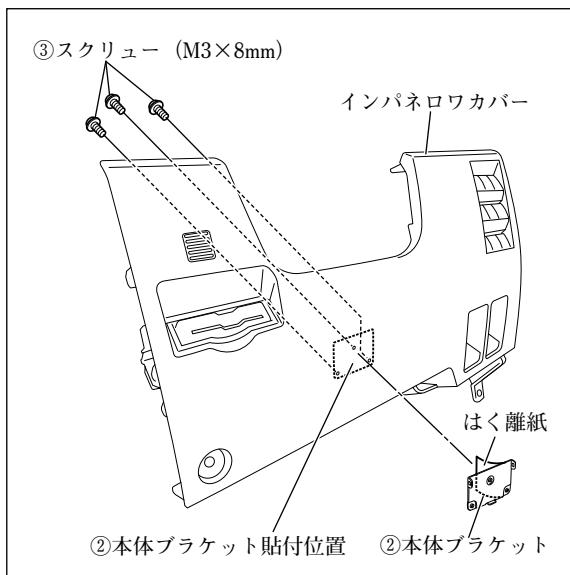
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

2



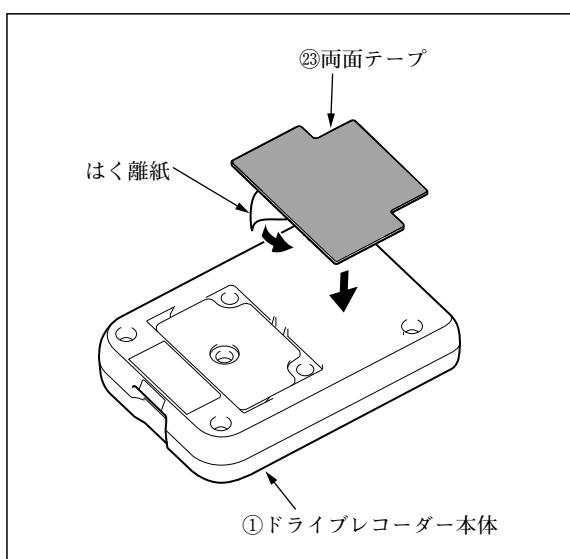
- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

3

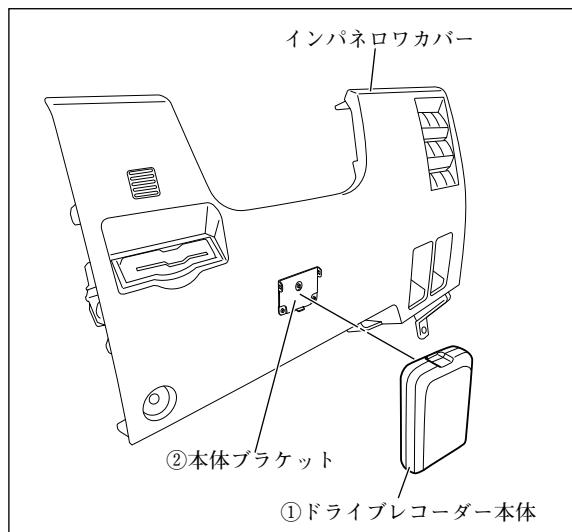


- ②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (20°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

4



- (1) ①ドライブレコーダー本体および③両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (2) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(20°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (3) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 既設部品の点検を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ソリオの場合

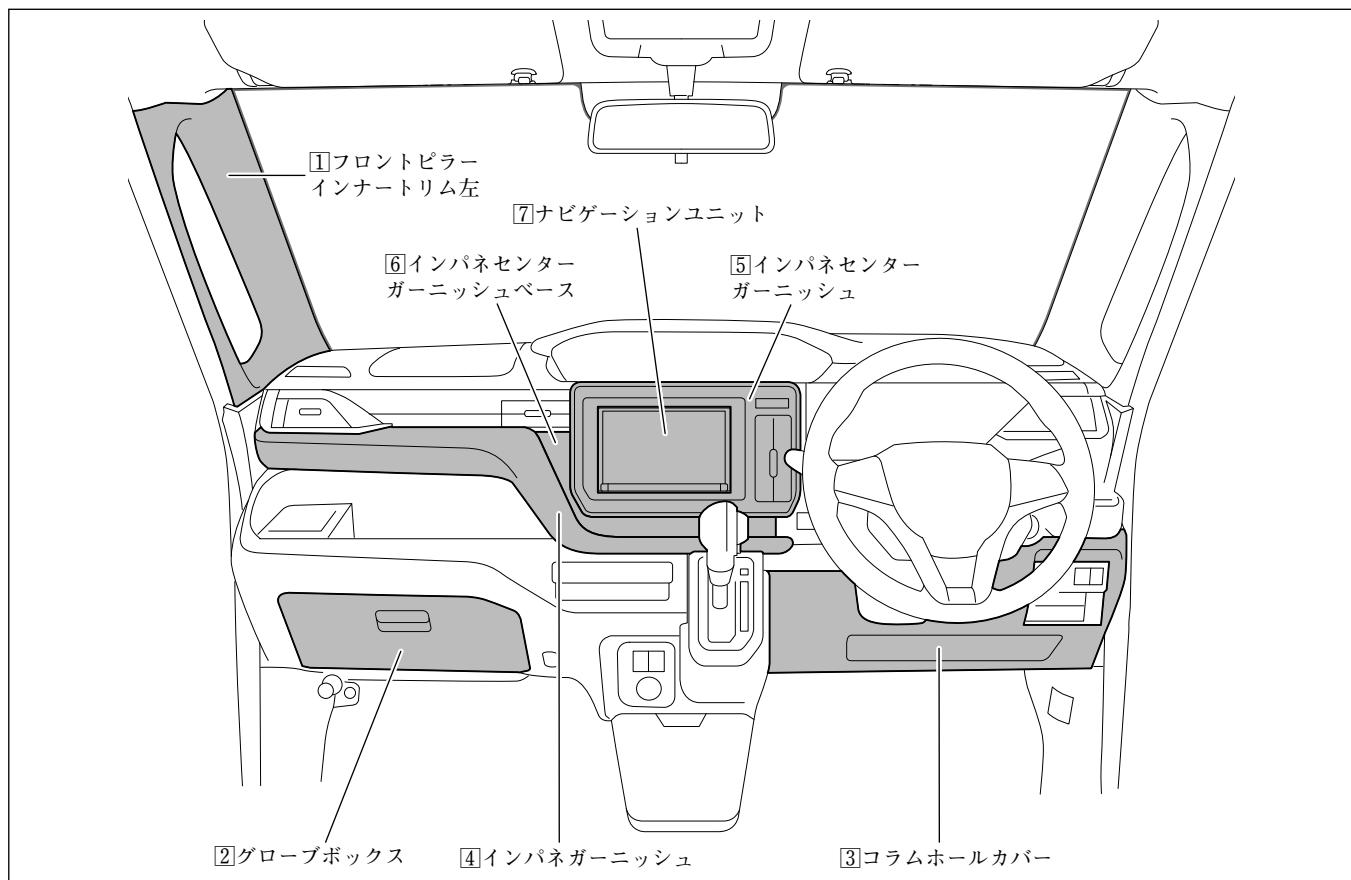
●車両部品の取り外し方法

注記

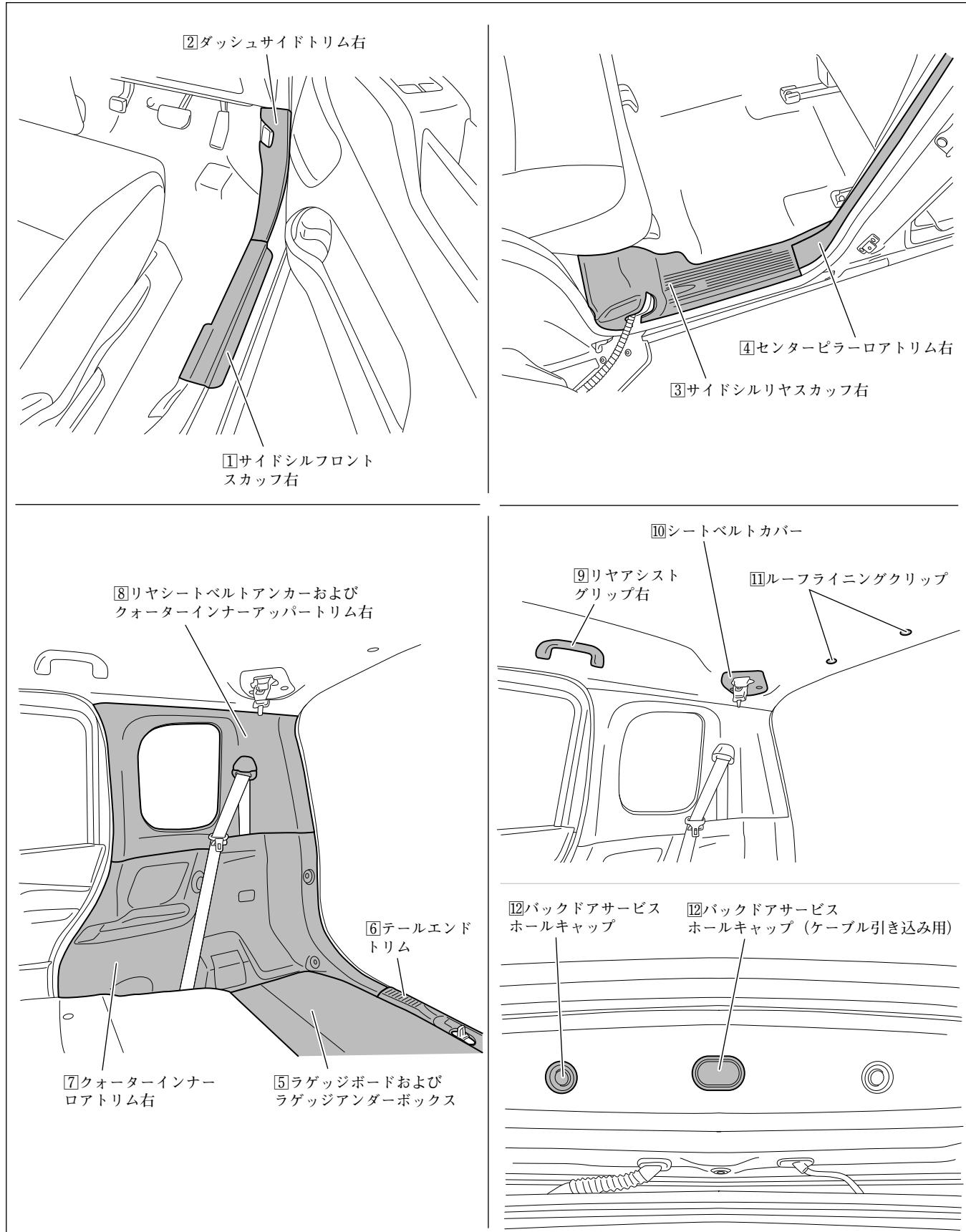
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

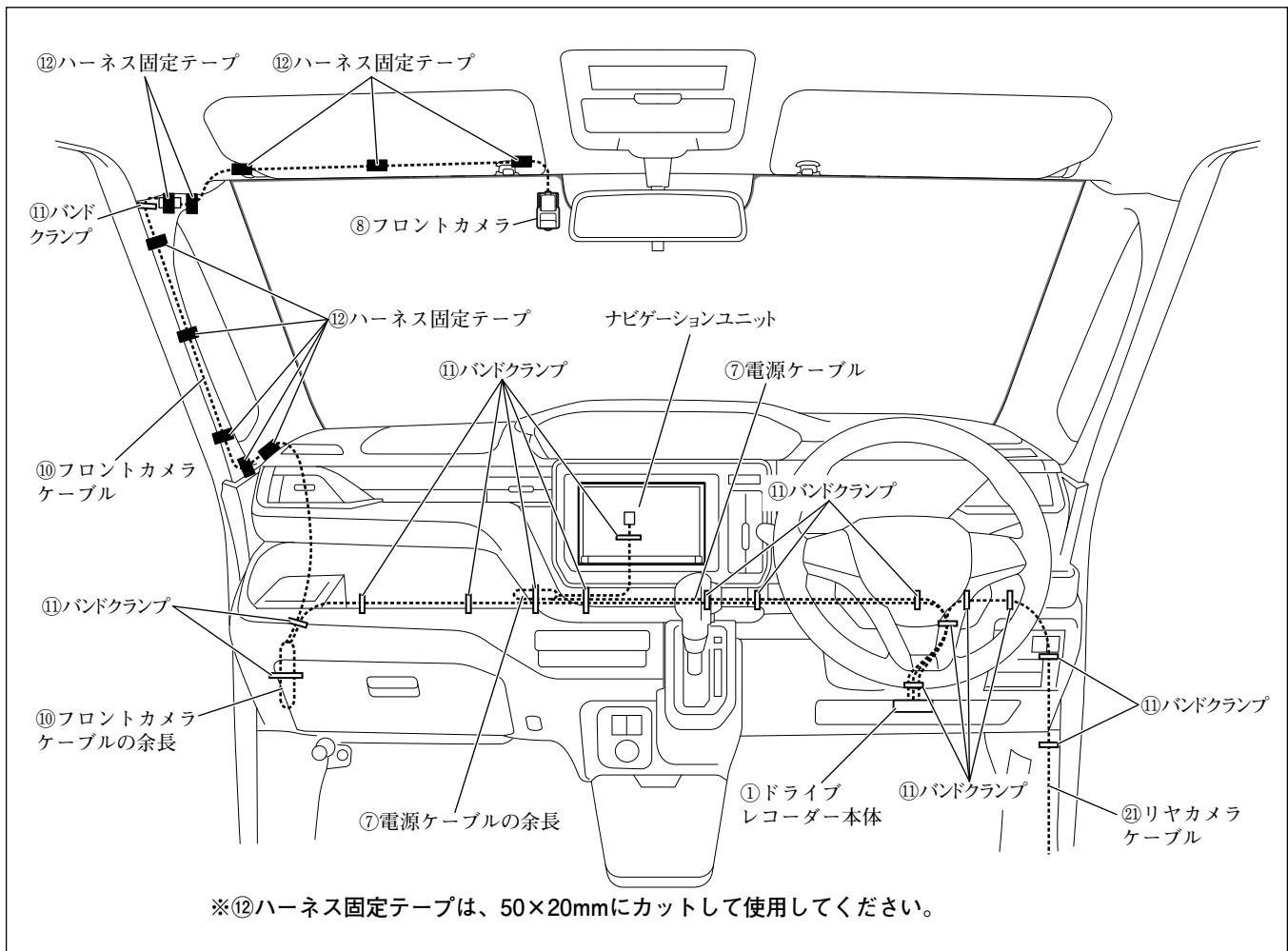
フロントカメラ



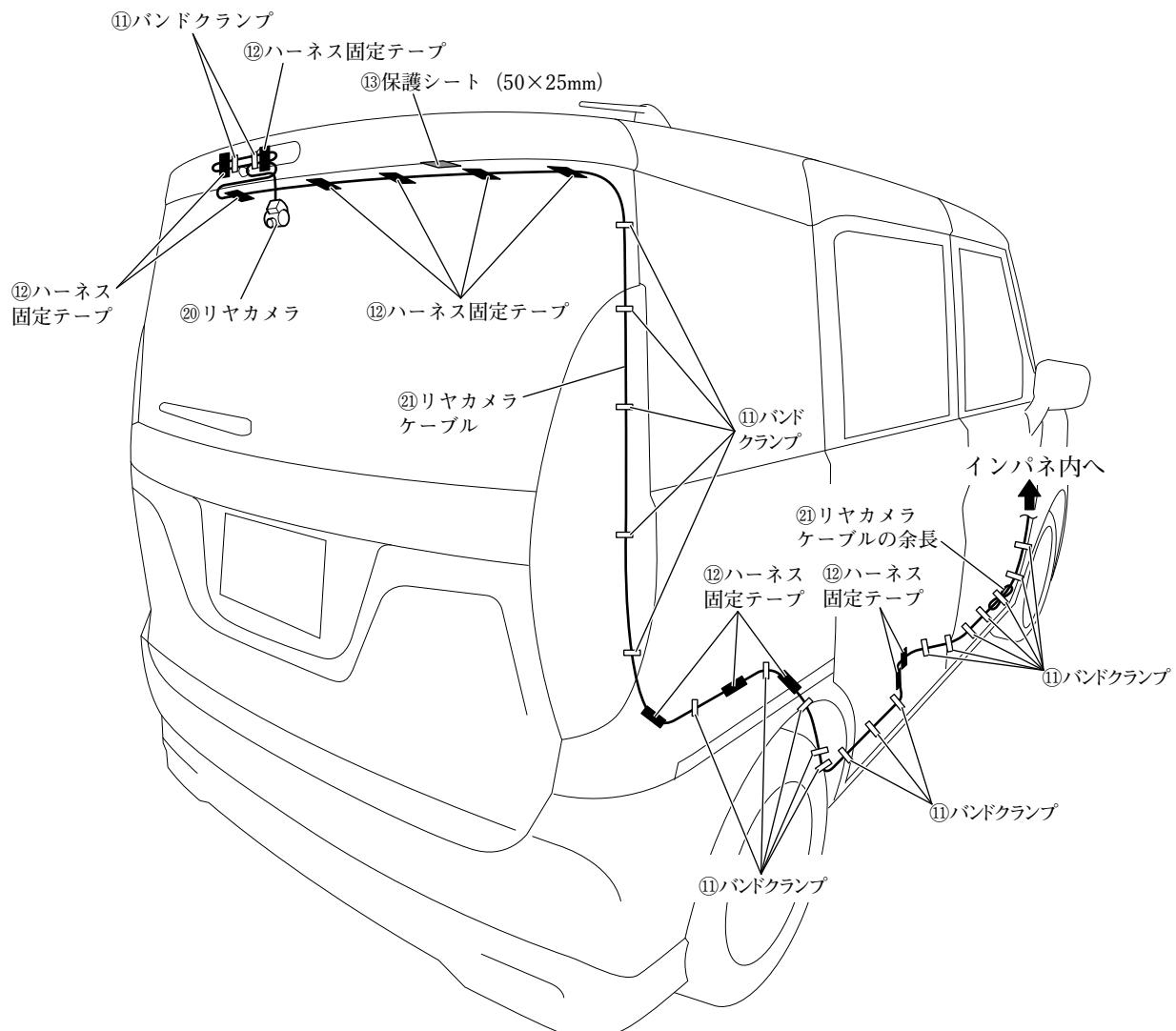
リヤカメラ



● 取付概要 フロントカメラ



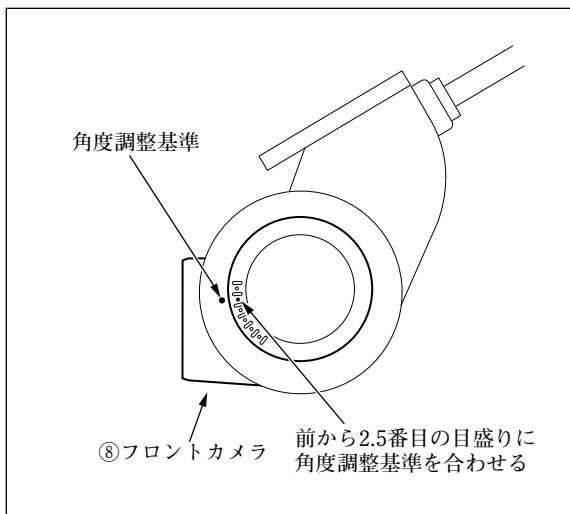
リヤカメラ



※(12)ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



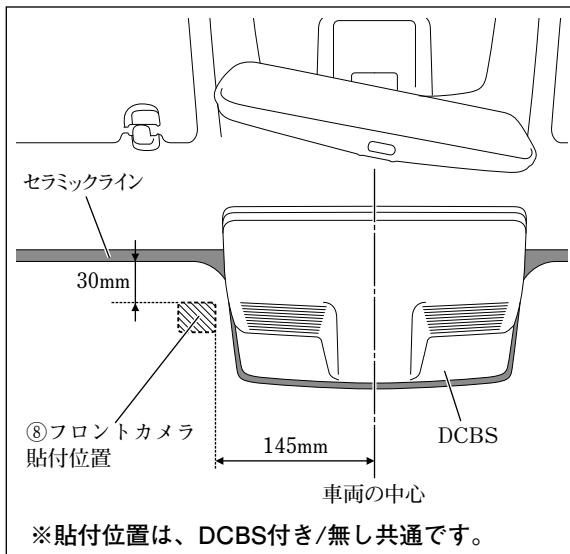
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ・レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- ・取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ・粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

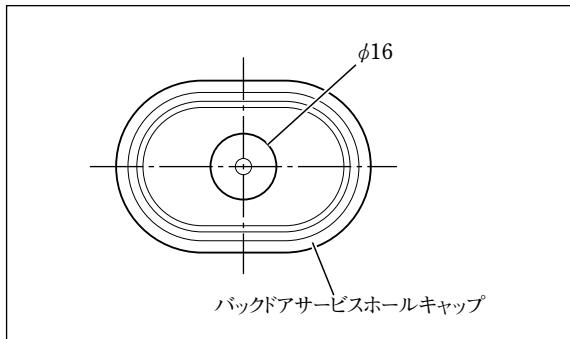
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) 「車両部品の取り外し方法」 – 「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央に穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

注意

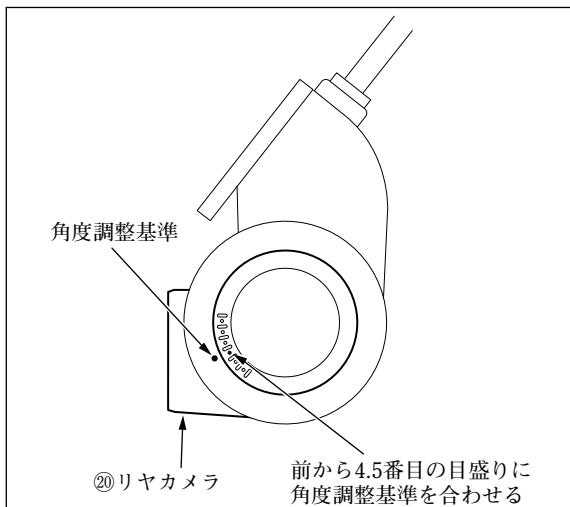
- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

2



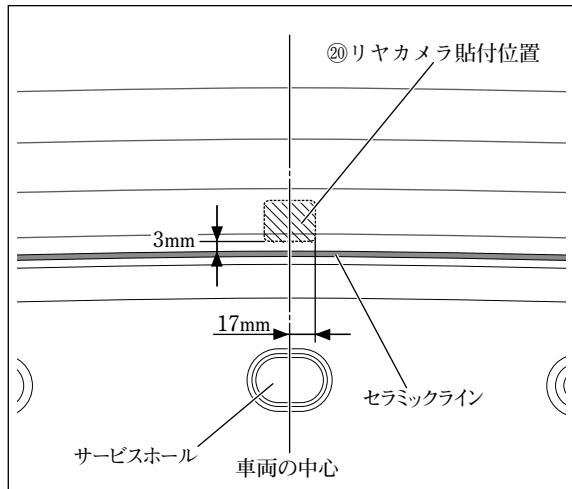
- ②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

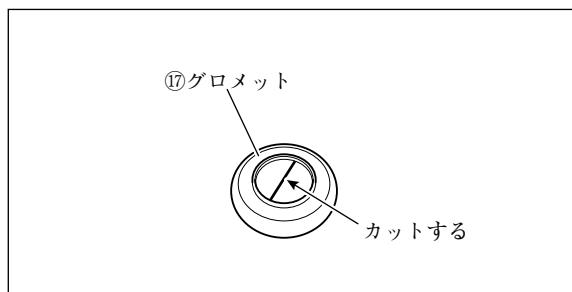


⑩リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

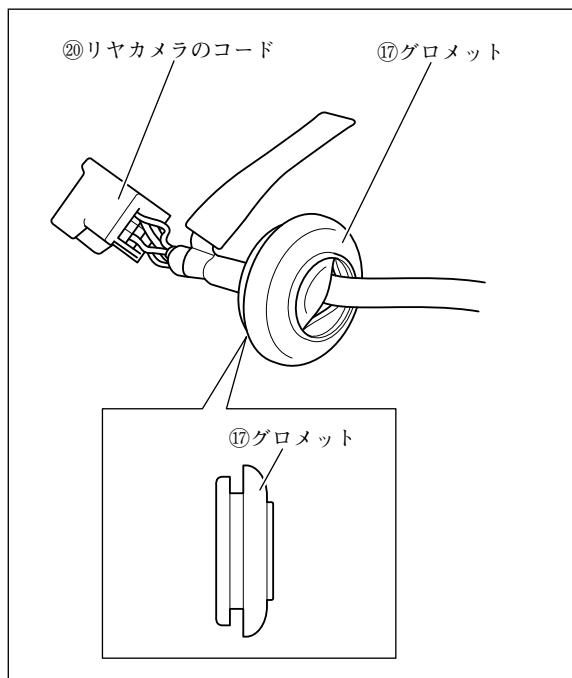
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑩リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑩リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑩リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑪グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

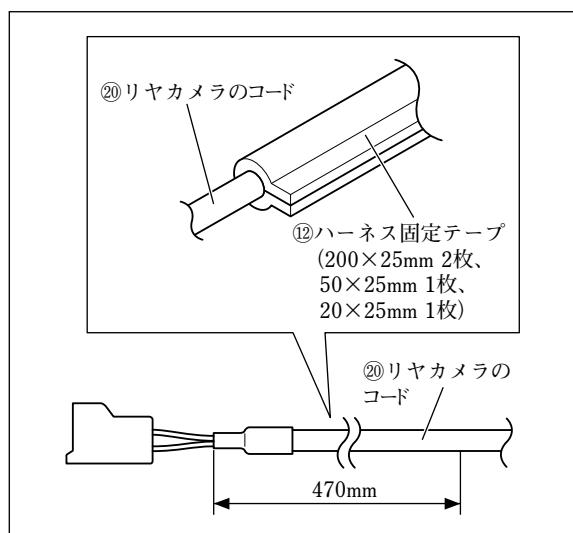


⑪グロメットを⑩リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

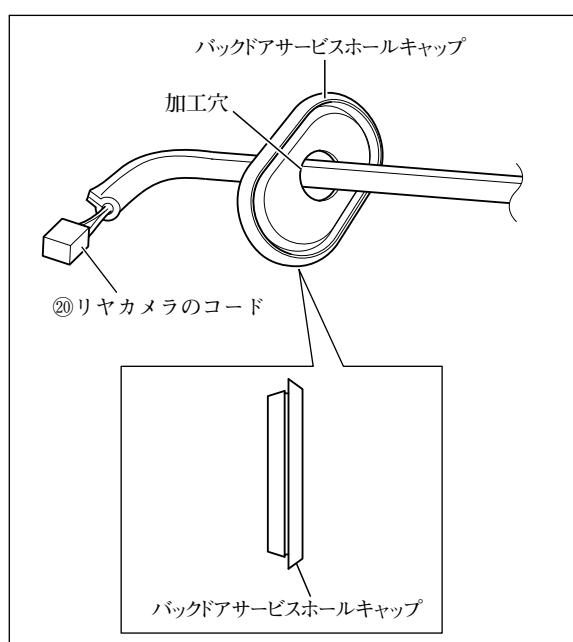
- ⑪グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑩リヤカメラのコードを⑪グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



⑫ ハーネス固定テープを④リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5

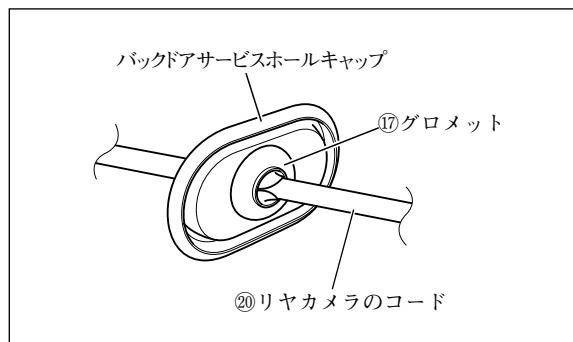


④ リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。

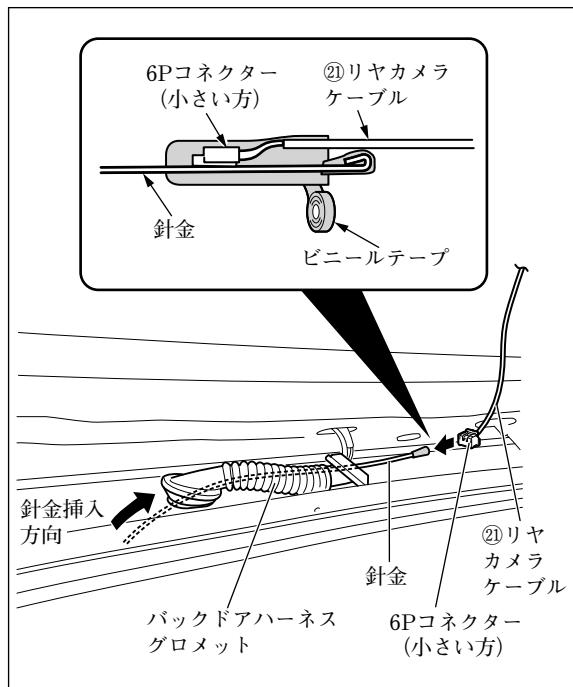
6



⑦ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

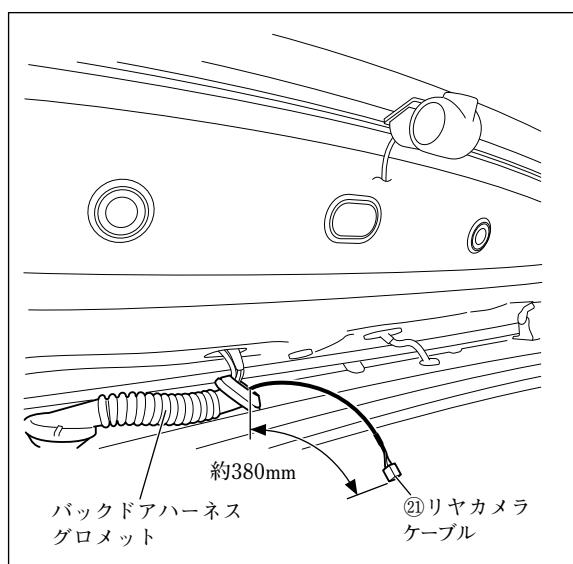


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテapingをしてください。
- (2) 先端をテapingした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテapingしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

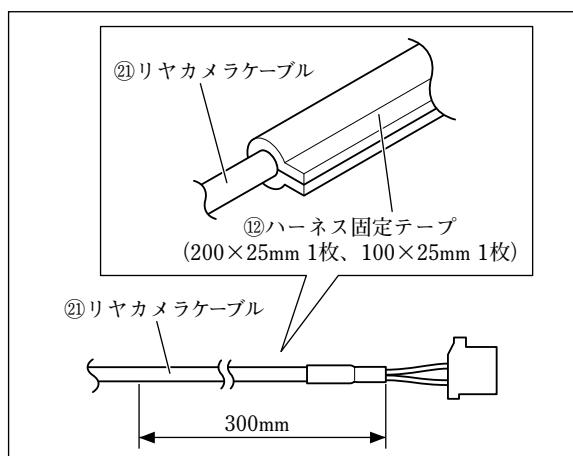
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテapingしてください。

2



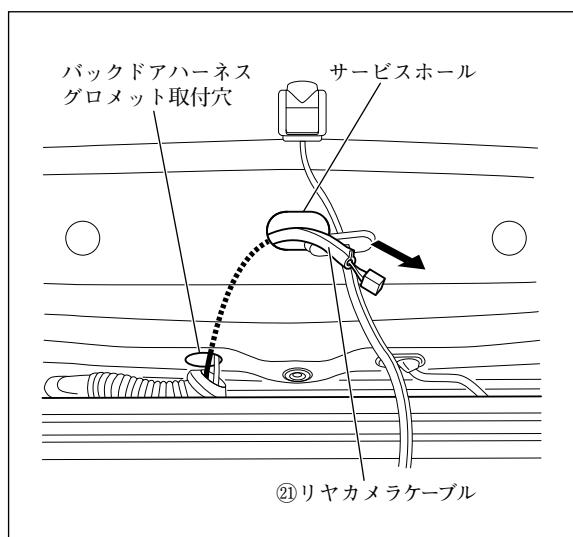
バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



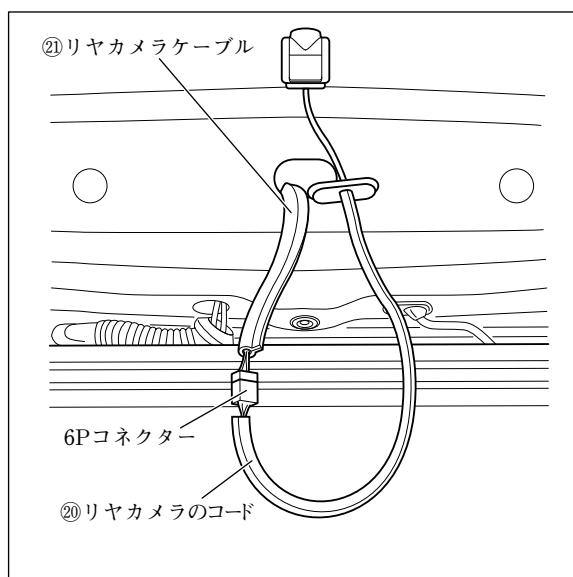
⑪ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



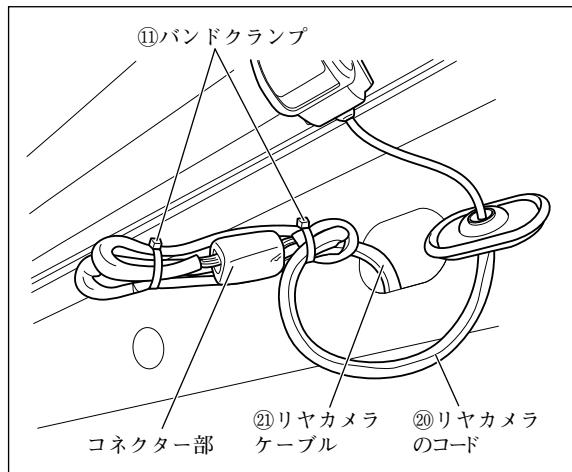
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



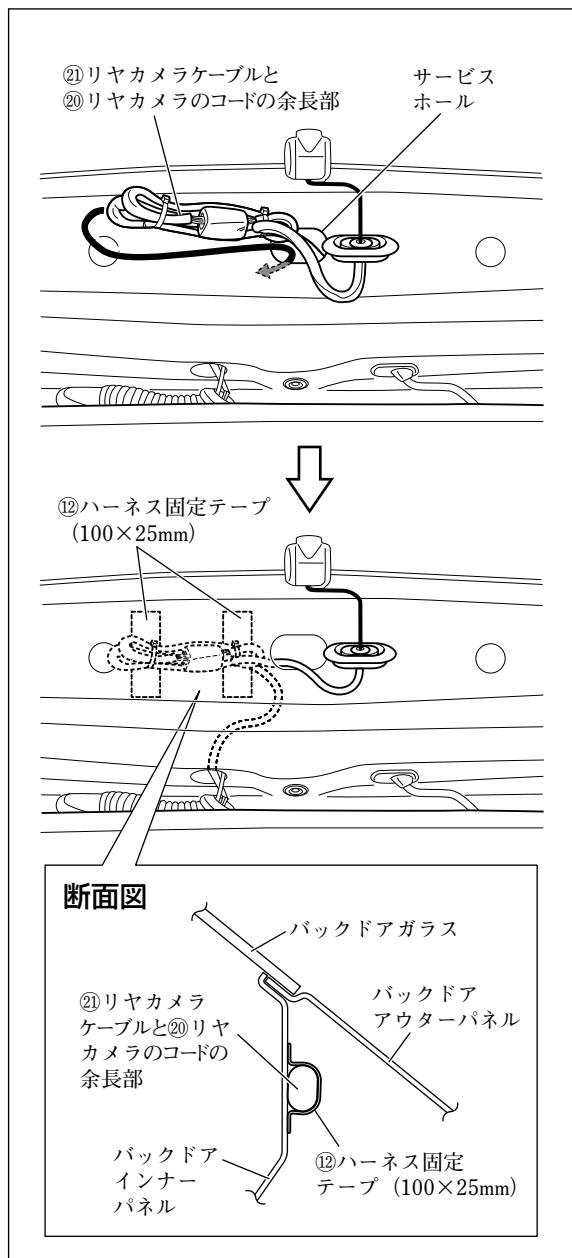
- (1) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



⑪リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7

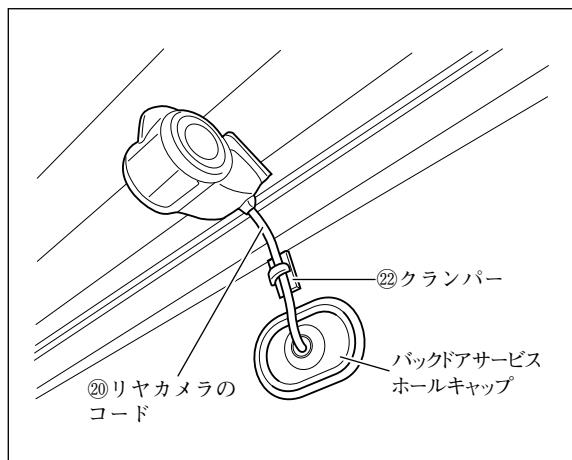


⑪リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



- (1) バックドアサービスホールキャップを復元してください。
- (2) ②②クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

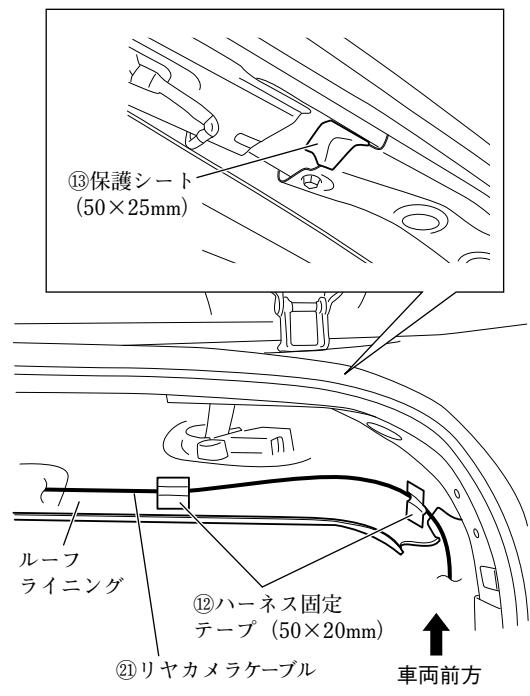
●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

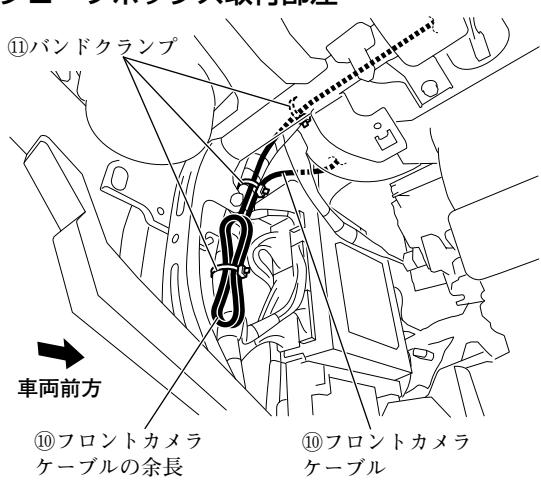
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

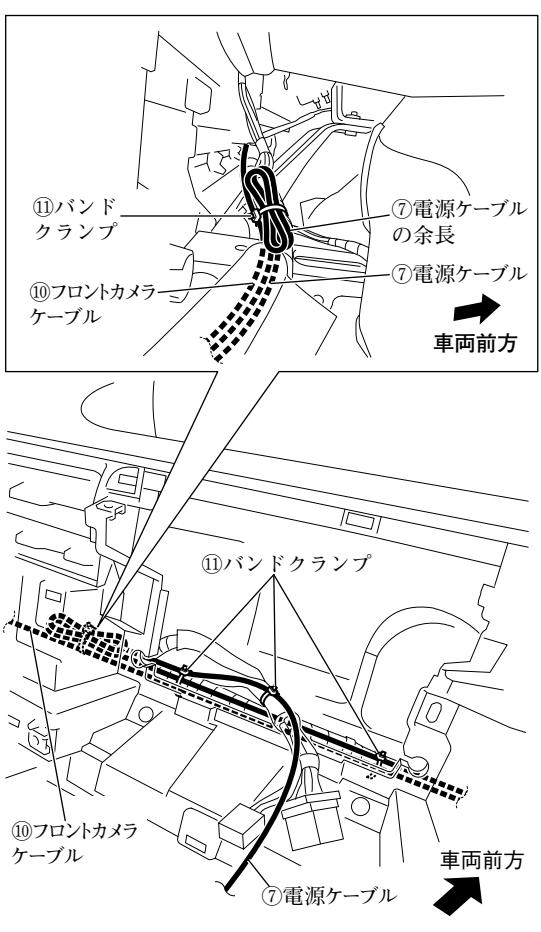
● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部左



ナビゲーション取付部



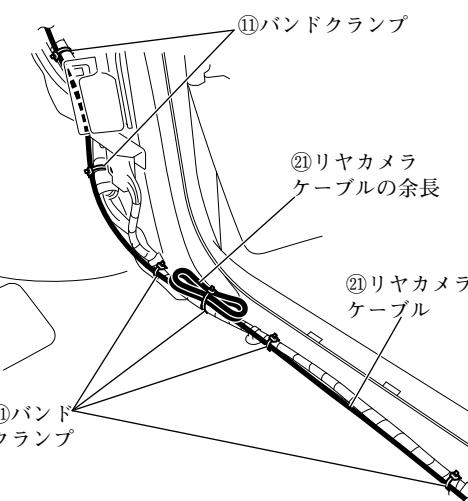
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

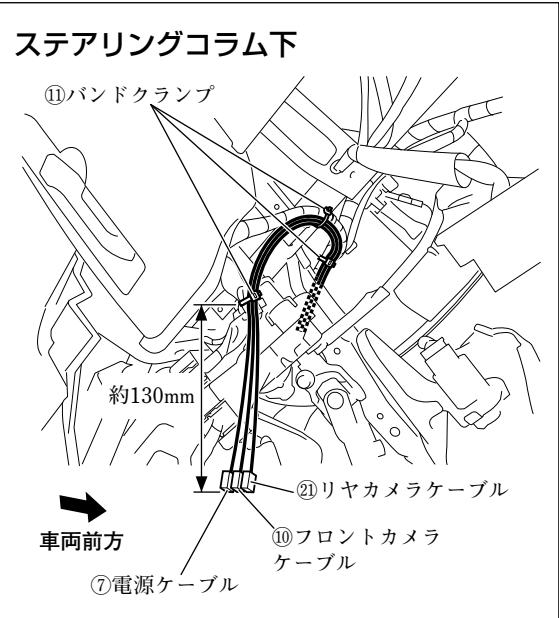
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席右



2



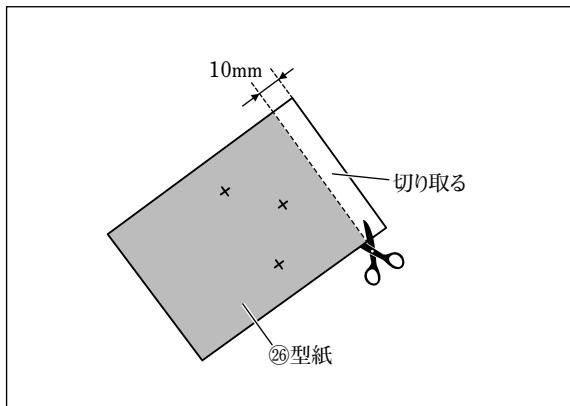
① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1

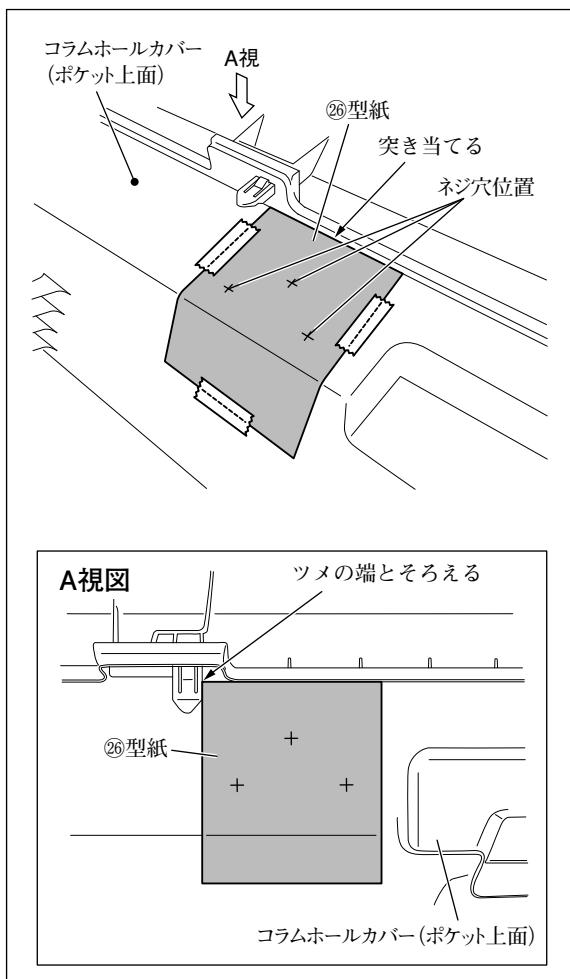


⑥型紙の図示位置を切り取ってください。

注記

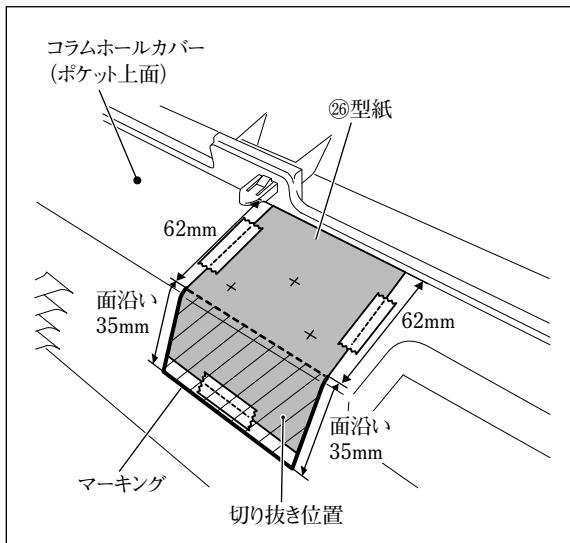
⑥型紙の向きを間違えないでください。

2



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークイングをしてください。

3

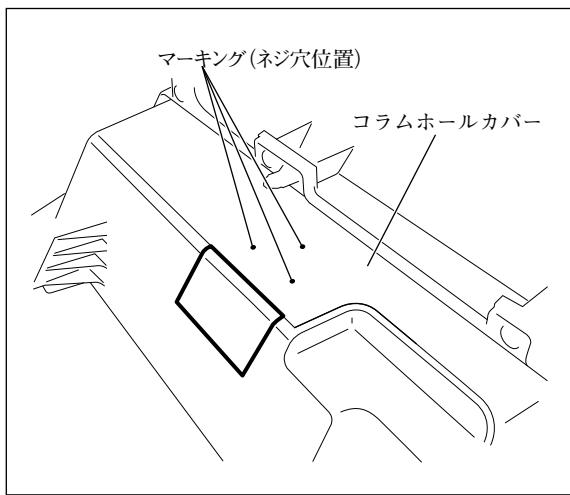


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

4



⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

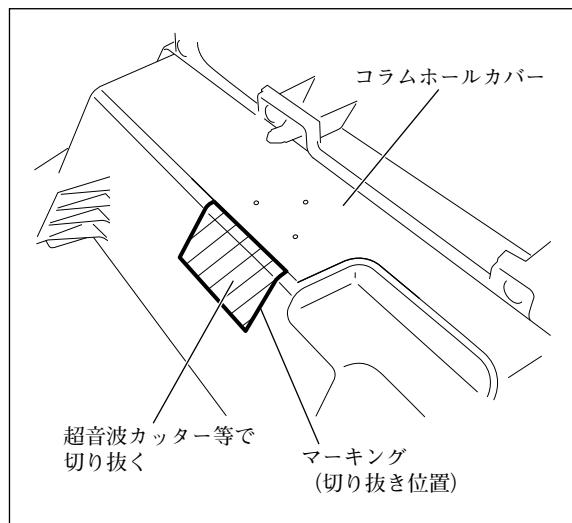
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

5



- (1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

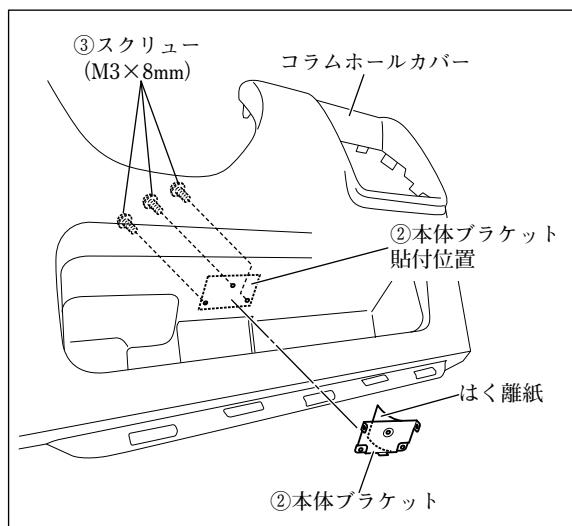
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

! アドバイス でバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

6



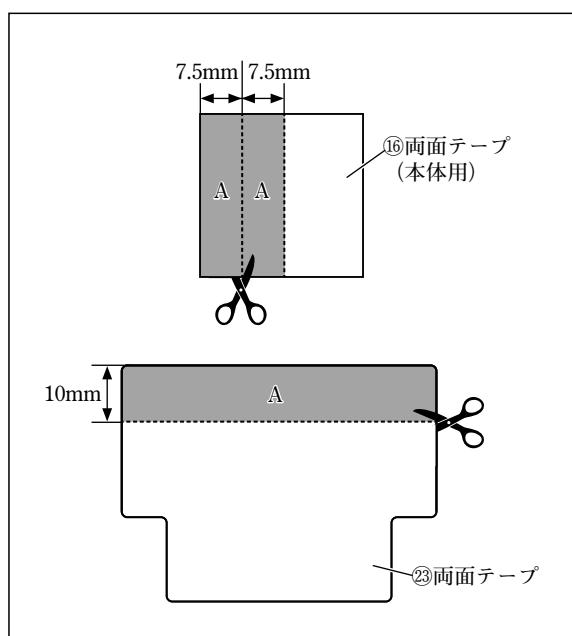
- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

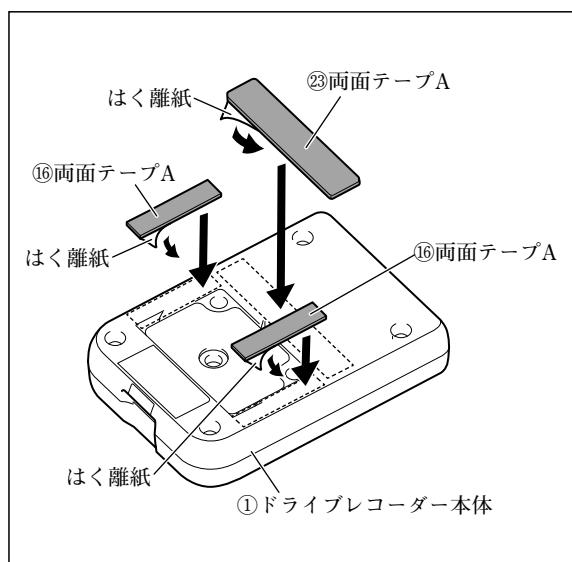
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

7



- ⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。

8

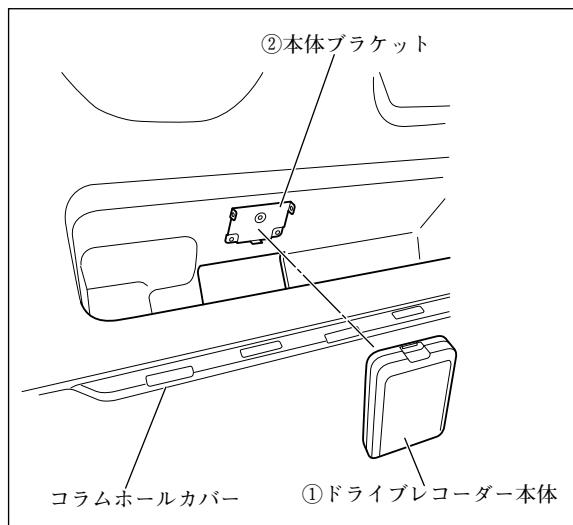


カットした⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを①ドライプレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

9



- (1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体、③両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

- (3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スイフトの場合

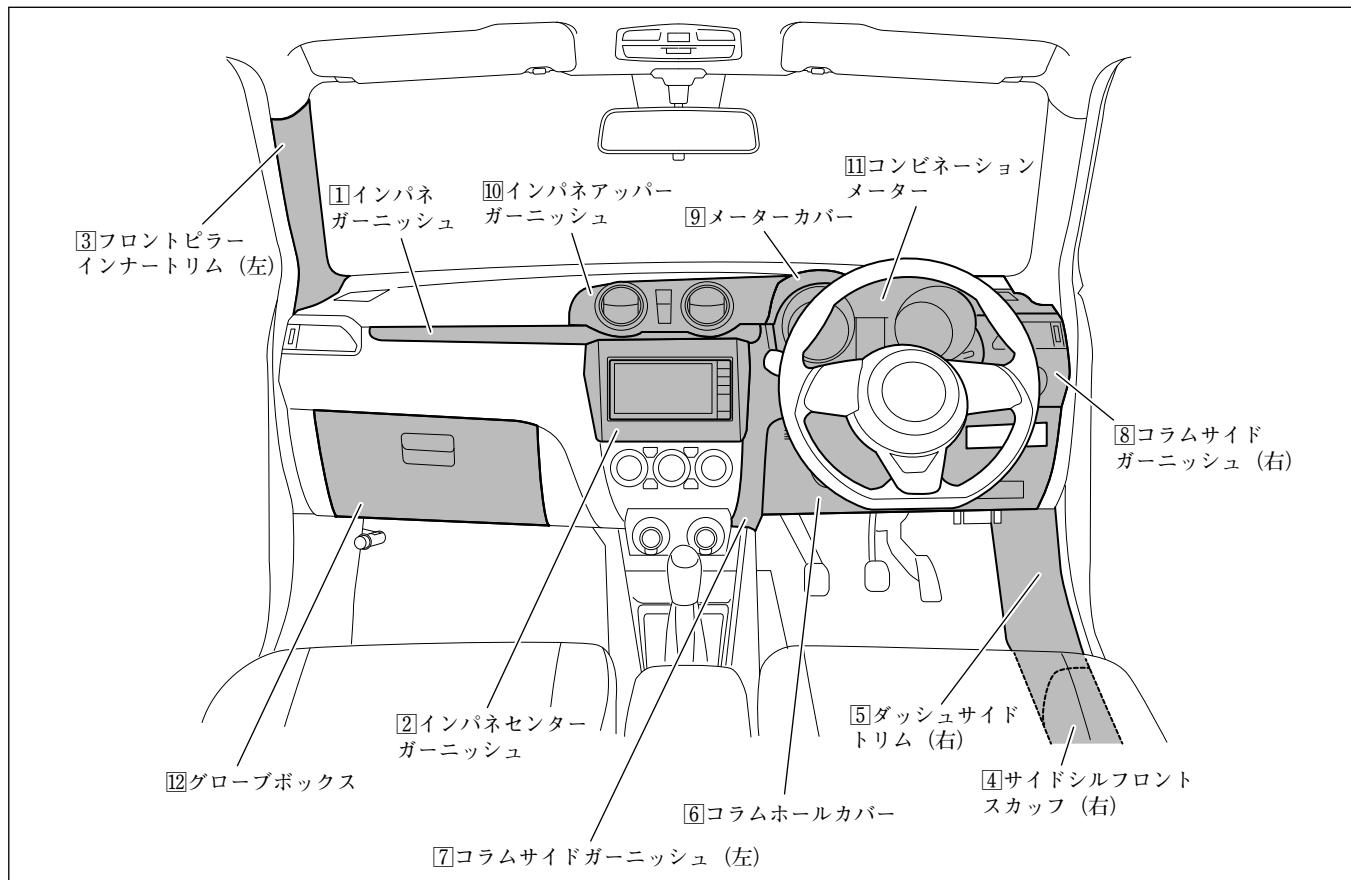
●車両部品の取り外し方法

注記

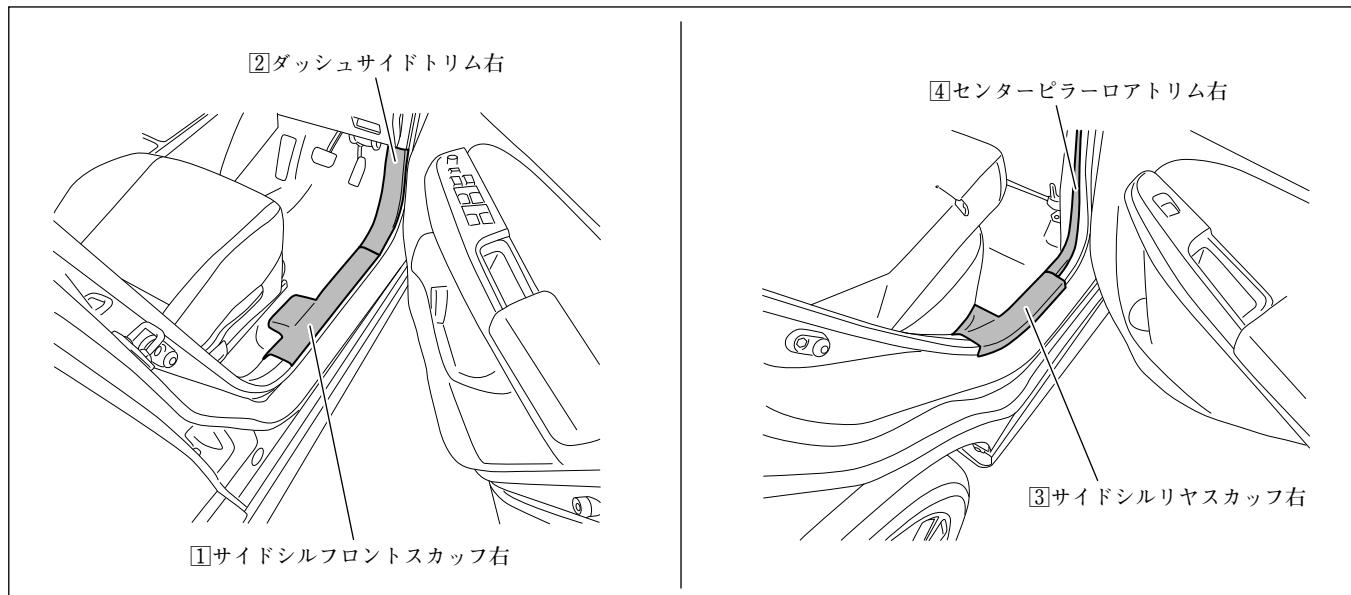
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

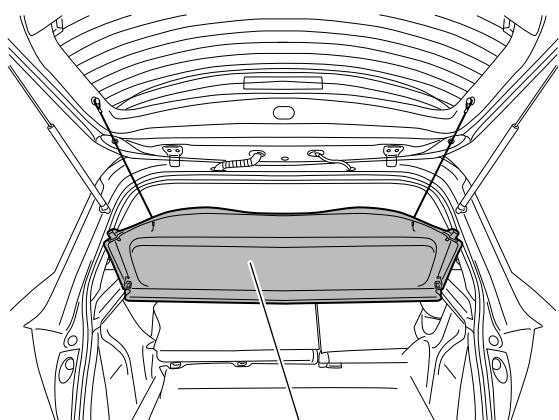
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

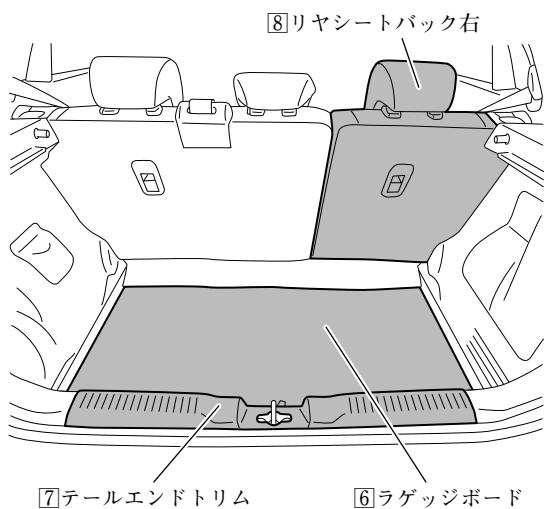


リヤカメラ

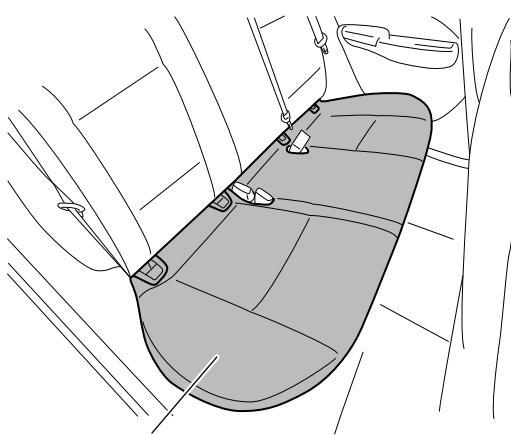




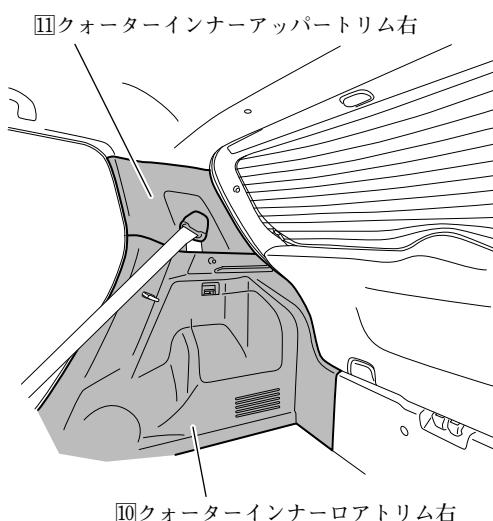
⑤ リヤパーセルシェルフ



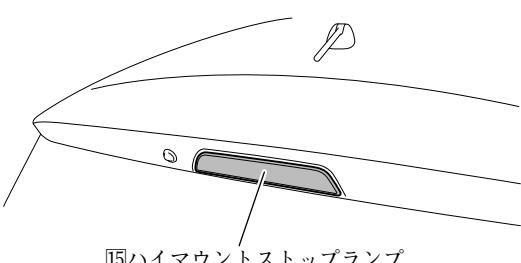
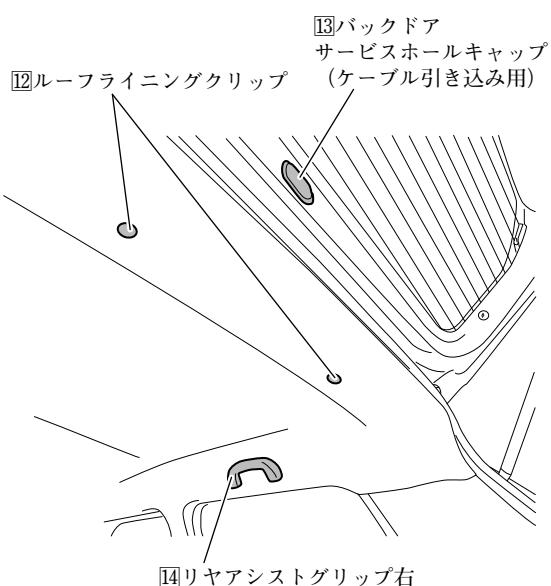
⑦ テールエンドトリム ⑥ ラゲッジボード



⑨ リヤシートクッション



⑩ クォーターインナーロアトリム右



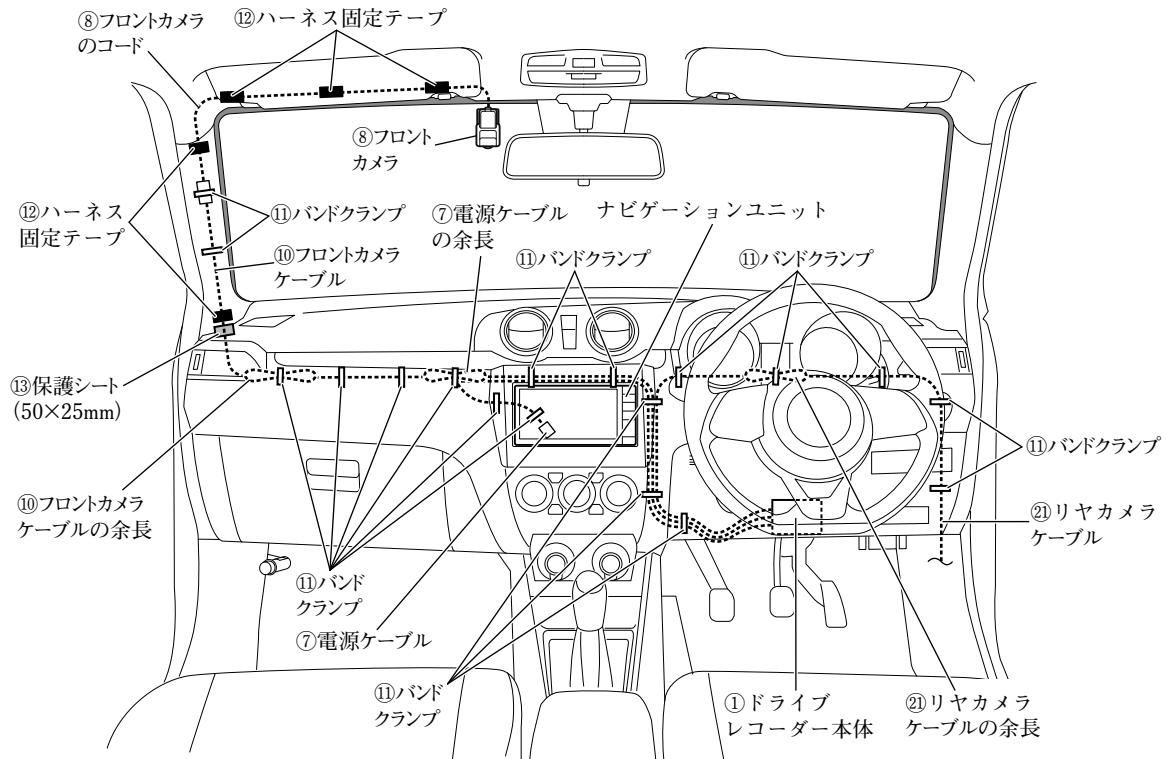
⑮ ハイマウントストップランプ

アドバイス

ルーフエンドspoiler非装備車など、ハイマウントストップランプを取り外し可能な車両は、ハイマウントストップランプを外すと作業性が向上します。

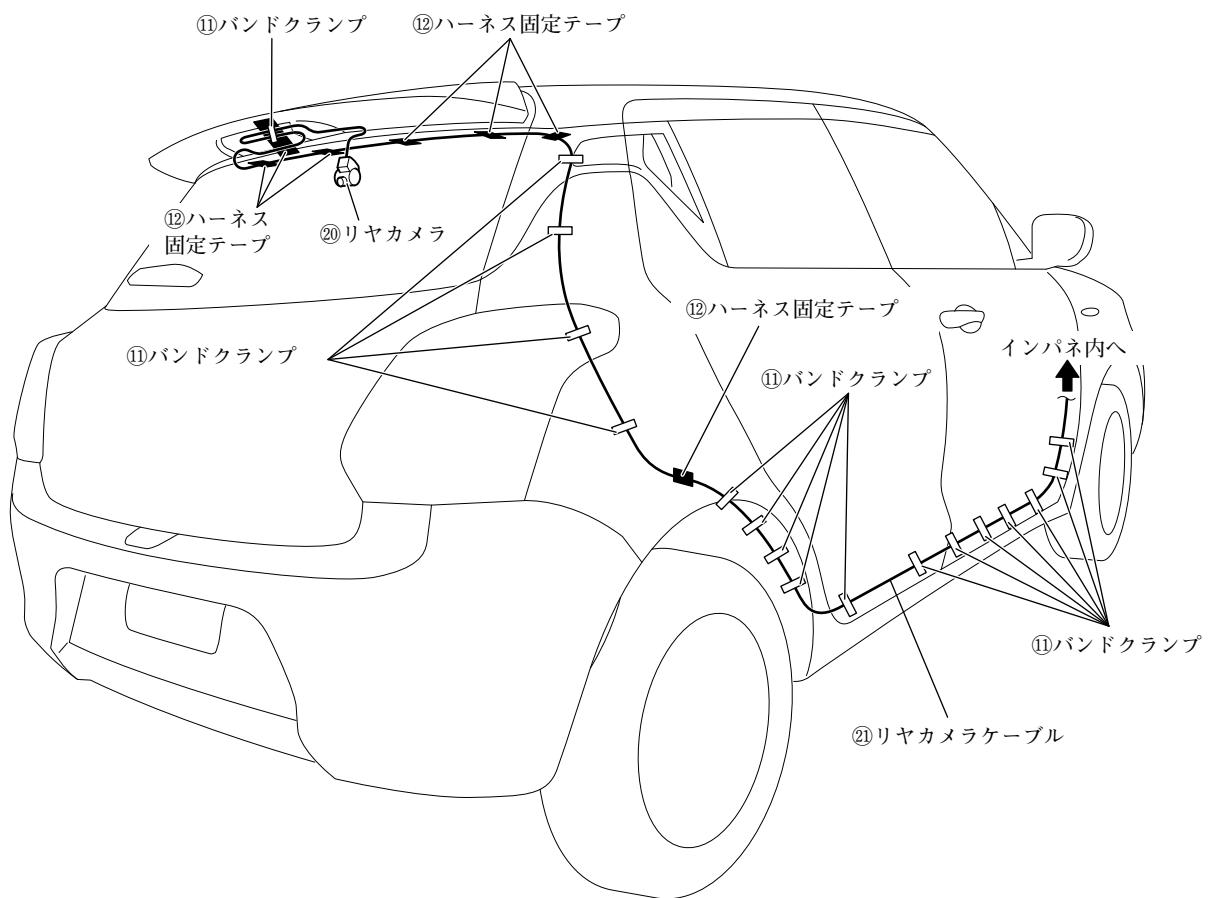
●取付概要

フロントカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

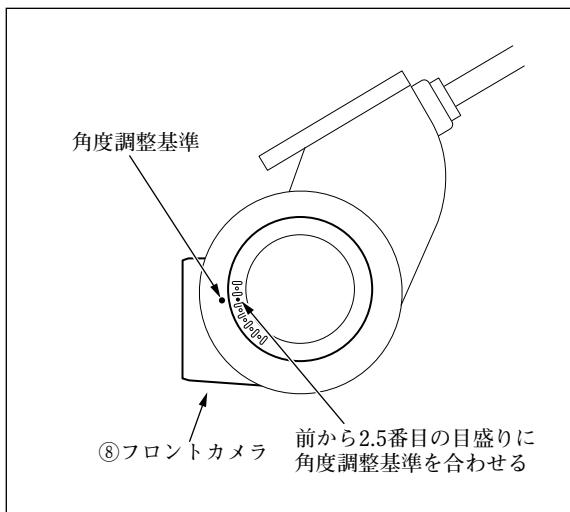
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



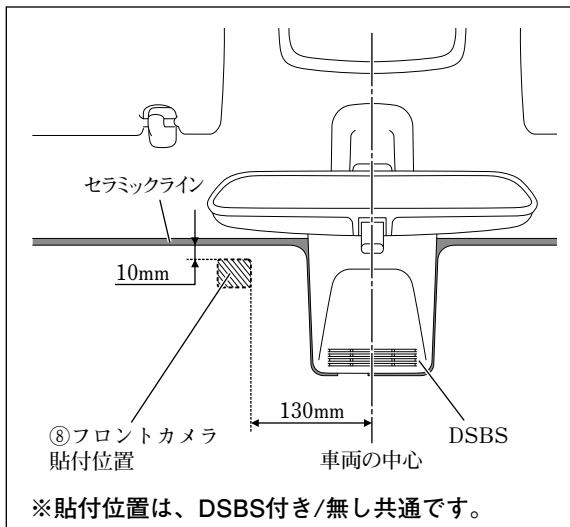
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

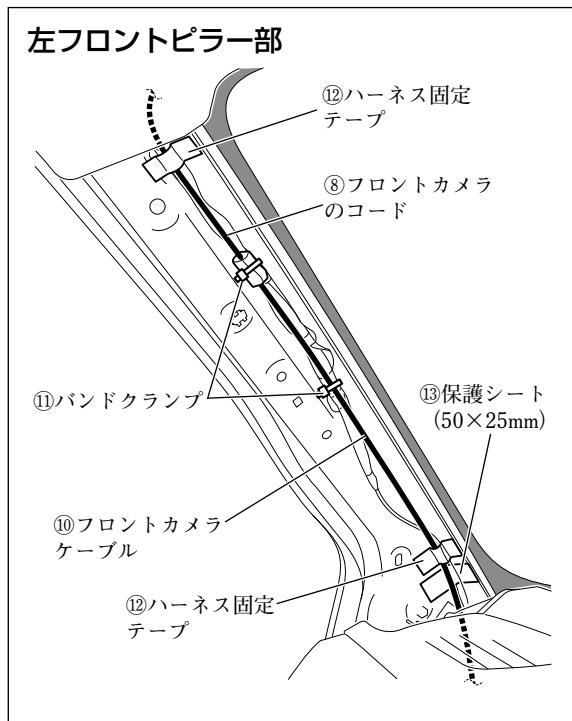
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。



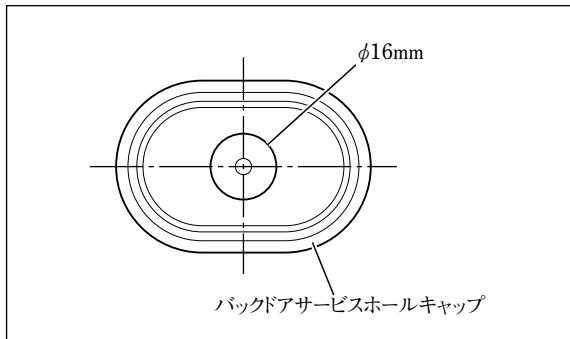
配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ・⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラ取付前の準備

1



- (1) バックドアサービスホールキャップの中央に穴 ($\phi 16\text{mm}$) を開けてください。

!**注意**

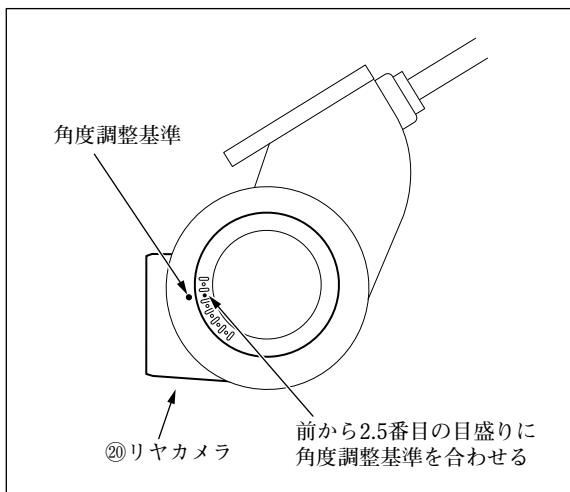
- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

2



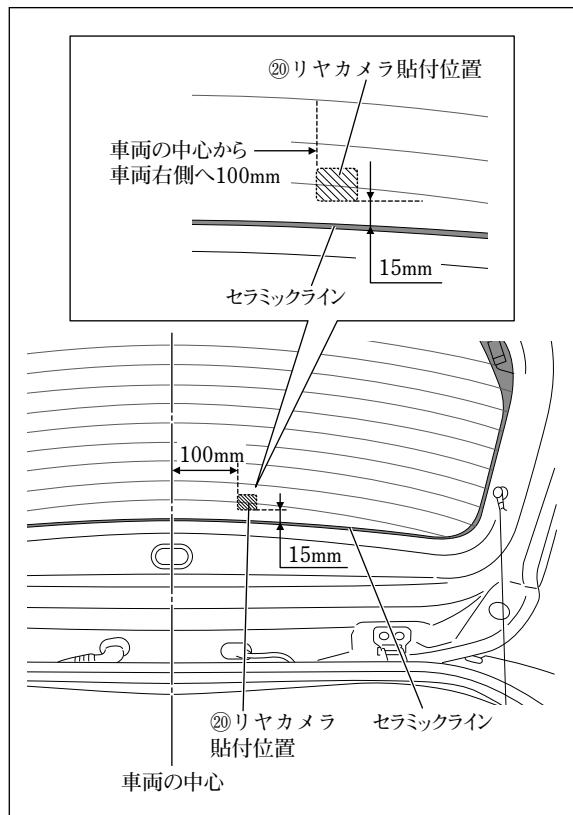
- ②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

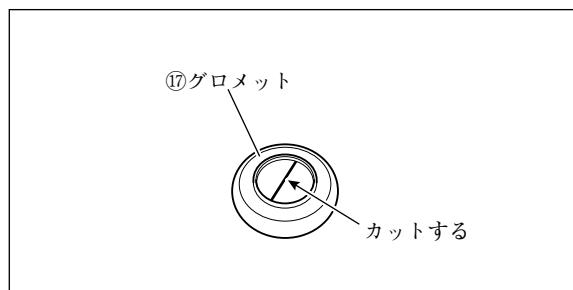


②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

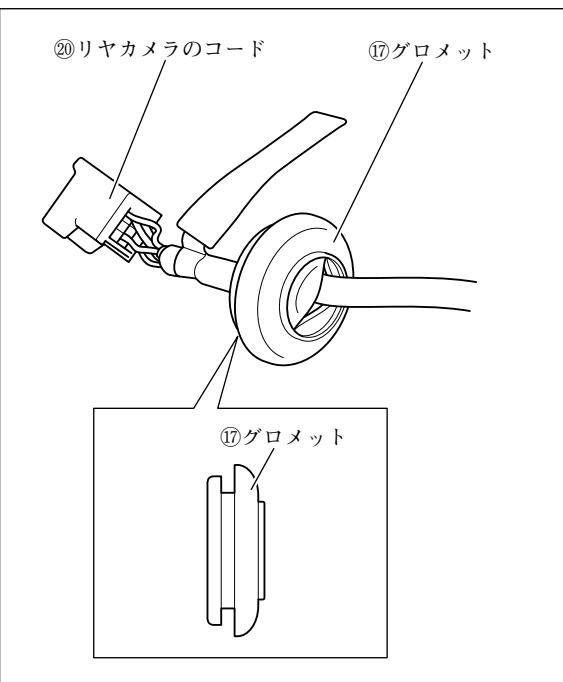
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

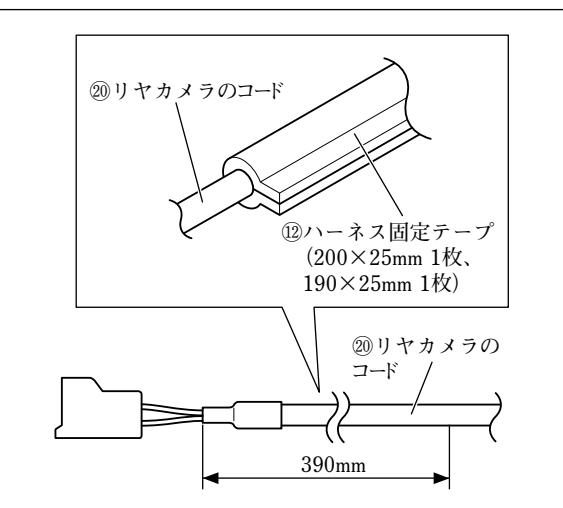


⑯グロメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

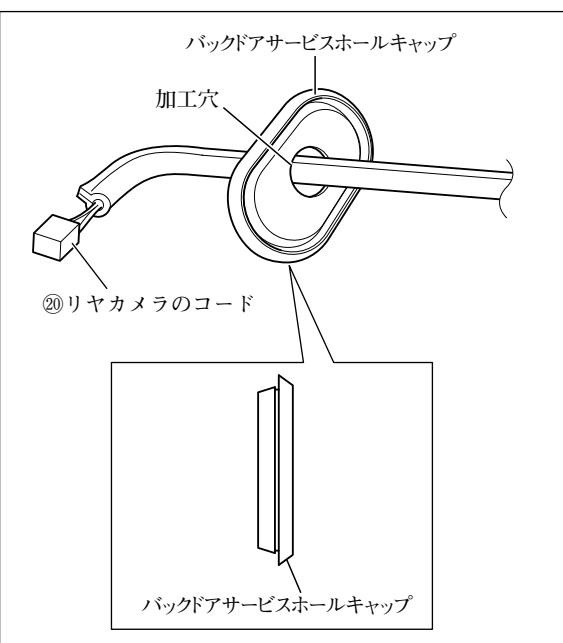
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



⑯ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。

5

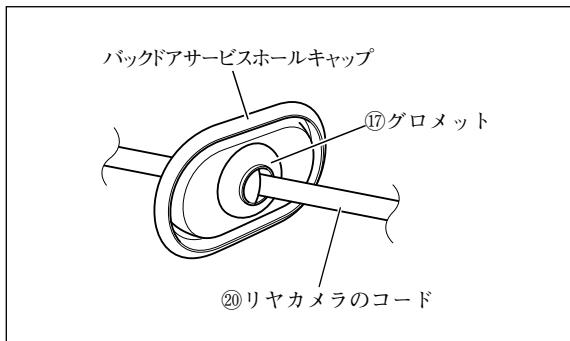


②ⓧリヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

注記

- バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。

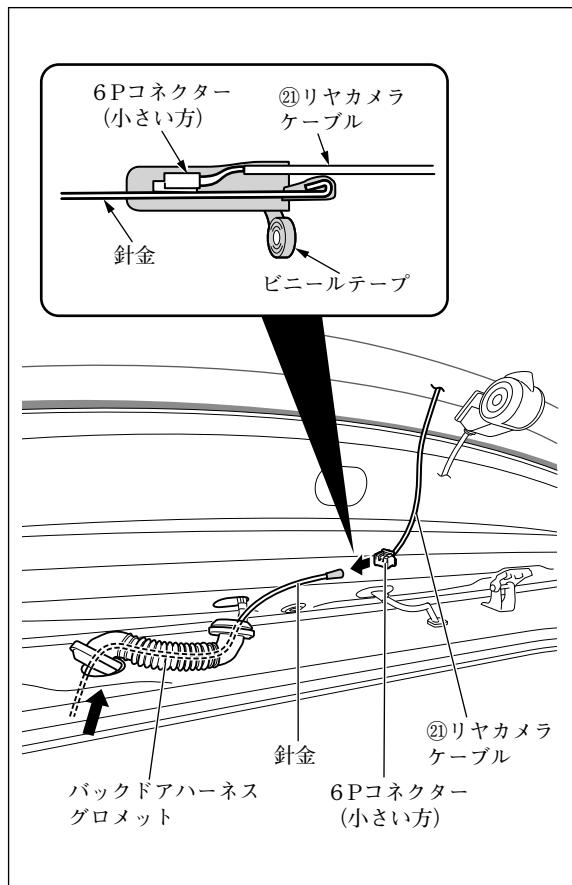
6



⑯ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

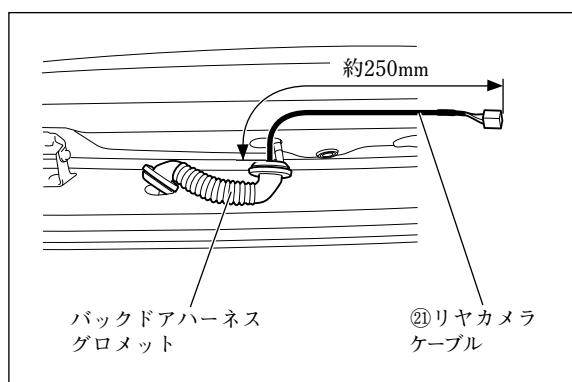


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテapingをしてください。
- (2) 先端をテapingした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテapingしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

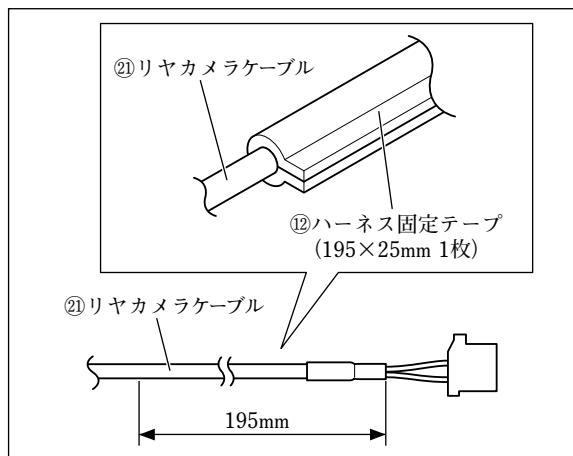
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテapingしてください。

2



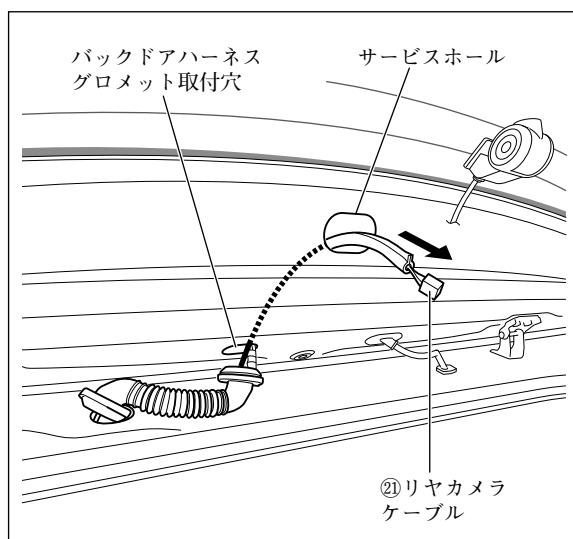
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



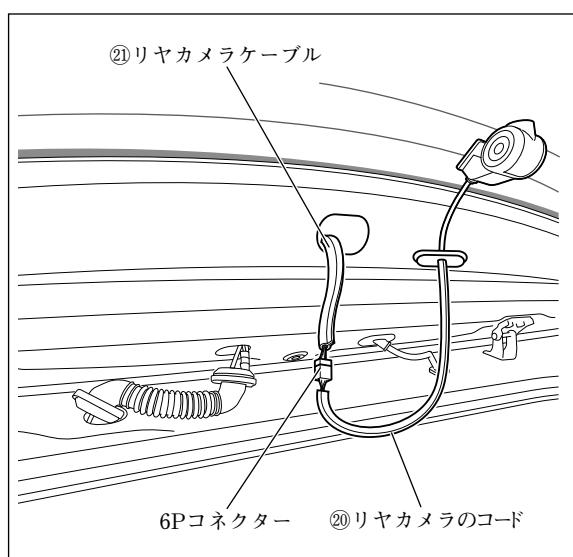
⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



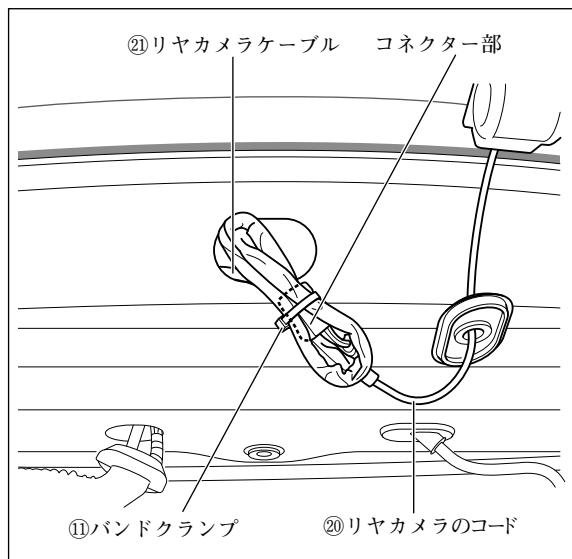
針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

5



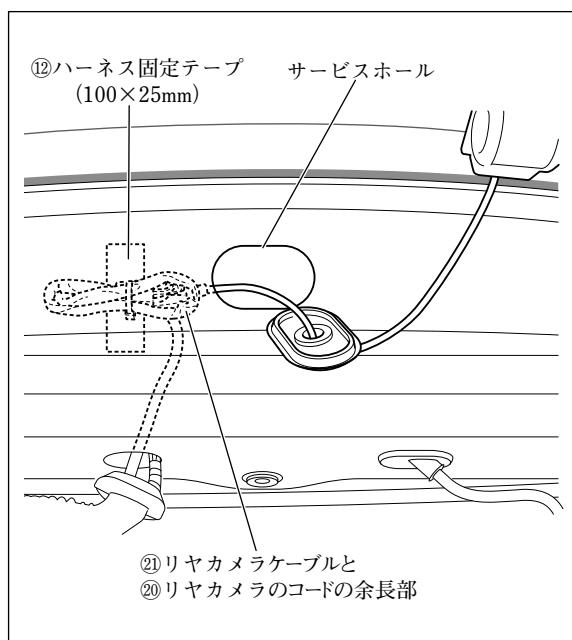
- (1) ②リヤカメラケーブルのコネクターと②リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

6



⑪リヤカメラケーブルと⑯リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7

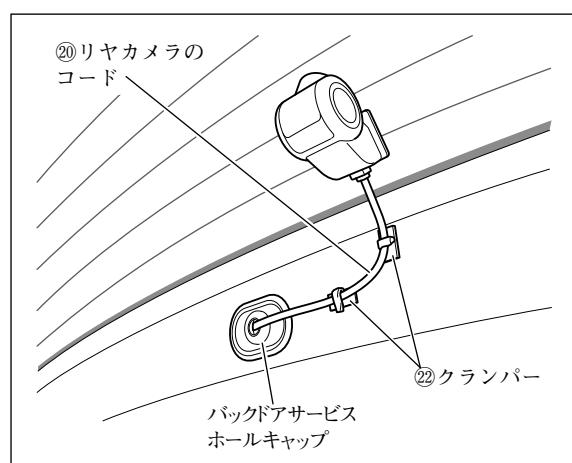


(1) ⑪リヤカメラケーブルと⑯リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等を干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

8



- (1) バックドアサービスホールキャップを復元してください。
- (2) ⑭クランパーで⑯リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑭クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

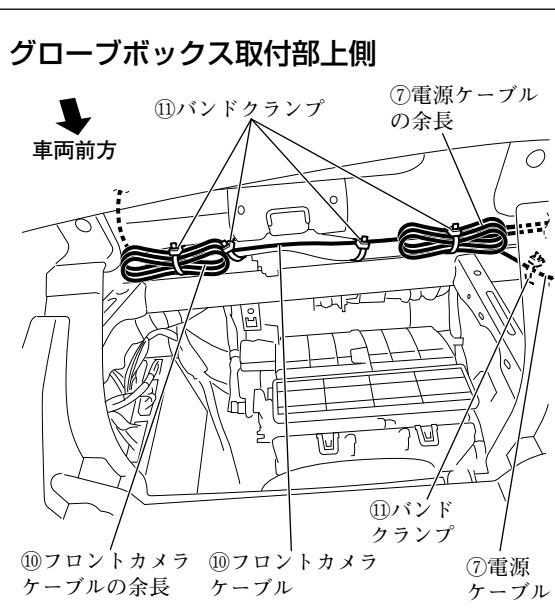
「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

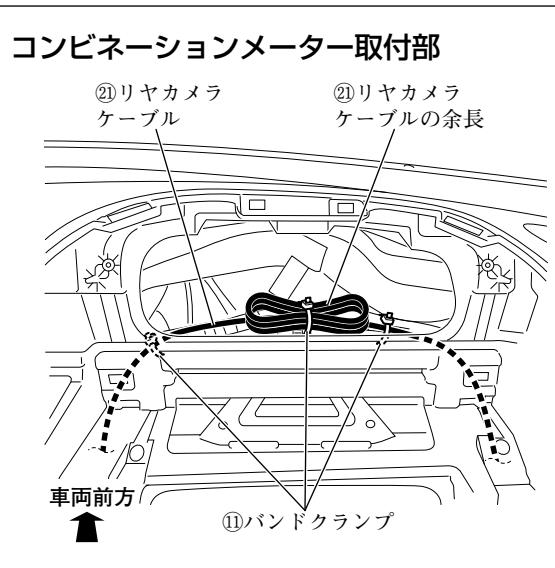


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

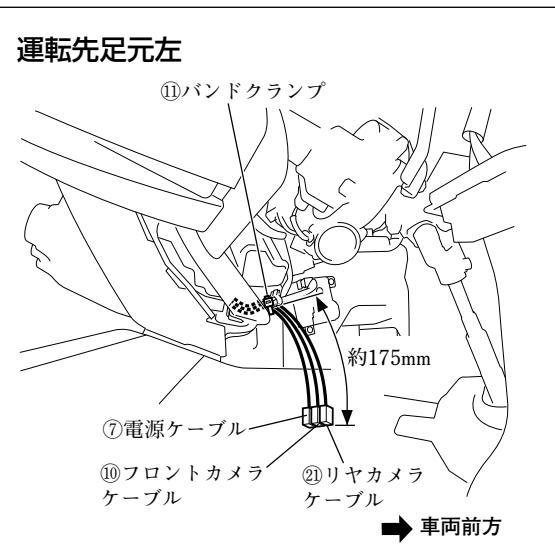
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



2



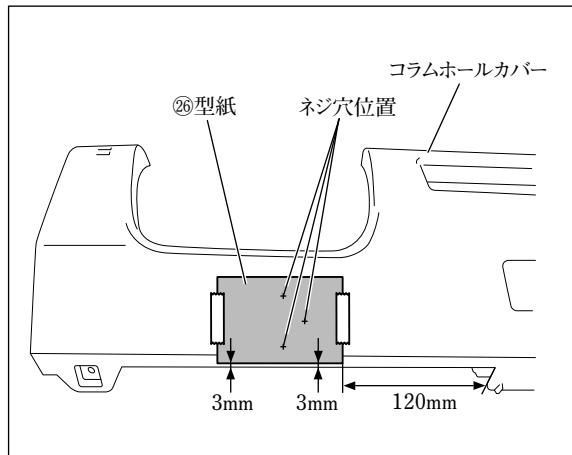
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。

1



- (1) コラムホールカバーへ②型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ②型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（φ4mm）を開けてください。

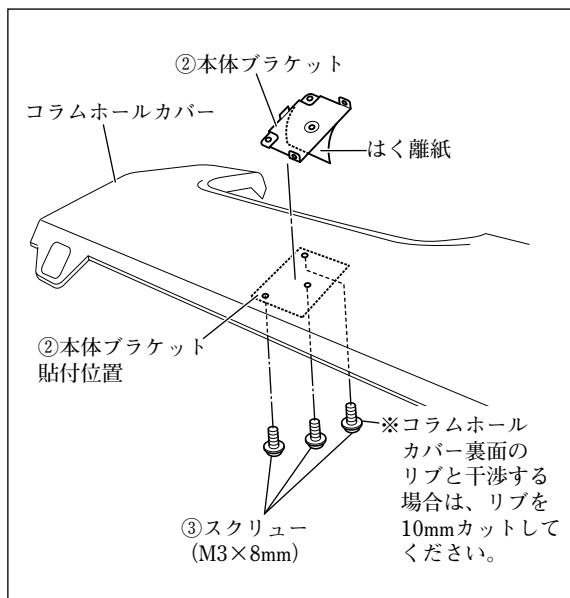
⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

2

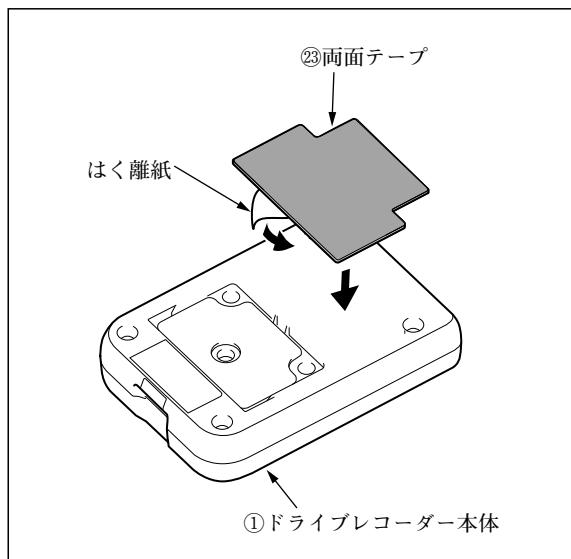


- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

3

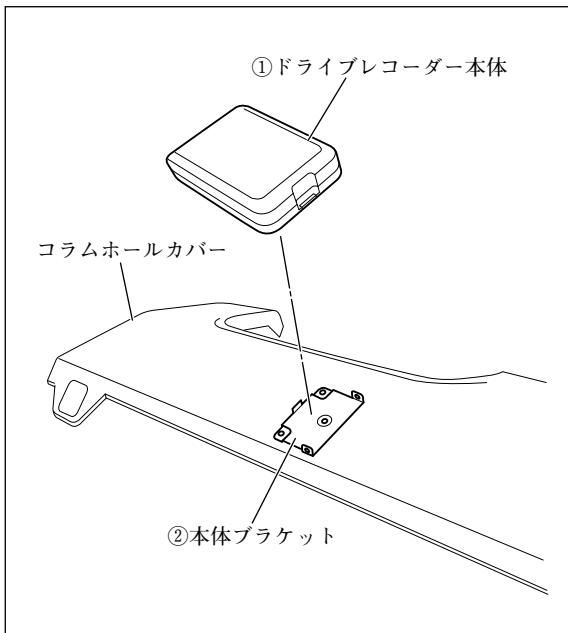


②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

4



- (1) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (2) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(20°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (3) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

クロスビーの場合

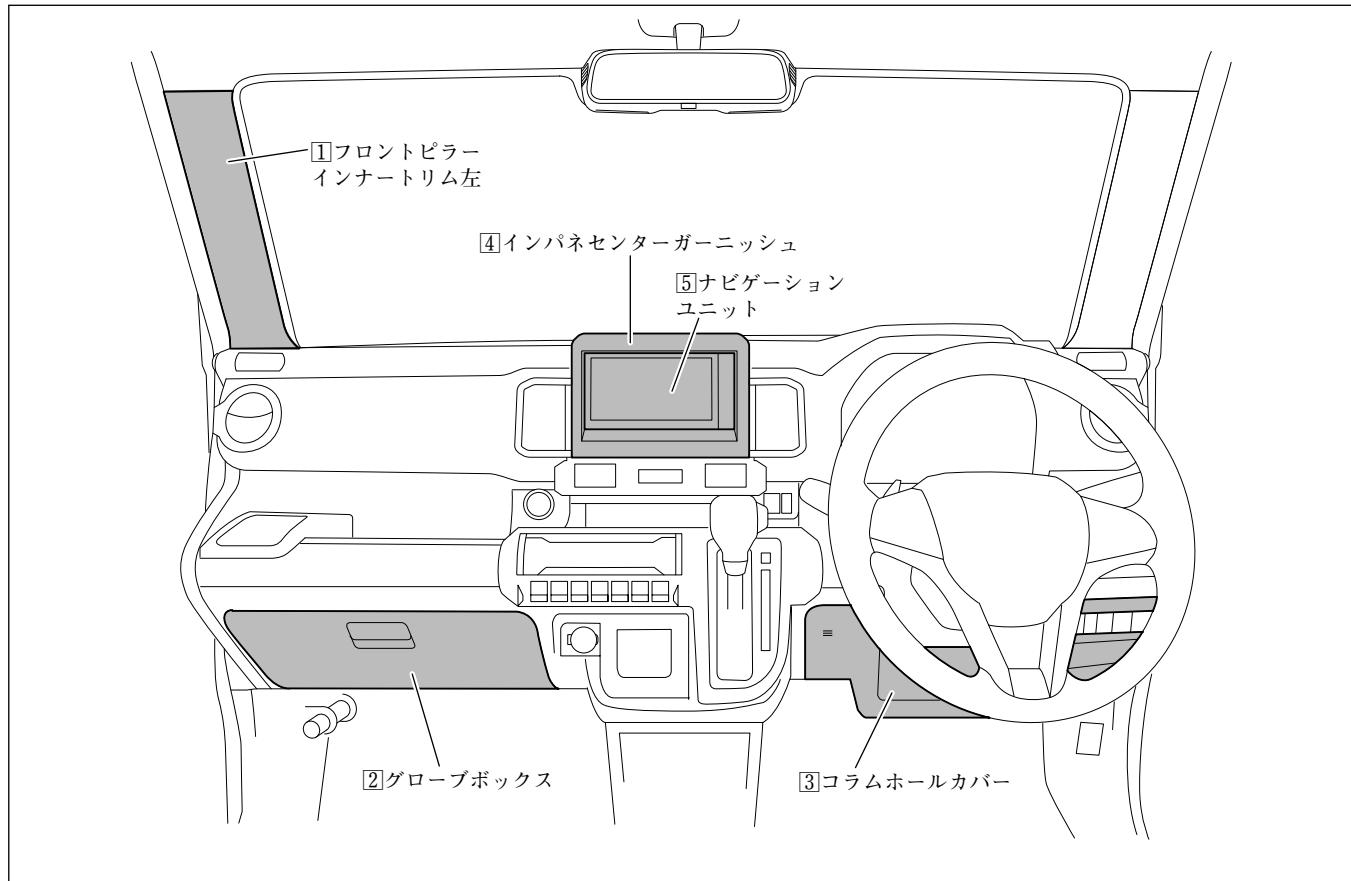
●車両部品の取り外し方法

注記

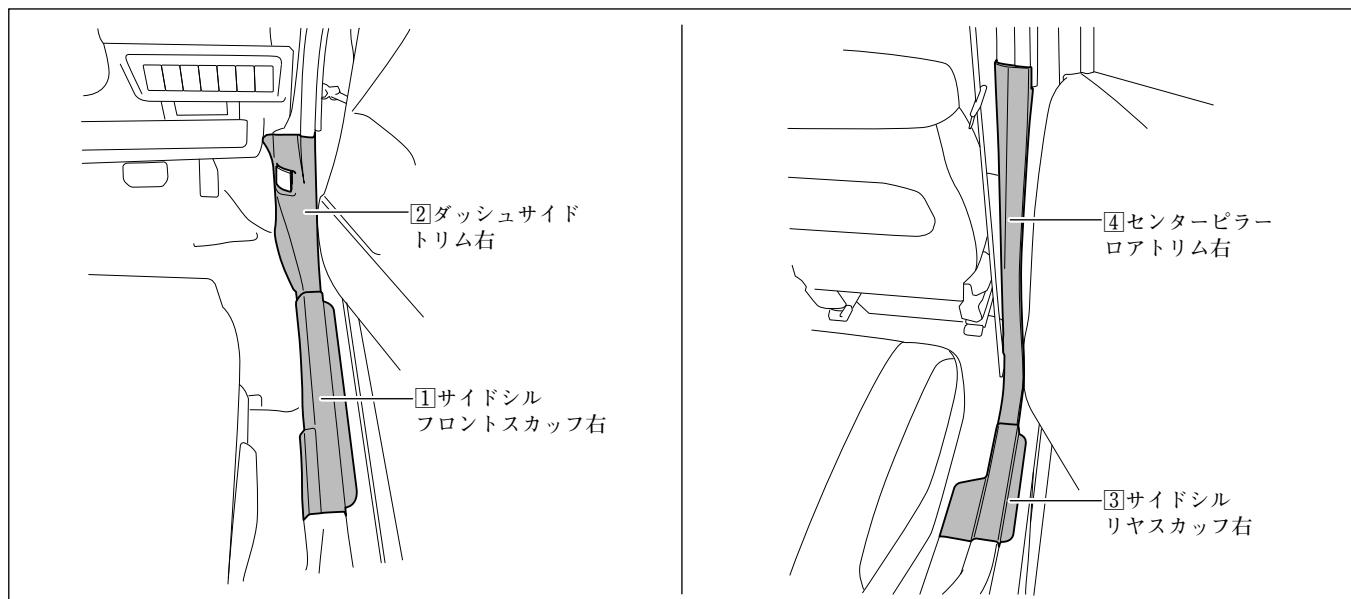
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

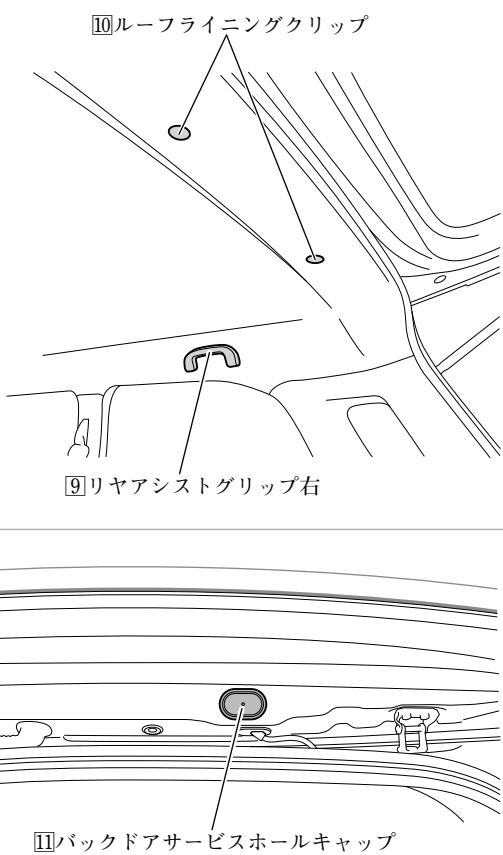
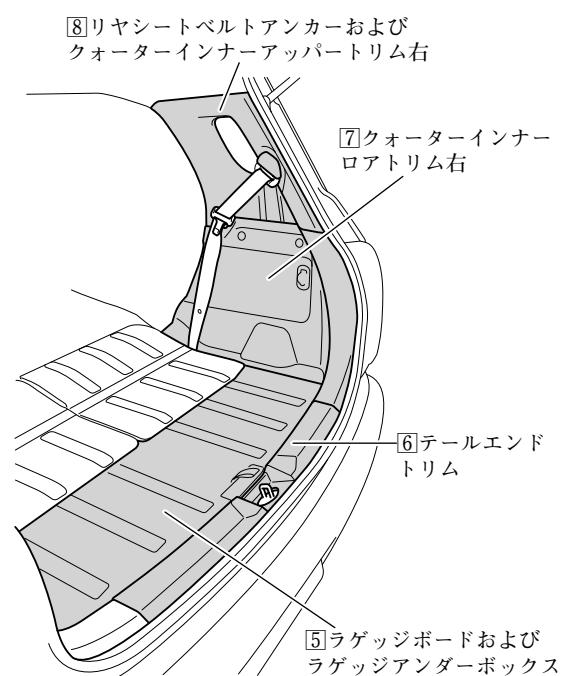
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ



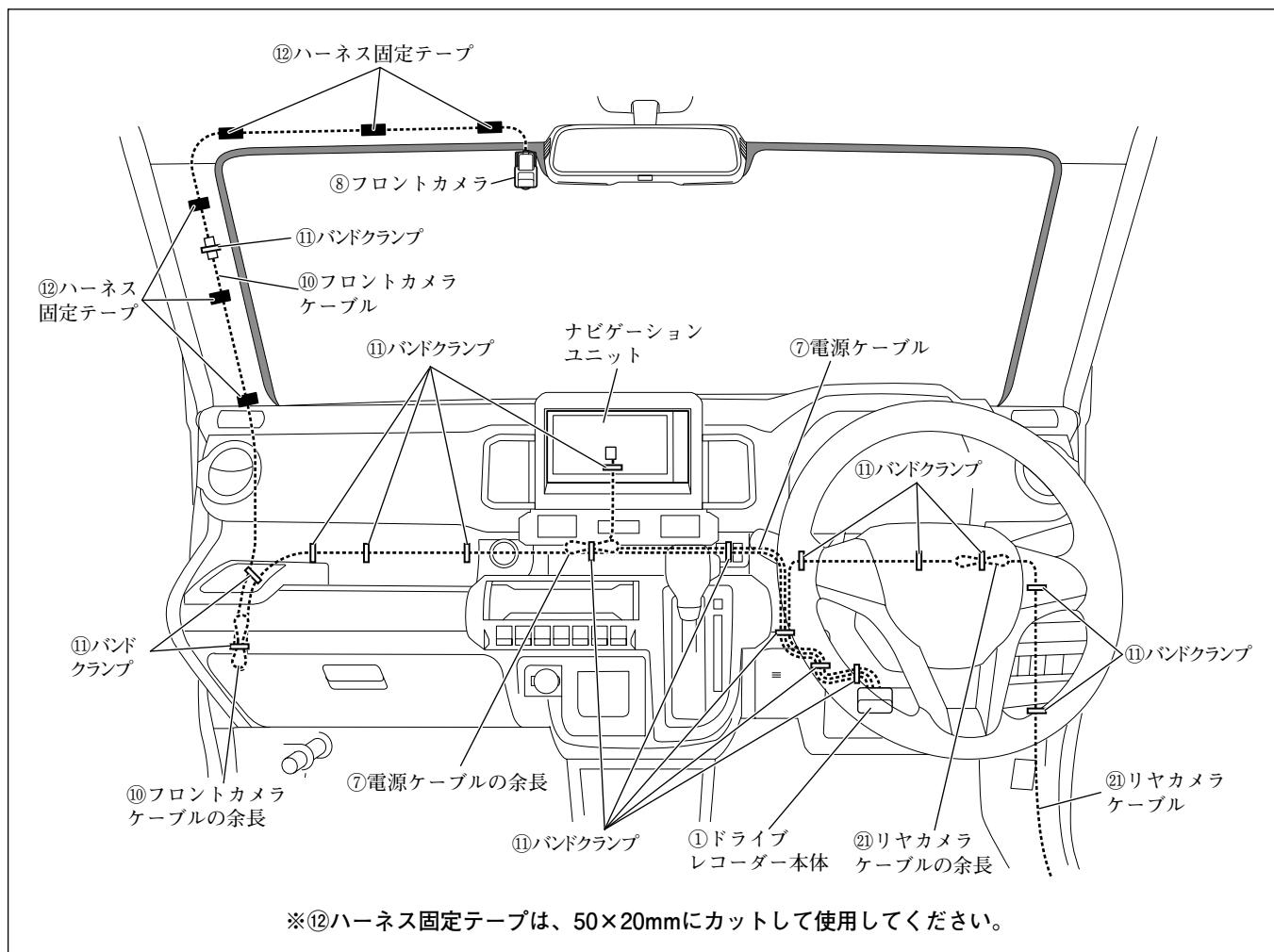
リヤカメラ



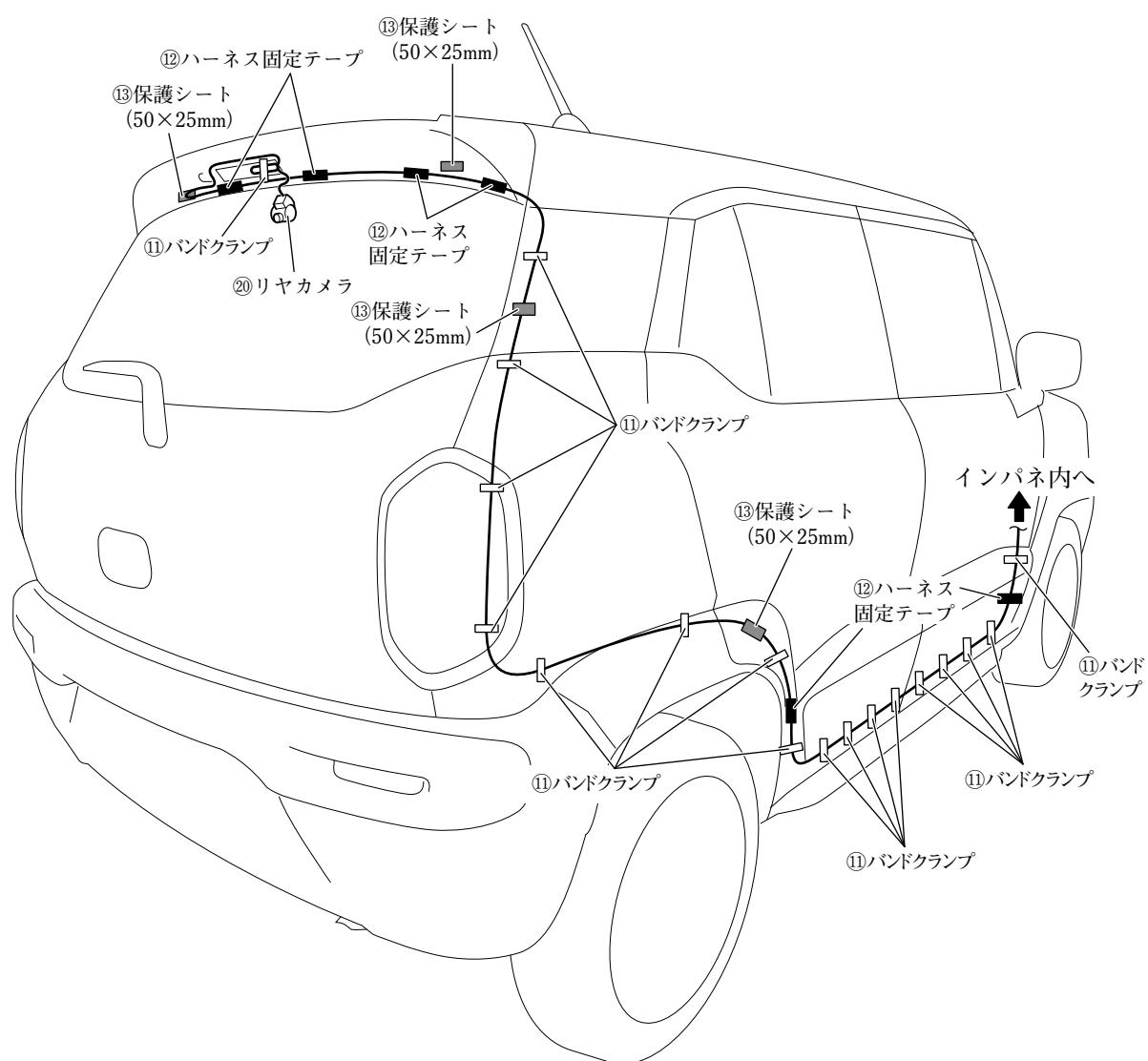


●取付概要

フロントカメラ



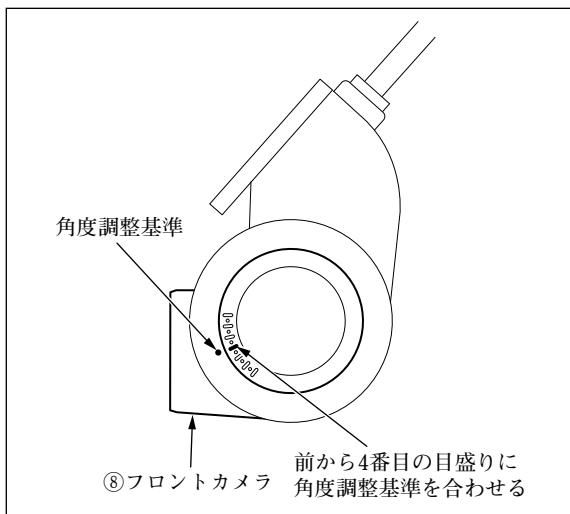
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



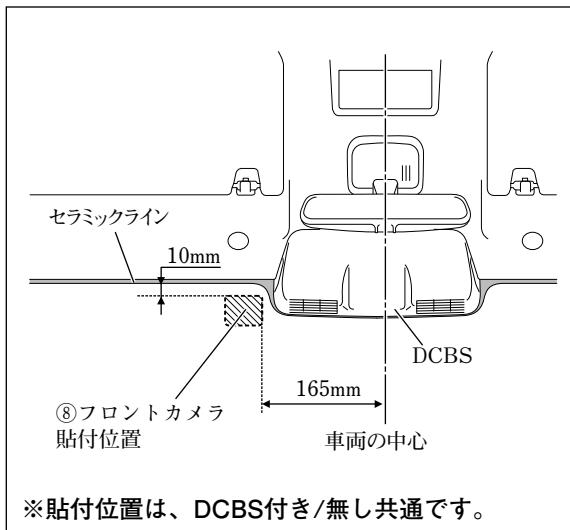
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

1



※貼付位置は、DCBS付き/無し共通です。

⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- DCBSは、車両の中心ではありません。DCBSを車両の中心として取り付けを行うと、正しい位置で取り付けができなくなります。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

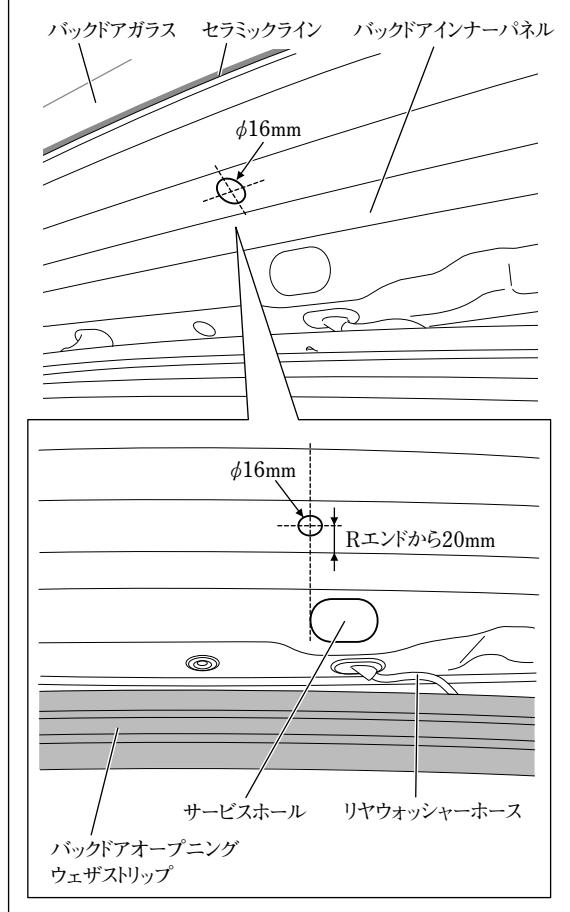
注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラ取付前の準備

1

バックドア上部中央



- (1) バックドアを開け、バックドアインナーパネルの図示箇所に穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注記

- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

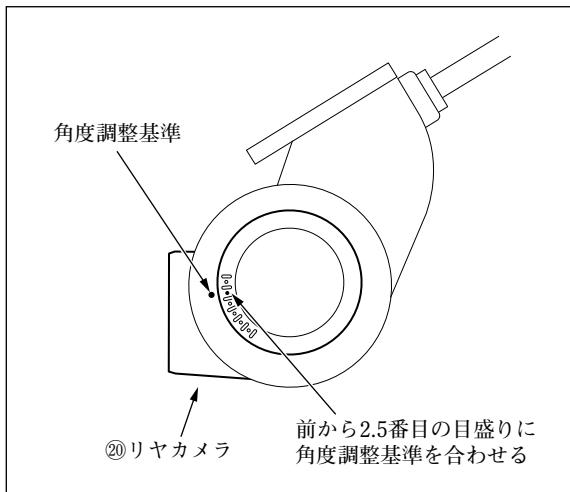
- (2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

- (3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



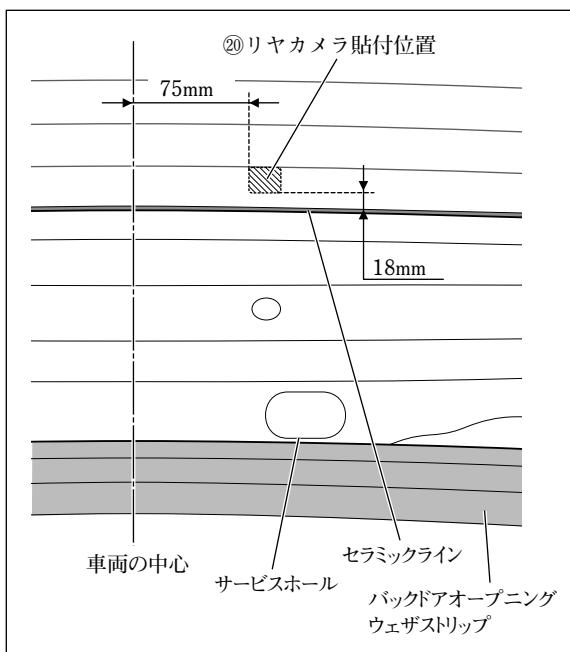
②②リヤカメラの角度を調整してください。（全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照）

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

●リヤカメラの取付方法

1

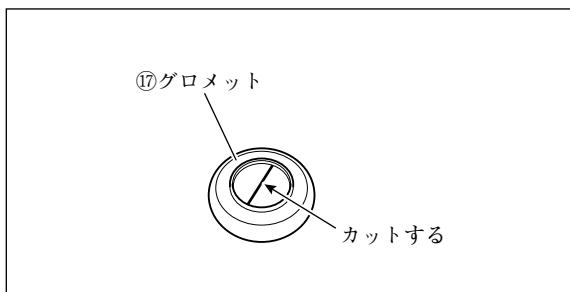


②②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

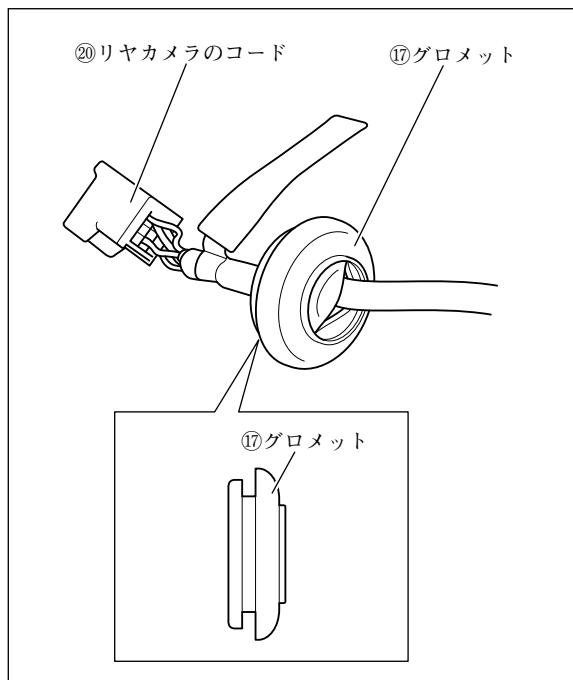
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と②②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

2



②②グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

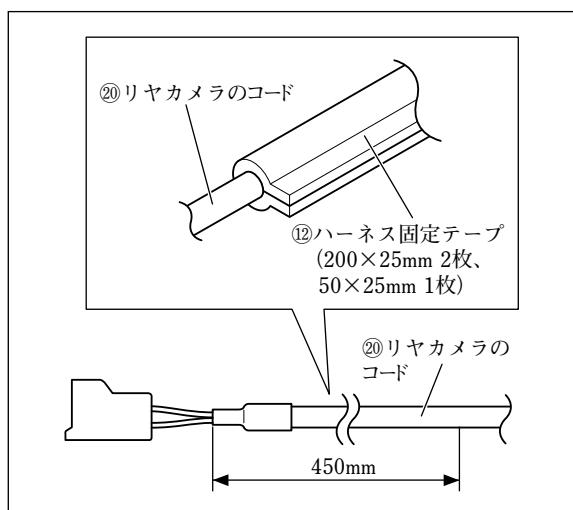


⑰グロメットを⑯リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

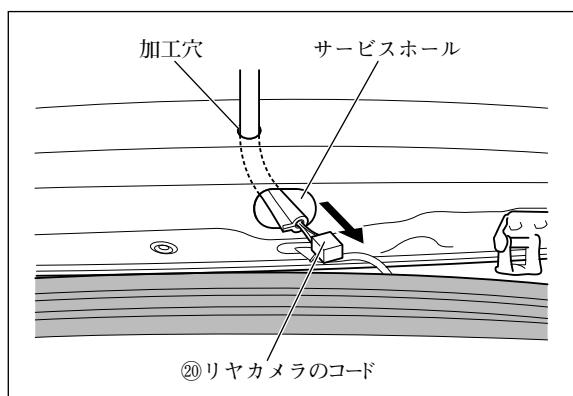
- ⑰グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑯リヤカメラのコードを⑰グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。

4



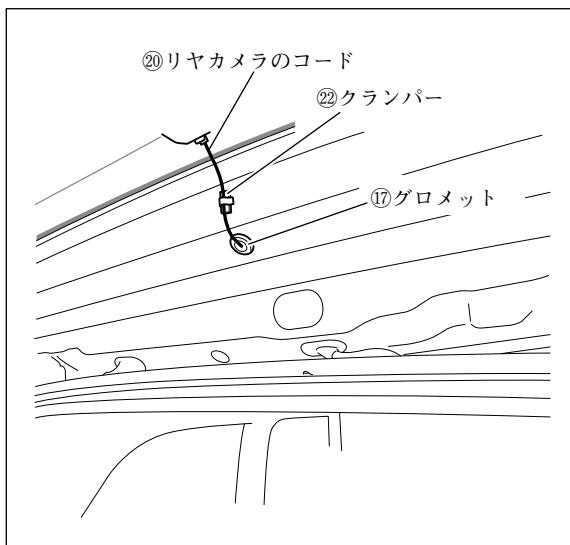
⑫ハーネス固定テープを⑯リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



⑯リヤカメラのコードを加工穴からサービスホールへとバックドアパネル内を通してください。

6



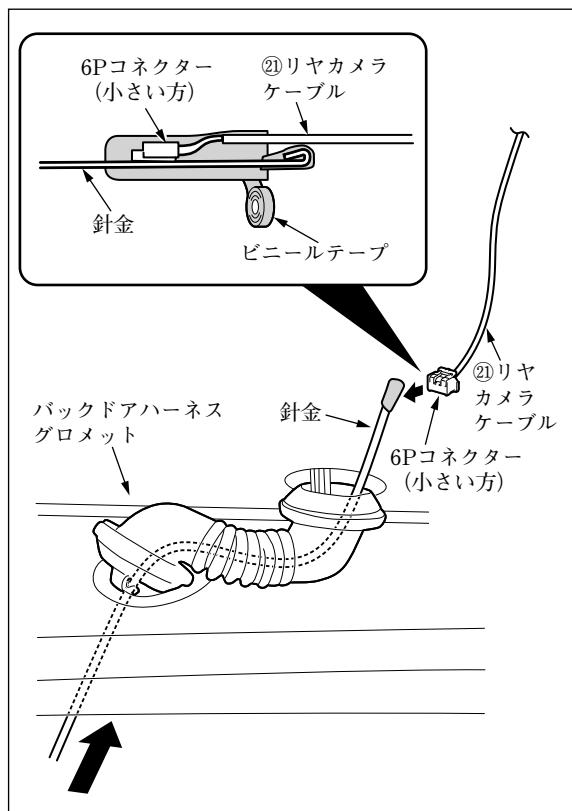
- (1) ⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (2) ㉙クランパーで②ⓧリヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ㉙クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1

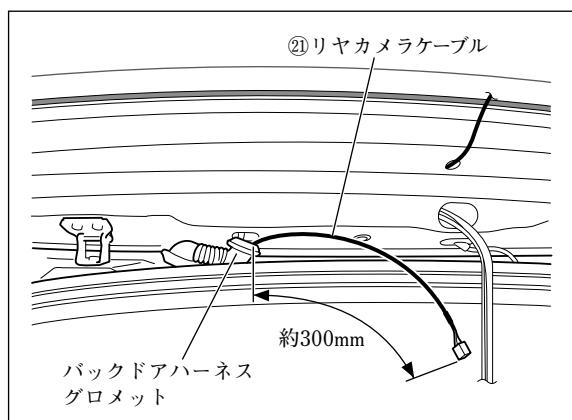


- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

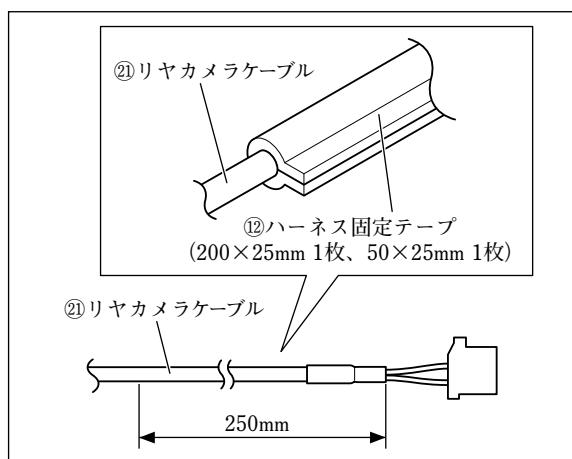
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。

2



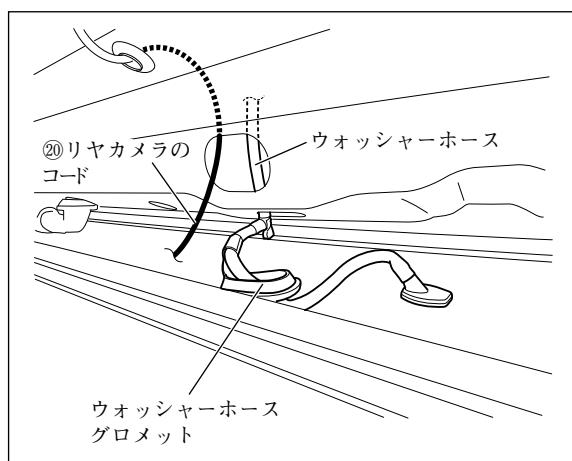
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4

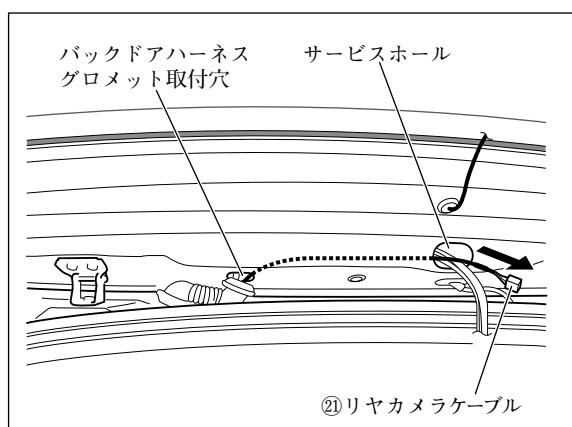


ウォッシャーホースグロメットを外し、ウォッシャーホースを引き出してください。

注記

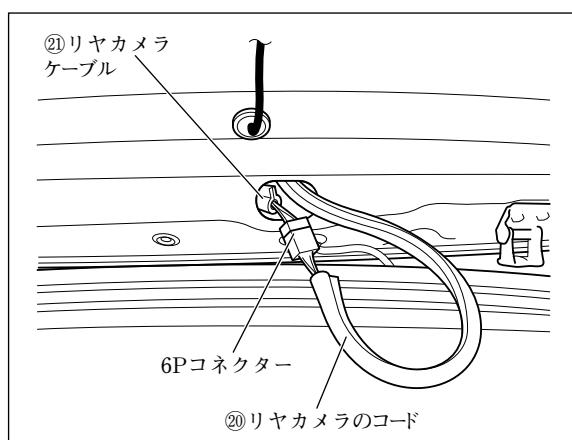
- ウォッシャーホースを強く引っ張らないでください。
- ⑩リヤカメラのコードは、ウォッシャーホースと交差しないように車両左側を通してください。

5



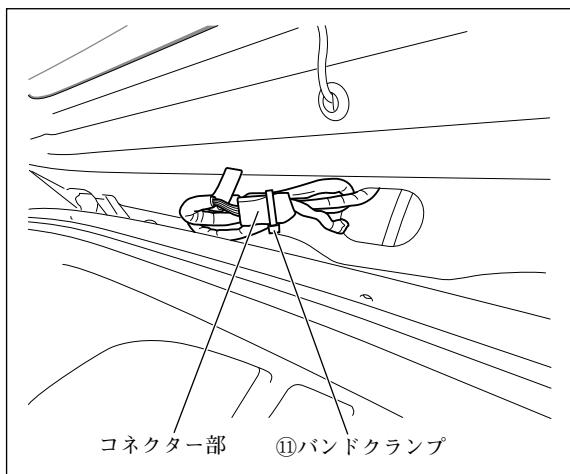
針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

6



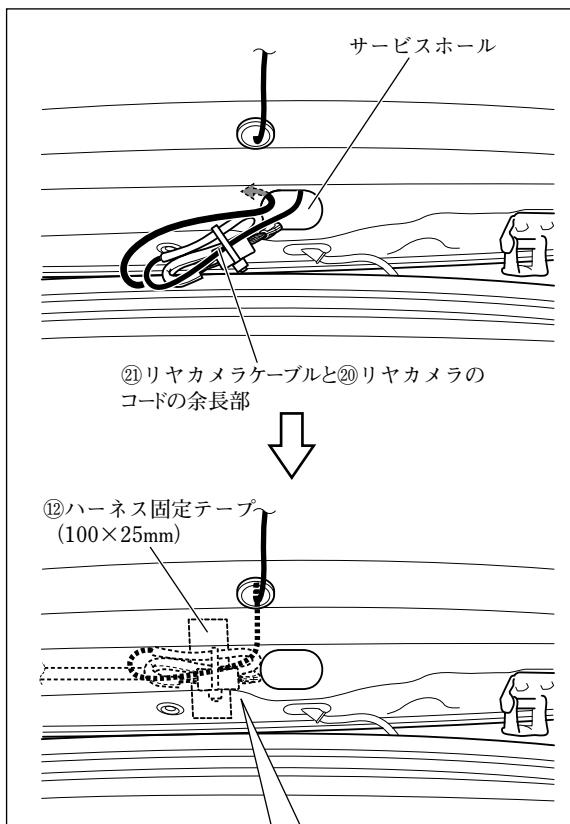
- (1) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。
- (2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

7



②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

8



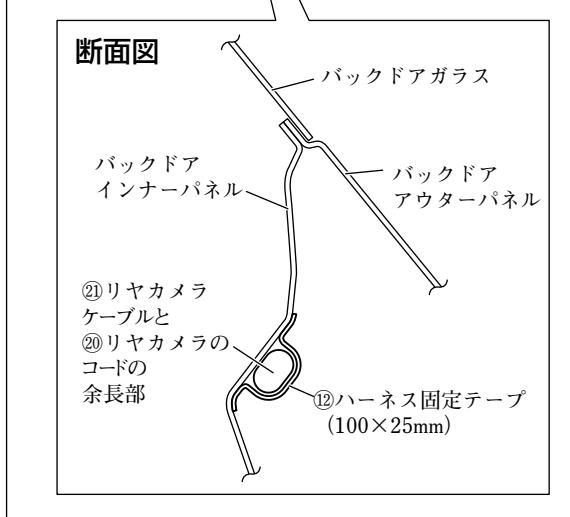
(1) ②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(2) ウオッシャーホースを入れ、ウォッシャーホースグロメットを復元してください。

断面図



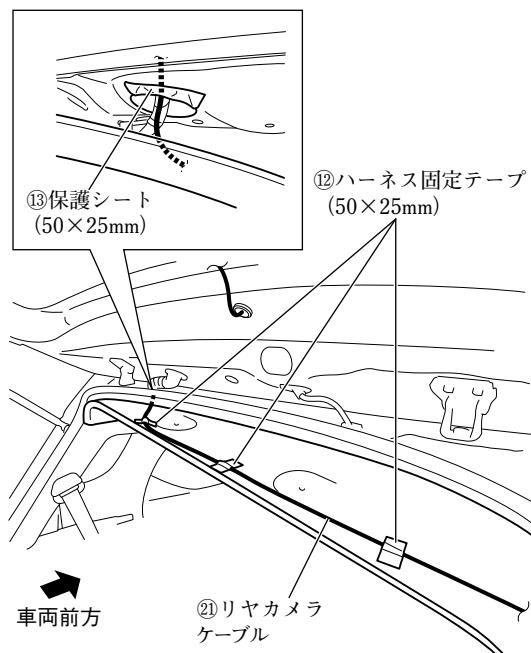
●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

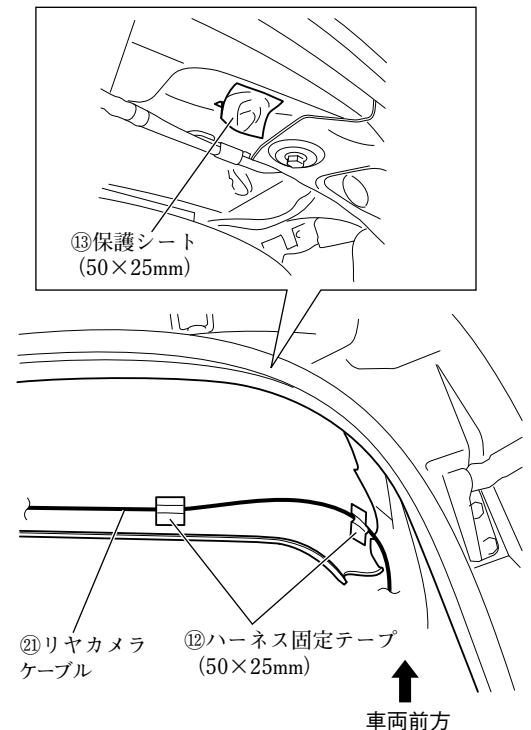
注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部左



バックドア開口部右

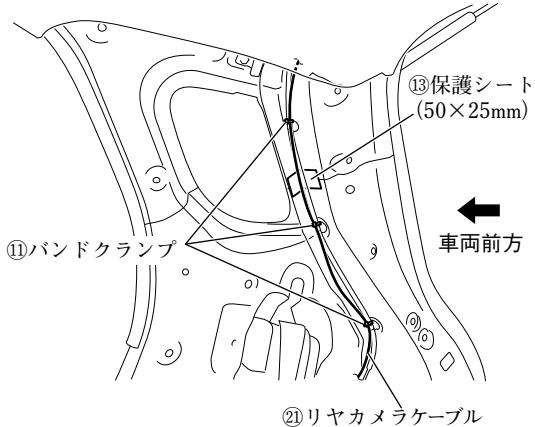


配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

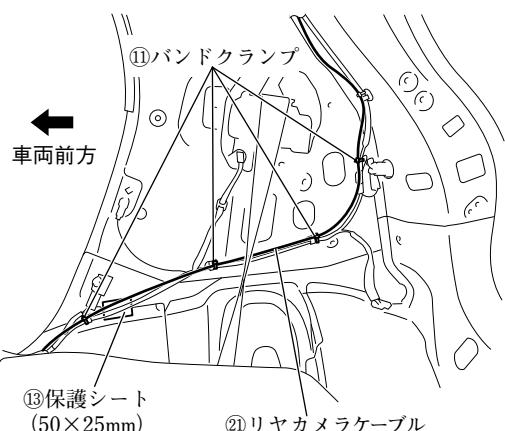
注記

- ⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右クォーターピラー上部



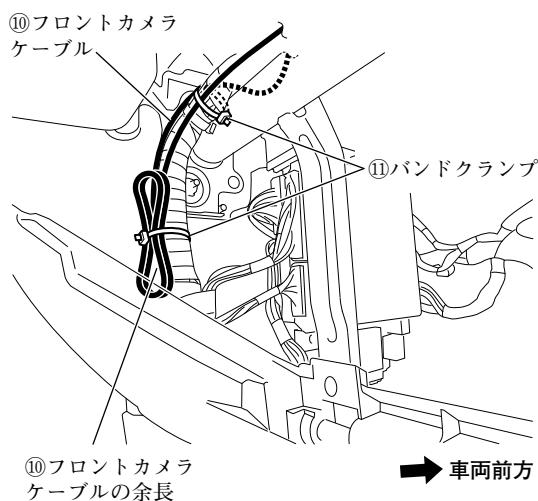
右クォーターピラーハンガー下部



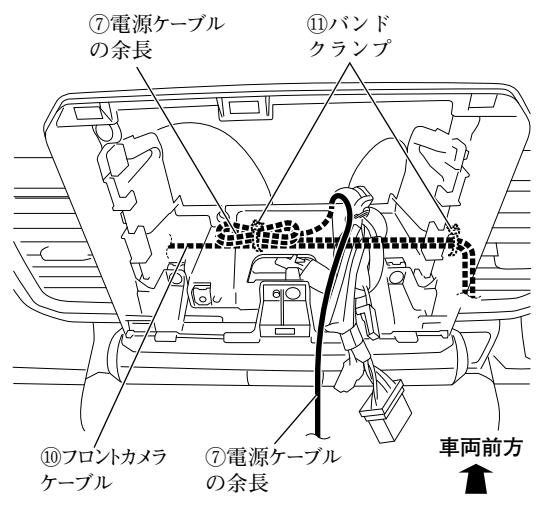
● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

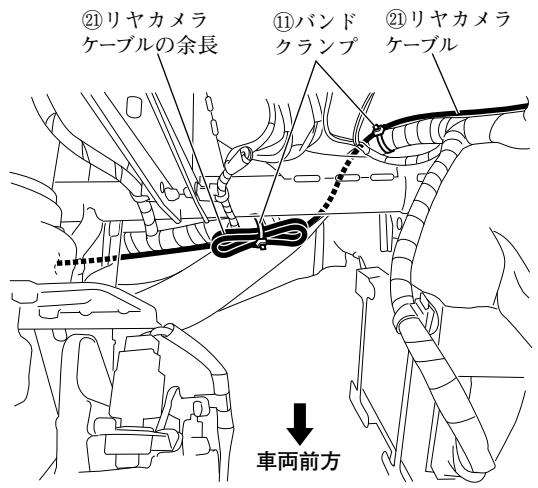
グローブボックス取付部左



ナビゲーション取付部



ステアリングコラム右上



- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

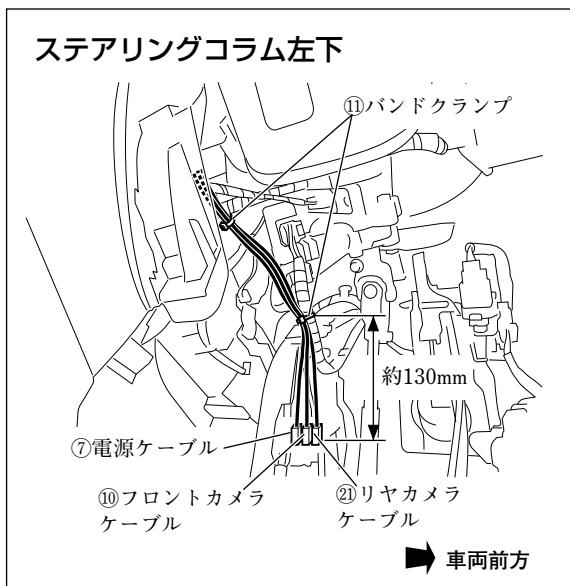
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、②リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

2

ステアリングコラム左下



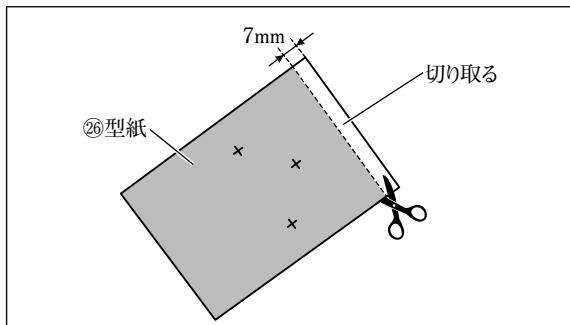
- ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1

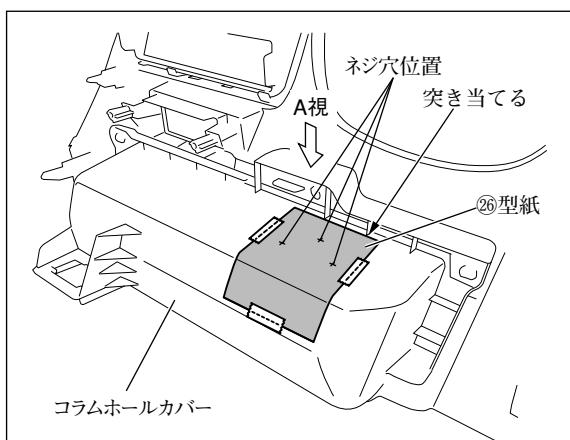


⑥型紙の図示位置を切り取ってください。

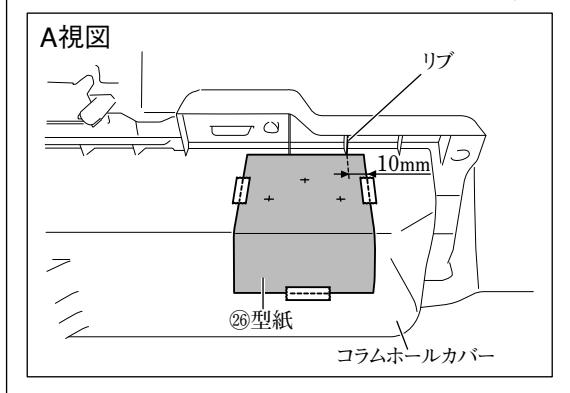
注記

⑥型紙の向きを間違えないでください。

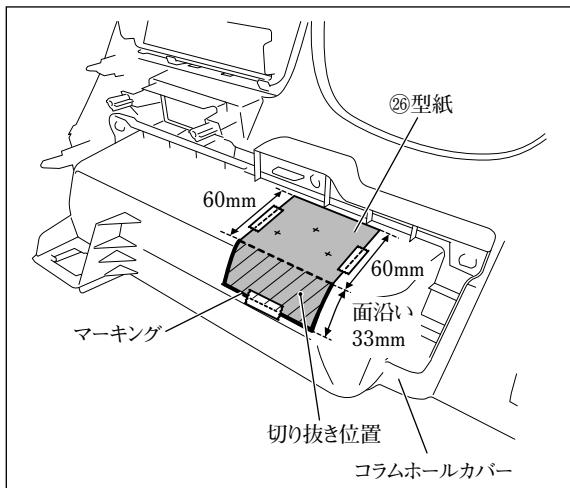
2



コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマー킹をしてください。



3

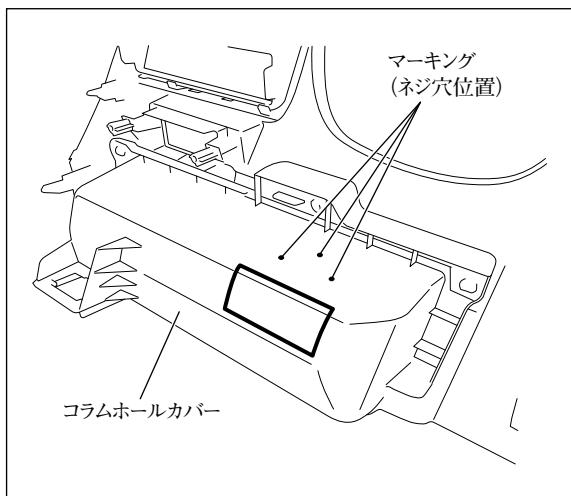


コラムホールカバーの切り抜き位置にマー킹をしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

4



- ②型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

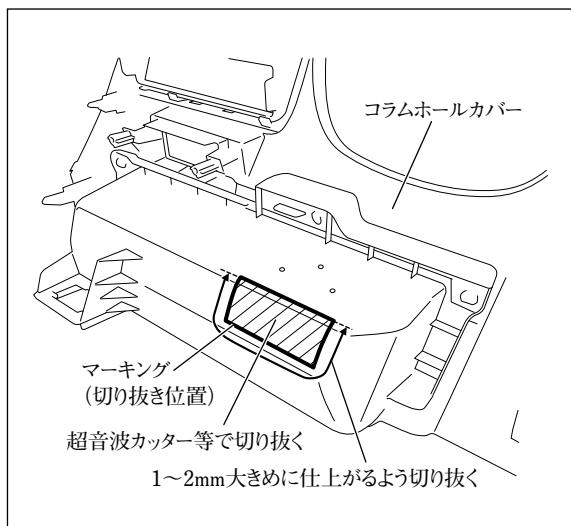
注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

5



- (1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に超音波カッター等で穴を開けてください。

注意

- 穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

注記

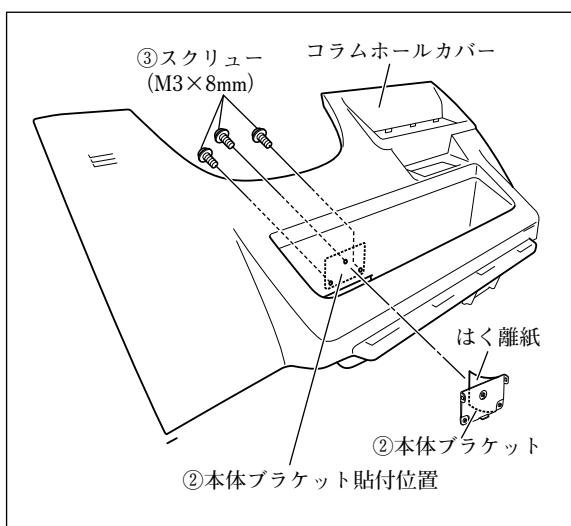
左右方向（各々）および下方向へ1~2mm大きめの穴として仕上がるよう切り抜いてください。

- (2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

6



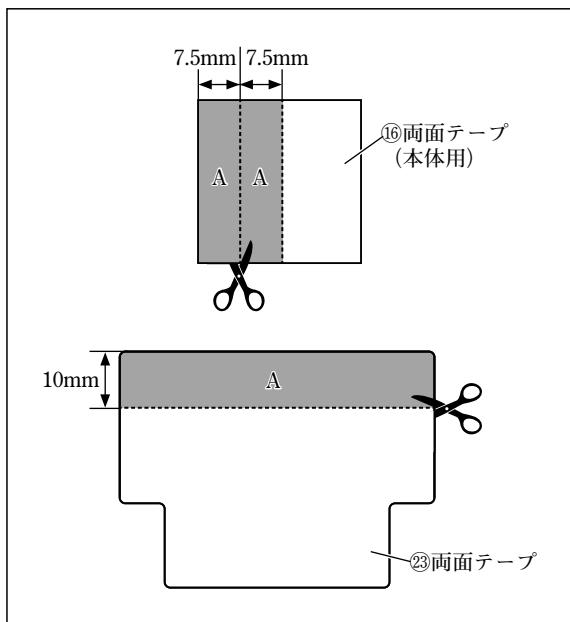
- (1) ②本体ブラケットのはぐ離紙をはがしてください。

- (2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

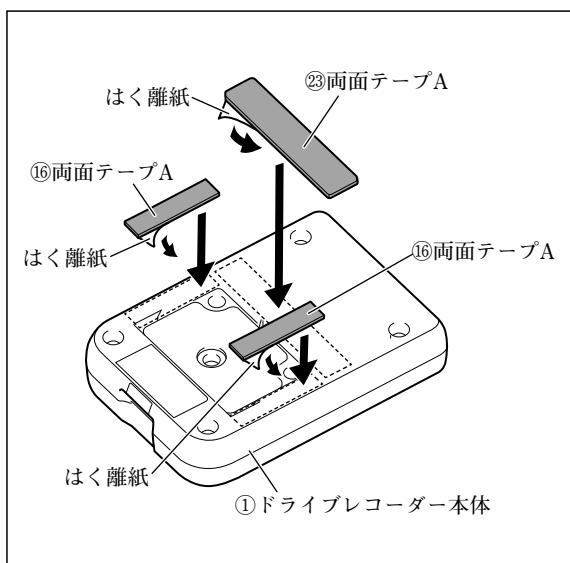
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

7



⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。

8

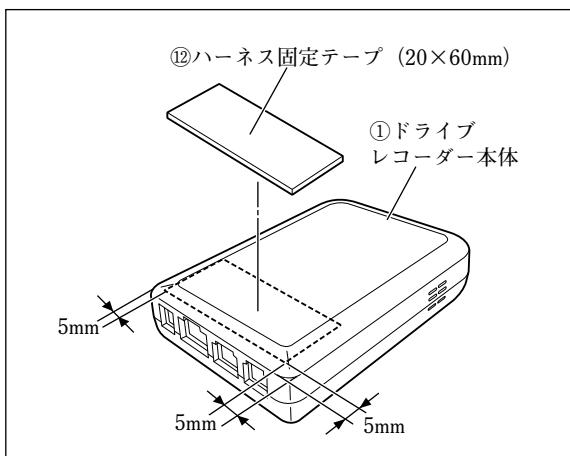


カットした⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

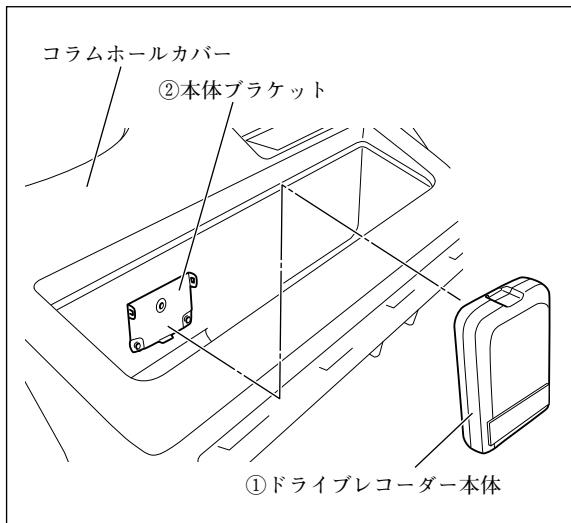
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

9



カットした⑫ハーネス固定テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

10



- (1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (2) ①ドライブレコーダー本体、③両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
 (3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（「接続のしかた」参照）

- ・「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- ・当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- ・センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- ・既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- ・「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

改訂内容

改訂履歴	内 容	日 付
第1版	新規発行	2020年11月17日
第2版	適用車種追加（ソリオ型式 MA27S、MA37S）	2020年11月25日
第3版	以下の適用車種を追加 アルト 型式 HA36S、HA36V ジムニー 型式 JB64W ラパン 型式 HE33S スペーシア 型式 MK53S ワゴンR 型式 MH35S、MH55S、MH95S ジムニーシエラ 型式 JB74W スイフト 型式 ZC13S、ZC33S、ZC43S、ZC53S、 ZD53S、ZC83S、ZD83S クロスビー 型式 MN71S	2020年12月10日
第4版	以下の適用車種を追加 エブリイ 型式 DA17W、DA17V エスクード 型式 YEA1S イグニス 型式 FF21S	2021年1月15日
第5版	車両部品の復元および既設部品の点検に注記を追加 アルトのコードホルダーの寸法を変更 エブリイにおいて別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合のドライブレコーダー本体取付位置を追記 クロスビーにおけるドライブレコーダー本体の取付方法の記載を変更	2021年5月21日
第6版	エブリイのマイナーチェンジに対応 ラパンにおいて別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合のドライブレコーダー本体取付位置を追記 イグニスの配線を通す穴位置を変更	2021年9月1日
第7版	適用車種追加（ワゴンRスマイル MX81S、MX91S）	2021年9月10日
第8版	アルトのフルモデルチェンジに対応	2021年12月10日
第9版	エブリイワゴンのドライブレコーダー本体取付位置の変更	2022年3月15日
第10版	エブリイのマイナーチェンジに対応	2022年4月7日
第11版	エスクードのハイブリッド車に対応	2022年4月21日
第12版	ハスラーのマイナーチェンジに対応	2022年5月9日
第13版	ラパンのマイナーチェンジに対応	2022年6月17日
第14版	ワゴンRのマイナーチェンジに対応	2022年8月2日
第15版	適用車種追加（スペーシアベース型式 MK33V）	2022年8月23日
第16版	適用車種追加（ランディ型式 MZRA90C、MZRA95C、 ZWR90C、ZWR95C）	2022年11月1日

パナソニック お客様ご相談センター

電話  **0120-50-8729**

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511(有料)

※通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～17:00（年中無休）

- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック
オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地